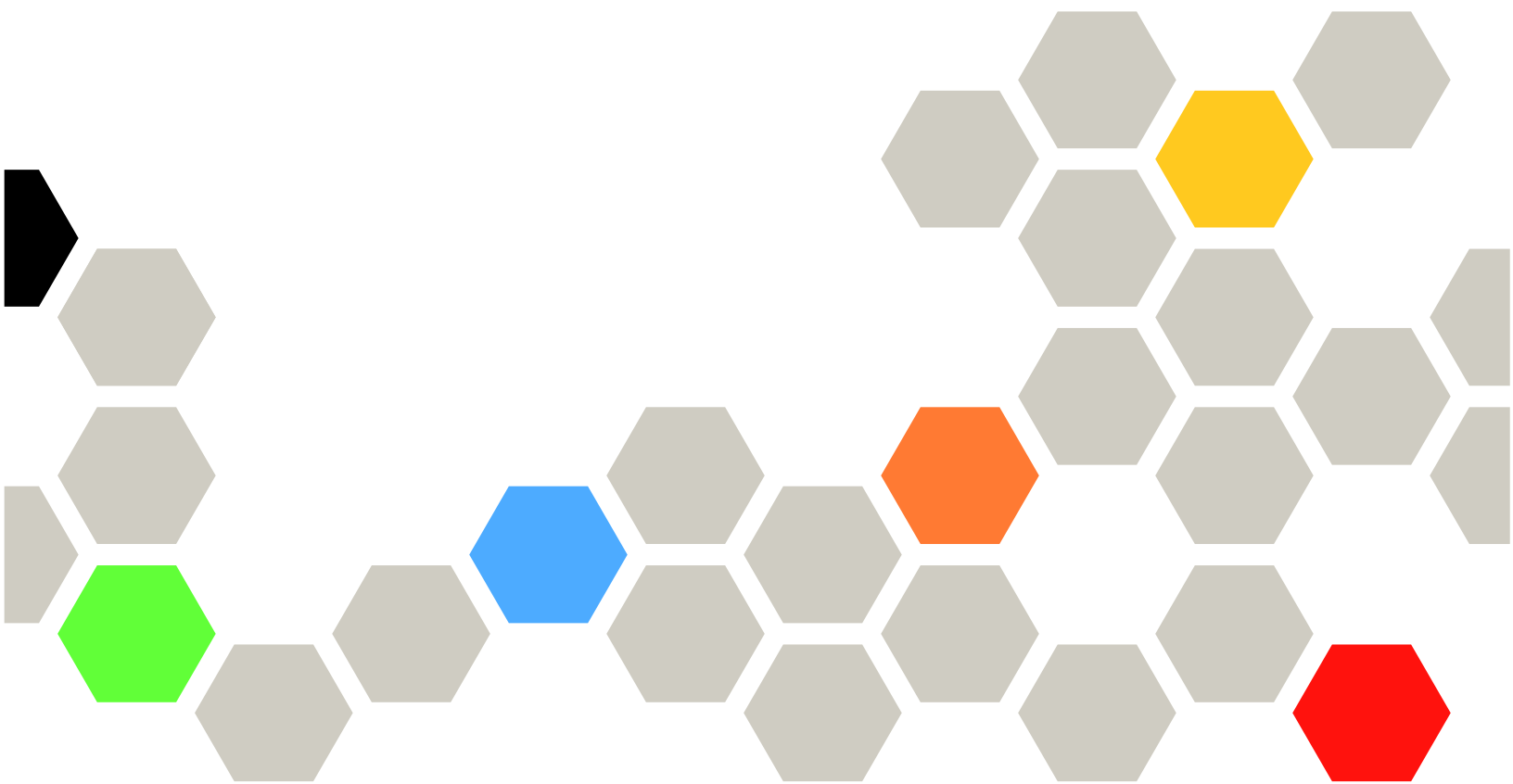


Lenovo

Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード インストールとサービスのガイド



マシン・タイプ: 9532, 2591

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[注記](#)に記載されている一般情報、「保証情報」資料、および製品に付属のドキュメンテーション CD に収録されている「安全情報」および「環境通知とユーザー・ガイド」の各資料をお読みください。

第 15 版 (2018 年 12 月)

© Copyright Lenovo 2014, 2018.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

目次	i	標準的なオペレーティング・システムのインストール	43
安全について	v	ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール	44
安全について	vi	Lenovo ServerGuide Scripting Toolkit の使用	44
第 1 章 . 概要	1	第 4 章 . IMM2 へのアクセス	45
関連資料	2	リモートでの IMM2 へのアクセス	45
Brocade ドキュメント	3	ネットワーク・アクセス・タグの確認	45
本書で使用される注記	3	IMM2 Web インターフェースへのログオン	46
機能および仕様	4	IMM2 アクションの説明	47
ご使用の計算ノードの機能	5	LAN over USB インターフェースを使用した IMM2 へのアクセス	51
Lenovo XClarity Administrator	9	LAN over USB インターフェースによる競合の可能性	51
信頼性、可用性、保守容易性の機能	10	IMM2 LAN over USB インターフェースとの競合の解決	51
計算ノードの主要コンポーネント	11	LAN over USB インターフェースの手動構成	52
電源、コントロール、およびインジケーター	12	第 5 章 . タイプ 9532 および 2951 の部品リスト	55
計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED	12	第 6 章 . トラブルシューティング	69
コンソール・ブレイクアウト・ケーブル	16	Service Bulletin	69
計算ノードの電源オン	16	診断ツール	69
計算ノードの電源オフ	17	Light path 診断	69
システム・ボードのレイアウト	18	IMM イベント・ログ	72
システム・ボード・コネクタ	18	Lenovo Dynamic System Analysis	74
システム・ボード LED	19	DSA 診断テスト結果	76
システム・ボード・スイッチ	19	イベント・メッセージ	232
第 2 章 . 構成	23	IMM メッセージ	233
ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新	23	UEFI 診断コード	711
UEFI イメージのリカバリー	24	症状別トラブルシューティング	741
計算ノードの構成	25	計算ノードの始動の問題	741
Setup Utility の使用	26	接続の問題	741
Nx ブート障害	32	ハードディスク・ドライブの問題	755
Setup Utility を使用した、レガシー・デバイスからブートするためのブート・プロトコルの設定	33	再現性の低い問題	756
Boot Selection Menu プログラムの使用	34	再現性の低い接続の問題	756
重要プロダクト・データを使用した、汎用固有 ID (UUID) および DMI/SMBIOS データの更新	34	メモリーの問題	757
RAID アレイの構成	37	目視で確認できる問題	758
LSI Logic Configuration ユーティリティの使用	38	オプションのデバイスおよび交換可能コンポーネントの取り付けの問題	759
Features on Demand	38	パフォーマンスの問題	759
第 3 章 . オペレーティング・システムのインストール	41	電源オン問題	760
ServerGuide セットアップとインストール CD の使用	42	ソフトウェアの問題	761
ServerGuide の機能	43	未解決問題	761
		サービス・データの収集	762

第7章 計算ノードのコンポーネントの取り付け、取り外し、および交換	763
オプションのデバイスの取り付け	763
取り付け作業上の注意事項	763
システムの信頼性に関するガイドライン	763
静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い	764
デバイスまたはコンポーネントの返却	764
計算ノード構成の更新	764
シャーシからの計算ノードの取り外し	765
シャーシへの計算ノードの取り付け	765
消耗部品および構造部品の取り外しと交換	767
前面パネルの取り外し	767
前面パネルの取り付け	768
シャーシ・バルクヘッドの取り外し	770
シャーシ・バルクヘッドの取り付け	771
計算ノード・カバーの取り外し	772
計算ノード・カバーの取り付け	773
前面ハンドルの取り外し	774
前面ハンドルの取り付け	775
ハードディスク・ドライブ・ケージの取り外し	776
ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け	777
Tier 1 CRU (お客様交換可能ユニット) の取り外しと交換	778
アダプター保持アセンブリの取り外し	778
アダプター保持アセンブリの取り付け	779
ベゼルの取り外し	781
ベゼルの取り付け	781
ID ラベル・プレートの取り外し	782
ID ラベル・プレートの取り付け	783
CMOS バッテリーの取り外し	784
CMOS バッテリーの取り付け	785
DIMM の取り外し	786
DIMM の取り付け	788
ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し	797
ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け	798
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し	799
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け	800
ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り外し	801
ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り付け	803
1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り外し	804
1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り付け	806

ServeRAID M5215 コントローラーの取り外し	808
ServeRAID M5215 コントローラーの取り付け	810
変換コネクタ (interposer) ケーブルの取り外し	812
変換コネクタ (interposer) ケーブルの取り付け	813
I/O 拡張アダプターの取り外し	814
I/O 拡張アダプターの取り付け	815
RFID タグの取り外し	816
RFID タグの取り付け	817
System x 用 SD メディア・アダプターの取り外し	818
System x 用 SD メディア・アダプターの取り付け	819
SD カードの取り外し	821
SD カードの取り付け	822
Tier 2 CRU (お客様による交換が可能な部品) の取り外しと交換	823
マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し	823
マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け	827
熱伝導グリース	835
システム・ボード・アセンブリの取り外しと交換	836

付録 A. ヘルプおよび技術サポートの入手	849
依頼する前に	849
資料の使用	850
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	850
DSA データの送信方法	850
個別設定したサポート Web ページの作成	850
ソフトウェアのサービスとサポート	851
ハードウェアのサービスとサポート	851
台湾の製品サービス	851

付録 B. 注記	853
商標	854
重要事項	854
リサイクル情報	854
粒子汚染	855
通信規制の注記	855
電波障害自主規制特記事項	856
連邦通信委員会 (FCC) 宣言書	856
カナダ工業規格クラス A 排出量適合性宣言	856
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada	856
オーストラリアおよびニュージーランド Class A 宣言書	856

Declaración de conformidad de las directivas de EMC de la Unión Europea	856
ドイツ Class A 宣言書	857
電磁適合性宣言 (日本)	858
韓国通信委員会 (KCC) 宣言書	858
ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書	858

中華人民共和國 Class A 電子放出宣言書	858
台灣 Class A 適合性宣言書	859
台灣 BSMI RoHS 宣言	859

索引	861
---------------------	------------

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information**
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας (safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

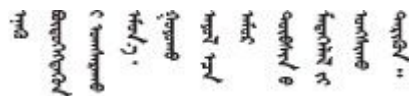
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este producto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་ཁུངས་འདི་བདེ་སྤྱོད་མ་བྱས་གོང་། རྒྱ་རྒྱུ་ཡིད་གཟབ་
བྱ་འདྲ་མིན་ཡིད་པའི་འོད་ཟེར་བལྟ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

安全について

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要：本書の「注意」と「危険」の各注意事項には番号が付いています。この番号は、「*Safety Information*」の英語の Caution と Danger に対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

たとえば、「Caution」の注意事項に **Statement 1** が付いていた場合、**Statement 1**の「安全情報」を見ればその注意事項に対応した翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意事項をすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はそのデバイスの取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、デバイスのカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルをデバイスに接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. デバイスの電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

安全 2



警告:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100° C (212° F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 12



警告：

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 21



警告：

電源にブレードを接続すると危険な電力が印加されます。ブレードを取り付ける前に必ずブレードにカバーを再取り付けしてください。

UL 規格情報

このデバイスは、リストされているシャーシでのみ使用してください。

第 1 章 概要

Lenovo Flex System™ x240 M5 計算ノード・タイプ 9532 および 2591 は、次世代のマイクロプロセッサ・テクノロジーをサポートするために最適化されたスケーラブルな高可用性計算ノードで、中規模および大規模の企業に理想的です。

Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードは、Lenovo Flex System Enterprise シャーシでのみサポートされます。

本書は、計算ノードのセットアップおよびトラブルシューティングに関する以下の情報を説明しています。

- 計算ノードの始動および構成
- オペレーティング・システムのインストール
- 問題の診断
- コンポーネントの取り付け、取り外し、および交換

計算ノードには、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立つソフトウェア CD が付属しています。

最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーをダウンロードするには、<http://datacentersupport.lenovo.com/products/servers/flex/x240-m5-compute-node/9532/downloads> にアクセスし、「Lenovo Flex System」および「Lenovo Flex System x240 M5」を選択します。

ご使用の計算ノードには限定保証が付いています。保証の条件およびサービスと支援の利用については、ご使用の計算ノードの「保証情報」資料を参照してください。この資料は、ご使用の製品に付属のドキュメンテーション CD に収録されています。

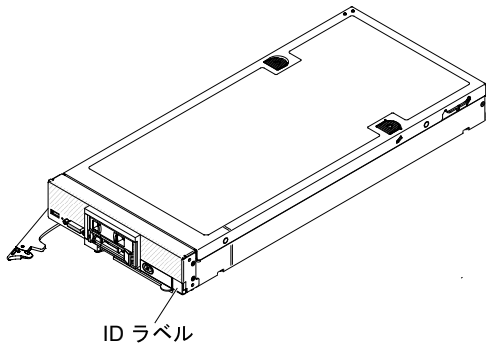
計算ノードに関する最新情報は、<http://datacentersupport.lenovo.com> で入手できます。

計算ノードには、計算ノードに付属の資料に記載されていない機能がある場合があります。資料は、それらの機能に関する情報を記載するために時々更新されることがあります。計算ノードの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新が入手できる場合もあります。この製品の最新資料を入手するには、<http://flexsystem.lenovofiles.com/help/index.jsp> にアクセスしてください。

ご使用の計算ノードに関する情報更新を <https://support.lenovo.com> で購読することができます。

型式番号およびシリアル番号は、計算ノード前面のベゼル上の ID ラベル、および計算ノードが Lenovo Flex System シャーシに取り付けられていない場合に確認することができる計算ノード下部のラベルに記載されています。計算ノードに RFID タグが付属している場合、RFID タグが計算ノード前面のベゼル上の ID ラベルを覆っていますが、RFID タグを開いて裏にある ID ラベルを確認することができます。

注：本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。



サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルは、サービス情報へのモバイル・アクセス用の QR コードを備えています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、Lenovo® Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は、Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードの QR コードを示しています。



関連資料

計算ノードの関連資料を確認して見つけるには、この情報を使用します。

この「インストールとサービスのガイド」には、サポートされるオプションのデバイスの取り付け方法や、計算ノードの構成方法など、計算ノードに関する一般情報が記載されています。また、問題を自力で解決するために役立つ情報、およびコンポーネントの取り外しと取り付けの手順も記載されており、サービス技術員向けの情報もあります。PDF 形式の資料が、製品に付属のドキュメンテーション CD に収録されています。以下の資料も入手可能です。

- 「安全情報」

この資料は PDF で提供されます。この資料には、注意と危険の注記の翻訳が記載されています。本書では「注意」と「危険」の注意事項には個々に番号が付いており、この番号を使用して、「*Safety Information*」資料内でご使用の言語で書かれた該当の注記を見つけることができます。

- 「Lenovo 保証情報」

この印刷資料には、保証条件と、「Lenovo 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

- 「環境通知とユーザー・ガイド」

この資料は PDF で提供されます。この資料には、翻訳された環境上の注意が記載されています。

- 「機械コードのご使用条件」

この資料には、ご使用の計算ノードの、各国語に翻訳された「機械コードのご使用条件」が記載されています。

- 「ライセンスと附属ドキュメント」

この資料は PDF で提供されます。この資料には、オープン・ソースに関する注記が記載されています。

このライブラリーに記載された資料に加えて、必ずご使用の Lenovo Flex System シャーシの「インストールとサービスのガイド」で、システムのインストールと構成の準備に役立つ情報を確認してください。

更新された資料を確認するには、<https://support.lenovo.com> にアクセスしてください。

Lenovo Flex System 製品に関連する資料は、<http://flexsystem.lenovofiles.com/help/index.jsp>でも見つけることができます。

Brocade ドキュメント

以下の情報を使用して、Brocade の関連資料を見つけて確認することができます。

次のセクションで、インストールや管理に役立つ Brocade 資料について説明します。

- 「EN4023 ユーザー・ガイド」
 - 「ネットワーク OS レイヤー 2 スイッチング構成ガイド」 - <http://www.brocade.com/content/html/en/configuration-guide/nos-601a-l2guide/>
 - 「ネットワーク OS コマンド・リファレンス・ガイド」 - <http://www.brocade.com/content/html/en/command-reference-guide/nos-601a-commandref/index.html>
 - 「ネットワーク OS メッセージ・リファレンス」 - <http://www.brocade.com/content/html/en/message-reference-guides/nos-601a-messageref/wwhelp/wwhimpl/js/html/wwhelp.htm>
- 「FC5022 ユーザー・ガイド」
 - 「Fabric OS 管理者ガイド」 - <http://www.brocade.com/content/html/en/administration-guide/fos-740-adminguide/>
 - 「Fabric OS コマンド・リファレンス」 - <http://www.brocade.com/content/html/en/command-reference-guide/fos-741-commandref/wwhelp/wwhimpl/js/html/wwhelp.htm>
 - 「Fabric OS メッセージ・リファレンス」 - http://www.brocade.com/content/html/en/message-reference-guides/FOS_740_MESSAGES/wwhelp/wwhimpl/js/html/wwhelp.htm#href=Title.1.2.html
 - 「Access Gateway 管理者ガイド」 - <http://www.brocade.com/content/html/en/administration-guide/fos-740-accessgateway/index.html>

本書で使用される注記

以下の情報を使用して、本書における一般的な注記とその使用方法について理解することができます。

本書の注意および危険に関する注記は、製品に付属のドキュメンテーション CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。各安全に関する注記には番号が付けられ、*Safety Information*にある安全に関する注記の番号と対応して参照します。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** これらの注記には、注意事項、説明、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。
- **重要:** これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** この注記は、ユーザーに対して致命的あるいは危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいは危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

機能および仕様

計算ノードの具体的な情報 (計算ノードのハードウェア機能や寸法など) を確認するには、この情報を使用します。

次の表は、Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードの機能および仕様の要約です。

注：

1. 電源、冷却装置、およびシャーシ・システム管理は、Lenovo Flex System シャーシが提供します。
2. 計算ノードのオペレーティング・システムは、計算ノードが USB メディア・ドライブおよび USB 装置を認識して使用できるように USB をサポートしている必要があります。Lenovo Flex System シャーシは、これらのデバイスとの内部通信に USB を使用します。

表 1. 機能および仕様、Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード

機能および仕様	
<p>マイクロプロセッサ: 最大 2 個のマルチコア Intel Xeon マイクロプロセッサをサポート。</p> <p>注: 計算ノードのマイクロプロセッサのタイプと速度を判別するには、Setup Utility を使用してください。</p> <p>内蔵機能:</p> <ul style="list-style-type: none"> • SH7758 (IMM2) ベースボード管理コントローラー (BMC) (統合 VGA コントローラー付き) • Light path 診断 • 自動サーバー再起動 (ASR) • 1 個の LSI 3004 SAS コントローラー (RAID レベル 0 または RAID レベル 1 をサポート) • 追加の RAID レベルをサポート (オプションの RAID コントローラーを取り付けた場合) • 1 個の外部 USB 3.0 ポート • 最大 2 個の内部 USB 2.0 ポート (SD カード・フォーム・ファクター) をサポート (オプションの System x® 用 SD メディア・アダプターを取り付けた場合) • Serial over LAN (SOL) • Wake on LAN (WOL) (WOL 機能を備えたオプションの I/O アダプターを取り付けた場合) <p>メモリー:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 24 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクター • タイプ: Low-profile (LP) double-data rate (DDR4) DRAM • 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB、および 64 GB DIMM をサポートし、システム・ボード上で最大合計メモリー容量 1536 GB をサポート • 4 GB、8 GB、16 GB、および 32 GB DIMM をサポートし、システム・ボード上で最大合計メモリー容量 768 GB をサポート • RDIMM および LRDIMM をサポート (結合はサポートされません) • RDIMM をサポート <p>障害予知 (PFA) アラート:</p> <ul style="list-style-type: none"> • マイクロプロセッサ • メモリー • ハードディスク・ドライブ 	<p>サイズ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高さ: 55.5 mm (2.19 インチ) • 奥行き: 500.54 mm (19.7 インチ) • 幅: 217.35 mm (8.56 インチ) • 最大重量: 7.07 kg (15.6 ポンド) <p>環境: Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードは、ASHRAE クラス A3 仕様に準拠しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源オン時¹: <ul style="list-style-type: none"> – 温度: 5°C から 40°C (41°F から 104°F)² – 湿度 (結露なし): -12°C (10.4°F) の露点および 8% から 85% の相対湿度^{3,4} – 最大露点: 24°C (75°F) – 最大高度: 3048 m (10,000 フィート) – 最大温度変化率: 5°C/時 (2.78°F/時)⁵ • 電源オフ時⁶: <ul style="list-style-type: none"> – 温度: 5°C から 45°C (41°F から 113°F) – 相対湿度: 8% から 85% – 最大露点: 27°C (80.6°F) • Storage (非動作時): <ul style="list-style-type: none"> – 温度: 1°C から 60°C (33.8°F から 140°F) – 高度: 3050 m – 相対湿度: 5% から 80% – 最大露点: 29°C (84.2°F) • 配送時 (非稼働時)⁷: <ul style="list-style-type: none"> – 温度: -40°C から 60°C (-40°F から 140°F) – 高度: 10,700 m – 相対湿度: 5% から 100% – 最大露点: 29°C (84.2°F)⁸ • 粒子汚染 <p>注意: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、計算ノードにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限の詳細については、855 ページの「粒子汚染」 を参照してください。</p> <p>セキュリティー:</p> <p>NIST 800-131A に完全準拠しています。管理デバイス (CMM、Lenovo XClarity Administrator または Flex</p>

表 1. 機能および仕様、Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード (続き)

<p>ドライブ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大 2 個のホット・スワップ、スモール・フォーム・ファクター (SFF) Serial Attached SCSI (SAS) またはソリッド・ステート (SSD) ハードディスク・ドライブをサポート 追加のハードディスク・タイプをサポート (オプションのハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けた場合) <p>アップグレード可能ファームウェア すべてのファームウェアは、現場アップグレード可能です。</p>	<p>System Manager 管理ノード) で設定したセキュリティ暗号化モードによって、計算ノードが作動するセキュリティ・モードが決定されます。</p>
--	---

- シャーシの電源がオンになっています。
- A3 - 950 メートル以上の高度では、175 メートル上昇するごとに最大許容温度を 1°C ずつ下げてください。
- クラス A3 の最小湿度レベルは、-12°C 露点と 8% 相対湿度のどちらか高い (湿気が多い) 方です。これらは約 25°C で交差します。この交点 (25°C) より下では、露点 (-12°C) が最小湿度レベルを表し、この交点より上では相対湿度 (8%) が最小です。
- 0.5°C DP より低く、かつ -10°C DP または相対湿度 8% を下回らない湿度レベルは、データ・センター内の人員と機器における静電気の発生を抑えるために、適切な制御手段が実装されている場合にのみ受け入れられます。人体およびモバイル設備や機器はすべて、適切な静電気制御システムを使用してアースに接続されなければなりません。以下の項目が最小要件と見なされます。
 - 導電性のある材料 (導電性のある床、データ・センターに立ち入る全員の導電性のある履き物、モバイル設備と機器はすべて、導電性または静電気拡散性のある材料で作られています)。
 - ハードウェアのメンテナンス中、IT 機器に接触する人物はすべて、正しく機能するリスト・ストラップを使用する必要があります。
- 磁気テープ・ドライブを使用するデータ・センターの場合は 5°C/時、ディスク・ドライブを使用するデータ・センターの場合は 20°C/時。
- シャーシが配送コンテナから取り出され、取り付けられていますが、使用中ではありません (たとえば、修理、メンテナンス、またはアップグレード中)。
- 機器の順応期間は、配送環境から稼働環境への温度変化が 20°C ごとに 1 時間です。
- 結露 (雨ではなく) は問題ありません。

ご使用の計算ノードの機能

ご使用の計算ノードは、Integrated Management Module II (IMM2)、ハードディスクのサポート、システム管理サポート、Lenovo X-Architecture®、マイクロプロセッサ・テクノロジー、内蔵ネットワーク・サポート、大容量システム・メモリー、light path 診断 LED、PCI Express、および電力スロットルなどの機能を備えています。

• Features on Demand

Features on Demand 機能が計算ノードまたは計算ノードに取り付けられたオプション・デバイスに組み込まれている場合、アクティベーション・キーを購入してその機能をアクティブにすることができます。Features on Demand の詳細については、[38 ページの「Features on Demand」](#) を参照してください。

• フレキシブルなネットワーク・サポート

計算ノードは、計算ノードにネットワーク通信機能を追加するためのオプションの拡張アダプター用のコネクタをシステム・ボード上に備えています。ネットワーク・サポート用に最大 2 個の I/O 拡張アダプターを取り付けることができます。これにより、各種のネットワーク通信テクノロジーをサポートする拡張アダプターを柔軟に取り付けることができます。

• ハード・ディスク・サポート

計算ノードは、最大2個のホット・スワップ・ハードディスクをサポートします。ドライブに対して RAID 0 あるいは RAID 1 を実装することが可能です。オプションのハードディスク・ドライブ・バックプレーンおよび RAID コントローラーを取り付けた場合は、追加のハードディスク・タイプと RAID レベルがサポートされます。

- **Lenovo ServerGuide セットアップとインストール CD**

Web からダウンロードすることができる *ServerGuide* セットアップとインストール CD は、計算ノードのセットアップおよび Windows オペレーティング・システムのインストールに役立つプログラムを提供します。*ServerGuide* プログラムは、取り付け済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバーを提供します。詳細については、[42 ページの「ServerGuide セットアップとインストール CD の使用」](#)を参照してください。

- **Lenovo X-Architecture**

Lenovo X-Architecture システムは、実績のある先進的な設計を結合して、ご使用の x86 プロセッサ・ベースの計算ノードを強力で信頼性が高く拡張が容易なものにします。

- **Integrated Management Module II (IMM2)**

Integrated Management Module II は、システム管理機能、ビデオ・コントローラー、リモート・プレゼンス、およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能を単一のチップに結合しています。IMM2 は、高度なシステム管理の制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が発生すると、IMM2 は問題の診断に役立つ LED を点灯し、IMM イベント・ログにエラーを記録し、さらにユーザーに対してアラートを発行します。さらに、IMM2 S3 (スリープ・モード) がサポートされています (詳細は http://systemx.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/NN1ia_c_controlserverpower.html および <http://systemx.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/aj1camst04.html> を参照)。

オプションで、IMM2 はリモート・システム管理機能に対する仮想プレゼンス機能も提供します。IMM2 は、以下の業界標準インターフェースを使用したりリモート・システム管理を提供します。

- 共通情報モデル (CIM)
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
- Web ブラウザー

詳しくは、https://download.lenovo.com/ibmdl/pub/pc/pccbbs/thinkservers/imm_userguide.pdf を参照してください。

- **大容量のシステム・メモリー**

計算ノードは、最大 1536 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、システム・ボード上で最大 24 個の業界標準 Registered ECC DDR4 Low-Profile (LP) DIMM をサポートします。サポートされる DIMM の最新のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

計算ノードは、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、システム・ボード上で最大 24 個の業界標準 Registered ECC DDR4 Low-Profile (LP) DIMM をサポートします。サポートされる DIMM の最新のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

- **Light path 診断**

Light path 診断は、問題の診断に役立つ発光ダイオード (LED) を備えています。詳細については、[69 ページの「Light path 診断」](#)を参照してください。

- **Lenovo Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード QR コードにつ

いては、1 ページの第 1 章「概要」、または 55 ページの第 5 章「タイプ 9532 および 2951 の部品リスト」の QR コード情報を参照してください。

● マイクロプロセッサ・テクノロジー

計算ノードは、最大 2 個のマルチコア Intel Xeon マイクロプロセッサをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

注：Lenovo がサポートするオプションのマイクロプロセッサは、計算ノードの容量および機能によって制限されています。取り付けるマイクロプロセッサはすべて、計算ノードに搭載されたマイクロプロセッサと同じ仕様でなければなりません。

● PCI Express

PCI Express は、チップ間相互接続および拡張アダプター相互接続に使用されるシリアル・インターフェースです。オプションの I/O デバイスおよびストレージ・デバイスを追加することができます。

オプションの Flex System PCIe 拡張ノードは、計算ノードの能力を高めたり、カスタマイズしたりする上で費用効果の高い方法を提供するために、追加の PCIe アダプターおよび I/O 拡張アダプターをサポートします。追加情報については、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.pme.doc/product_page.html を参照してください。

● 電力スロットル

電源ドメイン需要過多として知られている電源ポリシーを実行することにより、Lenovo Flex System シャーシは複数のパワー・サプライ・モジュール間で電力負荷を分配し、Lenovo Flex System シャーシ内の各デバイスに対して十分な電力を確実に供給します。このポリシーは、Lenovo Flex System シャーシに最初に電源が供給された時、あるいは Lenovo Flex System シャーシに計算ノードが挿入されたときに実行されます。

この方式には、以下の設定を使用できます。

- 基本的な電源管理
- 電源モジュールの冗長性
- 計算ノードの減速による電源モジュールの冗長性が許可されています

Chassis Management Module を使用して、電源環境を構成およびモニターすることができます。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/dw1kt_cmm_cli_book.pdf を参照してください。

● システム管理サポート

計算ノードの IMM2 は、リモート・システム管理をサポートするための Web インターフェースを提供します。このインターフェースを使用して、システム・ステータスの表示と、システム管理機能および IMM 管理設定の制御を行うことができます。

IMM2 は、Lenovo Flex System Chassis Management Module 2 (CMM) および Lenovo XClarity Administrator アプリケーション (インストールされている場合) または Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) と通信します。

- CMM は、Lenovo Flex System シャーシ内のすべてのコンポーネントに対するシステム管理機能を提供するホット・スワップ・モジュールです。CMM は、リモート接続用のシリアル・ポートと、1 Gbps イーサネット・リモート管理接続を制御します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/dw1kt_cmm_cli_book.pdf を参照してください。
- Lenovo XClarity Administrator は、セキュアな環境で Lenovo Flex System シャーシを管理する際に使用できる仮想プライアンスです。Lenovo XClarity Administrator には一元管理インターフェースが用意されており、すべての管理対象エンドポイントに対して以下の機能を実行します。
 - ユーザーの管理
 - ハードウェアの監視および管理
 - 構成の管理

- オペレーティング・システムのデプロイメント
- ファームウェアの管理

詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.htmlを参照してください。

- Flex System Manager 管理ソフトウェアは、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。Flex System Manager 管理ソフトウェアは、業界標準を使用することによって、複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.8731.doc/product_page.htmlを参照してください。

• Lenovo XClarity Administrator

Lenovo XClarity Administrator は、管理者がより速く手間をかけずにインフラストラクチャーをデプロイできるリソース集中管理ソリューションです。このソリューションは、Flex System が統合されたインフラストラクチャー・プラットフォームに加え、System x、ThinkServer、NeXtScale サーバーにシームレスに統合されます。

Lenovo XClarity Administrator には次のような機能があります。

- 自動検出
- エージェントなしのハードウェア管理
- 監視
- ファームウェア更新とコンプライアンス
- パターン・ベースの構成管理
- オペレーティング・システムとハイパーバイザーのデプロイメント

管理者は、ダッシュボードで機能する整頓されたグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を使用して、正しい情報を参照し、よりすばやく重大なタスクを実行できます。一元化され自動化されたインフラストラクチャーの基本デプロイメントと大規模なシステムを横断したライフサイクル管理によって、管理者がそれに関わる時間を解放し、エンドユーザーに対するリソースの提供がより早くなります。

Lenovo XClarity は、Lenovo XClarity と呼ばれるソフトウェア・プラグインを使用して Microsoft や VMware から簡単に最先端の仮想化管理プラットフォームに拡張できます。このソリューションを使用すると、サーバーのローリング・リポートやファームウェア更新中、またはハードウェアの障害予知が発生している場合に、クラスター内のアタッチされたホストからワークロードを動的に再配置することで、ワークロードの稼働時間やサービス・レベルの保証が向上します。

Lenovo XClarity Administrator について詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.htmlを参照してください。

• Lenovo XClarity Administrator の取り付け

- 初めての Lenovo XClarity Administrator の取り付け

Lenovo XClarity Administrator の初期セットアップでは、ネットワークの準備、Lenovo XClarity Administrator 仮想アプライアンスのインストールと構成、システムの管理、およびオプションで問題の自動通知の設定を行う必要があります。

管理可能なシステムをネットワークに接続し、これらのシステムを管理するように Lenovo XClarity Administrator を設定する方法には、ご使用の環境に実装されたネットワーク・トポロジーに応じてさまざまなものがあります。VMware ESXi ベースおよび Hyper-V 環境に Lenovo XClarity Administrator をインストールする場合の説明については、<http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/setup.html>を参照してください。

- 無料で 90 日間試用

Lenovo XClarity Administrator には 90 日間の試用ライセンスがあり、限定された期間、すべての機能 (オペレーティング・システム・デプロイメント、ファームウェアの保守および構成管理を含む) を使用できます。

90日が経過した後も、引き続きハードウェアの管理や監視に Lenovo XClarity Administrator を無料で使用できます。ただし、Lenovo XClarity Administrator を使用して、構成パターンを使用したハードウェアの構成とオペレーティング・システムのデプロイを継続するには、ライセンスを購入する必要があります。Lenovo XClarity Administrator ライセンスは、Lenovo 販売店またはビジネス・パートナーから購入できます。

ライセンスの取り付けについては、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/update_lxcasw.htmlを参照してください。

– Lenovo XClarity Administrator の更新

Lenovo XClarity Administrator の更新をダウンロードして、その更新を Lenovo XClarity Administrator Web インターフェースからインストールできます。Lenovo XClarity Administrator の更新については、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/update_lxcasw.htmlを参照してください。更新パッケージ .zip ファイルで提供される Invgy_sw_lxca_***_anyos_noarch.txt 内の「インストールとセットアップ」の説明をよく読んでください。

Lenovo XClarity Administrator

Lenovo XClarity Administrator は、Lenovo® サーバー・システムおよびソリューションのインフラストラクチャー管理を単純化し、応答性と可用性を高めることを目的としてリソースを一元的に管理するソリューションです。安全な環境で Lenovo サーバー、Flex System サーバーおよび RackSwitch スイッチにおける検出、インベントリ、追跡、監視、プロビジョニングを自動化する仮想アプライアンスとして機能します。

Lenovo XClarity Administrator には一元管理インターフェースが用意されており、すべての管理対象エンドポイントに対して以下の機能を実行します。

• ハードウェア管理

Lenovo XClarity Administrator はエージェントなしでハードウェアを管理します。これは、Flex System シャーシおよびコンポーネント、System x、NeXtScale、ThinkServer サーバー、RackSwitch スイッチなどの管理可能エンドポイントを自動的に検出します。また、検出されたエンドポイントのインベントリが収集されるため、管理対象ハードウェア・インベントリとそのステータスをひと目で把握できます。

• ハードウェアの監視

Lenovo XClarity Administrator では、管理対象エンドポイントから生成されるすべてのイベントとアラートの一元管理ビューを利用できます。CMM または IMM によって問題が検出されると、アラートやイベントが Lenovo XClarity Administrator に渡され、イベント・ログまたはアラート・ログに表示されます。すべてのアラートやイベントのサマリーは、ダッシュボードおよびステータス・バーから確認できます。特定のエンドポイントに関するイベントとアラートは、そのエンドポイントのアラートとイベントの詳細ページから確認できます。

• オペレーティング・システム・デプロイメント

Lenovo XClarity Administrator を使用してオペレーティング・システム・イメージのリポジトリを管理し、オペレーティング・システム・イメージを管理対象サーバーにデプロイできます。

• 構成の管理

一貫した構成を使用して、すべてのサーバーを簡単にプロビジョニングおよび事前プロビジョニングできます。構成設定(ローカル・ストレージ、I/O アダプター、ブート設定、ファームウェア、ポート、IMM や UEFI の設定など)はサーバー・パターンとして保管され、1つ以上の管理対象サーバーに適用できます。サーバー・パターンが更新されると、その変更は適用対象サーバーに自動的にデプロイされます。

• ファームウェアのコンプライアンスと更新

ファームウェア管理は管理対象エンドポイントに対してファームウェア・コンプライアンス・ポリシーを割り当てることによって簡略化されます。コンプライアンス・ポリシーを作成して管理対象エンドポイントに割り当てると、Lenovo XClarity Administrator はこれらのエンドポイントに対するインベントリの変更を監視し、コンプライアンス違反のエンドポイントにフラグを付けます。

● ユーザーの管理

Lenovo XClarity Administrator には集中型認証サーバーが用意されており、ユーザー・アカウントを作成して管理します。また、ユーザー資格情報を管理して認証します。認証サーバーは、管理サーバーを初めて起動する際に自動的に作成されます。Lenovo XClarity Administrator 用に作成したユーザー・アカウントは、管理対象シャーシやサーバーにログインするときにも使用されます。

● セキュリティー

お使いの環境が NIST SP 800-131A 標準または FIPS 140-2 標準に従う必要がある場合、それらに完全に準拠した環境を作成するのに Lenovo XClarity Administrator が役立ちます。自己署名 SSL 証明書 (内部証明機関によって発行されたもの) および外部 SSL 証明書 (プライベートまたは商用 CA によって発行されたもの) がサポートされています。シャーシおよびサーバーのファイアウォールを、Lenovo XClarity Administrator からの受信要求のみを受け入れるように構成できます。

● サービスおよびサポート

一定の保守可能イベントが Lenovo XClarity Administrator および管理対象エンドポイントで発生した場合に、診断ファイルを収集し自動的に優先サービス・プロバイダーに送信するように Lenovo XClarity Administrator をセットアップできます。コール・ホームを使用して診断ファイルを Lenovo サポートに送信するか、SFTP を使用して別のサービス・プロバイダーに送信するかを選択できます。また、手動で診断ファイルを収集したり、問題レコードを開いたり、診断ファイルを Lenovo サポート・センターに送信したりもできます。

● スクリプトによるタスクの自動化

Lenovo XClarity Administrator は、オープンな REST アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) を使用して、外部のより高レベルな管理プラットフォームや自動化プラットフォームに組み込むことができます。REST API を使用して、Lenovo XClarity Administrator は既存の管理インフラストラクチャーに容易に統合できます。また、Microsoft PowerShell セッションで Lenovo XClarity コマンドレットを実行して、特定の管理機能を自動化することができます。コマンドレットは Lenovo XClarity Administrator REST API を使用し、次のような機能を自動化できます。

● 他の管理ソフトウェアとの統合

Lenovo XClarity Administrator は、スタンドアロンまたは Lenovo XClarity Pro と呼ばれるバンドル・サービスとして入手できます。Lenovo XClarity Pro はベースとなる管理製品と 2 台の Lenovo XClarity Integrator モジュールで構成され、Microsoft Systems Center または VMware vCenter に組み込むことができます。これらのツールは、検出、監視、構成、および管理機能を提供し、System x、NeXtScale、および Flex System のエンドポイントのルーチン・システム管理に付き物のコストや複雑さを軽減します。

Lenovo XClarity Administrator に関する詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.html で入手できます。

信頼性、可用性、保守容易性の機能

計算ノードの設計上で最も重要な 3 つの要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守容易性 (serviceability) (RAS) です。これらの RAS 機能は、計算ノードに保管されたデータの保全性、必要時の計算ノードの可用性、問題の診断および修正の容易性を保証するために役立ちます。

計算ノードには、以下の RAS 機能があります。

- 拡張構成および電源インターフェース (ACPI)
- 自動サーバー再起動 (ASR)
- DSA Preboot を使用した組み込み診断
- 温度、電圧、およびハード・ディスクの組み込みモニター機能
- 週 7 日、毎日 24 時間のカスタマー・サポート・センター¹
- お客さまによる Flash ROM 常駐コードのアップグレードおよび診断
- カスタマー・アップグレード対応の Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) コードと診断

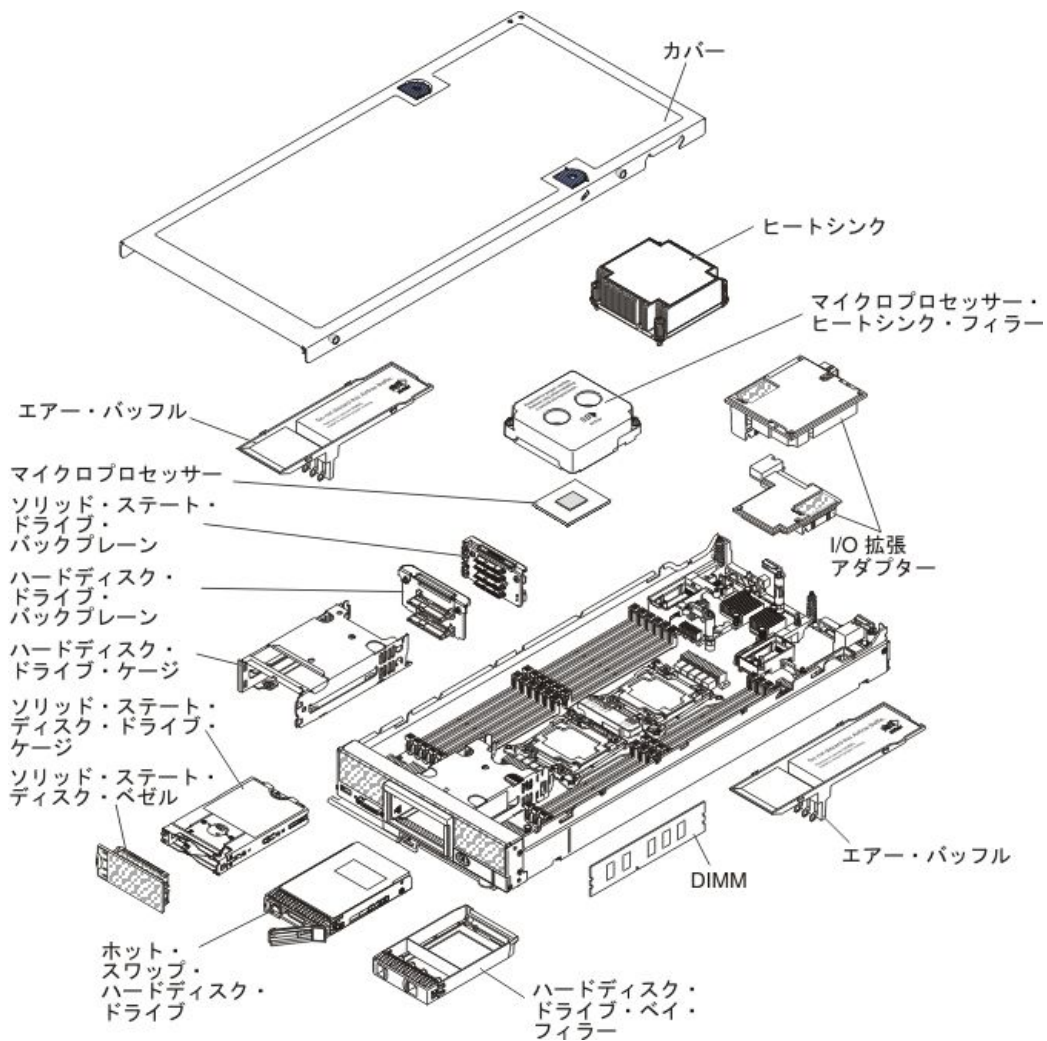
1. サービスの可用性は、国ごとに異なります。対応時間は、着信の数量と内容により異なります。

- ECC 保護された DDR4 DIMM
- L2 キャッシュの ECC 保護
- エラー・コードとメッセージ
- Chassis Management Module と通信してリモート・システム管理を可能にする統合管理モジュール II (IMM2)
- Light path 診断
- メモリー・パリティ・テスト
- 電源オン・セルフテスト (POST) 中に実行されるマイクロプロセッサのビルトイン・セルフテスト (BIST)
- マイクロプロセッサのシリアル番号アクセス
- プロセッサ存在検出
- ROM 常駐診断
- システム・エラー・ログ
- メモリー上の重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN (WOL) 機能 (WOL 機能を備えたオプションの I/O アダプターを取り付けた場合)
- Wake on PCI (PME) 機能

計算ノードの主要コンポーネント

計算ノードの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

次の図は、計算ノードの主要コンポーネントを示しています。



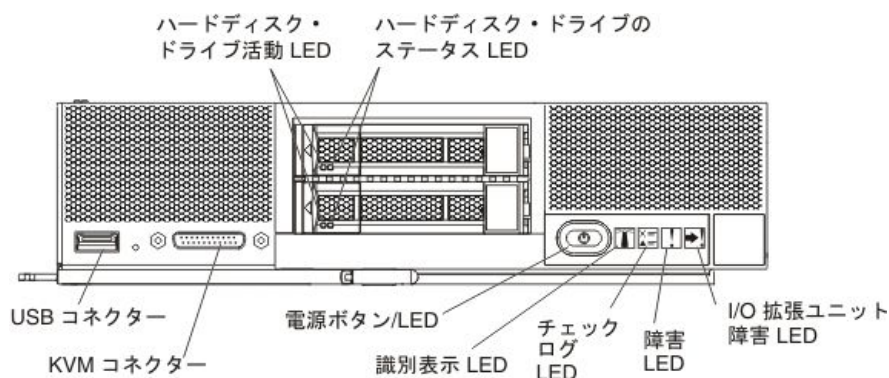
電源、コントロール、およびインジケータ

以下の情報を使用して、電源機構の確認、計算ノードの電源オン/オフ、およびコントロールとインジケータの機能の確認を行います。

計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED

コントロール、コネクタ、および LED の詳細については、以下の情報を使用します。

次の図は、コントロール・パネル上のボタン、コネクタ、および LED を示しています。



電源ボタン/LED (緑色)

計算ノードが Lenovo Flex System シャーシ経由で電源に接続されている場合、計算ノードの電源をオン/オフするには、このボタンを押します。

注：電源ボタンは、計算ノードのローカル電源制御が有効になっている場合にのみ機能します。ローカル電源制御は、CMM power コマンドおよび CMM Web インターフェースを使用して、有効/無効にします。

- CMM power コマンドについての詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_power.htmlを参照してください。
- CMM Web インターフェースで、シャーシ管理メニューから「計算ノード」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.htmlを参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。

計算ノードをシャーシから取り外した後、このボタンを押したままにすると、システム・ボード LED (light path 診断) がアクティブになります。詳細については、12 ページの「[計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED](#)」を参照してください。

このボタンは、電源 LED としても機能します。この緑色の LED は、計算ノードの電源ステータスを次のように示します。

- **高速で点滅:** LED は、以下のいずれかの理由によって高速で点滅します。
 - 電源が入っているシャーシに計算ノードが取り付けられました。計算ノードを取り付けると、計算ノード内の Integrated Management Module II (IMM2) が初期化および Chassis Management Module との同期を行っている間、LED が高速で点滅します。計算ノードが初期化に要する時間は、システム構成によって異なります。
 - Chassis Management Module を介して計算ノードに電源許可が割り当てられていません。
 - Lenovo Flex System シャーシに、計算ノードの電源をオンにするための十分な電力がありません。
 - 計算ノード内の IMM2 が、Chassis Management Module と通信していません。
 計算ノードが電源オンできる状態になっている場合、電源 LED の点滅速度が遅くなります。
- **低速で点滅:** 計算ノードは Lenovo Flex System シャーシを介して電源に接続されており、電源をオンにする準備ができています。
- **継続的に点灯:** 計算ノードは Lenovo Flex System シャーシを介して電源に接続されており、電源がオンにされています。

計算ノードの電源がオンの場合、このボタンを押すと計算ノードが正常シャットダウンされ、シャーシから安全に取り外すことができるようになります。この動作には、オペレーティング・システムのシャットダウン (可能な場合) および計算ノードからの電源の切り離しが含まれます。

オペレーティング・システムが稼働している場合、シャットダウンを開始するために約4秒間ボタンを押さなければならないことがあります。

注意：4秒間ボタンを押すことで、強制的にオペレーティング・システムを即時にシャットダウンします。データ損失の可能性があります。

識別 LED (青色)

システム管理者は、リモートでこの青色のLEDを点灯させ、計算ノードの位置を視覚的に確認することができます。このLEDが点灯しているときは、Lenovo Flex System シャーシ上の識別LEDも点灯します。識別LEDは、CMM led コマンド、CMM Web インターフェースおよびLenovo XClarity Administrator アプリケーション(インストールされている場合)、またはFlex System Manager 管理ソフトウェア(インストールされている場合)を使用して、点灯させたりオフにしたりすることができます。

- CMM led コマンドについての詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_led.htmlを参照してください。
- CMM Web インターフェースで、シャーシ管理メニューから「計算ノード」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.htmlを参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。
- Lenovo XClarity Administrator アプリケーションについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.htmlを参照してください。
- Flex System Manager 管理ソフトウェアについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.8731.doc/product_page.htmlを参照してください。

チェック・ログ LED (黄色)

この黄色のLEDが点灯しているときは、イベント・ログにIMM イベントのログが記録される原因となる状態が発生したことを示しています。

チェック・ログLEDは、CMM led コマンド、CMM Web インターフェースおよびLenovo XClarity Administrator アプリケーション(インストールされている場合)、またはFlex System Manager 管理ソフトウェア(インストールされている場合)を使用してオフにすることができます。

- CMM led コマンドについての詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_led.htmlを参照してください。
- CMM Web インターフェースで、シャーシ管理メニューから「計算ノード」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.htmlを参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。
- Lenovo XClarity Administrator アプリケーションについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.htmlを参照してください。
- Flex System Manager 管理ソフトウェアについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.8731.doc/product_page.htmlを参照してください。

注：

1. 別の方法として、CMM_INDICATES_ITE_ERROR_N コマンドを使用して、チェック・ログLEDを点灯させることができます。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/dw1kt_cmm_cli_book.pdfを参照してください。
2. CMM イベント・ログを参照して、この状態の原因を判別できます。詳しくは、[計算ノードを再起動しないイベント・ログの表示](#)を参照してください。

障害 LED (黄色)

この黄色のLEDが点灯しているときは、計算ノードでシステム・エラーが発生したことを示しています。さらに、シャーシのシステムLEDパネル上の障害LEDが点灯します。CMM イベント・ログおよびlight path 診断LEDを調べて、この状態の原因を判別できます。詳しくは、[計算ノード](#)

を再起動しないイベント・ログの表示を参照してください。計算ノード上の LED の詳細については、71 ページの「Light path 診断 LED」を参照してください。

障害 LED は、エラーが修正された場合にのみオフになります。

注：障害 LED がオフになった後、IMM イベント・ログも消去する必要があります。Setup Utility を使用して IMM イベント・ログを消去します。

I/O 拡張ユニット障害 LED (黄色)

この黄色の LED が点灯しているときは、計算ノードに取り付けられている I/O 拡張ユニットにエラーが発生したことを示しています。さらに、計算ノード障害 LED とシャーシのシステム LED パネル上の障害 LED が点灯します。CMM イベント・ログおよび light path 診断 LED を調べて、この状態の原因を判別できます。詳しくは、計算ノードを再起動しないイベント・ログの表示を参照してください。計算ノード上の LED の詳細については、71 ページの「Light path 診断 LED」を参照してください。

障害 LED は、エラーが修正された場合にのみオフになります。

注：障害 LED がオフになった後、IMM イベント・ログも消去する必要があります。Setup Utility を使用して IMM イベント・ログを消去します。

ハードディスク・ドライブ活動 LED (緑色)

緑色の LED が、すべてのホット・スワップ・ドライブ上にあります。この緑色の LED が点灯しているときは、関連するハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブが活動していることを示しています。

- この LED が点滅しているときは、ドライブがアクティブでデータの読み取りまたは書き込みをしていることを示します。
- SAS および SATA ドライブの場合、この LED は、ドライブの電源がオンになっていてもドライブがアクティブでないときにはオフになります。
- NVMe (PCIe SSD) のソリッド・ステート・ドライブの場合、この LED は、ドライブの電源がオンになっていてもドライブがアクティブでないときには点灯します。

注：ハードディスク活動 LED は、取り付けられているドライブ・タイプによっては、ハードディスク前面の別の位置に存在する場合があります。

ハードディスク・ドライブ状況 LED (黄色)

この黄色の LED の状態は、関連するハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブのエラー状態または RAID 状況を示しています。

- この黄色の LED が点灯し続けているときは、関連するドライブにエラーが発生したことを示しています。LED は、そのエラーが解決された後にのみオフになります。CMM イベント・ログを参照して、この状態の原因を判別できます。詳しくは、73 ページの「計算ノードを再起動しないイベント・ログの表示」を参照してください。
- この黄色の LED が低速で点滅しているときは、関連するドライブが再ビルド中であることを示しています。
- この黄色の LED が高速で点滅しているときは、関連するドライブを見付けているところであることを示しています。

注：ハードディスク状況 LED は、取り付けられているドライブ・タイプによっては、ハードディスク前面の別の位置に存在する場合があります。

KVM コネクター

このコネクターには、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを接続します (詳細については、16 ページの「コンソール・ブレイクアウト・ケーブル」を参照)。

注意：コンソール・ブレイクアウト・ケーブルは、計算ノードに付属のものだけを使用してください。他のタイプのコンソール・ブレイクアウト・ケーブルを接続しようとすると、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルおよび計算ノードが損傷する可能性があります。

注：ベスト・プラクティスとして、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルは、各 Lenovo Flex System シャーシ内で一度に1つの計算ノードのみに接続することが推奨されます。

USB コネクタ

この USB 3.0 コネクタには、USB デバイスを接続します。

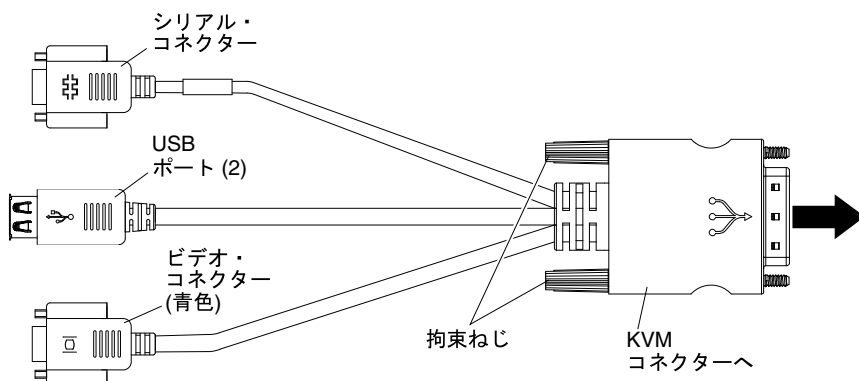
注：ベスト・プラクティスとして、USB デバイスは、各 Lenovo Flex System シャーシ内で一度に1つの計算ノードのみの前面に接続することが推奨されます。

コンソール・ブレイクアウト・ケーブル

コンソール・ブレイクアウト・ケーブルについては、この情報を参照してください。

コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを使用して、外部の I/O デバイスを計算ノードに接続します。コンソール・ブレイクアウト・ケーブルは、KVM コネクタを介して接続します (12 ページの「[計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED](#)」を参照)。コンソール・ブレイクアウト・ケーブルには、ディスプレイ装置 (ビデオ) 用のコネクタ、USB キーボードおよびマウス用の2つの USB 2.0 コネクタ、およびシリアル・インターフェース・コネクタがあります。

次の図は、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルのコネクタおよびコンポーネントを示しています。



計算ノードの電源オン

計算ノードの電源をオンにする詳細については、以下の情報を使用します。

計算ノードは、Lenovo Flex System シャーシを介して電源に接続した後、以下のいずれかの方法で始動することができます。

重要：計算ノード前面パネルの電源ボタンの上に Attention ラベルがある場合は、それを読みます。次に、計算ノードの電源をオンにする前に、ラベルを取り外して廃棄します。

- 計算ノード前面の電源ボタンを押し (12 ページの「[計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED](#)」を参照)、計算ノードを始動することができます。電源ボタンは、計算ノードのローカル電源制御が使用可能になっている場合のみ機能します。ローカル電源制御は、CMM power コマンドおよび CMM Web インターフェースを使用して、有効/無効にします。
 - CMM power コマンドについての詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_power.html を参照してください。
 - CMM Web インターフェースで、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.html の「シャーシ管理」メニューから「計算ノード」を選択します。CMM Web イン

ターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。

注：

1. 計算ノードの電源 LED が低速で点滅するまで待ち、電源ボタンを押します。計算ノードの IMM2 が初期化および Chassis Management Module との同期を行っている間は、電源 LED が高速で点滅し、計算ノードの電源ボタンは応答しません。計算ノードが初期化に要する時間は、システム構成によって異なります。ただし、計算ノードが電源オンできる状態になっている場合、電源 LED の点滅速度が遅くなります。
 2. 計算ノードの始動中は、計算ノード前面の電源 LED は点灯しています (点滅ではありません)。電源 LED の状態については、12 ページの「[計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED](#)」を参照してください。
- 電源障害が発生した場合、CMM power コマンドおよび CMM Web インターフェースから、電源の復旧時に自動的に始動するように Lenovo Flex System シャーシおよび計算ノードを構成することができます。
 - CMM power コマンドについての詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_power.htmlを参照してください。
 - CMM Web インターフェースで、シャーシ管理メニューから「計算ノード」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.htmlを参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。
 - CMM power コマンド、CMM Web インターフェースおよび Lenovo XClarity Administrator アプリケーション (インストールされている場合) または Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) から、計算ノードの電源をオンにすることができます。
 - CMM power コマンドについての詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_power.htmlを参照してください。
 - CMM Web インターフェースで、シャーシ管理メニューから「計算ノード」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.htmlを参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。
 - Lenovo XClarity Administrator アプリケーションについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.htmlを参照してください。
 - Flex System Manager 管理ソフトウェアについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.8731.doc/product_page.htmlを参照してください。
 - Wake on LAN (WOL) 機能を備えたオプションの I/O アダプターが取り付けられている場合は、WOL 機能を使用して計算ノードの電源をオンにすることができます。計算ノードは電源に接続されていて (電源 LED は低速で点滅します)、Chassis Management Module と通信する必要があります。オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしており、Wake on LAN 機能が Chassis Management Module のインターフェースから有効にされている必要があります。

計算ノードの電源オフ

計算ノードの電源をオフにする詳細については、以下の情報を使用します。

計算ノードは、電源をオフにしても Lenovo Flex System シャーシを介して電源に接続されています。計算ノードは、IMM2 からの要求 (計算ノードの電源をオンにするリモート要求など) に応答することができます。計算ノードからすべての電力を切り離すには、計算ノードを Lenovo Flex System シャーシから取り外す必要があります。

計算ノードの電源をオフにする前に、オペレーティング・システムをシャットダウンします。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

次のいずれかの方法で、計算ノードの電源をオフにすることができます。

- 計算ノードの電源ボタンを押します (12 ページの「[計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED](#)」を参照)。これにより、オペレーティング・システムの正常シャットダウンが開始されます (この機能がオペレーティング・システムでサポートされている場合)。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源ボタンを 4 秒間を超えて押し続けると計算ノードの電源をオフにできます。

注意：電源ボタンを 4 秒間押すと、オペレーティング・システムは即時に強制シャットダウンされます。データ損失の可能性があります。

- CMM power コマンド、CMM Web インターフェースおよび Lenovo XClarity Administrator アプリケーション (インストールされている場合) または Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) から、計算ノードの電源をオフにすることができます。
 - CMM power コマンドについての詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_power.html を参照してください。
 - CMM Web インターフェースで、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.html の「シャシ管理」メニューから「計算ノード」を選択します。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。
 - Lenovo XClarity Administrator アプリケーションについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.html を参照してください。
 - Flex System Manager 管理ソフトウェアについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.8731.doc/product_page.html を参照してください。

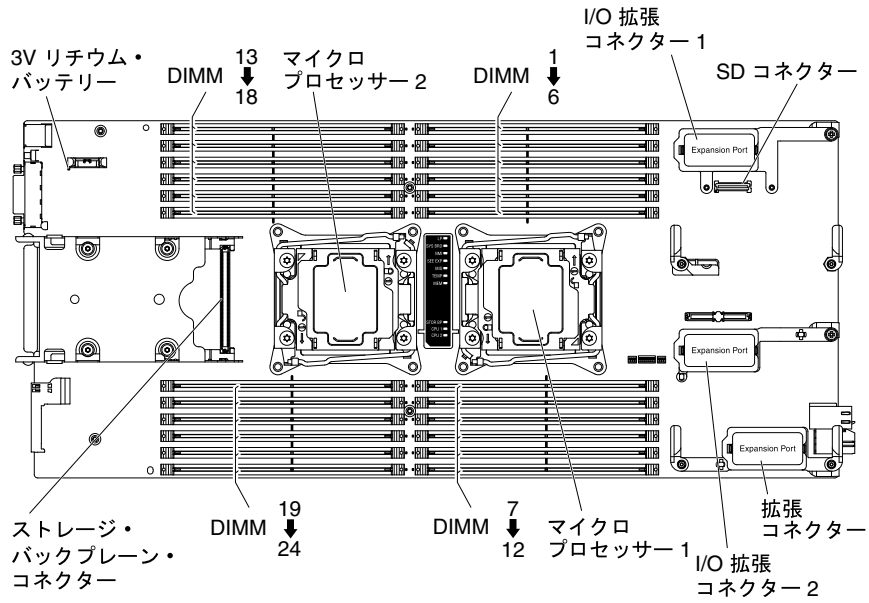
システム・ボードのレイアウト

システム・ボード上のコネクタ、LED、およびスイッチの位置を確認するには、この情報を使用します。

システム・ボード・コネクタ

計算ノードのシステム・ボード・コンポーネント、およびオプションのデバイス用のコネクタの位置を確認するには、この情報を使用します。

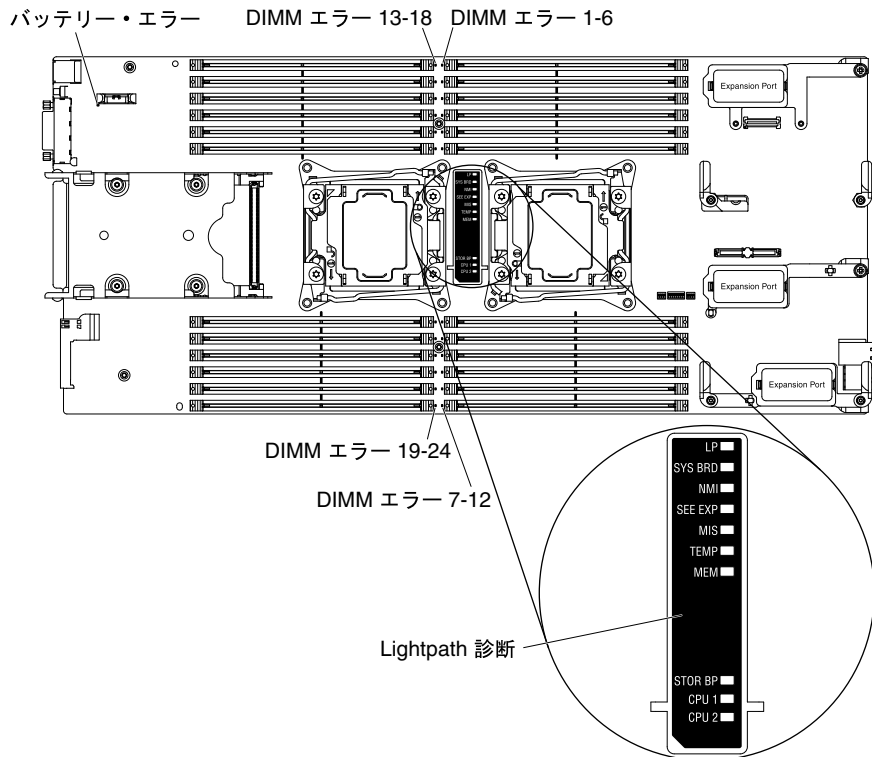
次の図は、計算ノード内のシステム・ボード・コンポーネント (ユーザーが取り付け可能なオプションのデバイス用のコネクタを含む) を示しています。



システム・ボード LED

システム・ボード LED の位置を確認するには、この情報を使用します。

次の図は、システム・ボードの LED の位置を示しています。

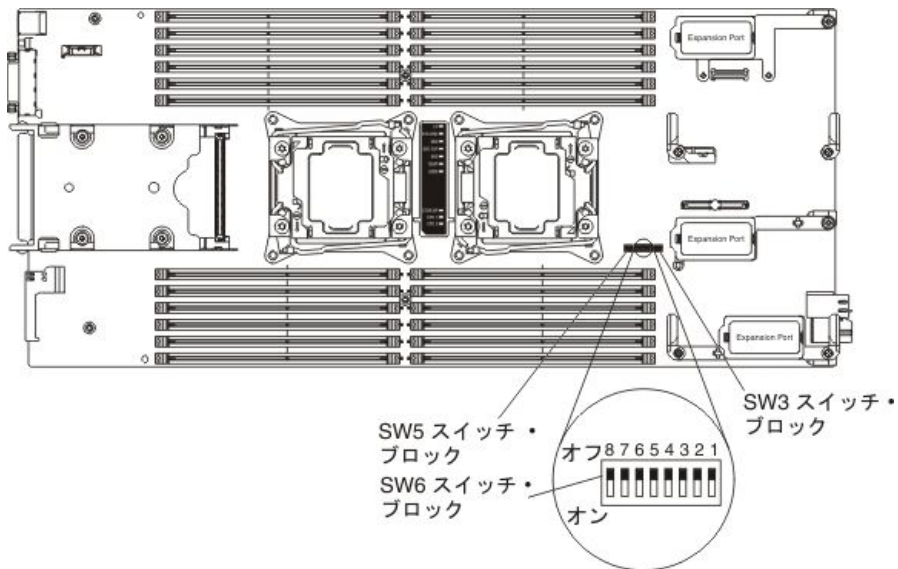


システム・ボード LED の解釈方法については、71 ページの「Light path 診断 LED」を参照してください。

システム・ボード・スイッチ

システム・ボード・スイッチの位置を確認するには、この情報を使用します。

次の図は、システム・ボード上のスイッチ・ブロックの位置を示しています。



注：このセクションで説明されていないシステム・ボード・スイッチやジャンパーはいずれも、予約済みです。

スイッチおよびジャンパーの機能は次のとおりです。

- システム・ボードのすべてのジャンパーは予約済みであり、削除する必要があります。
- スイッチブロック SW3 のすべてのスイッチは予約済みであり、Off 位置にする必要があります。
- スイッチブロック SW5 のすべてのスイッチは予約済みです。スイッチ SW5-1、SW5-3、および SW5-4 は Off 位置にする必要があります。スイッチ SW5-2 は On 位置にします。
- 次の表では、スイッチ・ブロック SW6 上のスイッチの機能について説明します。

表 2. システム・ボードのスイッチ・ブロック SW6

スイッチ番号	説明	定義
SW6-1	パスワード・オーバーライド	デフォルトの位置は Off です。このスイッチを On 位置に変更すると、始動パスワードがオーバーライドされます。
SW6-2	Trusted Platform Module (TPM) 物理プレゼンス	デフォルトの位置は Off です。このスイッチを On 位置に変更すると、TPM に対して物理プレゼンスを示します。
SW6-3	リアルタイム・クロック (RTC) リセット	デフォルトの位置は Off です。このスイッチを On 位置に変更すると、RTC がリセットされます。瞬間的な切り替えで十分です。CMOS バッテリーの過度の放電を避けるために、このスイッチを On 位置のままにしないでください。
SW6-4	バックアップ IMM2 をブート	このスイッチがデフォルトの Off 位置にある場合、計算ノードがプライマリー IMM2 ファームウェアを使用してブートします。このスイッチが On 位置にある場合は、計算ノードはバックアップ IMM2 ファームウェアを使用してブートします。

表 2. システム・ボードのスイッチ・ブロック SW6 (続き)

スイッチ番号	説明	定義
SW6-5	バックアップ UEFI をブート	デフォルトの位置は Off です。このスイッチを On 位置に変更すると、計算ノードは強制的にバックアップ UEFI イメージからブートします。
SW6-6	iBMC 強制更新	デフォルトの位置は Off です。通常ファームウェア更新手順によって BMC が作動不能になった場合、このスイッチを On 位置に変更すると、稼働ファームウェア・イメージをバイパスして、BMC ファームウェア更新を実行します。 注：このスイッチは、通常ファームウェア更新手順が失敗して、稼働ファームウェア・イメージが破損した場合にのみ使用してください。このスイッチを使用すると、通常のベースボード管理コントローラーの操作は無効になります。
SW6-7	予約済み	デフォルトの位置は Off です。
SW6-8	IMM Trusted Platform Module (TPM) 物理プレゼンス	デフォルトの位置は Off です。このスイッチを On 位置に変更すると、IMM TPM に対して物理プレゼンスを示します。

第 2 章 構成

ファームウェアを更新し、構成ユーティリティを使用するには、この情報を使用します。

ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新

Lenovo は、計算ノードに使用可能な UEFI コード、IMM2 ファームウェア、診断ファームウェア更新、およびデバイス・ドライバーの更新を定期的に提供しています。プロビジョニングは、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、オペレーティング・システムのインストールを行うための一連のアクションです。プロビジョニング・プロセスでのファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新に役立つ使用可能なツールがいくつかあります。

注意：誤ったファームウェアやデバイス・ドライバーをインストールすると、計算ノードが誤動作する可能性があります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

注：ファームウェア更新に付属の readme ファイルに記載されている手順に従ってください。

- **Lenovo XClarity Administrator**

Lenovo XClarity Administrator を使用できる場合は、シャーシ、計算ノード、I/O モジュールなどの管理対象エンドポイントのファームウェア更新について、ダウンロード、インストール、管理を実行できます。コンプライアンス・ポリシーを管理対象エンドポイントに割り当て、それらのエンドポイントのファームウェアの適状態が保たれるようにすることができます。

注：ファームウェア更新はハードウェアにのみ適用できます。Lenovo XClarity Administrator を使用してデバイス・ドライバーを更新することはできません。

Lenovo XClarity Administrator アプリケーションについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.htmlを参照してください。

- **Flex System Manager 更新マネージャー**

Flex System Manager 更新マネージャー (インストールされている場合) は、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新を取得、インストール、および管理します。また、計算ノードをモニターして、確実に最新の状態を保持します。Flex System Manager 更新マネージャーについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.8731.doc/product_page.htmlを参照してください。

- **UpdateXpress System Packs**

UpdateXpress System Packs (UXSP) には、ご使用の計算ノード用のオンラインで更新可能なファームウェアおよびデバイス・ドライバーの統合テスト済みバンドルが含まれています。Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator は、UpdateXpress System Pack を使用してファームウェアおよびデバイス・ドライバーを更新します。

通常は、以前にプロビジョニングが行われた計算ノードのファームウェアおよびデバイス・ドライバーを更新する場合は、UpdateXpress System Pack を使用します。UpdateXpress System Packs について詳しくは、<https://support.lenovo.com/solutions/HT505070>を参照してください。

- **Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator**

Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適したブート可能メディアを作成することができます。Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、サポートされるメディア (CD、DVD、ISO イメージ、USB フラッシュ・ドライブ、PXE ファイルのセットなど) 上に単一のブート可能イメージを作成することができます。このイ

イメージは、複数の Lenovo Flex System ツールおよび UpdateXpress System Pack の更新 (Windows および Linux ファームウェア更新を含む) をバンドルしています。

通常は、計算ノードの初期セットアップに Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator を使用します。Lenovo Bootable Media Creator について詳しくは、<http://support.lenovo.com/downloads/DS117986> を参照してください。

Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して計算ノードに更新されたファームウェアおよびデバイス・ドライバーをプロビジョニングするには、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードを管理している Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) に管理ネットワーク上で接続されているコンピューターに、Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator をダウンロードします。
2. ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新のブート可能メディアを作成します。
3. 計算ノードが取り付けられている Lenovo Flex System シャーシを管理する Flex System Manager 管理ソフトウェアに接続します。
4. Flex System Manager シャーシ・マネージャー から、計算ノードを選択します。「Actions」列で「Remote Control」を選択します。

注：Flex System Manager 管理ソフトウェアへのログインで使用するユーザー ID には、計算ノードを管理するための十分なユーザー権限が必要です。

5. 「Remote Control」セッションから、ブート可能メディアをマウントします (リモート・メディアを使用)。
6. 計算ノードを始動してメディアをブートし、更新をインストールします。

重要：問題を回避し、システム・パフォーマンスを維持するために、Lenovo Flex System シャーシ内のすべての計算ノードで、UEFI コード、IMM2 ファームウェア、および診断ファームウェアのレベルが常に整合しているようにしてください。

ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新の詳細については、http://download.lenovo.com/servers/mig/systems/support/system_x/introducing_uefi-compliant_firmware_on_ibm_system_x.1.2.pdf、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.commontasks.doc/commontasks_intro.html、および <https://support.lenovo.com/solutions/HT116912> の「ファームウェア更新ガイド」(このコンテンツにアクセスするには、登録が必要な場合があります) を参照してください。

UEFI イメージのリカバリー

UEFI イメージをリカバリーするには、この情報を使用します。

計算ノードには、計算ノード内の UEFI コードが (更新中の電源障害などが原因で) 損傷した場合に、自動的にバックアップ UEFI ページに切り替える拡張リカバリー機能があります。計算ノードのフラッシュ・メモリーは、プライマリー・ページとバックアップ・ページから構成されます。プライマリー・ページの UEFI コードが損傷した場合、Integrated Management Module II はエラーを検出し、自動的にバックアップ・ページに切り替えて計算ノードを始動します。この状態が発生すると、POST メッセージ「Booted from backup UEFI image」が表示され、チェック・ログ LED が点灯し、自動 BIOS リカバリー (ABR) 状態が発生します。バックアップ・ページのバージョンは、プライマリー・ページのバージョンと同じでないことがあります。この後、元のプライマリー・ページ UEFI をリカバリーあるいは復元することができます。

注：Lenovo Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

UEFI コードをリカバリーして、計算ノードの稼働をプライマリー・ページに戻すには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. UEFI コードを更新します (23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」を参照)。

ステップ2. 計算ノードを再起動します。

ステップ3. 1次バンクの復元のプロンプトが出されたら、ファームウェア・スプラッシュ画面でF3キーを押します。計算ノードがプライマリー・バンクからブートします。

注：ABR状態のために計算ノードがバックアップ・ページからブートしている場合のみ、F3を押すように求めるプロンプトが表示されます。

プライマリー・ページのフラッシュを試行した結果、計算ノードがブートしなくなり、チェック・ログLEDが点灯しなくなった場合、ユーザーは、手動でUEFIコードを復元することができます。手動でUEFIコードを復元するには、以下のステップを実行してください。

注：チェック・ログLEDが点灯している場合、計算ノードはバックアップ・イメージからブートしており、「バックアップUEFIをブート」スイッチをOn位置に変更しても変化はありません。

1. 作業を開始する前に、vページの「安全について」、および763ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. 計算ノードの電源をオフにします(17ページの「計算ノードの電源オフ」を参照)。
3. 計算ノードをLenovo Flex Systemシャーシから取り外します(765ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
4. カバーを取り外します(772ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
5. スイッチ・ブロックにある「バックアップUEFIをブート」スイッチを見つけ、スイッチをOn位置に変更します(19ページの「システム・ボード・スイッチ」を参照)。
6. カバーを再取り付けして、計算ノードをLenovo Flex Systemシャーシに再取り付けします(773ページの「計算ノード・カバーの取り付け」および765ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。
7. UEFIコードを更新します(23ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新」を参照)。
8. 計算ノードの電源をオフにして、Lenovo Flex Systemシャーシから取り外します(17ページの「計算ノードの電源オフ」および765ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
9. 計算ノードのカバーを取り外します(772ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
10. スイッチ・ブロックにある「バックアップUEFIをブート」スイッチを見つけ、スイッチをOff位置に変更します(19ページの「システム・ボード・スイッチ」を参照)。
11. カバーを再取り付けして、計算ノードをLenovo Flex Systemシャーシに再取り付けします(773ページの「計算ノード・カバーの取り付け」および765ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。
12. 計算ノードを再起動します(16ページの「計算ノードの電源オン」を参照)。

重要：何度か試行してもUEFIコードを手動で復元できない場合は、システム・ボード・アSEMBリーを交換してください(836ページの「システム・ボード・アSEMBリーの取り外しと交換」を参照)。

計算ノードの構成

計算ノードを構成するには、この情報を使用します。

標準的な初期構成を実行するには、以下の手順を実行します。

注：計算ノードを構成するには、CMM Web インターフェースを使用してIMMのIPアドレスを構成します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.htmlを参照してください。

ステップ 1. Setup Utility (26 ページの「[Setup Utility の使用](#)」を参照) または Advanced Setup Utility (ASU) (<https://support.lenovo.com/solutions/lvno-asu> を参照) を使用して、計算ノードの Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) ファームウェアを構成します。

ファームウェア構成オプションについては、http://download.lenovo.com/servers/mig/systems/support/system_x/introducing_uefi-compliant_firmware_on_ibm_system_x.1.2.pdf を参照してください。

ステップ 2. Setup Utility (33 ページの「[Setup Utility を使用した、レガシー・デバイスからブートするためのブート・プロトコルの設定](#)」を参照) を使用して、ブート・プロトコルを設定します。

Boot Selection メニュー・プログラム (34 ページの「[Boot Selection Menu プログラムの使用](#)」を参照) を使用して、一時的にブート順序を再定義することができます。

ステップ 3. RAID アレイを構成します。

計算ノードには最大 2 個のハードディスクを取り付けることができ、ServerProven リスト (<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>) にリストされているオペレーティング・システムでは RAID レベル 0 (ストライピング) または RAID レベル 1 (ミラーリング) アレイを実装できます。計算ノードの場合、LSI Configuration ユーティリティ・プログラム (38 ページの「[LSI Logic Configuration ユーティリティの使用](#)」を参照) を使用して RAID を構成する必要があります。

オプションの RAID 拡張アダプターが取り付けられている場合、その拡張アダプターを使用して、計算ノードに取り付けられているすべてのハードディスクを制御することができます。RAID アレイの構成方法については、拡張アダプターに付属の資料を参照してください。

重要: RAID アレイは、計算ノードにオペレーティング・システムをインストールする前に作成する必要があります。

ステップ 4. Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) を使用して、統合管理モジュール II (IMM2) を構成します。

ステップ 5. 計算ノードのファームウェアを更新します (23 ページの「[ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新](#)」を参照)。

注：

1. Flex System Manager 更新マネージャーを使用してファームウェアを更新する場合、オプションで、ファームウェア更新のインストール中にオペレーティング・システムのインストールを開始することができます。最初のファームウェア更新に通常より長時間かかるのは、正常な動作です。
2. Chassis Management Module (CMM) と計算ノードが DHCP を使用するように設定されており、CMM がネットワークへの接続を失っている場合、CMM は、ネットワーク接続性が復旧したときに新規 IP アドレスの取得を試行します。計算ノードは、IP アドレスの再取得を試行せず、元の IP アドレスを引き続き使用します。そのため、CMM とネットワークの間の接続が復旧した後に計算ノードでネットワークの問題が発生した場合は、シャーシ内の各計算ノード (管理ノードを含む) のシステム管理プロセッサをリセットしなければならない場合があります。詳細については、741 ページの「[接続の問題](#)」を参照してください。

計算ノードを構成した後、オペレーティング・システムをインストールしてデバイス・ドライバーを更新することができます (詳細については、41 ページの第 3 章「[オペレーティング・システムのインストール](#)」を参照)。

Setup Utility の使用

これらの手順を使用して、Setup Utility を開始することができます。

CMM Web インターフェースを介して、Setup Utility にリモートでアクセスすることができます。CMM Web インターフェースから、「[計算ノード・コンソールの起動](#)」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.htmlを参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。

ローカルで Setup Utility を開始するには、以下のステップを実行してください。

- ステップ 1. 計算ノードの電源がオンの場合は、電源をオフにします (17 ページの「[計算ノードの電源オフ](#)」を参照)。
- ステップ 2. 必要に応じて、キーボード、モニター、およびマウスをコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに接続し、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを計算ノードに接続します。
- ステップ 3. 計算ノードの電源をオンにします (16 ページの「[計算ノードの電源オン](#)」を参照)。
- ステップ 4. プロンプト「Press <F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。
- ステップ 5. 画面の指示に従います。

Setup Utility のメインメニューには、以下のメニュー項目があります。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) のバージョンによっては、メニュー項目がここでの説明と少し異なる場合があります。

• システム情報

この選択項目を選択し、計算ノードに関する情報を表示します。Setup Utility の他の選択項目を通じて変更を行うと、「System Information」にそれらの変更の一部が反映されます。「System Information」の設定値を直接変更することはできません。この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

– System Summary

この選択項目を選択して、マイクロプロセッサの ID、速度、キャッシュ・サイズ、計算ノードのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システムの汎用固有 ID (UUID)、および取り付けられているメモリの容量を含む構成情報を表示します。

– Product Data

この選択項目を選択し、システム・ボードの ID、ファームウェア、統合管理モジュール II、および診断コードの改訂レベルと発行日、およびバージョンと日付を表示します。

この選択項目は、UEFI Setup Utility の完全メニューでのみ表示されます。

• System Settings

この選択項目を選択し、計算ノード・コンポーネントの設定を表示あるいは変更します。

– Adapters and UEFI Drivers

この選択項目を選択し、計算ノード内のアダプターおよび UEFI デバイス・ドライバーに関する情報を表示します。

注：UEFI 互換デバイスを構成する前に、ご使用の計算ノードのファームウェアを更新してください。計算ノードのファームウェアの更新方法については、23 ページの「[ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新](#)」を参照してください。

UEFI と互換性のある拡張アダプターは、以下の手順で構成してください。

1. 「Please refresh this page first」を選択して、Enter キーを押します。
2. 構成するデバイス・ドライバーを選択して、Enter キーを押します。
3. 設定の変更が完了したら、Esc を押してプログラムを終了します。変更した設定を保存するには、「Save」を選択します。

– プロセッサ

この選択項目を選択し、マイクロプロセッサ設定を表示あるいは変更します。

- メモリー

メモリーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

POST またはメモリー構成時にメモリー・エラーが検出された場合、計算ノードは、障害のあるメモリー・コネクターのペアを自動的に無効にし、メモリーが減少した状態で稼働を継続します。問題が修正された後、手動でメモリー・コネクターを有効にする必要があります。「**System Memory Details**」を選択し、矢印キーを使用して有効にしたいメモリー・コネクターのペアを強調表示します。次に、コネクターを「**Enable**」に設定します。

- Devices and I/O Ports

デバイスや入出力 (I/O) ポートの割り当てを表示または変更するには、この選択項目を選択します。リモート・コンソール・リダイレクトの構成、および内蔵イーサネット・コントローラーの有効化または無効化を行うことができます。デバイスを無効に設定した場合、そのデバイスを構成することはできません。また、オペレーティング・システムはそのデバイスを検出することができません (デバイスを無効にすることは、デバイスを切り離すことと同等です)。

アダプター・オプション ROM のサポートを有効にするか無効にするかを選択することもできます。サポートを無効にすると、計算ノードの始動に要する時間を改善できる場合があります。

- 電源

この選択項目を選択し、電源スキーム設定を表示あるいは変更します。

- Operating Modes

この選択項目を選択し、動作モード (音響、効率、またはパフォーマンス) やメモリー速度のような運用設定を決定します。

- Legacy Support

レガシー・サポートを表示または設定する場合、この項目を選択します。

注：

- Microsoft Windows Server 2012 および Microsoft Windows Server 2012 R2 では、レガシー・モードはサポートされていません
- レガシー・モードでは、システムがインストール済みのオプションのために確保する ROM スペースは限られています。レガシー PXE ブートでは、最大 4 つのネットワーク・インターフェース・カード (NIC) ポートがサポートされます。4 つを超える NIC ポートが使用されている場合、5 つ目以降の NIC ポートではレガシー PXE ブートが実行されません。目的の NIC ポートでレガシー PXE ブートを有効にするには 2 つの方法があります。

1. 「ROM 実行順序」を変更して目的の NIC コネクターに優先順位を設定します。
 - 「ROM 実行順序」のパス: 「メイン・メニュー」> 「システム設定」> 「デバイスおよび I/O ポート」> 「オプション ROM 実行順序の設定」> 「ROM 実行順序」
2. 「Enable/Disable Adapter Option ROM Support」メニューで NIC コネクターの使用しないレガシー・オプション ROM を無効にして、目的の NIC ポートが機能する 4 ポートになるように優先順位を設定します。
 - 「Enable/Disable Adapter Option ROM Support」へのパス: 「Main menu」> 「System Settings」> 「Devices and I/O Ports」> 「Enable/Disable Adapter Option ROM support」

- Force Legacy Video on Boot

この選択項目を選択し、オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合に、強制 INT ビデオ・サポートを有効または無効にします。デフォルトは「**Enable**」です。

- Rehook INT

デバイスがブート処理を制御することを有効または無効に設定するには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

- Legacy Thunk Support

この選択項目を選択し、UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスと UEFI とのデータのやりとりを有効または無効にできます。デフォルトは「Enable」です。

– **Infinite Boot Retry**

この選択項目を選択して、UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を有効または無効にできます。

– **Non-Planar PXE**

この選択項目を選択して、レガシー・モードでの非システム・ボード PXE を有効または無効にします。

• **System Security**

このオプションを選択して、以下のシステム・セキュリティー構成を表示または変更します。

– **物理プレゼンス・ポリシー構成**

この選択項目を選択して、以下の物理プレゼンス・ポリシー・オプションから選択します。

- **有効/無効:** このオプションを選択して、物理プレゼンス・ポリシーを有効または無効にします。デフォルトは「有効」です。
- **検出済み:** このオプションを選択して、物理プレゼンスの期間(分単位)を設定するか、電源をオフにします。デフォルトは「検出解除済み」です。
- **検出の分を入力:** このオプションを選択して、リモート物理プレゼンスが検出される分単位の長さを 0 ~ 100 の数字で入力します。このオプションを使用するには、物理プレゼンス・ポリシーが有効になっている必要があります。
- **検出ステータスの更新:** このオプションを選択して、検出の現在のステータスを表示します。

– **構成のロールバック**

この選択項目を選択して、UEFI の古いバージョンへのロールバックを許可(有効)/禁止(無効)にします。デフォルトは「有効」です。

– **セキュア・ブート構成**

この選択項目を選択して、以下のセキュア・ブート・オプションから選択します。

- **有効/無効:** このオプションを選択して、セキュア・ブートを有効または無効にします。デフォルトは「無効」です。
- **セキュア・ブート・モード:** このオプションを選択して、セキュア・ブートのモードを選択します。デフォルトは「標準モード」です。
 - **標準モード:** セキュア・ブートの標準モードです。
 - **カスタム・セキュア・ブート・モード:** このモードでは以下のオプションを使用できます。
 - **セキュア・ブート・オプション ROM エラーを表示:** セキュア・ブートに登録されていないサーバー内のデバイスの一覧を表示します。
 - **PK (プラットフォーム・キー) オプション:** PK を登録/削除します
 - **KEK (キー登録キー) オプション:** KEK を登録/削除します
 - **DB (署名データベース) オプション:** DB を登録/削除します
 - **DBX (取り消し済み署名データベース) オプション:** DBX を登録/削除します

– **Trusted Platform Module (TPM 1.2/2.0)**

ノードは TPM 1.2 および 2.0 の両方をサポートします。この選択項目を選択して、TPM 1.2/2.0 の設定を表示または変更したり、TPM ファームウェアを 1.2 から 2.0 に、2.0 から 1.2 に更新します。

- **TPM 2.0 準拠に更新 (TPM 1.2)/TPM 1.2 準拠に更新 (TPM 2.0):** TPM を 1.2 から 2.0 に、または 2.0 から 1.2 に更新します。この手順を完了するには、システムのリブートが必要です。

警告：

1. セキュリティー上の理由から、TPM チップのファームウェアを 1.2 から 2.0 にアップグレードする場合はレガシー OS をブートしないでください。
2. TPM のファームウェア更新の最大数は 128 です。制限に達すると TPM バージョンをそれ以上更新できません。

- TPM ファームウェア・バージョン: 現在の TPM ファームウェア・バージョンを表示します。
- TPM 物理プレゼンス: TPM 物理プレゼンスを表示します。
- TPM デバイスの状態 (TPM1.2 のみ): TPM をアクティブ化/非アクティブ化します。
- TPM ステータスの更新: TPM の現在のステータスを取得します。
- TPM を強制的にクリア (TPM 1.2)/TPM2 操作 (TPM 2.0): TPM データを強制的にクリアします。

• Integrated Management Module

この選択項目を選択し、統合管理モジュール II (IMM2) の設定を表示あるいは変更します。

- Commands on USB Interface

この選択項目を選択し、Ethernet over USB インターフェースを有効にするか無効にするかを指定します。

注：このオプションは主に、USB 通信装置クラス (CDC) イーサネット・インターフェースの問題がある、以前のオペレーティング・システム用です。このオプションを無効にすると、次のような問題が発生します。

- オンライン更新パッケージが動作しません。
- Bootable Media Creator (BoMC) は LAN over USB インターフェースを使用するため、BoMC を使用する更新が動作しません。
- Advanced Settings Utility (ASU) を使用して IMM2 または UEFI の構成を変更するには、IPMI デバイス・ドライバーをインストールする必要があります。
- IMM2 OS ローダー・ウォッチドッグを設定することはできません。

- ネットワーク構成

この選択項目を選択して以下のことを行います。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM2 MAC アドレス、現行 IMM2 IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM2 IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。静的 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM2 のリセット。

- Reset IMM to Defaults

この選択項目を選択し、IMM2 を出荷時のデフォルト設定に戻します。設定を復元した後、IMM2 コントローラーは再起動します。

- Reset IMM

この選択項目を選択し、IMM2 コントローラーを再起動します。

• Recovery

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。

- POST Attempts

この選択項目を選択し、リカバリー手順を起動する前に試行する POST の回数を定義します。詳細については、[32 ページの「Nx ブート障害」](#)を参照してください。

- System Recovery

この選択項目を選択し、リカバリー設定を構成します。

- POST Watchdog Timer

POST ウォッチドッグ・タイマーを表示する、または有効に設定する場合、この項目を選択します。

- **POST Watchdog Timer Value**

POST ローター・ウォッチドッグ・タイマーの値を表示または設定するには、この選択項目を選択します。

- **Reboot System on NMI**

この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再起動させる機能を有効または無効にします。デフォルトは「**Disable**」です。

- **ストレージ**

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

- **Network**

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

- **Driver Health**

この選択項目を選択し、デバイス・ドライバーによって報告されているコントローラーのヘルス・ステータスを表示します。デバイス・ドライバーで修復処置を実行することもできます。

- **Date and Time**

この選択項目を選択し、計算ノードの日時を設定します。日付は *月/日/年* の形式で設定します。時刻は 24 時間形式 (*時間:分:秒*) で設定します。

この選択項目は、UEFI Setup Utility の完全メニューでのみ表示されます。

- **Start Options**

この選択項目を選択し、始動シーケンスを表示あるいは変更します。始動シーケンスは、計算ノードがブート・レコードを検出するためにデバイスをチェックする順序を指定します。計算ノードは、最初に検出されたブート・レコードから始動します。計算ノードに Wake on LAN (WOL) 機能を備えたオプションの I/O アダプターが取り付けられており、WOL ソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD または DVD ドライブ内のディスクをチェックしてから、ハード・ディスクをチェックし、次にネットワーク・アダプターをチェックする始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、UEFI Setup Utility の完全メニューでのみ表示されます。

- **Boot Manager**

デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行うには、この選択項目を選択します。

ブート設定を表示あるいは変更するには、「**Boot Modes**」を選択します。ブート・モードの設定では、「UEFI オペレーティング・システムのみサポート」、「レガシー・オペレーティング・システムのみサポート」、あるいは「UEFI およびレガシー・オペレーティング・システムをサポート」を選択することができます。

注：「レガシーのみ」ブート・モード (ブート時間が高速になります) を選択した場合、Features on Demand (FoD) キーをアクティブにすることはできません。

- **System Event Logs**

この選択項目を選択し、システム・イベント・マネージャーにアクセスします。ここでは、POST イベント・ログとシステム・イベント・ログを表示することができます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新の 3 つのエラー・コードとメッセージが含まれます。

システム・イベント・ログには、POST イベントおよびシステム管理割り込み (SMI) イベントと、統合管理モジュール II に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが含まれます。

重要: 計算ノード前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、他にはエラー表示がない場合は、システム・イベント・ログを消去してください。また、修復が完了したりエラーを修正した後は、システム・イベント・ログを消去して、計算ノード前面のシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

この選択項目を選択して、UEFI 診断コードを表示する POST イベント・ビューアーを表示します。

– **System Event Log**

この項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

システム・イベント・ログを消去する場合に、この項目を選択します。

• **User Security**

パスワードを設定、変更、または削除する場合、この項目を選択します。

この選択では、始動パスワードと管理者パスワードの設定、変更、および削除を行えます。始動パスワードを設定すると、システムの始動を完了する際、および Configuration/Setup Utility のメニューにアクセスする際に始動パスワードを入力する必要があります。

パスワードには、6 文字から最大 20 文字の任意の組み合わせ (A-Z、a-z、および 0-9) を使用することができます。パスワードは記録して、安全な場所に保管してください。

始動パスワードを忘れた場合に計算ノードへのアクセスを回復するには、始動パスワード・オーバーライド・スイッチを使用します (19 ページの「システム・ボード・スイッチ」を参照)。

注意: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

また、CMOS バッテリーを取り外してから再取り付けすることでも、計算ノードへのアクセスを回復することができます (784 ページの「CMOS バッテリーの取り外し」および 785 ページの「CMOS バッテリーの取り付け」を参照)。

重要: CMOS バッテリーを取り外すと、CMOS メモリー内の設定が消去されます。

• **Save Settings**

設定値に加えた変更を保存する場合、この項目を選択します。

• **Restore Settings**

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。

• **Load Default Settings**

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、工場出荷時デフォルト設定を復元します。

• **Exit Setup**

この項目を選択し、Setup Utility を終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

Nx ブート障害

追加デバイスまたはアダプター・ファームウェア更新などの構成の変更や、ファームウェアまたはアプリケーション・コードの問題が原因で、計算ノードが電源オン・セルフテスト (POST) に失敗する可能性があります。

計算ノードは POST に失敗すると、以下のいずれかの方法で応答します。

- 計算ノードが自動的に再起動し、再度 POST を試みる。
- 計算ノードはハングし、計算ノードが再度 POST を試みるようにするためには計算ノードを手動で再起動する必要があります。

指定された回数だけ連続して試行 (自動または手動による) した後、Nx ブート障害機能により、計算ノードがデフォルトの UEFI 構成に戻り、Setup Utility を開始したら、構成に対して必要な修正を行って、計算ノードを再起動することができます。計算ノードがデフォルト構成で正常に POST を完了できない場合は、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Setup Utility で Nx ブート障害機能を起動する連続した再起動の回数を指定するには、「System Settings」→「Recovery」→「Post Attempts」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および Disable です。

Setup Utility を使用した、レガシー・デバイスからブートするためのブート・プロトコルの設定

Setup Utility を使用して、すべての PXE ブート試行に対して非 UEFI レガシー・ネットワーク・デバイスからブートするようにブート・プロトコルを構成するには、以下のステップを実行します。

注：このオプションは、UEFI ROM がロードできないようにし、計算ノードがレガシー・モードでのみブートできるようにします。

- ステップ 1. キーボード、モニター、およびマウスをコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに接続し、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを計算ノードに接続します。
- ステップ 2. 計算ノードの電源をオンにします (16 ページの「[計算ノードの電源オン](#)」を参照)。
- ステップ 3. プロンプト「Press <F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。
- ステップ 4. Setup Utility のメイン・メニューから「Boot Manager」を選択します。
- ステップ 5. 「Boot Modes」を選択し、次に「Legacy Only」を選択します。
- ステップ 6. Esc を 2 回押して、Boot Manager のメインメニューに戻ります。
- ステップ 7. 「Change Boot Order」を選択して、非 UEFI レガシー・ネットワーク・デバイスをブート順序の最上位に移動します。
- ステップ 8. Esc を 2 回押して、Setup Utility のメインメニューに戻ります。
- ステップ 9. 「Save Settings」を選択し、次に「Exit Setup」を選択します。

Setup Utility を使用して、次のブート試行でのみ非 UEFI レガシー・ネットワーク・デバイスからブートするようにブート・プロトコルを構成するには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. キーボード、モニター、およびマウスをコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに接続し、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを計算ノードに接続します。
- ステップ 2. 計算ノードの電源をオンにします (16 ページの「[計算ノードの電源オン](#)」を参照)。
- ステップ 3. プロンプト「Press <F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。
- ステップ 4. Setup Utility のメイン・メニューから「Boot Manager」を選択します。
- ステップ 5. 「Add Boot Option」を選択し、次に「Generic Boot Option」を選択します。
- ステップ 6. 「Legacy Only」を選択します。
- ステップ 7. Esc を 3 回押して、Setup Utility のメインメニューに戻ります。
- ステップ 8. 「Save Settings」を選択し、次に「Exit Setup」を選択します。

Boot Selection Menu プログラムの使用

Boot Selection Menu プログラムは、Setup Utility の設定を変更することなく最初の始動デバイスを一時的に再定義するために使用することができる、標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティー・プログラムです。

Boot Selection Menu プログラムを使用するには、以下の手順を実行してください。

- ステップ 1. キーボード、モニター、およびマウスをコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに接続し、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを計算ノードに接続します。
- ステップ 2. 計算ノードの電源をオンにします (16 ページの「計算ノードの電源オン」を参照)。
- ステップ 3. F12 を押します (Select Boot Device)。ブート可能な USB 大容量ストレージ・デバイスが取り付けられている場合は、サブメニュー項目 (USB Key/Disk) が表示されます。
- ステップ 4. 上矢印キーと下矢印キーを使用して、Boot Selection Menu から項目を選択し、Enter を押します。

次に計算ノードを始動するときには、Setup Utility で設定されている始動シーケンスに戻ります。

注：正常に機能しているブート・デバイスが使用できない場合、システムは、ブート試行に 50 回失敗した後、自動的にシャットダウンします。

重要プロダクト・データを使用した、汎用固有 ID (UUID) および DMI/SMBIOS データの更新

システム・ボードの交換後、重要プロダクト・データ (VPD) を使用して汎用固有 ID (UUID) および DMI/SMBIOS データを更新する必要があります。

Advanced Settings Utility (ASU) および以下のいずれかのアクセス方式を使用することができます。

- ローカル (インバンド)
 - キーボード・コントローラー・スタイル (KCS) インターフェース経由
 - LAN over USB インターフェース経由
- リモート: LAN 経由

サポートされている任意のオペレーティング・システムで ASU を使用できます。あるいは、Bootable Media Creator か、Windows または Linux ベースのツールキットを使用して、ASU を組み込んだブート可能メディアを作成できます。ASU について、および ASU コードのダウンロードおよびアンパック手順の詳細については、「<https://support.lenovo.com/solutions/lvno-asu>」および「*Advanced Settings Utility User's Guide*」を参照してください。

以下のセクションでは、IMM2 にアクセスする以外の方法で UUID および DMI/SMBIOS データを更新する手順について説明します。以下の規則がコマンド構文に適用されます。

- 変数はイタリックで示されます。
- オプション・パラメーターは、大括弧 ([]) で囲まれています。大括弧はコマンドに入力しないでください。オプション・パラメーターを省略した場合は、デフォルトが使用されます。
- コマンド構文は大/小文字混合で示されていますが、コマンドは大/小文字を区別しません。

ローカル: キーボード・コントローラー・スタイル (KCS)

このアクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムでは、IPMI ドライバーはデフォルトでインストールされています。ASU は、対応するマッピング・レイヤーを提供します。

UUID を更新するには、ASU コマンドライン・インターフェースで以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID uuid
```

ここで *uuid* はユーザーが割り当てた最大 16 バイトの 16 進値で、計算ノードを識別します。

DMI/SMBIOS データを更新するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. ASU コマンドライン・インターフェースで、以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName xxxxyyy
```

重要：システム・ボード・ファームウェア内のデフォルトのマシン・タイプおよびモデル番号が計算ノードのマシン・タイプおよびモデル番号でない場合があります。必ず、正しいマシン・タイプおよびモデル番号を入力してください。

ここで、それぞれ以下の意味があります。

xxxx

計算ノードの 4 桁のマシン・タイプ。

yyy

計算ノードの 3 桁のモデル番号。

ステップ 2. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum zzzzzzz
```

ここで **zzzzzzz** は、計算ノードの 7 桁のシリアル番号です。

ステップ 3. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag  
aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa
```

ここで **aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa** は、計算ノードの 33 桁の資産タグ番号です。

ステップ 4. IMM を再起動します。

ステップ 5. サーバーを再起動します。

ローカル: LAN over USB

オプション・パラメーターを省略した場合は、デフォルト値が使用されます。1 つ以上のデフォルト値が使用され、ASU が LAN over USB アクセス方式を使用して IMM2 アクセスできない場合、ASU は自動的に KCS アクセス方式を使用します。

UUID を更新するには、ASU コマンドライン・インターフェースで以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID uuid  
[--user userid][--password password]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

uuid

ユーザーが割り当てた最大 16 バイトの 16 進値で、計算ノードを識別します。

userid

IMM2 アカウント名 (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルトは USERID です。

password

IMM2 アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルトは PASSWORD (0 は文字の「O (オー)」ではなく、数字の「ゼロ」) です。

DMI/SMBIOS データを更新するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. ASU コマンドライン・インターフェースで、以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName xxxxyyy  
[--user userid][--password password]
```

重要：システム・ボード・ファームウェア内のデフォルトのマシン・タイプおよびモデル番号が計算ノードのマシン・タイプおよびモデル番号でない場合があります。必ず、正しいマシン・タイプおよびモデル番号を入力してください。

ここで、それぞれ以下の意味があります。

xxxx

計算ノードの4桁のマシン・タイプ。

yyy

計算ノードの3桁のモデル番号。

userid

IMM2 アカウント名 (12 アカウントのうちの1つ)。デフォルトは USERID です。

password

IMM2 アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの1つ)。デフォルトは PASSWORD (0 は文字の「O (オー)」ではなく、数字の「ゼロ」) です。

ステップ2. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum zzzzzzz  
[--user userid][--password password]
```

ここで *zzzzzzz* は、計算ノードの7桁のシリアル番号です。

ステップ3. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag  
aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa  
[--user userid][--password password]
```

ここで *aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は、計算ノードの33桁の資産タグ番号です。

ステップ4. IMM を再起動します。

ステップ5. サーバーを再起動します。

リモート: LAN 経由

オプション・パラメーターを省略した場合は、デフォルト値が使用されます。

UUID を更新するには、ASU コマンドライン・インターフェースで以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID uuid --host ipaddress  
[--user userid][--password password]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

uuid

ユーザーが割り当てた最大 16 バイトの 16 進値で、計算ノードを識別します。

ipaddress

IMM2 の外部 LAN IP アドレス。

userid

IMM2 アカウント名 (12 アカウントのうちの1つ)。デフォルトは USERID です。

password

IMM2 アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの1つ)。デフォルトは PASSWORD (0 は文字の「O (オー)」ではなく、数字の「ゼロ」) です。

DMI/SMBIOS データを更新するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. ASU コマンドライン・インターフェースで、以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName xxxxyyy --host ipaddress  
  [--user userid][--password password]
```

重要：システム・ボード・ファームウェア内のデフォルトのマシン・タイプおよびモデル番号が計算ノードのマシン・タイプおよびモデル番号でない場合があります。必ず、正しいマシン・タイプおよびモデル番号を入力してください。

ここで、それぞれ以下の意味があります。

xxxx

計算ノードの 4 桁のマシン・タイプ。

yyy

計算ノードの 3 桁のモデル番号。

ipaddress

IMM2 の外部 LAN IP アドレス。

userid

IMM2 アカウント名 (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルトは USERID です。

password

IMM2 アカウントのパスワード (1 アカウントまたは 12 アカウント)。デフォルトは PASSWORD (0 は文字の「O (オー)」ではなく、数字の「ゼロ」) です。

ステップ 2. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum zzzzzzz --host ipaddress  
  [--user userid][--password password]
```

ここで **zzzzzzz** は、計算ノードの 7 桁のシリアル番号です。

ステップ 3. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag  
  aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa --host ipaddress  
  [--user userid][--password password]
```

ここで **aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa** は、計算ノードの 33 桁の資産タグ番号です。

ステップ 4. IMM を再起動します。

ステップ 5. サーバーを再起動します。

RAID アレイの構成

RAID アレイを構成するには、この情報を使用します。

RAID アレイの構成は、2 個以上のハードディスクが取り付けられた計算ノードにのみ適用されます。

注：RAID アレイを構成する場合、ハード・ディスクは、インターフェースのタイプ、容量、および速度が同一でなければなりません。

RAID レベル 0 (ストライピング) を、単一のハードディスクが取り付けられた計算ノード上に構成できません。ServerProven リスト (<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>) にリストされているオペレーティング・システムで、RAID レベル 1 (ミラーリング) アレイを実装および管理するには、最小で 2 個のディスク・ドライブが取り付けられている必要があります。計算ノードの RAID は、LSI Configuration ユーティリティ・プログラムを使用して構成する必要があります。

オプションの RAID 拡張アダプターが取り付けられている場合、それを使用して、計算ノードに取り付けられているすべてのハードディスクを制御できます。RAID アレイの構成方法については、拡張アダプターに付属の資料を参照してください。

重要: RAID アレイは、計算ノードにオペレーティング・システムをインストールする前に作成する必要があります。

LSI Logic Configuration ユーティリティ・プログラムを使用して、ハード・ディスクおよび SAS コントローラーを構成することができます。LSI Logic Configuration ユーティリティを開始するには、[38 ページ](#)の「[LSI Logic Configuration ユーティリティの使用](#)」を参照してください。

LSI Logic Configuration ユーティリティの使用

以下の手順を使用して、LSI Logic Configuration ユーティリティを開始することができます。

LSI Logic Configuration ユーティリティを使用すると以下のタスクを実行できます。

- デバイス・ブート順序の設定
- ブート・リストのデバイスの追加または除去
- RAID 構成の管理

注：RAID 構成内のすべてのハード・ディスクは、インターフェースのタイプ、容量、および速度が同一でなければなりません。

LSI Logic Configuration ユーティリティを開始するには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. キーボード、モニター、およびマウスをコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに接続し、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを計算ノードに接続します。

ステップ 2. 計算ノードの電源をオンにします ([16 ページ](#)の「[計算ノードの電源オン](#)」を参照)。

ステップ 3. プロンプト「Press <F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。

ステップ 4. Setup Utility のメインメニューから「System Settings」を選択し、次に「Storage」を選択します。

ステップ 5. 矢印キーを使用してアダプターのリストからコントローラーを選択し、Enter を押します。

ステップ 6. 画面の指示に従って選択した項目の設定を変更してから、Enter を押します。「SAS Topology」または「Advanced Adapter Properties」を選択した場合は、追加の画面が表示されます。

Features on Demand

このトピックでは、Features on Demand について説明します。

Features on Demand は、計算ノードおよびその他の Lenovo Flex System リソースで使用可能なオプションのソフトウェアを提供します。Features on Demand は、ユーザーが Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合)、IMM2 インターフェース、あるいは CMM Web インターフェースを使用してオプションのソフトウェアをアクティブにするための便利な方法を提供します。ご使用の計算ノードと一緒にオーダーした Features on Demand ソフトウェアは、すべて事前にアクティブ化されており、手動でアクティブ化する必要はありません。

計算ノードのオーダー時に Features on Demand をオーダーしなかった場合は、他のオプションのソフトウェアやハードウェアと同様に Features on Demand を購入することができます。アクティベーション・キーの入手手順は、購入した Features on Demand の許可コードと一緒に提供されます。

Features on Demand の詳細については、<http://www.ibm.com/systems/x/fod> を参照してください。

重要：

1. Setup Utility で、計算ノードがレガシー・モードでブートするように構成された場合、Features on Demand のフィーチャー・キーがインストールされているデバイスの UEFI Option ROM の初期化を有効に設定したままにしておく必要があります。
2. アクティベーション・キーの初回インストールの後に、Feature on Demand をアクティブにするために計算ノードの再起動が必要となる場合があります。具体的なアクティベーション手順については、ソフトウェアに付属の資料を参照してください。
3. 計算ノード内の UEFI コード、IMM2 ファームウェア、およびその他のすべてのファームウェアが、Feature on Demand ソフトウェアをサポートするレベルであることを確認してください。

第3章 オペレーティング・システムのインストール

計算ノードにオペレーティング・システムをインストールするには、以下の手順を使用します。

サポートされているオペレーティング・システムを判別するには、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

プロビジョニングは、オペレーティング・システムのインストールを行うための一連のアクションです。計算ノードにオペレーティング・システムをインストールするには、以下のいずれかの方法を使用することができます。

• Lenovo *ServerGuide* セットアップとインストール CD

ServerGuide Setup and Installation CD を使用してインストールできるのは、サポートされている Microsoft Windows オペレーティング・システムのみです。*ServerGuide* セットアップとインストール CD を使用して計算ノードにオペレーティング・システムをプロビジョニングするには、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードを管理している Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) に管理ネットワーク上で接続されているコンピューターに、*ServerGuide* セットアップとインストール CD の ISO イメージをダウンロードします。
2. 計算ノードが取り付けられている Lenovo Flex System シャーシを管理する Flex System Manager 管理ソフトウェアに接続します。
3. Flex System Manager シャーシ・マネージャー から、計算ノードを選択します。「Actions」列で「Remote Control」を選択します。

注：Flex System Manager 管理ソフトウェアへのログインで使用するユーザー ID には、計算ノードを管理するための十分なユーザー権限が必要です。

4. 「Remote Control」セッションから、*ServerGuide Setup and Installation* CD ブート可能メディアをマウントします (リモート・メディアを使用)。ServerGuide プログラムがオペレーティング・システム・イメージをマウントを要求するプロンプトを出したら、*ServerGuide Setup and Installation* CD をアンマウントして、オペレーティング・システム・イメージをマウントします。

外部ストレージ・デバイスまたはポータブル・ストレージ・デバイス (リモート・メディアを使用する USB デバイスなど) から、オペレーティング・システムの ISO イメージをインストールすることもできます。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.commontasks.doc/installing_os_on_xarchitecture_compute_node_v1.2.pdf を参照してください。

5. 計算ノードを始動してメディアをブートし、オペレーティング・システムをインストールします。

• Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator

Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、Lenovo *ServerGuide Setup and Installation* CD を作成し、Windows オペレーティング・システムおよび UpdateXpress System Packs からの更新をデプロイすることができます。Lenovo Bootable Media Creator について詳しくは、<http://support.lenovo.com/downloads/DS117986> を参照してください。

Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して計算ノードにオペレーティング・システムをプロビジョニングするには、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードを管理している Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) に管理ネットワーク上で接続されているコンピューターに、Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator をダウンロードします。
2. 計算ノードが取り付けられている Lenovo Flex System シャーシを管理する Flex System Manager 管理ソフトウェアに接続します。

- Flex System Manager シャーシ・マネージャー から、計算ノードを選択します。「Actions」列で「Remote Control」を選択します。

注：Flex System Manager 管理ソフトウェアへのログインで使用するユーザー ID には、計算ノードを管理するための十分なユーザー権限が必要です。

- 「Remote Control」セッションから、*ServerGuide Setup and Installation* CD ブート可能メディアをマウントします (リモート・メディアを使用)。ServerGuide プログラムがオペレーティング・システム・イメージをマウントを要求するプロンプトを出したら、*ServerGuide Setup and Installation* CD をアンマウントして、オペレーティング・システム・イメージをマウントします。外部ストレージ・デバイスまたはポータブル・ストレージ・デバイス (リモート・メディアを使用する USB デバイスなど) から、オペレーティング・システムの ISO イメージをインストールすることもできます。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.commontasks.doc/installing_os_on_xarchitecture_compute_node_v1.2.pdfを参照してください。
- 計算ノードを始動してメディアをブートし、オペレーティング・システムをインストールします。

- **Lenovo XClarity Administrator**

Lenovo XClarity Administrator を使用して (使用可能な場合)、まだオペレーティング・システムがインストールされていない複数の計算ノードに、オペレーティング・システムおよび仮想イメージをデプロイすることができます。この機能を使用すると、カーネル・ベース仮想マシン (KVM) を含む Red Hat Enterprise Linux (RHEL)、Lenovo Customization を使用する VMware vSphere Hypervisor (ESXi)、および Microsoft Windows 2012 をデプロイできます。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.htmlを参照してください。

- **Flex System Manager 管理ソフトウェア**

Flex System Manager 管理ソフトウェアを使用して (インストールされている場合)、まだオペレーティング・システムがインストールされていない複数の計算ノードに、オペレーティング・システムおよび仮想イメージをデプロイすることができます。この機能は、X-Architecture 計算ノードに対する VMware ESXi および RHEL カーネル・ベース仮想マシン (KVM) ハイパーバイザーのデプロイに限定されます。詳しくは、<https://forums.lenovo.com/t5/XClarity-Ideation/Automated-Provisioning-Deployment-of-a-Flex-Compute-Node/idi-p/3638635>を参照してください。

- **Lenovo ServerGuide Scripting Toolkit**

ServerGuide Scripting Toolkit は、システム構成ツールとインストール・スクリプトの集合です。これを使用して、計算ノードに予測可能な方法で繰り返しソフトウェアをデプロイすることができます (44 ページの「Lenovo ServerGuide Scripting Toolkit の使用」を参照)。

- **オペレーティング・システムのインストール手順**

最新の オペレーティング・システム・インストール説明をダウンロードして、オペレーティング・システムをインストールする。

重要: 計算ノードのオペレーティング・システムは、計算ノードがキーボード、マウス、および取り外し可能メディア・ドライブを認識して使用するために、USB をサポートしている必要があります。

ServerGuide セットアップとインストール CD の使用

ServerGuide セットアップとインストール CD には、ご使用の計算ノード用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが含まれています。ServerGuide プログラムは、計算ノードのモデルと取り付け済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にこの情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide プログラムは、更新済みデバイス・ドライバを提供することにより、さらに場合によってはそれらを自動的にインストールすることにより、オペレーティング・システムのインストールを単純化します。

<https://support.lenovo.com/solutions/lvno-guide> から、*ServerGuide* セットアップとインストール CD のイメージを無料でダウンロードすることができます。

オペレーティング・システムをインストールするには、*ServerGuide* セットアップとインストールCD の他に、オペレーティング・システムの CD も用意する必要があります。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。ご使用のバージョンについて確認するには、*ServerGuide* セットアップとインストールCD を開始して、オンラインで概要を表示してください。すべての計算ノード・モデルですべての機能がサポートされているわけではありません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- 計算ノード・モデルおよび検出されたハードウェア用に提供されるデバイス・ドライバ
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムの機能は次のとおりです。

- システム日付と時刻の設定
- 取り付け済みのオプション・ハードウェア・デバイスの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイスに対する更新済みデバイス・ドライバの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールの提供。
- ハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストールに関するヒントへのリンクが記載されたオンライン README ファイルの組み込み

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このトピックでは、一般的な ServerGuide オペレーティング・システムのインストールについて説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ハードウェアやインストールしようとするオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバを提供します。このセクションでは、標準的な ServerGuide オペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注：ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、計算ノード・モデル、IMM2、ハードディスク・コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管しています。次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、選択されたオペレーティング・システムとインストール済みハードディスク・ドライブに基づき、オペレーティング・システム区画のオプションを表示します。
4. ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムの CD を挿入して計算ノードを再起動するように求めるプロンプトを出します。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

ServerGuide を使用せずに計算ノードにオペレーティング・システムをインストールするには、この情報を使用します。

既に計算ノードのハードウェアを構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合は、<https://support.lenovo.com> からこの計算ノード用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Lenovo ServerGuide Scripting Toolkit の使用

ServerGuide Scripting Toolkit は、システム構成ツールとインストール・スクリプトの集合です。これを使用して、Lenovo Flex System 計算ノードに予測可能な方法で繰り返しソフトウェアをデプロイすることができます。ServerGuide Scripting Toolkit を Lenovo ServerGuide と一緒に使用すると、無人モードで Lenovo Flex System 計算ノードをデプロイするための総合的なソリューションが提供されます。

Lenovo ServerGuide Scripting Toolkit の使用の詳細については、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-CENTER> を参照してください。

第 4 章 IMM2 へのアクセス

コマンド・ライン・インターフェース、Serial over LAN、または Web インターフェースを使用してリモートで IMM2 にアクセスする、あるいは LAN over USB インターフェースを介してローカルで IMM2 にアクセスするには、この情報を使用します。

Integrated Management Module II (IMM2) は、拡張システム管理プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンスを単一のチップで提供する第 2 世代ハードウェア制御デバイスです。

IMM2 の詳細については、https://download.lenovo.com/ibmdl/pub/pc/pccbbs/thinkservers/imm_userguide.pdf を参照してください。

リモートでの IMM2 へのアクセス

このトピックでは、リモート・システム管理機能について説明します。

統合管理モジュール II (IMM2) は、以下のリモート・システム管理機能を提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース**

コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用してシステム管理機能への直接アクセスが可能です。コマンド・ライン・インターフェースを使用して、計算ノードの電源の制御、システム情報の表示、および計算ノードの識別を行うためのコマンドを発行することができます。1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

コマンド・ライン・インターフェースの詳細については、https://download.lenovo.com/ibmdl/pub/pc/pccbbs/thinkservers/imm_userguide.pdf を参照してください。

注：リモート IPMI および SNMP は、デフォルトでは無効です。CMM で IPMI/SNMP を管理できるようにするために IPMI アクセス権限を入手するには、(CMM アカウントとは別に) ローカル IMM ユーザー・アカウントを作成してください。このローカル・アカウントが作成されると、IPMI および SNMP ポートが自動的に開かれます。

- **Serial over LAN**

Serial over LAN (SOL) 接続を確立すると、リモート・ロケーションから計算ノードを管理することができます。UEFI 設定の表示および変更、計算ノードの再起動、計算ノードの識別、およびその他の管理機能の実行をリモートで行うことができます。すべての標準 Telnet クライアント・アプリケーションは、SOL 接続へのアクセスが可能です。

コマンド・ライン・インターフェースを使用して入力できる SOL コマンドについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

- **Web インターフェース**

セキュア IMM2 Web インターフェースを使用して、Web ブラウザー内でシステム管理アクティビティを実行します。Web インターフェースへのアクセスについては、[46 ページの「IMM2 Web インターフェースへのログオン」](#)を参照してください。

ネットワーク・アクセス・タグの確認

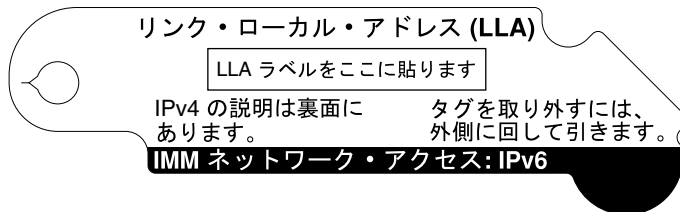
IMM2 にアクセスするには、ネットワーク・アクセス・タグに記載されている情報を使用するか、Setup Utility またはシステム管理ソフトウェアを使用します。

Web インターフェースにアクセスするには、IMM2 の IP アドレスが必要です。ネットワーク・アクセス・タグに示されている情報から、IP アドレスを判別できます。ネットワーク・アクセス・タグは、計算ノードの前面に取り付けられており、引っ張れば計算ノードから取り外すことができます。

注：ネットワーク・アクセス・タグが計算ノードの前面にない場合は、計算ノードの裏面にあるラベルで MAC アドレスを確認することもできます。

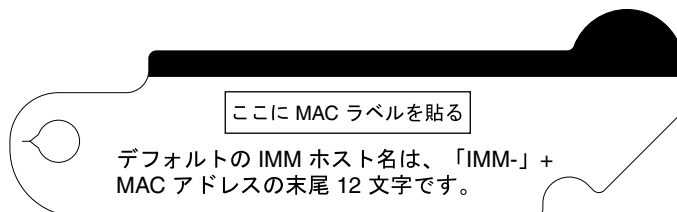
ネットワーク・アクセス・タグの前面 (表) には、次の図に示すように、IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) がリストされています。

前面



ネットワーク・アクセス・タグの背面 (裏) には、次の図に示すように、その計算ノード IMM に割り当てられている 4 つの MAC アドレスの最初のアドレス (IPv4 アクセスに使用されます) がリストされています。

背面



MAC アドレスは、Setup Utility、CMM `cinstatus` コマンド、および CMM Web インターフェースから確認することもできます。

- Setup Utility の詳細については、26 ページの「[Setup Utility の使用](#)」を参照してください。
- CMM `cinstatus` コマンドについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_cinstatus.html を参照してください。
- CMM Web インターフェースで、シャーン管理メニューから「計算ノード」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.html を参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。

ネットワーク管理者は、LLA アドレスまたは MAC アドレスを使用して、DHCP サーバーによって IMM に割り当てられる IP アドレスを判別できます。

IMM2 Web インターフェースへのログオン

IMM2 Web インターフェースにログオンするには、以下のステップを実行してください。

注：

- IMM2 のユーザー名とパスワードは、IMM でセットアップされる前に、CMM を介してプロビジョンされている必要があります。詳しくは、CMM Web インターフェースの「ユーザー・アカウント」ページ(「[管理モジュールの管理](#)」>「[ユーザー・アカウント](#)」をクリック)、または CMM `users` コマンド (http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_ifconfig.html を参照) を参照してください。
- アウト・オブ・バンド通信に Advanced Settings Utility (ASU) などのツールを使用するには、IMM Web インターフェースからローカル・ユーザー・アカウントを定義する必要があります。IMM Web イ

インターフェースからローカル・ユーザー・アカウントを定義するには、「IMM 管理」→「ユーザー」をクリックします。

ローカル・ユーザー・アカウントは、この計算ノード上で IMM Web インターフェースにアクセスする場合にのみ有効です。ただし、IMM 構成をバックアップする場合、そのバックアップには IMM ユーザー・インターフェースから作成されたローカル・ユーザー・アカウントは含まれません。

- インストール後初めて IMM2 にログオンする場合、IMM2 はデフォルトで動的ホスト構成プロトコル (DHCP) を使用します。DHCP ホストが使用可能ではない場合、IMM2 は、計算ノードが取り付けられたベイに応じて 192.168.70.101 から 192.168.70.114 の間の静的 IP アドレスを割り当てます。CMM を使用して、IP アドレスを割り当てることもできます。
 - CMM Web インターフェースを使用して IP アドレスを割り当てるには、「管理モジュールの管理」→「ネットワーク」→「イーサネット」をクリックします。
 - CMM コマンド・ライン・インターフェースを使用して IP アドレスを割り当てるには、**ifconfig** コマンドを使用します。CMM **ifconfig** コマンドについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_ifconfig.html を参照してください。
- CMM と計算ノードが DHCP を使用するように設定されており、CMM がネットワークへの接続を失っている場合、CMM は、ネットワーク接続性が復旧したときに新規 IP アドレスの取得を試行します。計算ノードは、IP アドレスの再取得を試行せず、既存の IP アドレスを引き続き使用します。そのため、CMM とネットワークの間の接続が復旧した後に計算ノードでネットワークの問題が発生した場合は、シャーシ内の各計算ノード (インストールされている場合は Flex System Manager 管理ソフトウェアを含む) のシステム管理プロセッサをリセットする必要がある場合があります。
- このタイムアウト期間に指定された時間の間 (分単位)、ブラウザが活動状態でなかった場合、IMM2 は Web インターフェースからユーザーをログアウトします。タイムアウト期間を変更するには、IMM Web インターフェースから、「IMM Management」>「User」>「Global Login Settings」>「General」をクリックします。
 1. Web ブラウザーを開き、「アドレス」または「URL」フィールドに、接続する IMM2 の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
 2. 「Login」ページで、CMM ユーザー名および CMM パスワードを入力します。すると、IMM2 Web インターフェースのメインページに移動します。IMM2 を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。すべてのログインの試行はイベント・ログに記録されます。

IMM2 アクションの説明

このトピックでは、Web インターフェースから使用可能な IMM2 機能について説明します。

IMM2 ウィンドウの上部までナビゲートして、IMM2 を使用したアクティビティを実行します。タイトル・バーには、ログインしているユーザー名が示されます。タイトル・バーを使用すると、以下の図に示すように、「Settings」で状況画面のリフレッシュ頻度およびカスタム侵入警告メッセージを構成したり、「Log out」で IMM2 Web インターフェースからログアウトしたりすることができます。タイトル・バーの下のタブを使用して、[48 ページの表 3 「IMM2 アクション」](#) にリストされているさまざまな IMM2 機能にアクセスすることができます。

IMM2 アクションについて詳しくは、https://download.lenovo.com/ibmdl/pub/pc/pccbbs/thinkservers/imm_userguide.pdf を参照してください。

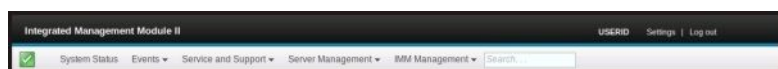


表 3. IMM2 アクション

タブ	選択	説明
System Status		「System Status」 ページでは、システム・ステータス、アクティブ・システム・イベント、およびハードウェア・ヘルス情報を表示することができます。このページには、「Server Management」タブの「System Information」、「Server Power Actions」、および「Remote Control」機能へのクイック・リンクが表示されます。また、最後のオペレーティング・システム障害のスクリーン・キャプチャーのイメージを表示することもできます。
イベント	イベント・ログ	「Event Log」 ページには、現在 IMM2 イベント・ログに保管されているエントリが表示されます。このログには、報告されたシステム・イベントのテキスト記述(すべてのリモート・アクセス試行および構成の変更に関する情報を含む)が含まれます。ログ内のすべてのイベントには、IMM2 の日時の設定を使用したタイム・スタンプが付いています。一部のイベントは、アラートも生成します(そのように構成されている場合)。イベント・ログ内のイベントをソートしたりフィルタリングして、その結果をテキスト・ファイルにエクスポートすることができます。
	Event Recipients	「Event Recipients」 ページでは、システム・イベントの通知先を管理することができます。このページを使用して、各受信者を構成したり、すべてのイベント受信者に適用される設定を管理することができます。また、テスト・イベントを生成して、通知機能の操作を確認することもできます。
Service and Support	Problems	「Problems」 ページでは、サポート・センターでサービス可能な現在未解決の問題を表示することができます。また、各問題の状況も、その解決方法と関連させて表示することができます。
	Settings	「Settings」 ページでは、ご使用のサーバーがサービス・イベントのモニターおよびレポートを行うように構成します。
	Download Service Data	「Download Service Data」 ページでは、Lenovo Support がユーザーを支援するために使用できる情報の圧縮ファイルを作成します。
Server Management	Server Firmware	「Server Firmware」 ページには、ファームウェア・レベルが表示され、ユーザーが IMM2 ファームウェア、サーバー・ファームウェア、および DSA ファームウェアを更新することができます。
	Remote Control	「Remote Control」 ページでは、オペレーティング・システム・レベルでサーバーを制御することができます。このページを使用して、リモート・ディスク機能およびリモート・コンソール機能の両方にアクセスすることができます。ご使用のコンピューターからサーバー・コンソールを表示および操作したり、コンピューターのディスク・ドライブ(CD-ROM ドライブやディスクレット・ドライブなど)の1つをサーバーにマウントすることができます。ディスクをマウントした場合は、そのディスクを使用してサーバーを再起動し、サーバー上のファームウェアを更新できます。マウントされたディスクは、サーバーに接続された USB ディスク・ドライブのように表示されます。
	サーバーのプロパティ	<p>「Server Properties」 ページでは、次のように、ご使用のサーバーの各種プロパティ、状況条件、および設定にアクセスすることができます。</p> <p>「Server Properties」 ページから使用可能なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「General Settings」 タブには、操作およびサポート担当者がシステムを識別するための情報が表示されます。 「LEDs」 タブには、すべてのシステム LED のステータスが表示されます。このタブでは、ロケーション LED の状況を変更することもできます。 「Hardware Information」 タブには、サーバーの重要プロダクト・データ (VPD) が表示されます。IMM2 は、サーバー情報、サーバー・コンポーネント情報、およびネットワーク・ハードウェア情報を収集します。

表 3. IMM2 アクション (続き)

タブ	選択	説明
		<ul style="list-style-type: none"> 「Environmentals」タブには、サーバーとそのコンポーネントの電圧および温度の情報が表示されます。 「Hardware Activity」タブには、システムに追加された、またはシステムから取り外された FRU (現場交換可能ユニット) コンポーネントの履歴が表示されます。
	Server Power Actions	「Server Power Actions」ページでは、ご使用のサーバーを通じての完全なりモート電源制御 (電源オン、電源オフ、および再起動アクション) を提供します。
	Cooling Devices	「Cooling Devices」ページでは、サーバーにある冷却ファンの現在の速度および状況を表示します。
	Power Modules	「Power Modules」ページには、システム内の電力モジュールと、その状況および電源の定格が表示されます。
	ローカル・ストレージ	「Local Storage」ページには、ストレージ・デバイスの物理構造とストレージ構成が表示されます。
	メモリー	「Memory」ページには、システムで使用可能なメモリー・モジュールと、その状況、タイプ、および容量が表示されます。モジュール名をクリックすると、そのメモリー・モジュールに関するイベントおよびハードウェアの追加情報が表示されます。デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) の取り外しまたは交換を行った場合、正しいメモリー情報を表示するには、取り外しまたは交換の後で少なくとも一度はサーバーの電源をオンにする必要があります。
	プロセッサ	「CPUs」ページには、システム内のマイクロプロセッサと、その状況およびクロック・スピードが表示されます。マイクロプロセッサ名をクリックすると、そのマイクロプロセッサに関するイベントおよび追加のハードウェア情報が表示されます。
	アダプター	「Adapters」ページには、サーバーに取り付けられているアダプターのハードウェア、ファームウェア、およびネットワーク・アダプターに関する情報が表示されます。
	Server Timeouts	「Server Timeouts」ページでは、サーバー・ハングの発生を検出してリカバリーするためのサーバー始動タイムアウトを管理することができます。
	PXE Network Boot	「PXE Network Boot」ページでは、次の再起動で Preboot Execution Environment (PXE)/動的ホスト構成プロトコル (DHCP) ネットワーク始動を試行するために、ホスト・サーバーの始動 (ブート) シーケンスを変更することができます。ホスト始動シーケンスは、ホストが Privileged Access Protection (PAP) で保護されていない場合にのみ更新されます。
	Latest OS Failure Screen	「Latest OS Failure Screen」ページには、サーバー上で発生した最新のオペレーティング・システム障害の画面イメージ (ある場合) が表示されます。ご使用の IMM2 でオペレーティング・システム障害の画面をキャプチャーするには、オペレーティング・システム・ウォッチドッグが有効に設定されている必要があります。
	電源管理	「Server Power Management」ページを使用して、電源関係のポリシーとハードウェアを管理でき、サーバーによって使用された電力量のヒストリーがこのページに表示されます。
	Scalable Complex	「Scalable Complex」ページでは、スケーラブル・マルチノード・システムを表示および管理することができます。

表 3. IMM2 アクション (続き)

タブ	選択	説明
IMM 管理	IMM Properties	<p>「IMM Properties」 ページでは、次のように、ご使用の IMM2 の各種プロパティ、および設定にアクセスすることができます。「IMM Properties」 ページから使用可能なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Firmware」タブでは、「Server Management」の「Server Firmware」セクションへのリンクが提供されます。また、このタブからは、IMM2 バックアップ・ファームウェアの自動プロモーションを有効にすることもできます。 「IMM Date and Time Settings」タブでは、IMM2 の日時設定を表示および構成することができます。 「Serial Port」タブでは、IMM2 のシリアル・ポート設定を構成します。これらの設定には、シリアル・ポート・リダイレクト機能で使用するシリアル・ポートのボー・レート、およびシリアル・リダイレクト・モードと CLI モードの切り替えを行うためのキー・シーケンスなどがあります。
	ユーザー	<p>「Users」 ページでは、IMM2 ログイン・プロファイルおよびグローバル・ログイン設定を構成します。また、現在 IMM2 にログインしているユーザー・アカウントを表示することもできます。グローバル・ログイン設定には、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバー認証の有効化、Web 非アクティブ・タイムアウトの設定、およびアカウント・セキュリティ設定のカスタマイズなどがあります。</p>
	ネットワーク	<p>「Network Protocol Properties」 ページでは、ご使用の IMM2 のネットワーク・プロパティ、ステータス、および設定にアクセスすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Ethernet」タブでは、IMM2 がイーサネットを使用して通信する方法を管理します。 「SNMP」タブでは、SNMPv1 および SNMPv3 エージェントを構成します。 「DNS」タブには、IMM2 が対話する DNS サーバーが表示されます。 「DDNS」タブでは、IMM2 用の動的 DNS を有効または無効に設定したり構成したりします。 「SMTP」タブでは、E メール経由でのアラートの送信に使用する SMTP サーバー情報を構成します。 「LDAP」タブでは、1 つ以上の LDAP サーバーで使用するユーザー認証を構成します。 「Telnet」タブでは、IMM2 への Telnet アクセスを管理します。 「USB」タブでは、サーバーと IMM2 の間のインバンド通信に使用する USB インターフェースを制御します。これらの設定は、USB リモート制御機能(キーボード、マウス、大容量ストレージ)には影響しません。 「Port Assignments」タブでは、IMM2 上での一部のサービスに使用するポート番号を変更することができます。
	セキュリティ	<p>「IMM Security」 ページでは、次のように、ご使用の IMM2 のセキュリティ・プロパティ、ステータス、および設定にアクセスすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「HTTPS Server」タブでは、HTTPS サーバーを有効または無効に設定したり、HTTPS サーバーの認証を管理することができます。 「CIM Over HTTPS」タブでは、CIM over HTTPS を有効または無効に設定したり、CIM over HTTPS の認証を管理することができます。

表 3. IMM2 アクション (続き)

タブ	選択	説明
		<ul style="list-style-type: none"> 「LDAP Client」タブでは、LDAP セキュリティーを有効または無効に設定したり、LDAP セキュリティーの認証を管理することができます。 「SSH Server」タブでは、SSH サーバーを有効または無効に設定したり、SSH サーバーの認証を管理することができます。 「Cryptography Management」タブでは、IMM2 のファームウェアを SP 800-131A の要件に準拠するように構成できます。
	IMM 構成	「IMM Configuration」ページには、現行の IMM2 構成設定の要約が表示されます。
	IMM を再起動	「Restart IMM2」ページでは、IMM をリセットすることができます。
	Reset IMM to factory defaults...	「Reset IMM to factory defaults...」ページでは、IMM2 の構成を出荷時のデフォルト値にリセットすることができます。 注意：「Reset IMM to factory defaults...」をクリックすると、IMM2 に対して行った変更はすべて失われます。
	Activation Key Management	「Activation Key Management」ページでは、オプションの IMM2 またはサーバーの Features on Demand (FoD) 機能のアクティベーション・キーを管理することができます。

LAN over USB インターフェースを使用した IMM2 へのアクセス

ベースボード管理コントローラーとは異なり、IMM2 はインバンド IMM2 通信用に IPMI デバイス・ドライバーや USB デーモンを必要としません。代わりに、LAN over USB インターフェースが、IMM2 へのインバンド通信に使用されます。システム・ボード上の IMM2 ハードウェアは、IMM2 からオペレーティング・システムへの内部イーサネット・インターフェースとして表示されます。LAN over USB は、IMM2 Web インターフェース内で「USB インバンド・インターフェース」とも呼ばれています。

次の表は、IMM2 およびホストの IP アドレスを示しています。

表 4. LAN over USB アドレス

IMM2 IP アドレス	IMM2 IP サブネット・マスク	ホスト・アドレス	ホスト・サブネット	ホスト・サブネット・マスク	キーボード・コントローラー・スタイル (KCS) アドレス
169.254.95.118	255.255.255.0	169.254.95.120	169.254.95.0/24	255.255.255.0	0x0CC0

LAN over USB インターフェースによる競合の可能性

状況によっては、LAN over USB インターフェースが特定のネットワーク構成、アプリケーション、またはその両方と競合を起こす可能性があります。例えば、Open MPI はサーバーあるいは計算ノード上の使用可能なすべてのネットワーク・インターフェースの使用を試行します。Open MPI は、IMM2 の LAN over USB インターフェースを検出し、クラスター環境において他のシステムとの通信用にこのインターフェースを使用しようとしています。LAN over USB インターフェースは内部インターフェースのため、このインターフェースはクラスター環境における他のシステムとの外部通信には使用できません。

IMM2 LAN over USB インターフェースとの競合の解決

以下のアクションのいずれかを使用して、LAN over USB とネットワーク構成およびアプリケーションとの競合を解決します。

LAN over USB 競合を解決するには、以下のいずれかの方法を使用します。

注：Open MPI との競合の場合、アプリケーションが LAN over USB インターフェースを使用しないように構成してください。

- インターフェースを停止します (Linux の場合、**ifdown** を実行)。
- デバイス・ドライバーを削除します (Linux の場合、**rmmmod** を実行)。
- CMM Web インターフェースから LAN over USB インターフェースを無効にします。

注：LAN over USB インターフェースが無効にされている間、計算ノードのファームウェアを更新することはできません。ファームウェアを更新する前に、インターフェースを再度有効にする必要があります。ファームウェアを更新した後、インターフェースを再度無効にすることができます。

CMM Web インターフェースから LAN over USB インターフェースを無効にするには、以下のステップを実行してください。

1. CMM Web インターフェースにログインします。
2. CMM Web インターフェースのホーム・ページから、「シャーシ管理」 → 「計算ノード」をクリックします。
3. 計算ノード ID をクリックします。
4. 「General」タブをクリックします。
5. 「Enable Ethernet Over USB」のチェック・マークを外し、LAN over USB インターフェースを無効にします。

LAN over USB インターフェースの手動構成

LAN over USB インターフェースを使用するには、IMM2 を構成する必要があります。必要に応じて、ファームウェア更新パッケージおよび Advanced Settings Utility は、自動的にセットアップの実行を試行します。自動設定が失敗した場合、または LAN over USB を手動で構成することを希望する場合は、以下のいずれかのプロセスを使用します。

異なるオペレーティング・システム上での LAN over USB 構成の詳細については、http://download.lenovo.com/servers/mig/systems/support/system_x/introducing_uefi-compliant_firmware_on_ibm_system_x.1.2.pdf を参照してください。

LAN over USB の Windows デバイス・ドライバーのインストール

Windows オペレーティング・システムをインストールする場合、「デバイス マネージャ」に不明な RNDIS デバイスがリストされることがあります。Lenovo は、このデバイスを識別するための Windows INF ファイルを提供します。署名されたバージョンの INF ファイルは、Windows 版の IMM2、UEFI、および DSA の更新パッケージのすべてに含まれています。ibm_rndis_server_os.inf を取り付けるには、次の手順で行います。

Windows 用の LAN over USB デバイス・ドライバーをインストールするには、以下のステップを実行してください。

注：これらの手順は、計算ノードで Windows オペレーティング・システムが稼働しており、ibm_rndis_server_os.inf ファイルがまだインストールされていない場合にのみ実行する必要があります。このファイルをインストールする必要があるのは一度のみです。このファイルは、Windows オペレーティング・システムが LAN over USB の機能を検出および使用するために必要です。

- ステップ 1. Windows 版のサーバーまたは計算ノード UEFI コード・パッケージを入手します (詳細については、23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」を参照)。
- ステップ 2. ファームウェア更新パッケージから、ibm_rndis_server_os.inf および device.cat ファイルを抽出し、そのファイルを \WINDOWS\inf サブディレクトリーにコピーします。

注: `-x path` コマンドライン・インターフェース・オプションを使用してファイルを抽出することができます。このオプションの詳細については、更新パッケージに付属の README ファイルを参照してください。

ステップ 3. (Windows 2003 の場合) `ibm_rndis_server_os.inf` ファイルを右クリックして「インストール」をクリックし、ファイルをインストールします。これにより、同じ名前の PNF ファイルが `\WINDOWS\inf` に生成されます。

(Windows 2008 の場合) 「コンピュータの管理」 → 「デバイス マネージャ」をクリックし、RNDIS デバイスを見つけます。「プロパティ」 → 「ドライバ」 → 「ドライバの再インストール」をクリックします。サーバーまたは計算ノードに `\Windows\inf` ディレクトリー (`ibm_rndis_server_os.inf` ファイルを検出できるディレクトリー) を指定して、デバイスをインストールします。

ステップ 4. 「コンピュータの管理」 → 「デバイス マネージャ」をクリックします。「ネットワークアダプタ」を右クリックし、「ハードウェア変更のスキャン」を選択します。イーサネット・デバイスが検出および取り付けられたことを確認する小さなポップアップが表示されます。「新しいハードウェアの検出ウィザード」が自動的に開始します。

ステップ 5. 「Can Windows connect to Windows Update to search for software?」というプロンプトが表示されたら、「いいえ、今回は接続しません」を選択します。「次へ」をクリックして先に進みます。

ステップ 6. 「What do you want the wizard to do?」というプロンプトが表示されたら、「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」を選択します。「次へ」をクリックして先に進みます。

ステップ 7. 「Please choose your search and installation options」というプロンプトが表示されたら、「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択します。「次へ」をクリックして先に進みます。

ステップ 8. 「Select a hardware type, and then click Next」というプロンプトが表示されたら、「ネットワーク・アダプター」を選択します。「次へ」をクリックして先に進みます。

ステップ 9. 「Completing the Found New Hardware Wizard」というメッセージのプロンプトが表示されたら、「終了」をクリックします。新規のローカル・エリア接続が表示されます。「This connection has limited or no connectivity」というメッセージが表示された場合は、このメッセージを無視してください。

ステップ 10. 「デバイス マネージャ」に戻ります。「ネットワーク アダプタ」の下に、「IBM USB Remote NDIS Network Device」または「Lenovo USB Remote NDIS Network Device」が表示されます。

ステップ 11. Setup Utility を使用して、IP アドレスを表示または設定します。IP アドレスの詳細については、51 ページの表 4 「LAN over USB アドレス」を参照してください。

- a. キーボード、モニター、およびマウスをコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに接続し、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを計算ノードに接続します。
- b. 計算ノードの電源をオンにします (16 ページの「計算ノードの電源オン」を参照)。
- c. プロンプト「Press <F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。
- d. 「System Settings」 → 「Integrated Management Module」 → 「Network Configuration」を選択します。
- e. IP アドレスを確認します。
- f. Setup Utility を終了します。

LAN over USB の Linux デバイス・ドライバーのインストール

RHEL5 Update 3 および SLES10 Service Pack 2 以降のバージョンの Linux では、LAN over USB インターフェースをデフォルトでサポートしています。LAN over USB インターフェースは、これらのオペレーティング・システムのインストール中に検出され、表示されます。

IP アドレスの詳細については、51 ページの表 4「LAN over USB アドレス」を参照してください。

注：古い Linux ディストリビューションでは、LAN over USB インターフェースが検出されない可能性があります。手動による構成が必要になる場合があります。特定の Linux ディストリビューションでの LAN over USB の構成については、http://download.lenovo.com/servers/mig/systems/support/system_x/introducing_uefi-compliant_firmware_on_ibm_system_x.1.2.pdfを参照してください。

IMM2 LAN over USB インターフェースでは、`usbnet` および `cdc_ether` デバイス・ドライバーがロードされている必要があります。ドライバーがインストールされていない場合、`modprobe` を使用してドライバーをインストールしてください。これらのドライバーがインストールされている場合、IMM2 USB ネットワーク・インターフェースは、オペレーティング・システム上でネットワーク・デバイスとして表示されます。オペレーティング・システムが IMM2 USB ネットワーク・インターフェースに割り当てた名前を検出するには、次のコマンドを入力します。

```
dmesg | grep -i cdc ether
```

第 5 章 タイプ 9532 および 2951 の部品リスト

Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード・タイプ 9532 および 2951 では、以下の交換可能コンポーネントが使用可能です。

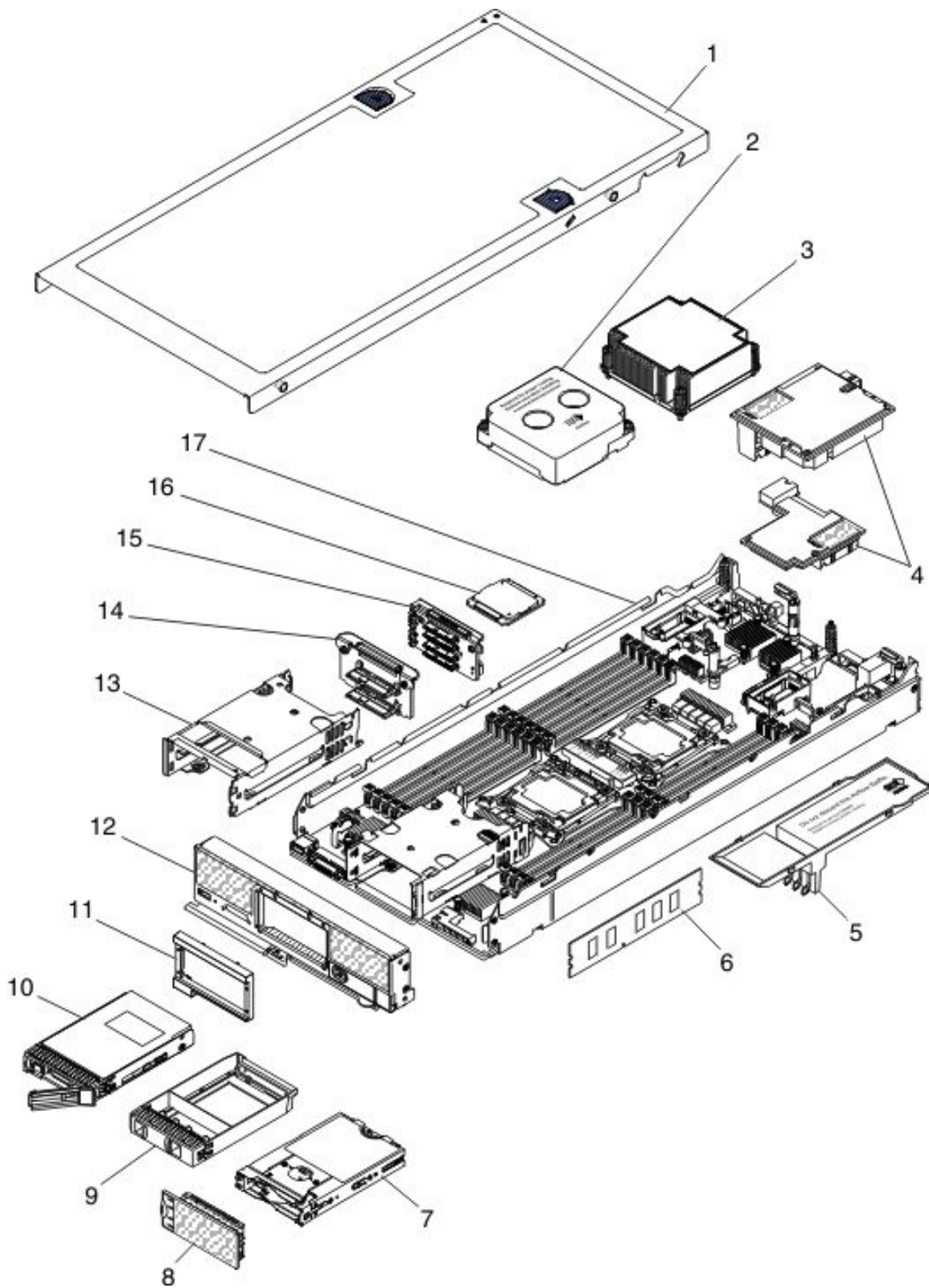
更新済みの部品リストを Web で参照するには、<https://support.lenovo.com> にアクセスします。

サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルは、サービス情報へのモバイル・アクセス用の QR コードを備えています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、Lenovo® Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は、Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードの QR コードを示しています。



注：本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。



交換可能コンポーネントには、消耗部品、構造部品、およびお客様による交換が可能な部品 (CRU) があります。

- **消耗部品:** 消耗部品 (寿命のあるプリンター・カートリッジなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が消耗部品の入手または取り付けを行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **構造部品:** 構造部品 (トップ・カバーなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様での取替え可能部品 (CRU):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。サービス契約を締結していない場合に、お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 CRU (お客様による交換が可能な部品):** Tier 2 と指定された CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象の計算ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付けを要求することもできます。

PCIe およびストレージ拡張ノードの部品リストについては、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.pme.doc/parts_listing.html および http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.sen.doc/parts_listing.html を参照してください。

保証の条件およびサービスと支援を得るための情報については、「保証情報」資料を参照してください。

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
3	ヒートシンク、前部マイクロプロセッサ (135 W 未満のマイクロプロセッサで使用)		00AE666
3	ヒートシンク (Vapor Chamber)、前部マイクロプロセッサ (135 W 以上のマイクロプロセッサで使用)		00KJ000
3	ヒートシンク、後部マイクロプロセッサ (135 W 未満のマイクロプロセッサで使用)		00AE667
3	ヒートシンク (Vapor Chamber)、後部マイクロプロセッサ (135 W 以上のマイクロプロセッサで使用)		00KJ001
4	Flex System Broadcom 10 Gb NIC アダプター (オプション)	00AG532	
4	Flex System EN6132 2 ポート 40 Gb イーサネット・アダプター (オプション)	90Y3485	
4	Flex System IB6132 2 ポート FDR Infiniband アダプター (オプション)	00D8532	
4	Flex System CN4022 2 ポート 10 Gb コンバージド・ネットワーク・アダプター (オプション)	88Y5922	
4	Flex System CN4052 2 ポート 10Gb バーチャル・ファブリック・アダプター (オプション)	00JY803	
4	Flex System CN4052R 2 ポート 10Gb バーチャル・ファブリック・アダプター (オプション)	00AG543 または 01KR606	
4	Flex System CN4054S 4 ポート 10Gb バーチャル・ファブリック・アダプター (オプション)	00AG593 または 01KR607	
4	Flex System CN4058 8 ポート 10 Gb バーチャル・ファブリック・アダプター (オプション)	94Y5163	
4	Flex System CN4054R 10 Gb バーチャル・ファブリック・アダプター (オプション)	00MN789	
4	Flex System 4 ポート 1 Gb FC アダプター (オプション)	49Y7902	
4	Flex System FC3172 2 ポート 8 Gb FC アダプター (オプション)	69Y1941	

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
4	Flex System FC5172 2 ポート 16 Gb FC アダプター (オプション)	69Y1945	
4	Flex System 2 ポート 8 Gb FC アダプター (オプション)	00MN779	
4	Flex System FC5024D 4 ポート 16 Gb FC アダプター (オプション)	95Y2382	
4	Flex System FC5052 2 ポート 16 Gb ネットワーク・アダプター (オプション)	00Y5635	
4	Flex System FC5054 4 ポート 16 Gb ネットワーク・アダプター (オプション)	00Y5637	
4	Flex System FC5022 2 ポート 16 Gb FC アダプター (オプション)	95Y2396	
4	io3 1.25 TB エンタープライズ・メインストリーム・フラッシュ・アダプター	00YA801	
4	io3 1.6TB エンタープライズ・メインストリーム・フラッシュ・アダプター	00YA804	
4	io3 3.2TB エンタープライズ・メインストリーム・フラッシュ・アダプター	00YA807	
4	io3 6.4TB エンタープライズ・メインストリーム・フラッシュ・アダプター	00YA810	
4	P3700 1.6TB エンタープライズ・パフォーマンス NVMe フラッシュ・アダプター	00YA813	
4	P3700 2TB エンタープライズ・パフォーマンス NVMe フラッシュ・アダプター	00YA816	
4	Flex System CN4054S 4 ポート 10 GB 仮想ファブリック・アダプター FCoE 付き	01CV793	
4	Flex System CN4052S 2 ポート 10Gb 仮想ファブリック・アダプター FCoE 付き	01CV783	
4	Flex System CN4052S 2 ポート 10Gb 仮想ファブリック・アダプター	00AG543	
4	Flex System EN2024 4 ポート 1 Gb Ethernet アダプター	49Y7902	
6	メモリー、16 GB (2Rx8、8 Gbit、1.2 V) PC4-19200 TruDDR4 2400 MHz、RDIMM	01KN303	
6	メモリー、32 GB (2Rx4、8 Gbit、1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz、RDIMM	95Y4810	
6	メモリー、32 GB (2Rx4、4 Gbit、1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz LRDIMM	46W0802	
6	メモリー、64 GB (4Rx4、8 Gbit、1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133MHz LRDIMM	95Y4814	
6	メモリー、8 GB (1Rx4、1.2 V) PC4-19200 CL17 TruDDR4 2400MHz LP RDIMM	46W0823	
6	メモリー、8GB (2Rx8、1.2V) PC4-19200 CL17 TruDDR4 2400MHz LP RDIMM	46W0827	
6	メモリー、16 GB (2Rx4、1.2 V) PC4-19200 CL17 TruDDR4 2400MHz LP RDIMM	46W0831	
6	メモリー、32 GB (2Rx4、1.2 V) PC4-19200 CL17 TruDDR4 2400MHz LP RDIMM	46W0835	
6	メモリー、16 GB (2Rx8、8 Gbit、1.2 V) PC4-19200 TruDDR4 2400 MHz RDIMM	01KN303	

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
7	マウント・スリーブ、1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ (オプション)	00AE672	
8	ファイラー、1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ (オプション)	00AE677	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 146 GB 15K 6 Gbps (オプション)	42D0678	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SATA 250 GB 6 Gbit NL (オプション)	81Y9723	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 300 GB、10K 6 Gbps (オプション)	42D0638	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 300 GB 15K 6 Gbps (オプション)	81Y9671	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 300 GB 15K 6 Gbps (オプション)	00AJ082	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 500 GB 6 Gbps NL (オプション)	42D0708	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SATA 500 GB 6 Gbit NL (オプション)	81Y9727	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 600 GB、10K 6 Gbps (オプション)	49Y2004	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 900 GB 10K 6 Gbps (オプション)	81Y9651	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 900 GB G3HS	01GV036	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 1 TB 6 Gbps NL (オプション)	81Y9691	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SATA 1 TB 7200 6 Gbit NL (オプション)	81Y9731	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 1 TB 7200 12 Gbit NL (オプション)	00NA492	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SAS 2 TB 7200 12 Gbit NL (オプション)	00NA497	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 300 GB 15K 12 Gbit (オプション)	00WG661	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 600 GB 15K 12 Gbit (オプション)	00WG666	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 300 GB 10K 12 Gbit (オプション)	00WG686	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 600 GB 10K 12 Gbit (オプション)	00NA242	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 600 GB 10K 12 Gbit (オプション)	00WG691	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 900 GB 10K 12 Gbit (オプション)	00WG696	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 300 GB 10K 6 Gbit (オプション)	00WG701	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 1.2 TB 10K 12 Gbit (オプション)	00AJ097	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 2.4 TB	01GV071	

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 1.8 TB	00NA272	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 SATA 50 GB SMART SSD (オプション)	43W7729	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 1.6 TB (オプション)	00YK228	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SATA 128 GB SFF Slim SSD (オプション)	90Y8649	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 200 GB SFF Slim SSD (オプション)	43W7721	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 SATA 200 GB SMART E-MLC SSD (オプション)	40K6897	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 256 GB SFF Slim SSD (オプション)	90Y8644	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 120 GB (オプション)	00WG621	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 240 GB (オプション)	00WG626	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 420 GB (オプション)	00WG631	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 800 GB (オプション)	00WG636 または 00AJ167	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SAS 300 GB 10K 12 Gbit SED (オプション)	00WG706	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SAS 600 GB 10K 12 Gbit SED (オプション)	00WG711	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SAS 900 GB 10K 12 Gbit SED (オプション)	00WG716	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SAS 1.2 TB 10K 12 Gbit SED (オプション)	00WG721	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 200 GB (オプション)	00YC321	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 400 GB (オプション)	00YC326	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SAS 400 GB (オプション)	01GV712	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 800 GB (オプション)	00YC331	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SAS 800 GB (オプション)	01GV717	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 200 GB (オプション)	00YC351	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 120 GB (オプション)	00YC386	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 240 GB (オプション)	00YC391	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 480 GB (オプション)	00YC396	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 960 GB (オプション)	00YC401 または 01GR847	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SAS 1.6 TB (オプション)	01GV722	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 3.84 TB G3HS (オプション)	01GR787	

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 NVME 400 GB (オプション)	90Y3228	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 NVME 800 GB (オプション)	90Y3231	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 NVME 960 GB (オプション)	00YK288	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 NVME 1.6 TB (オプション)	90Y3234	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 NVME 1.92 TB (オプション)	00YK289	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 NVME 2 TB (オプション)	90Y3237	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 240 GB SATA G3HS	01GV844	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 480 GB SATA G3HS	01GV849	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 960 GB SATA G3HS	01GV854	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 1.92 TB SATA G3HS	01GV859	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 3.84 TB SATA G3HS	01GV864	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 480 GB SATA G3HS	01KR497	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 960 GB SATA G3HS	01KR502	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 1.92 TB SATA G3HS	01KR507	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 3.84 TB SATA G3HS	01KR512	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 240 GB SATA G3HS	01GT768	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 480 GB SATA G3HS	01GT769	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 960 GB SATA G3HS	01GT770	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 480 GB SATA G3HS	01KR446	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 960 GB SATA G3HS	01KR447	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 1.92 TB SATA G3HS	01KR448	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 1.92 TB SATA G3HS	01KR481	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 240 GB SATA G3HS	00AJ401	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 480 GB SATA G3HS	00AJ406	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 3.84 TB SATA G3HS	01KR482	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 240 GB SATA G3HS	01KR487	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 200 GB MLC G3HS	00AJ157	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 400 GB MLC G3HS	00AJ162	
10	ハイブリッド・ディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 600 GB G3HS 512e	00NA322	
10	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 SAS 200 GB G3HS 512e	00NA232	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型、SATA 480 GB G3HS	00YC396	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型、SATA 480 GB G3HS	00YK213	
10	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 SATA 240 GB G3HS	01GR727	

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
11	ベゼル、前面アセンブリー	00KF185	
11	ベゼル、1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ (オプション)	00KF186	
11	ベゼル、ソリッド・ステート・ドライブ (オプション)	00KJ138	
12	前面パネル	00KJ149	
12	前面パネル	00KJ150	
14	ハードディスク・ドライブ・バックプレーン	00MV292	
15	ハードディスク・ドライブ・バックプレーン、1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ (オプション)	00MV293	
15	Flex System x240 M5 向け NVMe Enterprise PCIe SSD イネーブルメント・キット (オプション)	00MV294	
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2697V3 14C 2.6 GHz 35 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 145W		00AE680
16	Intel Xeon Processor E5-2695V3 14C 2.3 GHz 35 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 120 W		00AE681
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2690V3 12C 2.6 GHz 30 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 135W		00AE682
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2680V3 12C 2.5 GHz 30 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 120W		00AE683
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2670V3 12C 2.3 GHz 30 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 120W		00AE684
16	Intel Xeon Processor E5-2660V3 10C 2.6 GHz 25 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 105 W		00AE685
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2650V3 10C 2.3 GHz 25 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 105W		00AE686
16	Intel Xeon Processor E5-2650L V3 12C 1.8 GHz 30 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 65 W		00AE687
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2640V3 8C 2.6 GHz 20 MB キャッシュ DDR4 1866 MHz 90W		00AE688
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2630V3 8C 2.4 GHz 20 MB キャッシュ DDR4 1866 MHz 85W		00AE689
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2620V3 6C 2.4 GHz 15 MB キャッシュ DDR4 1866 MHz 85W		00AE690
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2630LV3 8C 1.8 GHz 20 MB キャッシュ DDR4 1866 MHz 55W		00AE691
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2609V3 6C 1.9 GHz 15 MB キャッシュ DDR4 1600 MHz 85W		00AE692
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2603V3 6C 1.6 GHz 15 MB キャッシュ DDR4 1600 MHz 85W		00AE693
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2667V3 8C 3.2 GHz 20 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 135W		00AE694

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
16	Intel Xeon Processor E5-2643V3 6C 3.4 GHz 20 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 135 W		00AE695
16	Intel Xeon Processor E5-2637V3 4C 3.5 GHz 15 MB キャッシュ DDR4 2133 MHz 135 W		00AE696
16	Intel Xeon Processor E5-2699V3 18C 2.3 GHz 45 MB キャッシュ 2133 MHz 145 W		00KJ033
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2658V3 12C 2.2 GHz 30 MB キャッシュ 2133 MHz 105W		00KJ034
16	Intel Xeon Processor E5-2698V3 16C 2.3 GHz 40 MB キャッシュ 2133 MHz 135 W		00KJ035
16	Intel Xeon Processor E5-2685V3 12C 2.6 GHz 30 MB キャッシュ 2133 MHz 120 W		00KJ036
16	Intel Xeon Processor E5-2683V3 14C 2.0 GHz 35 MB キャッシュ 2133 MHz 120 W		00KJ037
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2623V3 4C 3.0 GHz 10 MB キャッシュ 1866 MHz 75W		00KJ038
16	Intel Xeon Processor E5-2648L V3 12C 1.8 GHz 30 MB キャッシュ 2133 MHz 75 W		00KJ039
16	Intel Xeon Processor E5-2628L V3 10C 2.0 GHz 25 MB キャッシュ 1866 MHz 75 W		00KJ040
16	Intel Xeon Processor E5-2618L V3 8C 2.3 GHz 20 MB キャッシュ 1866 MHz 75 W		00KJ041
16	Intel Xeon Processor E5-2608L V3 6C 2.0 GHz 15 MB キャッシュ 1866 MHz 52 W		00KJ042
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2698 V4 20C 2.2 GHz 50MB キャッシュ 2400 MHz 135W		00MW771
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2695 V4 18C 2.1 GHz 45MB キャッシュ 2400 MHz 120W		00MW772
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2683 V4 16C 2.1 GHz 40MB キャッシュ 2400 MHz 120W		00MW774
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2667 V4 8C 3.2 GHz 25MB キャッシュ 2400 MHz 135W		00MW776
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2650L V4 14C 1.7 GHz 35MB キャッシュ 2400 MHz 65W		00MW777
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2643 V4 6C 3.4 GHz 20MB キャッシュ 2400 MHz 135W		00MW778
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2637 V4 4C 3.5 GHz 15MB キャッシュ 2400 MHz 135W		00MW779
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2630L V4 10C 1.8 GHz 25MB キャッシュ 2133 MHz 55W		00MW780
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2623 V4 4C 2.6 GHz 10MB キャッシュ 2133 MHz 85W		00MW781

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2609 V4 8C 1.7 GHz 20MB キャッシュ 1866 MHz 85W		00MW782
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2603 V4 6C 1.7 GHz 15MB キャッシュ 1866 MHz 85W		00MW783
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2699 V4 22C 2.2 GHz 55MB キャッシュ 2400 MHz 145W		00YD967
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2697 V4 18C 2.3 GHz 45MB キャッシュ 2400 MHz 145W		00YD968
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2690 V4 14C 2.6 GHz 35MB キャッシュ 2400 MHz 135W		00YD969
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2680 V4 14C 2.4 GHz 35MB キャッシュ 2400 MHz 120W		00YD970
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2660 V4 14C 2.0 GHz 35MB キャッシュ 2400 MHz 105W		00YD971
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2650 V4 12C 2.2 GHz 30MB キャッシュ 2400 MHz 105W		00YD972
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2640 V4 10C 2.4 GHz 25MB キャッシュ 2133 MHz 90W		00YD973
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2630 V4 10C 2.2 GHz 25MB キャッシュ 2133 MHz 85W		00YD974
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2620 V4 8C 2.1 GHz 20MB キャッシュ 2133 MHz 85W		00YD975
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2608L V4 8C 1.6 GHz 20MB キャッシュ 1866 MHz 50W		00YE946
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2618L V4 10C 2.2 GHz 25MB キャッシュ 2133 MHz 75W		00YE947
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2628L V4 12C 1.9 GHz 30MB キャッシュ 2133 MHz 75W		00YE948
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2648L V4 14C 1.8 GHz 35MB キャッシュ 2400 MHz 75W		00YE949
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2658L V4 14C 2.3 GHz 35MB キャッシュ 2400 MHz 105W		00YE950
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2697A V4 16C 2.6 GHz 40 MB キャッシュ 2400 MHz 145W		00YK831
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2699A V4 22C 2.4 GHz 55 MB キャッシュ 2400 MHz 145W		01GT318
16	Intel Xeon プロセッサ E5-2699R V4 22C 2.2 GHz 55 MB キャッシュ 2400 MHz 145W		01GT319

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
17	Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード用システム・ボード・アセンブリー <ul style="list-style-type: none"> • トレイ、システム・ボード • システム・ボード • カバー (交換手順のラベル付き) • フィラー、前部マイクロプロセッサ・ソケット 		00MV291
17	Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード用システム・ボード・アセンブリー <ul style="list-style-type: none"> • トレイ、システム・ボード • システム・ボード • カバー (交換手順のラベル付き) • フィラー、前部マイクロプロセッサ・ソケット 		00MW807
	Flex System コンソール・ブレイクアウト・ケーブル	81Y5287	
	電源ケーブル	44E4767	
	1M 6Gbps mini-SAS ケーブル	00YE299	
	1M 6Gbps mini-SAS ケーブル	00YE300	
	4M 6Gbps mini-SAS ケーブル	00YE301	
	6M 6Gbps mini-SAS ケーブル	00YE302	
	0.5M 6Gbps mini-SAS ケーブル	00YE303	
	1M 7Gbps mini-SAS ケーブル	00YE304	
	2M 8Gbps mini-SAS ケーブル	00YE305	
	4M 9Gbps mini-SAS ケーブル	00YE306	
	6M 10Gbps mini-SAS ケーブル	00YE307	
	Clw/Tln V2 Flex ケーブル	00FE025	
	DPI C13 ユニバーサル電力配分装置	39Y8914	
	System x 向け SD Media Adapter (オプション)	00YK624	
	32 GB SD フラッシュ・メモリー・カード	00ML701	
	2 GB USB フラッシュ・キー (VMWare 5.0 を含む) (オプション)	42D0545	
	4 GB USB フラッシュ・キー	00WH143	
	アダプター保持アセンブリー	00AE668	
	システム・サービス・ラベル・キット	00AE669	
	システム・サービス・ラベル・キット	00AE670	
	Quebec ラベル・キット (オプション)	00Y2761	
	マイクロプロセッサ取り付けツール		00YJ730
	アルコール・ワイプ		00MP352
	熱伝導グリース		41Y9292
	CMOS バッテリー、3.0 ボルト (すべてのモデル)	33F8354	

表 5. 部品リスト、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
	RFID ラベル・タグ・アセンブリー (EMEA)	00E6323	
	RFID ラベル・タグ・アセンブリー (US)	74Y8800	
	Lightpath LED カード	81Y5290	
	RID タグ (計算ノード)	00KF228	
	ServeRAID M5100 シリーズ・スーパー・キャパシター	00JY023	
	ServeRAID M5215 SAS/SATA コントローラー	00YJ996	
	ハードディスク・ドライブ・バックプレーン、ServeRAID コントローラー	00JY707	
	拡張シェルフ	44E4783	
	ストレージ拡張ノード	90Y9277	
	カバー、ストレージ拡張ノード	44E4786	
<p>1. Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードの特定の構成は、Flex System の一般的なレベルを大幅に超えた音響レベルで作動するため、以下のノイズ・ハザードの警告が適用される場合があります。</p> <p>重要：政府の規制 (OSHA や欧州共同体指令による規制など) がワークスペースのノイズ・レベルを対象としている場合があります、サーバーの設置に適用される可能性があります。インストール済み環境の実際の音圧レベルは、さまざまな要因によって異なります。これらの要因には、インストール済み環境内のラックの台数、部屋のサイズ、材質、および構成、他の装置からのノイズ・レベル、部屋の周囲温度、および従業員と装置の位置関係が含まれます。さらに、政府の規制への準拠も、従業員の露出の期間や従業員が防音保護具を着用しているかどうかなど、さまざまな追加要因によって異なります。この分野における資格のある専門家と相談して、適用規則に準拠しているか判断してください。</p> <p>2. DIMM は、UEFI ソフトウェアによって、Lenovo の純正モジュール (TruDDR4) であるか検証されます。純正以外のいずれかの DIMM が検出された場合は、システム・イベント・ログに通知メッセージが表示され、メモリーのパフォーマンスが制限される場合があります。純正以外の DIMM は Lenovo 保証の対象外です。</p>			

消耗部品および構造部品

消耗部品および構造部品は、「Lenovo 保証の内容と制限」の対象外です。

表 6. 消耗部品および構造部品、タイプ 9532 および 2951

索引	説明	部品番号
1	カバー (システム・サービス・ラベル・キット 00AE669 も注文してください)	00AE665
2	フィルター、前部マイクロプロセッサ・ソケット	81Y5134
5	DIMM 上のエアークラッド	00JX144
9	フィルター、ハードディスク・ベイ	00FW856
13	ハードディスク・ドライブ・ケージ	00AE673
	シャーシ・バルクヘッド	94Y4869

表 6. 消耗部品および構造部品、タイプ 9532 および 2951 (続き)

索引	説明	部品番号
	前面ベゼル・アセンブリー	00Y2899
	各種部品キット <ul style="list-style-type: none"> • ライトボックス・カバー • ねじ • サポート・ポスト • ラベル 	00AE671

消耗部品あるいは構造部品を注文するには、以下のステップを実行してください。

1. <https://datacentersupport.lenovo.com> に進みます。
2. 「Products (製品)」メニューから、「Upgrades, accessories & parts (アップグレード、アクセサリ、および部品)」を選択します。
3. 「Obtain maintenance parts (保守部品の入手)」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの Lenovo 担当員にお問い合わせください。

第 6 章 トラブルシューティング

ご使用の Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード で発生する可能性がある問題の診断および修正を行うには、この情報を使用します。

このセクションの情報は、ハードウェアおよびソフトウェアの問題を解決するためのツールおよび手順について説明しています。この情報を使用して問題の診断および修正ができない場合は、<http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.common.nav.doc/troubleshooting.html> および 849 ページの付録 A 「ヘルプおよび技術サポートの入手」 で詳細を確認してください。

Service Bulletin

Lenovo はサポート Web サイトを随時更新して、Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードで問題が起こったときにお客様が問題解決に使用できるヒントや手法を載せています。

Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード に対して使用可能な Service Bulletin を検索するには、<https://support.lenovo.com> にアクセスして、用語 「9532」 または 「2591」 および 「retain」 を検索します。

診断ツール

ハードウェア関連の問題を診断および解決するための診断ツールについて調べるには、この情報を使用します。

Light path 診断

Light path 診断の概要を示します。

Light path 診断は、計算ノードのコントロール・パネルと各種内部コンポーネント上にある LED による診断方式です。エラーが発生すると、計算ノード全体で LED が点灯し、エラーの原因の識別に役立ちます。

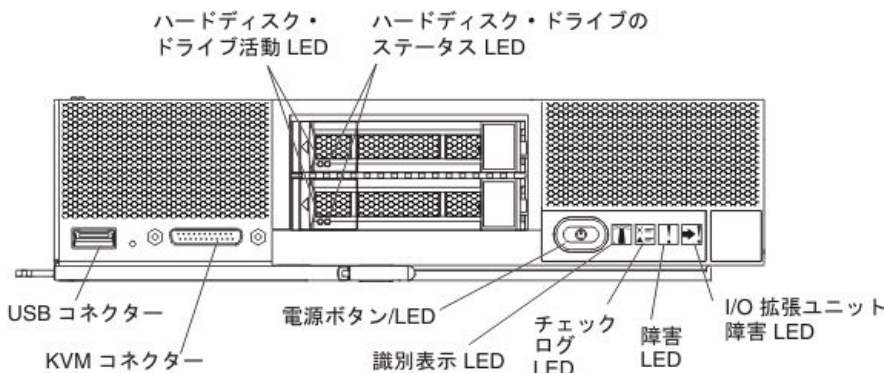
Light path 診断 LED の確認

この情報を使用して、light path 診断 LED の位置を見つけて確認してください。

Light path 診断 LED を確認するために計算ノード内部で作業する前に、v ページの 「安全について」 および 763 ページの 「取り付け作業上の注意事項」 をお読みください。

エラーが発生した場合は、次の順序で light path 診断 LED を見てください。

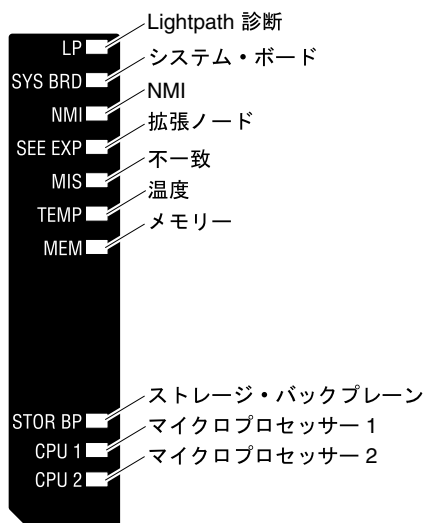
1. 計算ノード前面のコントロール・パネルを見ます。



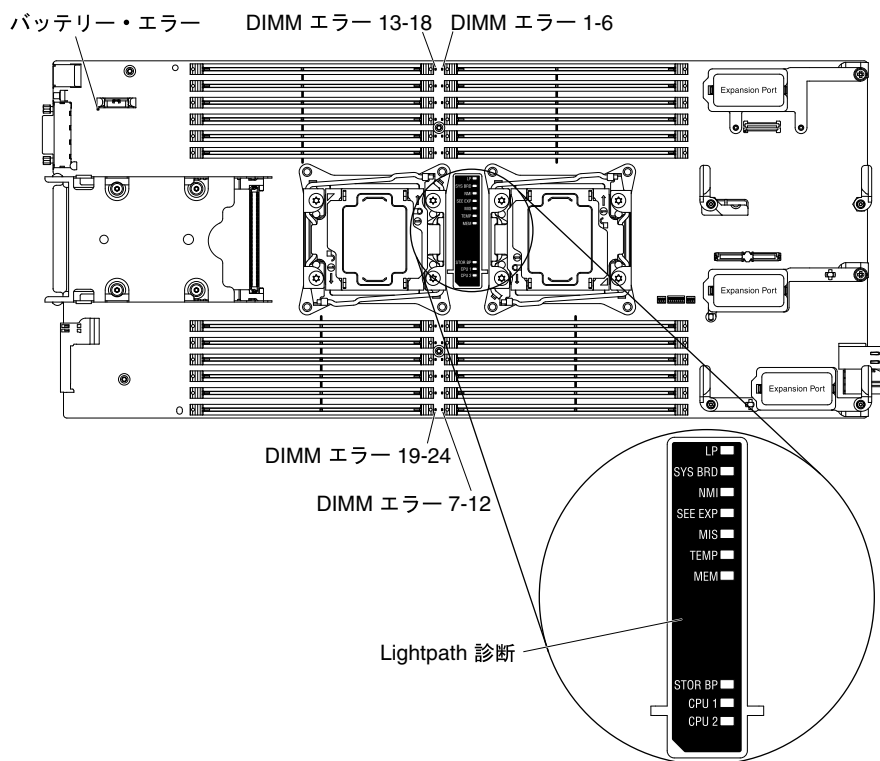
- チェック・ログ LED が点灯しているときは、IMM イベント・ログにイベントのログが記録される原因となる状態が発生したことを示しています。
 - 障害 LED が点灯している場合、エラーが発生したことを示しています。Light path 診断パネルおよび LED を確認して、障害のあるコンポーネントを特定してください。
 - I/O 拡張ユニット障害 LED が点灯しているときは、計算ノードに取り付けられている I/O 拡張ユニットにエラーが発生したことを示しています。IMM または CMM のイベント・ログと light path 診断 LED を確認して、障害のあるコンポーネントを特定してください。
2. Light path 診断 LED を確認するには、以下のいずれかの手順を選択します。
- CMM led コマンド、CMM Web インターフェースおよび Lenovo XClarity Administrator アプリケーション (インストールされている場合) または Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) から、LED を確認することができます。
 - CMM led コマンドについての詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_led.html を参照してください。
 - CMM Web インターフェースで、シャーシ管理メニューから「計算ノード」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.html を参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。
 - Lenovo XClarity Administrator アプリケーションについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.html を参照してください。
 - Flex System Manager 管理ソフトウェアについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.8731.doc/product_page.html を参照してください。
 - 計算ノードの設置場所にいる場合は、以下のステップを実行することができます。
 - a. 計算ノードを Lenovo Flex System シャーシから取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
 - b. 帯電防止されている平らな場所に計算ノードを注意して置きます。
 - c. 計算ノードのカバーを開きます (手順については、[772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」](#) を参照)。
 - d. DIMM コネクタ上に取り付けられているエア・バッフルを取り外します。
 - e. 電源ボタンを押し続けます。ハードウェア関連の問題がある場合は、電源ボタンを押すと、light path 診断パネルおよびシステム・ボード上の LED が点灯します。

注：Light path 診断用の給電は、短時間のみ持続するように設計されています。電源ボタンを押すと light path 診断 LED が点灯する場合は、light path 診断が充電されており、LED が点灯します。

次の図は、light path 診断パネル上の LED を示しています。



次の図は、システム・ボード上の light path 診断 LED の位置を示しています。



Light path 診断 LED

Light path 診断 LED によって示された潜在的なエラーを診断するには、この情報を使用します。

次の表は、light path 診断パネル上の LED およびシステム・ボード上の light path 診断 LED について説明しています。LED の点灯については、69 ページの「Light path 診断 LED の確認」を参照してください。

注：エラー状態に関する追加情報は、CMM イベント・ログに含まれています。

表 7. Light path 診断 LED

点灯中のlight path 診断 LED	説明
なし	計算ノードは、システム・ボード上の LED を表示するための充電が不足しています。
バッテリー・エラー	システム CMOS バッテリーが取り付けられていないか、機能していません。
DIMM エラー x	メモリー・エラーが発生しました。
I/O 拡張ユニット (SEE EXP)	I/O 拡張ユニットでエラーが発生しました。I/O 拡張ユニット上のエラー LED を確認します。
Light path 診断 (LP)	Light path 診断 LED の電源が充電されました。
Light path 診断 (LP) のみ	エラーは発生していません。
メモリー (MEM)	メモリー・エラーが発生しました。
マイクロプロセッサ x エラー (CPU X)	マイクロプロセッサに障害が発生した場合、温度過熱状態になっている場合、あるいは始動マイクロプロセッサ (CPU 1) が欠落している場合、IMM2 はこの LED を点灯します。前面パネルの障害 LED も点灯します。
不一致 (MIS)	マイクロプロセッサが一致していません。メモリー LED も点灯している場合、DIMM が一致していません。
NMI	システム・ボードに障害が起きました。
SAS バックプレーン・エラー (STOR BP)	ハードディスク・ドライブ・バックプレーン・エラーが発生しました。
システム・ボード (SYS BRD)	システム・ボードに障害が起きました。
温度 (TEMP)	システム温度がしきい値レベルを超えました。

IMM イベント・ログ

以下の情報は、IMM イベント・ログの概要として使用できます。

統合管理モジュール II (IMM2) は、システム管理プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能をシステム・ボード上の単一のチップに統合しています。IMM2 は、計算ノード上のすべてのコンポーネントをモニターして、イベントを IMM イベント・ログに送ります。さらに、ほとんどのイベントが Chassis Management Module のイベント・ログにも送信されます。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することができます。

IMM エラー・コードを診断および解決するには、[233 ページの「IMM メッセージ」](#) を参照してください。

注：CMM イベント・ログ内のイベント・メッセージを表示する場合は、現在起きている問題に関連して、以前に発生しているイベントがログの中にあるか探してください。例えば、マイクロプロセッサ・バス・エラーのイベントが表示される場合は、そのエラーの原因となった可能性がある別のメモリー関連エラーを探します。

Setup Utility からのイベント・ログの表示

Setup Utility から IMM および POST イベントを表示することができます。

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

ステップ 1. キーボード、モニター、およびマウスをコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに接続し、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを計算ノードに接続します。

ステップ 2. 計算ノードの電源をオンにします。

ステップ3. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ4. 「System Event Logs」を選択して、以下のいずれかの手順を使用します。

- POST イベント・ログを表示するには、「POST Event Viewer」を選択します。
- システム・イベント・ログを表示するには、「System Event Log」を選択します。

計算ノードを再起動しないイベント・ログの表示

計算ノードがハングしていない場合、計算ノードを再起動せずに1つ以上のイベント・ログを表示する方法がいくつかあります。

Chassis Management Module のイベント・ログは、Flex System Manager シャーシ・マネージャーで Lenovo XClarity Administrator を使用するか、Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) の「イベント・ログ」リンクから表示することができます。Lenovo XClarity Administrator アプリケーションについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.html を参照してください。Flex System Manager 管理ソフトウェアについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.8731.doc/product_page.html を参照してください。

また、CMM `displaylog` コマンドまたは CMM Web インターフェースを使用して、「Event Log」リンクから Chassis Management Module のイベント・ログを表示することもできます。

- CMM `displaylog` コマンドについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_displaylog.html を参照してください。
- CMM Web インターフェースで、「Events」メニューから「Event Log」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.html を参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。

注：現在、「Event Log」ページでイベント ID が表示されていない場合は、イベント ID の表示を有効にすることができます。これを行うには、「Filter Events」をクリックし、「Visible columns」の下の「Event ID」チェック・ボックスを選択します。

DSA の Portable エディションをインストール済みの場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するには計算ノードを再起動する必要があります。Portable DSA または DSA Preboot をインストールする、あるいは DSA Preboot CD イメージをダウンロードするには、<https://support.lenovo.com/solutions/lvno-dsa> にアクセスします。

IPMItool が計算ノードにインストールされている場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示することができます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。IPMItool に関する情報を入手するには、以下のステップを実行してください。

注：Lenovo Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. <https://support.lenovo.com/solutions/serv-dsa> に進みます。
2. 「Linux」をクリックします。
3. 「Linux blueprints」タブをクリックします。
4. 「Blueprints for Linux on IBM systems」または「Blueprints for Linux on Lenovo systems」をクリックしてから、「Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms」または「Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on Lenovo Linux platforms」をクリックします。

次の表は、計算ノードの状態に応じて、イベント・ログの表示に使用できる方法を説明しています。通常、最初の2つの状態の場合は、計算ノードの再起動は不要です。

表 8. イベント・ログを表示する方法

状態	操作
計算ノードはハングしておらず、ネットワークに接続されている。	<p>以下の方法のいずれかを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Web ブラウザーで Chassis Management Module の IP アドレスを入力し、「Event Log」ページに進みます。 • Portable DSA または Installable DSA を実行し、イベント・ログを表示するか、あるいは Lenovo Support に送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用してシステム・イベント・ログを表示します。
計算ノードはハングしておらず、ネットワークに接続されていない。	IPMItool を使用して、ローカル側でシステム・イベント・ログを表示します。
計算ノードがハングしている。	<p>以下の方法のいずれかを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DSA Preboot がインストールされている場合は、計算ノードを再起動し、F2 キーを押して DSA Preboot を開始してイベント・ログを表示します。 • DSA Preboot がインストールされていない場合は、DSA Preboot CD を挿入して計算ノードを再起動し、DSA Preboot を開始してイベント・ログを表示します。 • あるいは、計算ノードを再起動して F1 キーを押し、Setup Utility を開始して POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳細については、72 ページの「Setup Utility からのイベント・ログの表示」を参照してください。

Lenovo Dynamic System Analysis

Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) は、計算ノードの問題の診断に役立つシステム情報の収集および分析を行います。

DSA は、計算ノードに関する以下の情報を収集します。

- Drive Health 情報
- ServeRAID コントローラーおよびシステム管理プロセッサのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
- カーネル・モジュール
- Light path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID およびコントローラー構成
- Integrated Management Module II (IMM2) の状況と構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA は DSA ログを作成します。DSA ログは、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA ログをファイルとしてサポート担当者に送信することも、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することもできます。

マルチノード環境では、各ノードは固有の DSA インターフェースを備えています。これらの固有の DSA インターフェースから、ノード固有の情報 (エラー・ログなど) を表示することができます。

DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、<https://support.lenovo.com/solutions/lvno-dsa> にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

• DSA ポータブル

DSA Portable エディションは、オペレーティング・システム内で実行されます。これを実行するために計算ノードを再起動する必要はありません。これは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後、一時ファイルとフォルダーは自動的に削除され、データ収集および診断の結果が計算ノードに残されます。

計算ノードを始動できる場合は、DSA Portable を使用してください。

• DSA プレブート

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するには計算ノードを再起動する必要があります。このエディションは、Web からダウンロードする ISO イメージとしてパッケージされています。あるいは、計算ノード上でフラッシュ・メモリーとして提供されています。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行すると障害が発生する可能性があります (デバイスのリセットやネットワーク接続性の喪失など)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

計算ノードを再起動できない場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

DSA Preboot は、以下のタスクを実行します。

- システム情報を圧縮 XML ファイルに収集します。ユーザーは、このファイルを Lenovo Support に送信することができます。
- ブート可能イメージを提供します。ユーザーは、このイメージを使用して、オペレーティング・システムやアプリケーションとは無関係に拡張ハードウェア・テストを実行することができます。
- ローカルの VMware ESXi ハイパーバイザー・ソフトウェアからバージョンおよびライセンスの情報を収集します。

DSA Preboot の実行

DSA Preboot を実行するには、この情報を使用します。

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

1. 計算ノードの電源がオンの場合は、電源をオフにします (17 ページの「[計算ノードの電源オフ](#)」を参照)。
2. 必要に応じて、キーボード、モニター、およびマウスをコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに接続し、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを計算ノードに接続します。
3. 計算ノードの電源をオンにします (16 ページの「[計算ノードの電源オン](#)」を参照)。
4. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

5. 「Memory Test」画面で選択可能なアクションから「Quit」を選択します。

注：「Memory Test」画面を終了した後で、再度スタンドアロン・メモリー診断環境にアクセスするには、計算ノードを再起動する必要があります。

6. gui と入力して DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを開始するか、「cmd」を選択して DSA 対話式メニューを表示します。
7. 診断プログラムの画面から実行したいテストを選択し、画面上の指示に従います。詳しくは、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」(<https://support.lenovo.com/solutions/lvno-dsa>) から入手可能)を参照してください。

DSA のヘルプが入手可能です。DSA CLI に関するヘルプについては、コマンド・ラインで `help` と入力します。DSA ユーザー・インターフェースに関するヘルプについては、F1 キーを押します。ヘルプ・パネル内で F1 キーを押すと、追加のオンライン・ドキュメントが表示されます。

診断テキスト・メッセージ

テストの実行中に表示された診断テキスト・メッセージを理解するには、この情報を使用します。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

- **パス**: テストはエラーなしに完了しました。
- **失敗**: テストでエラーが検出されました。
- **User Aborted (ユーザーによる中止)**: ユーザーが、テストを完了前に停止しました。
- **Not Applicable (適用外)**: 計算ノード内に存在しないデバイスのテストを試行しました。
- **Aborted (異常終了)**: 計算ノードの構成が原因で、テストを続行できませんでした。
- **Warning (警告)**: テストを実行できませんでした。テストされていたハードウェアの障害はありませんでしたが、どこかでハードウェア障害があるか、または別の問題でテストを実行できません。例えば、構成の問題があるか、ハードウェアが欠落しているか認識されていません。

結果の次にエラー・コードまたはエラーに関する追加情報があります。

テスト結果の表示

テスト結果を表示するには、この情報を使用します。

テストが完了したら、以下のいずれかの方式を使用してテスト・ログにアクセスできます。

- DSA コマンド・ラインから DSA CLI View コマンドを発行するか、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) から「**Diagnostic Event Log**」オプションを選択します。
- DSA 対話式メニューから、「**getextendedresults**」オプションを選択します。
- DSA 対話式メニューから、「**View**」オプションを選択して、収集された結果およびエラー・ログのデータをすべて表示します。
- DSA GUI で、「**System Information**」ページから「**DSA Error Log**」を選択します。

計算ノードの問題の診断に役立てるために DSA エラー・ログ・ファイルを **Lenovo Support** に送信したり、DSA CLI `copy` コマンドを使用してログを外部デバイスにコピーすることができます。

DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA CPU ストレス・テストのテスト結果

DSA CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **089-000-000** : CPU ストレス・テストに合格しました

CPU ストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **089-801-000** : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、[Lenovo データ・センター・サポート Web サイト \(http://datacentersupport.lenovo.com\)](http://datacentersupport.lenovo.com) でこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 089-802-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 089-803-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 089-804-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 089-901-000 : CPU ストレス・テストが失敗しました

CPU ストレス・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。

6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA メモリー・ストレス・テストのテスト結果

DSA メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 202-000-000 : MemStr テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 202-801-000 : MemStr テストが異常終了しました
内部プログラム・エラー

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 202-802-000 : MemStr テストが異常終了しました

テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 202-803-000 : MemStr テストが異常終了しました

ユーザーが Ctrl-C を押しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **202-901-000 : MemStr テストが失敗しました**

テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行します。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **202-902-000 : MemStr テストが失敗しました**

テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが有効であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup Utility プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを有効にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA メモリー分離テストのテスト結果

DSA メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 201-000-000 : スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました
すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-000-001 : スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました
CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-000-002: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました
CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-000-003: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました
CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-000-004: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました
CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-812-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-812-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-812-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-812-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-813-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-813-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-813-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-813-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-814-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-814-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-814-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-814-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-815-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-815-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-815-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-815-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-819-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-819-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-819-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-819-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-820-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-820-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-820-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-820-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-821-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-821-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-821-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-821-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-824-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-824-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **201-824-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **201-824-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-826-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-826-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-826-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-826-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-827-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-827-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-827-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-827-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-844-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-844-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-844-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-844-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-845-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-845-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-845-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-845-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-859-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)

- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-862-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-862-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-862-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-862-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-863-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-863-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-863-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-863-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-866-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-866-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-866-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 201-866-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-867-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-867-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-867-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-867-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-868-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-868-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-868-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-868-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-869-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-869-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-869-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-869-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-870-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-870-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-870-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-870-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-871-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-871-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-871-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-871-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-877-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-877-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-877-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-877-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-878-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-878-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **201-878-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **201-878-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-885-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-885-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-885-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-885-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-886-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-886-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-886-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-886-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-901-000: スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました
メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-901-001: スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました
メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-901-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました
メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-901-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA 光学式ドライブ・テストのテスト結果

DSA 光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 215-000-000 : 光学式ドライブ・テストに合格しました

光学式ドライブ・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **215-801-000: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました**

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **215-802-000: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました**

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しいCDまたはDVDをドライブに挿入し、メディアが認識されるまで15秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 215-803-000 : 光学式ドライブ・テストが失敗しました

光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システム・アクティビティが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再起動してください。
4. テストを再実行します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 215-804-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで15秒間待ちます。テストを再実行します。
2. 新しいCDまたはDVDをドライブに挿入し、メディアが認識されるまで15秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 215-901-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しいCDまたはDVDをドライブに挿入し、メディアが認識されるまで15秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **215-902-000 : 光学式ドライブ・テストが失敗しました**
光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

リカバリー可能
いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **215-903-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました**
光学式ドライブ・テストが異常終了しました。デバイスにアクセスできませんでした。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。

2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA テープ・ドライブ・テストのテスト結果

DSA テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 264-000-000 : テープ・テストに合格しました

テープ・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 264-901-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-902-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

- 最新レベルの BMC/IMM

• 264-903-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-904-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

3. テストを再実行します。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-905-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-906-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行します。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行します。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 264-907-000 : テープ・テストが失敗しました
ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 264-908-000 : テープ・テストが失敗しました
テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA ハードディスク・ドライブ・テスト結果

ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果

DSA ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 217-000-000 : HDD テストに合格しました

HDD ストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

- 最新レベルの BMC/IMM

• 217-800-000 : HDD テストが異常終了しました

HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハードディスク・ドライブが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 217-900-000 : HDD テストが失敗しました

HDD テストが失敗しました。ハードディスク・ドライブ自己診断テストで障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テスト結果

LSI ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA LSI hard driveoutputfilename=DSA_LSI_hard_drive テストのテスト結果

DSA LSI hard driveoutputfilename=DSA_LSI_hard_drive テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 407-000-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 407-800-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストが異常終了しました
テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 407-900-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストが失敗しました
ハードディスク・ドライブ自己診断テストで障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Nvidia GPU テストのテスト結果

DSA Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 409-000-000 : NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました

NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-003-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストに合格しました
Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-004-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストに合格しました
Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-005-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストに合格しました
Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-006-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストに合格しました
Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-800-000 : NVIDIA ユーザー診断テストが異常終了しました
NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-803-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストが異常終了しました
Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-804-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストが異常終了しました
Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-805-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストが異常終了しました
Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-806-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストが異常終了しました
Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-900-000 : NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました
NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-903-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストが失敗しました
Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-904-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストが失敗しました
Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。

3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-905-000 : `Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix` のテストが失敗しました

Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-906-000 : `Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial` のテストが失敗しました

Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA システム管理テストのテスト結果

DSA システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 166-000-001 : IMM I2C テストに合格しました

IMM I2C テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-801-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

IMM が誤った応答長を返しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-802-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

不明な理由によりテストが完了できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-803-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

ノードは使用中です。後で試行してください。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-804-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

無効なコマンド。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-805-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

指定された LUN に無効なコマンドです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-806-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-807-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

スペース不足。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-808-001 : IMM I2C テストが異常終了しました
予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-809-001 : IMM I2C テストが異常終了しました
リクエスト・データが切り捨てられました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-810-001 : IMM I2C テストが異常終了しました
リクエスト・データの長さが無効です。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-811-001 : IMM I2C テストが異常終了しました
リクエスト・データ・フィールド長の限度を超えています。

リカバリー可能
いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-812-001 : IMM I2C テストが異常終了しました
範囲外のパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-813-001 : IMM I2C テストが異常終了しました
要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-814-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-815-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

要求のデータ・フィールドが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-816-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-817-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-818-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

重複した要求は実行できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-819-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-820-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。デバイスはファームウェア更新モードです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-821-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-822-001 : IMM I2C テストが異常終了しました
宛先が使用不可です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-823-001 : IMM I2C テストが異常終了しました
コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-824-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドを実行できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-901-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM が RTMM バス (BUS 0) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-902-001 : IMM I2C テストが失敗しました
IMM が TPM バス (BUS 1) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-903-001 : IMM I2C テストが失敗しました
IMM が SD バス (BUS 2) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-905-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM が SAS バックプレーン・バス (BUS 4) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-906-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM が Wellsburg バス (BUS 5) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-907-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM が I2C mux バス (BUS 6) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA チェックポイント・パネル・テストのテスト結果

DSA チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **180-000-000 : チェックポイント・パネル・テストに合格しました**

チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **180-801-000 : チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました**

チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行します。

4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **180-901-000 : チェックポイント・パネル・テストが失敗しました**

チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行します。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Broadcom ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **405-000-000 : BRCM:TestControlRegisters のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-001-000 : BRCM:TestMIRegisters のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-002-000 : BRCM:TestEEPROM のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-003-000 : BRCM:TestInternalMemory のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-004-000 : BRCM:TestInterrupt のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-005-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-006-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-007-000 : BRCM:TestLEDs のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-800-000 : BRCM:TestControlRegisters のテストが異常終了しました
制御レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-801-000 : BRCM:TestMIRegisters のテストが異常終了しました
MII レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-802-000 : BRCM:TestEEPROM のテストが異常終了しました
EEPROM テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-803-000 : BRCM:TestInternalMemory のテストが異常終了しました
内部メモリー・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-804-000 : BRCM:TestInterrupt テストが異常終了しました
割り込みテストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-805-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストが異常終了しました
MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-806-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical のテストが異常終了しました
物理層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-807-000 : BRCM:TestLEDs のテストが異常終了しました
ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-900-000 : BRCM:TestControlRegisters のテストが失敗しました
内部 MAC レジスタのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-901-000 : BRCM:TestMIRegisters のテストが失敗しました
内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-902-000 : BRCM:TestEEPROM のテストが失敗しました

不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **405-903-000 : BRCM:TestInternalMemory のテストが失敗しました**

内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)

- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-904-000 : BRCM:TestInterrupt のテストが失敗しました
割り込みのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-905-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストが失敗しました
BRCM:TestLoopbackMAC のテストが失敗しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-906-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical のテストが失敗しました
物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-907-000 : BRCM:TestLEDs のテストが失敗しました
状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Brocade テストのテスト結果

DSA Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 218-000-000 : Brocade:MemoryTest に合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-001-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest に合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-002-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest に合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-003-000 : Brocade:PCILoopbackTest に合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-004-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest に合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-005-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest に合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-006-000 : Brocade:InternalLoopbackTest に合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-800-000 : Brocade:MemoryTest が異常終了しました
テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-801-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest が異常終了しました
テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-802-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest が異常終了しました
テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-803-000 : Brocade:PCILoopbackTest が異常終了しました**

テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-804-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest が異常終了しました**

テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-805-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest が異常終了しました**

テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-806-000 : Brocade:InternalLoopbackTest が異常終了しました
テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-900-000 : Brocade:MemoryTest が失敗しました
アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-901-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest が失敗しました**

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-902-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest が失敗しました**

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。

- 4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-903-000 : Brocade:PCILoopbackTest が失敗しました
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-904-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest が失敗しました
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。

2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-905-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest が失敗しました**
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-906-000 : Brocade:InternalLoopbackTest が失敗しました**
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Emulex アダプター・テストのテスト結果

DSA Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **516-000-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest にパスしました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **516-001-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest にパスしました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-002-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test にパスしました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-800-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が異常終了しました
MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-801-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が異常終了しました
物理層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-802-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が異常終了しました
ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-900-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が失敗しました
MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **516-901-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が失敗しました**

物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **516-902-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が失敗しました**

状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Mellanox アダプター・テストのテスト結果

DSA Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 408-000-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort のテストに合格しました
ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-001-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort のテストに合格しました
ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-800-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort のテストが異常終了しました
ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-801-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort のテストが異常終了しました
ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-900-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort のテストが失敗しました
ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-901-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort のテストが失敗しました
ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA EXA ポート ping テストのテスト結果

DSA EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 401-000-000 : EXA ポート ping テストに合格しました

EXA ポート ping テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 401-801-000 : EXA ポート ping テストが異常終了しました

EXA ポート ping テストが異常終了しました。デバイス基底アドレスを取得できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 401-802-000 : EXA ポート ping テストが異常終了しました

EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 401-901-001 : EXA ポート ping テストが失敗しました

EXA ポート ping テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティ・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティ・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Intel ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 406-000-000 : IANet:Registers のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-001-000 : IANet:EEPROM のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-002-000 : IANet:FIFO のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-003-000 : IANet:Interrupts のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-004-000 : IANet:Loopback のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-800-000 : IANet:Registers のテストが異常終了しました
レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-801-000 : IANet:EEPROM のテストが異常終了しました
EEPROM テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-802-000 : IANet:FIFO のテストが異常終了しました
FIFO テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-803-000 : IANet:Interrupts のテストが異常終了しました
割り込みテストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-804-000 : IANet:Loopback のテストが異常終了しました
ループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-900-000 : IANet:Registers のテストが失敗しました
レジスター・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-901-000 : IANet:EEPROM のテストが失敗しました
EEPROM テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-902-000 : IANet:FIFO のテストが失敗しました
FIFO テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-903-000 : IANet:Interrupts のテストが失敗しました
割り込みテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネットデバイスが割り込みを共有している場合は、可能であれば、F1 セットアップを使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをそのデバイスに割り当てます。

4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-904-000 : IANet:Loopback のテストが失敗しました
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo データ・センター・サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

イベント・メッセージ

この情報を使用して、イベント・メッセージを確認し、多くのエラーを解決することができます。

注：通信エラーに関連した IMM イベントおよび UEFI イベントが CMM イベント・ログに示されるのに最大 20 分かかる可能性があります。

CMM イベント・ログ内のイベント・メッセージを表示する場合は、現在起きている問題に関連して、以前に発生しているイベントがログの中にあるか探してください。例えば、マイクロプロセッサ・パ

ス・エラーのイベントが表示される場合は、そのエラーの原因となった可能性がある別のメモリー関連エラーを探します。

IMM メッセージ

Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード上の IMM によってハードウェア・イベントが検出されると、IMM は、計算ノードのシステム・イベント・ログにそのイベントを記録します。さらに、IMM は、そのイベントを CMM、および Lenovo XClarity Administrator (インストールされている場合) または Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) に送信します。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。システム・イベント・ログにイベント文字列が表示されている場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、この追加情報を変数で示します ([arg1]、[arg2] など)。

説明

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度

状態の懸念度が示されます。システム・イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

- **通知:** このイベントは、監査目的で記録されました。ユーザー処置や正常な状態変更であるのが一般的です。
- **警告:** このイベントは、エラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
- **エラー:** このイベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

severity - device component

重大度は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

デバイス・コンポーネントは、イベントが生成される原因となった計算ノード内の特定のデバイスです。

保守可能

問題を解決するためにユーザー処置が必要かどうかを示します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーが使用するメッセージ ID のプレフィックスおよびシーケンス番号です。

SNMP Trap ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP trap ID。

自動的にサポートに通知

このフィールドが「はい」に設定されている場合、Lenovo XClarity Administrator (インストールされている場合) 上のコール・ホームまたは Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) 上の Electronic Service Agent (ESA) が有効に設定されており、イベントが生成されると、自動的に Lenovo Support に通知されます。

Lenovo XClarity Administrator または Flex System Manager 管理ソフトウェアがインストールされていない場合、CMM Web インターフェースから Lenovo Support の自動通知を有効にすることができます。

Lenovo サポートからの連絡を待つ間に、そのイベントに対する推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答

イベントを解決するためにユーザーが実行する必要がある操作です。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、Lenovo サポートにお問い合わせください。

注：このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

IMM イベントのリスト

このセクションでは、IMM から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- 40000001-00000000 : 管理コントローラー [arg1] でネットワークの初期化が完了しました。() このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了したユース・ケースに使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID
37

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0001

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000002-00000000 : 証明機関 [arg1] が [arg2] 証明書エラーを検出しました。() このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがあるユース・ケースに使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - SSL 認証

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0002

ユーザー応答

インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

- 40000003-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネット・データ転送速度が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0003

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000004-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネット二重化設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0004

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000005-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネット MTU 設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0005

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000006-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネットのローカル管理 MAC アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0006

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000007-00000000 : ユーザー [arg2] によってイーサネット・インターフェースが [arg1] になりました。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを有効または無効にした場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0007

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000008-00000000 : ユーザー [arg2] によってホスト名が [arg1] に設定されました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更するユース・ケースに使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0008

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000009-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0009

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000a-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0010

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000b-00000000 : ユーザー [arg3] によってデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルト・ゲートウェイ IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0011

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000c-00000000 : [arg2] によって OS ウォッチドッグ応答が [arg1] になりました。()

このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが有効または無効にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0012

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000d-00000000 : DHCP [[arg1]] でエラーがありました。IP アドレスが割り当てられていません。() このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができないユース・ケースに使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0013

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。

- 4000000e-00000000 : リモート・ログインに成功しました。IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID: [arg1] です。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID
30

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0014

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000f-00000000 : ユーザー [arg3] がサーバー [arg2] を [arg1] にしようとしています。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行しているユース・ケースに使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0015

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000010-00000000 : セキュリティー : ユーザー ID : [arg1] によって IP アドレス [arg3] の WEB クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。()

このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0016

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- 40000011-00000000 : セキュリティー : ログイン ID : [arg1] によって [arg3] の CLI から [arg2] 回のログイン障害が発生しました。()

このメッセージは、ユーザーがレガシー CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0017

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- 40000012-00000000 : リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。P アドレス [arg2] の Web ブラウザーからの Userid は [arg1] です。()

このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかったユース・ケースに使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0018

ユーザー応答

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- 40000013-00000000 : リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の TELNET クライアントからの Userid は [arg1] です。()

このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0019

ユーザー応答

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- 40000014-00000000 : システム [arg2] の [arg1] はユーザー [arg3] によってクリアされました。 ()
このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去されたユース・ケースに使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0020

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000015-00000000 : ユーザー [arg2] によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。 ()

このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始されたユース・ケースに使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0021

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000016-00000000 : ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7].0

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられたユース・ケースに使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0022

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000017-00000000 : ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5].0

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられたユース・ケースに使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0023

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000018-00000000 : LAN : イーサネット [[arg1]] インターフェースはアクティブではなくなりました。()

このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなったユース・ケースに使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0024

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000019-00000000 : LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースがアクティブになりました。()

このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになったユース・ケースに使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0025

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000001a-00000000 : ユーザー [arg2] によって DHCP 設定が [arg1] に変更されました。() このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0026

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000001b-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元したユース・ケースに使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0027

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000001c-00000000 : ウォッチドッグ [arg1] のスクリーン・キャプチャーが発生しました。()

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされたユース・ケースに使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0028

ユーザー応答

オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。

オペレーティング・システム・エラーがあった場合は、インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- 4000001d-00000000 : ウォッチドッグ [arg1] がスクリーン・キャプチャーに失敗しました。()

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、スクリーン・キャプチャーが失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0029

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
5. IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- 4000001e-00000000 : バックアップ管理コントローラー [arg1] のメイン・アプリケーションを実行中です。()

このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いたユース・ケースに使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0030

ユーザー応答

IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- 4000001f-00000000 : 管理コントローラー [arg1] が正しいファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。()

このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しないユース・ケースに使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0031

ユーザー応答

IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- 40000020-00000000 : デフォルト値を復元するため、管理コントローラー [arg1] のリセットが発生しました。()

このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされたユース・ケースに使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0032

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000021-00000000 : 管理コントローラー [arg1] の時計が NTP サーバー [arg2] から設定されています。()

このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定されたユース・ケースで使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0033

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000022-00000000 : 管理コントローラー [arg1] 構成データの SSL データは無効です。構成データ領域をクリアし、SSL を無効にしています。()

このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしているユース・ケースで使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0034

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

- 40000023-00000000 : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに成功しました。()

このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ、またはリモート拡張ユニットのプロセッサ) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

4000002300000000 または 0x4000002300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0035

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000024-00000000 : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに失敗しました。()

このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかったユース・ケースに使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0036

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000025-00000000 : システム [arg2] の [arg1] は 75% 使用中です。()

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルであるユー
ス・ケースに使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - イベント・ログ 75% フル

SNMP Trap ID

35

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0037

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000026-00000000 : システム [arg2] の [arg1] は 100% 使用中です。()

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルであるユー
ス・ケースに使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - イベント・ログ 75% フル

SNMP Trap ID

35

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0038

ユーザー応答

古いログ項目がなくならないようにするには、古いログをテキスト・ファイルとして保存し、そのログを消去します。

- 40000027-00000000 : [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。() このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - OS タイムアウト

SNMP Trap ID

21

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0039

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- 40000028-00000000 : [arg1] によって管理コントローラーのテスト・アラートが生成されました。() このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成したユース・ケースに使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0040

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000029-00000000 : セキュリティー : ユーザー ID : [arg1] によって IP アドレス [arg3] の SSH クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。()

このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0041

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- 4000002a-00000000 : [arg1] ファームウェアがシステム [arg2] と内部で一致しません。[arg3] ファームウェアのフラッシュを試みてください。()

このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0042

ユーザー応答
IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

- 4000002b-00000000 : ドメイン名が [arg1] に設定されました。 ()
ユーザーによってドメイン名が設定されました。
4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0043

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002c-00000000 : ユーザー [arg2] によってドメイン・ソースが [arg1] に変更されました。 ()
ドメイン・ソースがユーザーによって変更されました。
4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0044

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002d-00000000 : ユーザー [arg2] によって DDNS 設定が [arg1] に変更されました。() DDNS 設定がユーザーによって変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0045

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002e-00000000 : DDNS の登録が正常に完了しました。ドメイン名は [arg1] です。() DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0046

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002f-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 が有効にされました。 ()
ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。
4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0047

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000030-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 が無効にされました。 ()
ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。
4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0048

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000031-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が有効にされました。() ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0049

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000032-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が有効にされました。() ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0050

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000033-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が有効化されました。() ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0051

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000034-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が無効化されました。() ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0052

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000035-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が無効にされました。() ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0053

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000036-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が無効化されました。() ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0054

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000037-00000000 : ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal :HstName=[arg2], IP@[arg3], Pref=[arg4].() IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0055

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000038-00000000 : ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].0

IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0056

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000039-00000000 : ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].0

IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0057

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003a-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IPv6 静的アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 静的アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0058

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003b-00000000 : DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。()
DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0059

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

- 4000003c-00000000 : [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。 ()
実装環境で OS ローター・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。
4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

System - ローター・タイムアウト

SNMP Trap ID

26

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0060

ユーザー応答

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- 4000003d-00000000 : ユーザー [arg3] によって Telnet ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0061

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003e-00000000 : ユーザー [arg3] によって SSH ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0062

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003f-00000000 : ユーザー [arg3] によって Web-HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0063

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000040-00000000 : ユーザー [arg3] によって Web-HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0064

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000041-00000000 : ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0065

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000042-00000000 : ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0066

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000043-00000000 : ユーザー [arg3] によって SNMP エージェント・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0067

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000044-00000000 : ユーザー [arg3] によって SNMP トラップのポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0068

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000045-00000000 : ユーザー [arg3] によって Syslog ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0069

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000046-00000000 : ユーザー [arg3] によってリモート・プレゼンス・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0070

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000047-00000000 : [arg3] によって LED の [arg1] 状態が [arg2] に変更されました。()

ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0071

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000048-00000000 : デバイス [arg1] のインベントリー・データが変更されました。新しいデバイス・データ・ハッシュ=[arg2]、新しいマスター・データ・ハッシュ=[arg3] です。()

何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0072

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000049-00000000 : ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が有効にされました。() ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0073

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004a-00000000 : ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が無効にされました。() ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。
4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0074

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004b-00000000 : ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。() ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。
4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0075

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004c-00000000 : ユーザー [arg1] によって LDAP サーバー構成が設定されました。 SelectionMethod=[arg2]、DomainName=[arg3]、Server1=[arg4]、Server2=[arg5]、Server3=[arg6]、Server4=[arg7] です。()

ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0076

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004d-00000000 : ユーザー [arg1] によって LDAP が設定されました。 RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、EnhancedRBS=[arg5]、TargetName=[arg6]、GroupFilter=[arg7]、GroupAttribute=[arg8]、LoginAttribute=[arg9] です。()

ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0077

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004e-00000000 : ユーザー [arg1] によってシリアル・リダイレクトが設定されました。Mode=[arg2]、BaudRate=[arg3]、StopBits=[arg4]、Parity=[arg5]、SessionTerminateSequence=[arg6] です。()

ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0078

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004f-00000000 : ユーザー [arg1] によって日付と時刻が設定されました。Date=[arg2]、Time=[arg3]、DST Auto-adjust=[arg4]、Timezone=[arg5] です。()

ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0079

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000050-00000000 : ユーザー [arg1] によってサーバー全般設定が設定されました。Name=[arg2]、Contact=[arg3]、Location=[arg4]、Room=[arg5]、RackID=[arg6]、Rack U-position=[arg7] です。() ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0080

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000051-00000000 : ユーザー [arg2] によってサーバーの電源オフ遅延が [arg1] に設定されました。() ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0081

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000052-00000000 : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が [arg2] 日の [arg3] 時にスケジュールされました。()

ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0082

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000053-00000000 : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が毎週 [arg2] の [arg3] 時にスケジュールされました。()

ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0083

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000054-00000000 : ユーザー [arg3] によってサーバーの [arg1] [arg2] がクリアされました。() ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0084

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000055-00000000 : ユーザー [arg1] によって同期時刻が設定されました。Mode=[arg2]、NTPServerHost1=[arg3]:[arg4]、NTPServerHost2=[arg5]:[arg6]、NTPServerHost3=[arg7]:[arg8]、NTPServerHost4=[arg9]:[arg10]、NTPUpdateFrequency=[arg11] です。()

ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0085

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000056-00000000 : ユーザー [arg1] によって SMTP サーバーが [arg2]:[arg3] に設定されました。() ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0086

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000057-00000000 : ユーザー [arg2] による Telnet [arg1] です。()

ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0087

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000058-00000000 : ユーザー [arg1] によって DNS サーバーが設定されました。UseAdditionalServers=[arg2]、PreferredDNStype=[arg3]、IPv4Server1=[arg4]、IPv4Server2=[arg5]、IPv4Server3=[arg6]、IPv6Server1=[arg7]、IPv6Server2=[arg8]、IPv6Server3=[arg9] です。() ユーザーが DNS サーバーを構成します。
4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0088

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000059-00000000 : ユーザー [arg2] による LAN over USB [arg1] です。() ユーザーが、USB-LAN を構成しました。
4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0089

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005a-00000000 : ユーザー [arg1] によって LAN over USB ポート転送設定が設定されました。ExternalPort=[arg2]、USB-LAN port=[arg3] です。()

ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0090

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005b-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュア Web サービス (HTTPS) [arg1] です。() ユーザーが、セキュア Web サービスを有効または無効にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0091

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005c-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュア CIM/XML(HTTPS) [arg1] です。 () ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。
4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0092

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005d-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュア LDAP [arg1] です。 () ユーザーが、セキュア LDAP サービスを有効または無効にしました。
4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0093

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005e-00000000 : ユーザー [arg2] によって SSH [arg1] が無効にされました。() ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0094

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005f-00000000 : ユーザー [arg1] によってサーバーのタイムアウトが設定されました。 EnableOSWatchdog=[arg2]、OSWatchdogTimeout=[arg3]、EnableLoaderWatchdog=[arg4]、LoaderTimeout=[arg5] です。()

ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0095

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000060-00000000 : ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが追加されました。 ()
ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0096

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000061-00000000 : ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが削除されました。 ()
ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0097

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000062-00000000 : ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの全般設定が設定されました。
AuthenticationMethod=[arg2]、LockoutPeriod=[arg3]、SessionTimeout=[arg4] です。 ()

ユーザーが、グローバル・ログインの共通設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0098

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000063-00000000 : ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインのアカウント・セキュリティが設定されました。PasswordRequired=[arg2]、PasswordExpirationPeriod=[arg3]、MinimumPasswordReuseCycle=[arg4]、MinimumPasswordLength=[arg5]、MinimumPasswordChangeInterval=[arg6]、MaxmumLoginFailures=[arg7]、LockoutAfterMaxFailures=[arg8] です。()

ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティ設定を「レガシー」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0099

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000064-00000000 : ユーザー [arg1] が作成されました。()

ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0100

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000065-00000000 : ユーザー [arg1] が削除されました。()

ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0101

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000066-00000000 : ユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。()

ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0102

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000067-00000000 : ユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。 () ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0103

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000068-00000000 : ユーザー [arg1] のカスタム権限が設定されました : [arg2]。 () ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0104

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000069-00000000 : SNMPv3 セットにおけるユーザー [arg1] : AuthenticationProtocol=[arg2]、PrivacyProtocol=[arg3]、AccessType=[arg4]、HostforTraps=[arg5] です。()

ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0105

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006a-00000000 : SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] に追加されました。()
ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0106

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006b-00000000 : SSH クライアント・キーが [arg2] からユーザー [arg1] にインポートされました。()

ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0107

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006c-00000000 : SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] から削除されました。()

ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0108

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006d-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルに保存されました。()

ユーザーが管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0109

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006e-00000000 : ユーザー [arg1] によってアラート構成のグローバル・イベント通知が設定されました。RetryLimit=[arg2]、RetryInterval=[arg3]、EntryInterval=[arg4] です。()

ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0110

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006f-00000000 : アラート受信者番号 [arg1] が更新されました。Name=[arg2]、DeliveryMethod=[arg3]、Address=[arg4]、IncludeLog=[arg5]、Enabled=[arg6]、EnabledAlerts=[arg7]、AllowedFilters=[arg8] です。()

ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0111

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000070-00000000 : ユーザー [arg1] によって SNMP トラップが有効にされました。EnabledAlerts=[arg2]、AllowedFilters=[arg3] です。()

ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0112

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000071-00000000 : ユーザー [arg3] によって電源キャップ値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。()

電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0113

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000072-00000000 : 電源キャップの最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。()
電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0114

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000073-00000000 : 電源キャップの最大値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。() 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0115

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000074-00000000 : 電源キャップ値のソフト最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。()

ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0116

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000075-00000000 : 計測電力値が電源キャップ値を超えました。() 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0117

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000076-00000000 : 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。() 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0118

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000077-00000000 : ユーザー [arg1] によって電源キャップがアクティブ化されました。() 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0119

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000078-00000000 : ユーザー [arg1] によって電源キャップが非アクティブ化されました。() 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0120

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000079-00000000 : ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオンにされました。 () ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0121

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007a-00000000 : ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオフにされました。 () ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0122

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007b-00000000 : ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオンにされました。 () ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0123

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007c-00000000 : ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオフにされました。() ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0124

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007d-00000000 : 電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。() 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0125

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007e-00000000 : 外部スロットルが発生しました。()

外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0126

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007f-00000000 : 電源キャップ・スロットルが発生しました。()

電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000080-00000000 : ユーザー [arg1] によってリモート制御セッションが [arg2] モードで開始されました。()

リモート制御セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0128

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000081-00000000 : ユーザー [arg1] によって PXE ブートが要求されました。()

PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0129

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000082-00000000 : 計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。() 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000083-00000000 : 新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。() 最小電力上限が、回復された電力上限を超えています。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0131

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000084-00000000 : IMM ファームウェアがノード [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。()

ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0132

ユーザー応答

すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

- 40000085-00000000 : FPGA ファームウェアがノード [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。()

ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0133

ユーザー応答

すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

- 40000086-00000000 : ユーザー [arg1] によってテスト・コール・ホームが生成されました。 () ユーザーによって、テスト用のコール・ホームが生成されました。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0134

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000087-00000000 : ユーザー [arg1] による手動コール・ホーム : [arg2]。 () ユーザーによる手動コール・ホーム

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0135

ユーザー応答

IBM Support が問題に対応します。

- 40000088-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了しました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0136

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000089-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了できませんでした。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0137

ユーザー応答

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行します。

- 4000008a-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を開始できませんでした。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0138

ユーザー応答

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行します。

- 4000008b-00000000 : ストレージ [arg1] が変更されました。()

このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更されたユース・ケースに使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0139

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **80010202-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(SysBrd 12V)**

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

800102020701ffff または 0x800102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

指定されたセンサーが CMOS バッテリーの場合は、システム・バッテリーを交換してください。
指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ)
システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決す
るまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプ
ライ番号)

SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- **80010202-2801ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(CMOS バッテリー)**

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800102022801ffff または 0x800102022801ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

指定されたセンサーが CMOS バッテリーの場合は、システム・バッテリーを交換してください。
指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

- 80010701-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107012d01ffff または 0x800107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 80010701-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(入口温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107013701ffff または 0x800107013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 80010901-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

800109012d01ffff または 0x800109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・
バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取
り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サー
バーの機能および仕様』を参照)。
 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **80010901-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上
回ったことが検出されました。(入口温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

800109013701ffff または 0x800109013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 80010902-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(SysBrd 12V)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109020701ffff または 0x800109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- 80010b01-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

80010b012d01ffff または 0x80010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・
バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取
り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サー
バーの機能および仕様』を参照)。
 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **80010b01-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上
回ったことが検出されました。(入口温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

80010b013701ffff または 0x80010b013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- 80030006-2101ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(署名検査の失敗)
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。
800300062101ffff または 0x800300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8003010c-2581ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(純正以外の DIMM)
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
8003010c2581ffff または 0x8003010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

- **8003010e-2581ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(メモリーのサイズ変更)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

8003010e2581ffff または 0x8003010e2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

- **8003010f-2101ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(IMM FW の破損)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

8003010f2101ffff または 0x8003010f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

- **80030112-0601ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(SMM モード)**
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
800301120601ffff または 0x800301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

SMM モニター:

- **80030118-1701ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(無効な NEB 構成)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
800301181701ffff または 0x800301181701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

- **80030121-0782ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800301210782ffff または 0x800301210782ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

- **8007000d-3030ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態に遷移しました。(ROMB ポリウム)**

このメッセージは、センサーが通常の状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007000d3030ffff または 0x8007000d3030ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0518

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **80070101-0301ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701010301ffff または 0x800701010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. 取り付けられているマイクロプロセッサが Intel E5-2690 であることを確認します。
2. 室温を摂氏 27 度未満に下げてください。

- **80070101-0302ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(CPU 2 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701010302ffff または 0x800701010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. 取り付けられているマイクロプロセッサが Intel E5-2690 であることを確認します。
2. 室温を摂氏 27 度未満に下げてください。

- **80070101-0f02ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(M5215 RAID 温度)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701010f02ffff または 0x800701010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. 取り付けられているマイクロプロセッサが Intel E5-2690 であることを確認します。
2. 室温を摂氏 27 度未満に下げてください。

- **80070101-2c01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に移りました。(メザニン拡張 1 温度)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701012c01ffff または 0x800701012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. 取り付けられているマイクロプロセッサが Intel E5-2690 であることを確認します。
2. 室温を摂氏 27 度未満に下げてください。

- **80070101-2c02ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に移りました。(メザニン拡張 2 温度)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701012c02ffff または 0x800701012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. 取り付けられているマイクロプロセッサが Intel E5-2690 であることを確認します。
2. 室温を摂氏 27 度未満に下げてください。

- 8007010d-3030ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。(ROMB ボリューム)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010d3030ffff または 0x8007010d3030ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

なし

- 8007010f-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。(GPT ステータス)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010f2201ffff または 0x8007010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定「ディスク GPT リカバリー」を「自動」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

- **8007010f-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に遷移しました。(I/O リソース)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010f2582ffff または 0x8007010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定「ディスク GPT リカバリー」を「自動」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

- 80070112-0b01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(RAID 警告ログ)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701120b01ffff または 0x800701120b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

なし

- 80070114-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に遷移しました。(TPM ロック)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701142201ffff または 0x800701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。
 2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。
 3. システムをリブートします。
 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。
- TPM 物理プレゼンス設定:

- **80070117-0f02ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(M5215 RAID 障害)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701170f02ffff または 0x800701170f02ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
なし

- **80070128-2e01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に遷移しました。(ME リカバリー)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701282e01ffff または 0x800701282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
なし

- 80070202-0701ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(SysBrd 電圧障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702020701ffff または 0x800702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID
1

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 8007020d-3030ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(ROMB ボリューム)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020d3030ffff または 0x8007020d3030ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答
なし

- 8007020f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(TXT ACM モジュール)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020f2201ffff または 0x8007020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. TXT を有効化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を無効にします。
2. TXT を有効化する必要がある場合は、Setup Utility から TPM が有効でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当者にお問い合わせください。

- 8007020f-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(I/O リソース)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020f2582ffff または 0x8007020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. TXT を有効化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を無効にします。
2. TXT を有効化する必要がある場合は、Setup Utility から TPM が有効でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

- **80070212-0b02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(RAID エラー・ログ)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702120b02ffff または 0x800702120b02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答
なし

- 80070217-0f02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(M5215 RAID バッテリー)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702170f02ffff または 0x800702170f02ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答
M5215 RAID 障害なし:

- 80070217-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(メザニン拡張 1 の障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702172c01ffff または 0x800702172c01ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答
なし

- 80070217-2c02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(メザニン拡張 2 の障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702172c02ffff または 0x800702172c02ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答
なし

- 80070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(システム・ボード障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702190701ffff または 0x800702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
 2. システム・イベント・ログを確認します。
 3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 4. AC 電源コードのプラグをいったん抜いてから元に戻し、ステップ 1 と 2 を再度実行します。
 5. 引き続き問題が発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **8007021b-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(CPU 1 QPILinkErr)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007021b0301ffff または 0x8007021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
 2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。
 3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。
- **8007021b-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(CPU 2 QPILinkErr)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007021b0302ffff または 0x8007021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。
3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。

- **80070228-2e01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(ME エラー)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702282e01ffff または 0x800702282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

なし。ME フラッシュ・エラー:

- **80070301-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703010301ffff または 0x800703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

- **80070301-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(CPU 2 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703010302ffff または 0x800703010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- 80070301-0f02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(M5215 RAID 温度)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703010f02ffff または 0x800703010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。

3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070301-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(メザニン拡張 1 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703012c01ffff または 0x800703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070301-2c02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(メザニン拡張 2 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703012c02ffff または 0x800703012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアークラウドが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- 8007030d-3030ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(ROMB ボリューム)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007030d3030ffff または 0x8007030d3030ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

なし

- 80070319-2201ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(S3 再開失敗)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703192201ffff または 0x800703192201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

なし

- 80070401-0f02ffff: センサー [SensorElementName] がより重大な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。(M5215 RAID 温度)

このメッセージは、センサーが重大度の高い状態からクリティカルでない状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800704010f02ffff または 0x800704010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0526

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 80070401-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がより重大な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。(メザニン拡張 1 温度)

このメッセージは、センサーが重大度の高い状態からクリティカルでない状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800704012c01ffff または 0x800704012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0526

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 80070401-2c02ffff: センサー [SensorElementName] がより重大な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。(メザニン拡張 2 温度)

このメッセージは、センサーが重大度の高い状態からクリティカルでない状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800704012c02ffff または 0x800704012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0526

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 80070601-0f02ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。
(M5215 RAID 温度)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

800706010f02ffff または 0x800706010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

なし

- 80070601-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。
(メザニン拡張 1 温度)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

800706012c01ffff または 0x800706012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

なし

- 80070601-2c02ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。
(メザニン拡張 2 温度)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800706012c02ffff または 0x800706012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

なし

- 8007060f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。
(BOFM 構成エラー)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007060f2201ffff または 0x8007060f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

なし

- 80070614-2201ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。(TPM 物理プレゼンス設定)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

800706142201ffff または 0x800706142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (「シ
ステム・ボードの取り外し」および「システム・ボードの取り付け」を参照)。

- 80070617-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。(メ
ザニン拡張 1 の障害)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

800706172c01ffff または 0x800706172c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答
なし

- 80070617-2c02ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。(メザニン拡張 2 の障害)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800706172c02ffff または 0x800706172c02ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答
なし

- 80080017-0f01ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SAS BP)

ハード・ディスク・バックプレーンがありません。システムはハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付けを検出できませんでした。

800800170f01ffff または 0x800800170f01ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答

ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けます。

- 8008010f-2101ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(物理プレゼンス・ジャンパー)

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8008010f2101ffff または 0x8008010f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 80080128-2101ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(低セキュリティー・ジャンパー)

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800801282101ffff または 0x800801282101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8009000c-0701ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が無効されました。(パフォーマンス・モード)

このメッセージは、デバイスが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8009000c0701ffff または 0x8009000c0701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0539

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8009010c-0701ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が有効にされました。(パフォーマンス・モード)

このメッセージは、実装環境でデバイスが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

8009010c0701ffff または 0x8009010c0701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0538

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 80090112-2101ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が有効にされました。(IPMI/SNMP アカウント)

このメッセージは、実装環境でデバイスが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

800901122101ffff または 0x800901122101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0538

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 800b010c-2581ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失が検出されました。(バックアップ・メモリー)

このメッセージは、冗長性が失われたことが表明されたユース・ケースに使用されます

800b010c2581ffff または 0x800b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. Setup Utility でミラーリングを再度有効にしてください。

- 800b030c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」が検出されました。(バックアップ・メモリー)

このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化したユース・ケースに使用されます。

800b030c2581ffff または 0x800b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0806

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. Setup Utility でミラーリングを再度有効にしてください。

- 800b050c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。(バックアップ・メモリー)

このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性なし: リソース不足」状態に移行した場合に使用されます。

800b050c2581ffff または 0x800b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. Setup Utility でミラーリングを再度有効にしてください。

● **806f0007-0301ffff: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。(CPU 1)**

このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出したユーザー・ケースに使用されます。

806f00070301ffff または 0x806f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0007-0302ffff**: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。(CPU 2)

このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出したユーザ・ケースに使用されます。

806f00070302ffff または 0x806f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバを最新レベルに更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0007-2584ffff**: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。(すべての CPU)

このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出したユーザ・ケースに使用されます。

806f00072584ffff または 0x806f00072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバを最新レベルに更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1 つの CPU :

- 806f0009-0701ffff: [PowerSupplyElementName] が電源オフになっています。(ホスト電源)
このメッセージは、実装環境で無効にされた電源装置が検出された場合に表示されます。
806f00090701ffff または 0x806f00090701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - 電源オフ

SNMP Trap ID

23

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0106

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0400ffff: [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 0)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0400ffff または 0x806f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0401ffff: [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 1)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0401ffff または 0x806f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0402ffff : [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0402ffff または 0x806f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0403ffff : [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0403ffff または 0x806f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0404ffff: [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0404ffff または 0x806f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0405ffff: [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 5)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0405ffff または 0x806f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0406ffff : [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0406ffff または 0x806f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0407ffff : [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0407ffff または 0x806f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000f-220101ff: システム [ComputerSystemElementName] は、システムにメモリーがないことを検出しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユーザー・ケースに表示されます。

806f000f220101ff または 0x806f000f220101ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0794

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- 806f000f-220102ff: サブシステム [MemoryElementName] に、操作に十分なメモリーがありません。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で使用可能メモリーが動作には不十分であることが検出されたユーザー・ケースに表示されます。

806f000f220102ff または 0x806f000f220102ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0132

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

- **806f000f-220103ff**：システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。リカバリー不能なブート・デバイスの障害です。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なブート・デバイス障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220103ff または 0x806f000f220103ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0770

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

- **806f000f-220104ff**：システム [ComputerSystemElementName] でマザーボードの障害が発生しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

806f000f220104ff または 0x806f000f220104ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0795

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- **806f000f-220107ff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。リカバリー不能なキーボード・エラーです。(ABR ステータス)**

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なキーボード障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220107ff または 0x806f000f220107ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0764

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- **806f000f-22010aff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。ビデオ・デバイスが検出されませんでした。(ABR ステータス)**

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラー (ビデオ・デバイスが見つかりません) の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f22010aff または 0x806f000f22010aff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0766

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- 806f000f-22010bff: POST 中にシステム [ComputerSystemElementName] でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。(ABR ステータス)

POST 中に、システム上でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。

806f000f22010bff または 0x806f000f22010bff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0850

ユーザー応答

1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再起動します。b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に1つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- **806f000f-22010cff**: [ProcessorElementName] で CPU 電圧不一致が検出されました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で CPU 電圧とソケット電圧のミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f22010cff または 0x806f000f22010cff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0050

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- **806f000f-2201ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で POST エラーが発生しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0184

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

- 806f0013-1701ffff：システム [ComputerSystemElementName] で診断割り込みが発生しました。(NMI 状態)

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f00131701ffff または 0x806f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0222

ユーザー応答

NMI ボタンを押していない場合は、以下の手順を実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
3. オペレーター情報パネルを交換します。

- 806f0021-2201ffff：システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(Op ROM スペースなし)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00212201ffff または 0x806f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 806f0021-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCIe エラー)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00212582ffff または 0x806f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。

2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 806f0023-2101ffff: [WatchdogElementName] のウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101ffff または 0x806f00232101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0368

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f0028-2101ffff: 管理システム [ComputerSystemElementName] で [SensorElementName] が使用不可または機能低下状態です。(TPM コマンド障害)

このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f00282101ffff または 0x806f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0398

ユーザー応答

1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サーバーを再起動します。
2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• 806f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。(CPU 1)

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が検出されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01070301ffff または 0x806f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エア・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

• 806f0107-0302ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。(CPU 2)

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が検出されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01070302ffff または 0x806f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エア・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
 2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
- 806f0107-2584ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。(すべての CPU)
このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が検出されたことが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f01072584ffff または 0x806f01072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エア・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

1 つの CPU :

- **806f0109-0701ffff**: [PowerSupplyElementName] が電源再投入されました。(ホスト電源)

このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01090701ffff または 0x806f01090701ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0108

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f010c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2001ffff または 0x806f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
 2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- 806f010c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2002ffff または 0x806f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

● **806f010c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2003ffff または 0x806f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。

3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f010c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2004ffff または 0x806f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2005ffff または 0x806f010c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- 806f010c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2006ffff または 0x806f010c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2007ffff または 0x806f010c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2008ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2008ffff または 0x806f010c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される **RETAIN tip** または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2009ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2009ffff または 0x806f010c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-200affff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200affff または 0x806f010c200affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたコース・ケースに使用されません。

806f010c200bffff または 0x806f010c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200cffff または 0x806f010c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
 2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f010c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200dffff または 0x806f010c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200effff または 0x806f010c200effff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 15)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200fffff または 0x806f010c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f010c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2010ffff または 0x806f010c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 17)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2011ffff または 0x806f010c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2012ffff または 0x806f010c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2013ffff または 0x806f010c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2014ffff または 0x806f010c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2015ffff または 0x806f010c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2016ffff または 0x806f010c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2017ffff または 0x806f010c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f010c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2018ffff または 0x806f010c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2581ffff または 0x806f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
1つの DIMM :

- **806f010d-0400ffff** : [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0400ffff または 0x806f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

- **806f010d-0401ffff** : [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0401ffff または 0x806f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハード・ディスク番号)

- 806f010d-0402ffff: [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0402ffff または 0x806f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハード・ディスク番号)

- **806f010d-0403ffff**: [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0403ffff または 0x806f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハード・ディスク番号)

- **806f010d-0404ffff**: [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0404ffff または 0x806f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハード・ディスク番号)

- 806f010d-0405ffff: [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0405ffff または 0x806f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル

3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハード・ディスク番号)

- 806f010d-0406ffff: [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0406ffff または 0x806f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハード・ディスク番号)

- 806f010d-0407ffff: [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0407ffff または 0x806f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010f-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェア・ハングが発生しました。(ファームウェア・エラー)

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201ffff または 0x806f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - ブート障害

SNMP Trap ID

25

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0186

ユーザー応答

1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0123-2101ffff**: [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] のリブートが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101ffff または 0x806f01232101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0370

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0125-1f05ffff**: [ManagedElementName] が存在していないと検出されました。(LOM)

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01251f05ffff または 0x806f01251f05ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0392

ユーザー応答
PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

- **806f0207-0301ffff**: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(CPU 1)
このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f02070301ffff または 0x806f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0207-0302ffff**: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(CPU 2)
このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f02070302ffff または 0x806f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバを最新レベルに更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 2. DSA プログラムを実行します。
 3. アダプターを取り付け直します。
 4. アダプターを交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- 806f0207-2584ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(すべての CPU)

このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f02072584ffff または 0x806f02072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1 つの CPU :

- 806f020d-0400ffff : [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 0)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400ffff または 0x806f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

- 806f020d-0401ffff : [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401ffff または 0x806f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)
- 806f020d-0402ffff : [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402ffff または 0x806f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハード・ディスク番号)

- 806f020d-0403ffff: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403ffff または 0x806f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハード・ディスク番号)

- 806f020d-0404ffff: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404ffff または 0x806f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

- 806f020d-0405ffff: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405ffff または 0x806f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

- 806f020d-0406ffff: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406ffff または 0x806f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

- 806f020d-0407ffff: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407ffff または 0x806f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f0223-2101ffff: [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源オフが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユーザー・ケースに表示されます。

806f02232101ffff または 0x806f02232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0372

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f0225-0f02ffff: [ManagedElementName] が無効にされました。(M5215 RAID カード)

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが無効であることが検出された場合に使用されます。

806f02250f02ffff または 0x806f02250f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0394

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001ffff または 0x806f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002ffff または 0x806f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003ffff または 0x806f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004ffff または 0x806f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
 2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
 4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
- 806f030c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2005ffff または 0x806f030c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
 4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
- **806f030c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2006ffff または 0x806f030c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2007ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2007ffff または 0x806f030c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2008ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2008ffff または 0x806f030c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2009ffff または 0x806f030c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200affff または 0x806f030c200affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200bffff または 0x806f030c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
- **806f030c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 12)**
このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。
806f030c200cffff または 0x806f030c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200dffff または 0x806f030c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200effff または 0x806f030c200effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200fffff または 0x806f030c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2010ffff または 0x806f030c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
 4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
- **806f030c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 17)**
このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。
806f030c2011ffff または 0x806f030c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 18)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2012ffffまたは 0x806f030c2012ffffとして表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 19)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2013ffff または 0x806f030c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2014ffff または 0x806f030c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2015ffff または 0x806f030c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2016ffff または 0x806f030c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
- **806f030c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 23)**
このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。
806f030c2017ffff または 0x806f030c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2018ffff または 0x806f030c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f030c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2581ffff または 0x806f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM :

- 806f030d-0400ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0400ffff または 0x806f030d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0401ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 1)
このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。
806f030d0401ffff または 0x806f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0402ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 2)
このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。
806f030d0402ffff または 0x806f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0403ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 3)
このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。
806f030d0403ffff または 0x806f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0404ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 4)
このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。
806f030d0404ffff または 0x806f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0405ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0405ffff または 0x806f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0406ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0406ffff または 0x806f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0407ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0407ffff または 0x806f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f0313-1701ffff: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェア NMI が発生しました。(NMI 状態)

このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f03131701ffff または 0x806f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0228

ユーザー応答

1. デバイス・ドライバーを検査します。
2. デバイス・ドライバーを再インストールします。
3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

- 806f0323-2101ffff : ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源サイクルが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f03232101ffff または 0x806f03232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0374

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f040c-2001ffff : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001ffff または 0x806f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのログング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
 3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。
- 806f040c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002ffff または 0x806f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのログング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003ffff または 0x806f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004ffff または 0x806f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
 3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。
- 806f040c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2005ffff または 0x806f040c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2006ffff または 0x806f040c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2007ffff または 0x806f040c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
 3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。
- 806f040c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2008ffff または 0x806f040c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2009ffff または 0x806f040c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200affff または 0x806f040c200affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
 3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。
- 806f040c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200bffff または 0x806f040c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200cffff または 0x806f040c200cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200dffff または 0x806f040c200dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
 3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。
- 806f040c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200effff または 0x806f040c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200fffff または 0x806f040c200fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2010ffff または 0x806f040c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
 3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。
- 806f040c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2011ffff または 0x806f040c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2012ffff または 0x806f040c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2013ffff または 0x806f040c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
 3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。
- 806f040c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2014ffff または 0x806f040c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2015ffff または 0x806f040c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2016ffff または 0x806f040c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
 3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。
- 806f040c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2017ffff または 0x806f040c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2018ffff または 0x806f040c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- 806f040c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581ffff または 0x806f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

1 つの DIMM :

- 806f0413-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR が発生しました。(すべての PCI エラー)

このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f04132582ffff または 0x806f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0232

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. PCIe アダプターを交換します。
6. ライザー・カードを交換します。

1つのPCIエラー: PCI:

- **806f0507-0301ffff**: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。(CPU 1)

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f05070301ffff または 0x806f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0062

ユーザー応答

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0507-0302ffff**: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。(CPU 2)

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f05070302ffff または 0x806f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0062

ユーザー応答

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0507-2584ffff**: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。(すべての CPU)

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f05072584ffff または 0x806f05072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0062

ユーザー応答

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

1 つの CPU :

- **806f050c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001ffff または 0x806f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
 2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- 806f050c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002ffff または 0x806f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003ffff または 0x806f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004ffff または 0x806f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2005ffff または 0x806f050c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2006ffff または 0x806f050c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f050c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2007ffff または 0x806f050c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2008ffff または 0x806f050c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2009ffff または 0x806f050c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200affff または 0x806f050c200affff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200bffff または 0x806f050c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200cffff または 0x806f050c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
 2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- 806f050c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200dffff または 0x806f050c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200effff または 0x806f050c200effff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200fffff または 0x806f050c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2010ffff または 0x806f050c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- 806f050c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2011ffff または 0x806f050c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 18)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2012ffff または 0x806f050c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2013ffff または 0x806f050c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2014ffff または 0x806f050c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2015ffff または 0x806f050c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されず。

806f050c2016ffff または 0x806f050c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2017ffff または 0x806f050c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
 2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- 806f050c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2018ffff または 0x806f050c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581ffff または 0x806f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM :

- **806f050d-0400ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 0)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0400ffff または 0x806f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0401ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 1)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0401ffff または 0x806f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
 5. RAID アダプターを交換します。
 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f050d-0402ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 2)**
このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0402ffff または 0x806f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0403ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 3)
このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0403ffff または 0x806f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0404ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 4)
このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0404ffff または 0x806f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
 5. RAID アダプターを交換します。
 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f050d-0405ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 5)**
このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0405ffff または 0x806f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0406ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 6)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0406ffff または 0x806f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0407ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 7)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0407ffff または 0x806f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
 5. RAID アダプターを交換します。
 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f0513-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR が発生しました。(すべての PCI エラー)
このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出されたユース・ケースに使用されます。
806f05132582ffff または 0x806f05132582ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0234

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。

2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。
5. 両方のアダプターを取り外します。
6. PCIe アダプターを交換します。
7. ライザー・カードを交換します。

1 つの PCI エラー : PCI :

- 806f052b-2101ffff: システム [ComputerSystemElementName] で無効またはサポートされていないファームウェアまたはソフトウェアが検出されました。(IMM2 FW フェイルオーバー)

このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f052b2101ffff または 0x806f052b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0446

ユーザー応答

1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. サーバーを再起動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。

5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0607-0301ffff**: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが検出されました。(CPU 1)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます
806f06070301ffff または 0x806f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0607-0302ffff**: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが検出されました。(CPU 2)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます
806f06070302ffff または 0x806f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 806f0607-2584ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが検出されました。(すべての CPU)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます。806f06072584ffff または 0x806f06072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1つの CPU :

- **806f060d-0400ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 0)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0400ffff または 0x806f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0401ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 1)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0401ffff または 0x806f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-0402ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 2)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0402ffff または 0x806f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0403ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 3)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0403ffff または 0x806f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0404ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 4)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0404ffff または 0x806f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f060d-0405ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 5)
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0405ffff または 0x806f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0406ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 6)
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0406ffff または 0x806f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0407ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 7)
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0407ffff または 0x806f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- 806f070c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2001ffff または 0x806f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2002ffff または 0x806f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2003ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2003ffff または 0x806f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2004ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2004ffff または 0x806f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2005ffff または 0x806f070c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2006ffff または 0x806f070c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2007ffff または 0x806f070c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2008ffff または 0x806f070c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2009ffff または 0x806f070c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c200affff または 0x806f070c200affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c200bffff または 0x806f070c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-200cffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c200cffff または 0x806f070c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c200dffff または 0x806f070c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c200effff または 0x806f070c200effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-200ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたケース・ケースに使用されます。

806f070c200ffff または 0x806f070c200ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2010ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたケース・ケースに使用されます。

806f070c2010ffff または 0x806f070c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2011ffff または 0x806f070c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2012ffff または 0x806f070c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 19)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたケース・ケースに使用されます。

806f070c2013ffff または 0x806f070c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 20)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたケース・ケースに使用されます。

806f070c2014ffff または 0x806f070c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2015ffff または 0x806f070c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2016ffff または 0x806f070c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 23)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたケース・ケースに使用されます。

806f070c2017ffff または 0x806f070c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 24)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたケース・ケースに使用されます。

806f070c2018ffff または 0x806f070c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- 806f070c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070c2581ffff または 0x806f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。
1 つの DIMM :

- 806f070d-0400ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0400ffff または 0x806f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0401ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0401ffff または 0x806f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0402ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0402ffff または 0x806f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0403ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0403ffff または 0x806f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0404ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0404ffff または 0x806f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0405ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0405ffff または 0x806f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0406ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0406ffff または 0x806f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0407ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0407ffff または 0x806f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f072b-2101ffff: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの正常な変更が検出されました。(IMM プロモーション)

このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f072b2101ffff または 0x806f072b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0450

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。IMM リカバリー:

- 806f072b-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの正常な変更が検出されました。(バックアップ自動更新)

このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f072b2201ffff または 0x806f072b2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0450

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ROM リカバリー:

- 806f0807-0301ffff: [ProcessorElementName] が無効になりました。(CPU 1)

このメッセージは、実装環境でプロセッサが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301ffff または 0x806f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f0807-0302ffff : [ProcessorElementName] が無効になりました。(CPU 2)

このメッセージは、実装環境でプロセッサが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070302ffff または 0x806f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f0807-2584ffff : [ProcessorElementName] が無効になりました。(すべての CPU)

このメッセージは、実装環境でプロセッサが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f08072584ffff または 0x806f08072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つのCPU:

- 806f080c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2001ffff または 0x806f080c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2002ffff または 0x806f080c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 3)
このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。
806f080c2003ffff または 0x806f080c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 4)
このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。
806f080c2004ffff または 0x806f080c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2005ffff または 0x806f080c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2006ffff または 0x806f080c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 7)
このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。
806f080c2007ffff または 0x806f080c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 8)
このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。
806f080c2008ffff または 0x806f080c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2009ffff または 0x806f080c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c200affff または 0x806f080c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 11)
このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。
806f080c200bffff または 0x806f080c200bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 12)
このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。
806f080c200cffff または 0x806f080c200cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c200dffff または 0x806f080c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c200effff または 0x806f080c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c200fffff または 0x806f080c200fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2010ffff または 0x806f080c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2011ffff または 0x806f080c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2012ffff または 0x806f080c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2013ffff または 0x806f080c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2014ffff または 0x806f080c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2015ffff または 0x806f080c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2016ffff または 0x806f080c2016ffff として表示される場合もあります

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2017ffff または 0x806f080c2017ffff として表示される場合もあります

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2018ffff または 0x806f080c2018ffff として表示される場合もあります

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f080c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

806f080c2581ffff または 0x806f080c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0140

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM :

- 806f0813-2581ffff: [SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。(DIMM)

このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f08132581ffff または 0x806f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 806f0813-2584ffff: [SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。(CPU)

このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f08132584ffff または 0x806f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 806f0823-2101ffff: [WatchdogElementName] でウォッチドッグ・タイマーの割り込みが発生しました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101ffff または 0x806f08232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0376

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f090c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2001ffff または 0x806f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2002ffff または 0x806f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2003ffff または 0x806f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2004ffff または 0x806f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2005ffff または 0x806f090c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2006ffff または 0x806f090c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2007ffff または 0x806f090c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2008ffff または 0x806f090c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2009ffff または 0x806f090c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200affff または 0x806f090c200affff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200bffff または 0x806f090c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200cffff または 0x806f090c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200dffff または 0x806f090c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200effff または 0x806f090c200effff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200fffff または 0x806f090c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2010ffff または 0x806f090c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2011ffff または 0x806f090c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2012ffff または 0x806f090c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2013ffff または 0x806f090c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2014ffff または 0x806f090c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2015ffff または 0x806f090c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2016ffff または 0x806f090c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2017ffff または 0x806f090c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2018ffff または 0x806f090c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a07-0301ffff: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。(CPU 1)

このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a070301ffff または 0x806f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - CPU

SNMP Trap ID
42

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- 806f0a07-0302ffff : [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。(CPU 2)

このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f0a070302ffff または 0x806f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - CPU

SNMP Trap ID
42

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0a07-2584ffff**: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。(すべての CPU)

このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a072584ffff または 0x806f0a072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

1 つの CPU :

- **806f0a0c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2001ffff または 0x806f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2002ffff または 0x806f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- **806f0a0c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2003ffff または 0x806f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- **806f0a0c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2004ffff または 0x806f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2005ffff または 0x806f0a0c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2006ffff または 0x806f0a0c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2007ffff または 0x806f0a0c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2008ffff または 0x806f0a0c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2009ffff または 0x806f0a0c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200affff または 0x806f0a0c200affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200bffff または 0x806f0a0c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200cffff または 0x806f0a0c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- 806f0a0c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200dffff または 0x806f0a0c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200effff または 0x806f0a0c200effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200fffff または 0x806f0a0c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2010ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2010ffff または 0x806f0a0c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 17)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2011ffff または 0x806f0a0c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 18)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2012ffff または 0x806f0a0c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2013ffff または 0x806f0a0c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 20)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2014ffff または 0x806f0a0c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 21)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2015ffff または 0x806f0a0c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM *n* を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2016ffff または 0x806f0a0c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM *n* を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2017ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2017ffff または 0x806f0a0c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2018ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2018ffff または 0x806f0a0c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- **806f0a13-2401ffff**: バス [SensorElementName] で致命的なバス・エラーが発生しました。(SMBus)
このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f0a132401ffff または 0x806f0a132401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0244

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
- **806f0a13-2582ffff**: バス [SensorElementName] で致命的なバス・エラーが発生しました。(すべての PCI エラー)
このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f0a132582ffff または 0x806f0a132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0244

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

1つの PCI エラー: PCI:

- **806f0b13-0701ffff**: バス [SensorElementName] は機能低下状態で動作しています。(DMI リンク)

このメッセージは、実装環境でバスの機能低下が検出された場合に使用されます。

806f0b130701ffff または 0x806f0b130701ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0246

ユーザー応答

なし

- **81010202-0701ffff**: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(SysBrd 12V)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102020701ffff または 0x810102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- 81010202-2801ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(CMOS バッテリー)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102022801ffff または 0x810102022801ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010701-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107012d01ffff または 0x810107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010701-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(入口温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107013701ffff または 0x810107013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010901-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109012d01ffff または 0x810109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010901-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(入口温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109013701ffff または 0x810109013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010902-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(SysBrd 12V)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109020701ffff または 0x810109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- 81010b01-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b012d01ffff または 0x81010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010b01-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(入口温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b013701ffff または 0x81010b013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81030006-2101ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(署名検査の失敗)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

810300062101ffff または 0x810300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8103000f-2101ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(IMM FW の破損)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

8103000f2101ffff または 0x8103000f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 8103010c-2581ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(純正以外の DIMM)
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。
8103010c2581ffff または 0x8103010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 8103010e-2581ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(メモリーのサイズ変更)
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。
8103010e2581ffff または 0x8103010e2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81030112-0601ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(SMM モード)
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。
810301120601ffff または 0x810301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。SMM モニター:

- 81030118-1701ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(無効な NEB 構成)
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。
810301181701ffff または 0x810301181701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81030121-0782ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810301210782ffff または 0x810301210782ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070101-0301ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(CPU 1 温度過熱)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701010301ffff または 0x810701010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070101-0302ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(CPU 2 温度過熱)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701010302ffff または 0x810701010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070101-0f02ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(M5215 RAID 温度)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701010f02ffff または 0x810701010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070101-2c01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(メザニン拡張 1 温度)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701012c01ffff または 0x810701012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070101-2c02ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(メザニン拡張 2 温度)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701012c02ffff または 0x810701012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8107010d-3030ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(ROMB ボリューム)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010d3030ffff または 0x8107010d3030ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8107010f-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(GPT ステータス)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010f2201ffff または 0x8107010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107010f-2582ffff**: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態への遷移の解消を検出しました。(I/O リソース)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010f2582ffff または 0x8107010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070112-0b01ffff**: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(RAID 警告ログ)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701120b01ffff または 0x810701120b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070114-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(TPM ロック)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701142201ffff または 0x810701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。TPM 物理プレゼンス設定:

- 81070117-0f02ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(M5215 RAID 障害)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701170f02ffff または 0x810701170f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070128-2e01ffff**: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(ME リカバリー)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701282e01ffff または 0x810701282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070202-0701ffff**: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(SysBrd 電圧障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702020701ffff または 0x810702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8107020d-3030ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(ROMB ボリューム)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020d3030ffff または 0x8107020d3030ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8107020f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(TXT ACM モジュール)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020f2201ffff または 0x8107020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107020f-2582ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(I/O リソース)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020f2582ffff または 0x8107020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070212-0b02ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(RAID エラー・ログ)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702120b02ffff または 0x810702120b02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070217-0f02ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(M5215 RAID バッテリー)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702170f02ffff または 0x810702170f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。M5215 RAID 障害:

- 81070217-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(メザニン拡張 1 の障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702172c01ffff または 0x810702172c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070217-2c02ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(メザニン拡張 2 の障害)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702172c02ffff または 0x810702172c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(システム・ボード障害)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702190701ffff または 0x810702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8107021b-0301ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(CPU 1 QPILinkErr)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107021b0301ffff または 0x8107021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8107021b-0302ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(CPU 2 QPILinkErr)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107021b0302ffff または 0x8107021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070228-2e01ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(ME エラー)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702282e01ffff または 0x810702282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ME フラッシュ・エラー:

- **81070301-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(CPU 1 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703010301ffff または 0x810703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070301-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(CPU 2 温度過熱)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703010302ffff または 0x810703010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070301-0f02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(M5215 RAID 温度)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703010f02ffff または 0x810703010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070301-2c01ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(メザニン拡張 1 温度)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703012c01ffff または 0x810703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070301-2c02ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(メザニン拡張 2 温度)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703012c02ffff または 0x810703012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107030d-3030ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(ROMB ボリューム)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8107030d3030ffff または 0x8107030d3030ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070601-0f02ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(M5215 RAID 温度)**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810706010f02ffff または 0x810706010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070601-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(メザニン拡張 1 温度)**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810706012c01ffff または 0x810706012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070601-2c02ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(メザニン拡張 2 温度)**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810706012c02ffff または 0x810706012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8107060f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(BOFM 構成エラー)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8107060f2201ffff または 0x8107060f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070614-2201ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(TPM 物理プレゼンス設定)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810706142201ffff または 0x810706142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070617-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(メザニン拡張 1 の障害)**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810706172c01ffff または 0x810706172c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070617-2c02ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(メザニン拡張 2 の障害)**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810706172c02ffff または 0x810706172c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81080017-0f01ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(SAS BP)

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810800170f01ffff または 0x810800170f01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81090112-2101ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が無効にされました。(IPMI/SNMP アカウント)

このメッセージは、デバイスが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810901122101ffff または 0x810901122101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0539

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 810b010c-2581ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失の解消が検出されました。(バックアップ・メモリー)

このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除されたユース・ケースに使用されます。

810b010c2581ffff または 0x810b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0803

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 810b030c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」の解消が検出されました。(バックアップ・メモリー)

このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性なし: 十分なリソース」状態から変化したユース・ケースに使用されます。

810b030c2581ffff または 0x810b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0807

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 810b050c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が表明解除されました。(バックアップ・メモリー)

このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性なし:リソース不足」状態から変化したユース・ケースに使用されます。

810b050c2581ffff または 0x810b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0007-0301ffff: [ProcessorElementName] が IERR からリカバリーしました。(CPU 1)

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00070301ffff または 0x816f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0043

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0007-0302ffff**: [ProcessorElementName] が IERR からリカバリーしました。(CPU 2)

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00070302ffff または 0x816f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0043

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0007-2584ffff**: [ProcessorElementName] が IERR からリカバリーしました。(すべての CPU)

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00072584ffff または 0x816f00072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0043

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つのCPU:

- 816f0009-0701ffff: [PowerSupplyElementName] が電源オンになっています。(ホスト電源)
このメッセージは、電源装置が有効にされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。
816f00090701ffff または 0x816f00090701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 電源オン

SNMP Trap ID

24

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0107

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f000d-0400ffff: [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 0)
このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。
816f000d0400ffff または 0x816f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- 816f000d-0401ffff: [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0401ffff または 0x816f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- 816f000d-0402ffff: [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0402ffff または 0x816f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- 816f000d-0403ffff: [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0403ffff または 0x816f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0404ffff** : [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0404ffff または 0x816f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0405ffff** : [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0405ffff または 0x816f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
 2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
 3. SAS ケーブルを確認します。
 4. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 816f000d-0406ffff: [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0406ffff または 0x816f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0407ffff**: [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0407ffff または 0x816f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000f-2201ffff**: システム [ComputerSystemElementName] が POST エラーの解消を検出しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0185

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

- 816f0013-1701ffff：システム [ComputerSystemElementName] が診断割り込みからリカバリーしました。(NMI 状態)
このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00131701ffff または 0x816f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0223

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0021-2201ffff：システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(Op ROM スペースなし)
このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00212201ffff または 0x816f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0021-2582ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCIe エラー)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00212582ffff または 0x816f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0028-2101ffff** : 管理システム [ComputerSystemElementName] のセンサー [SensorElementName] が正常に戻りました。(TPM コマンド障害)

このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに表示されます。

816f00282101ffff または 0x816f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0399

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が解消されました。(CPU 1)

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が除去されたことが実装環境で検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f01070301ffff または 0x816f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0037

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0107-0302ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が解消されました。(CPU 2)

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が除去されたことが実装環境で検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f01070302ffff または 0x816f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0037

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0107-2584ffff**: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が解消されました。(すべての CPU)
このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01072584ffff または 0x816f01072584ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0037

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

- **816f010c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2001ffff または 0x816f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2002ffff または 0x816f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2003ffff または 0x816f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2004ffff または 0x816f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2005ffff または 0x816f010c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2006ffff または 0x816f010c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2007ffff または 0x816f010c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2008ffff または 0x816f010c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2009ffff または 0x816f010c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200affff または 0x816f010c200affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200bffff または 0x816f010c200bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200cffff または 0x816f010c200cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200dffff または 0x816f010c200dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200effff または 0x816f010c200effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200fffff または 0x816f010c200fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2010ffff または 0x816f010c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2011ffff または 0x816f010c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2012ffff または 0x816f010c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2013ffff または 0x816f010c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2014ffff または 0x816f010c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2015ffff または 0x816f010c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2016ffff または 0x816f010c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2017ffff または 0x816f010c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2018ffff または 0x816f010c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2581ffff または 0x816f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM :

- 816f010d-0400ffff: [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 0)
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
816f010d0400ffff または 0x816f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010d-0401ffff: [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 1)
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
816f010d0401ffff または 0x816f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0402ffff: [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 2)**
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
816f010d0402ffff または 0x816f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0403ffff: [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 3)**
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
816f010d0403ffff または 0x816f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010d-0404ffff: [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 4)
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
816f010d0404ffff または 0x816f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010d-0405ffff: [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 5)
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
816f010d0405ffff または 0x816f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0406ffff: [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 6)**
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
816f010d0406ffff または 0x816f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0407ffff: [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 7)**
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
816f010d0407ffff または 0x816f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f010f-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] がファームウェア・ハングからリカバリーしました。(ファームウェア・エラー)

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされたユース・ケースに使用されます。

816f010f2201ffff または 0x816f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0187

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0125-1f05ffff: [ManagedElementName] が存在していると検出されました。(LOM)

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01251f05ffff または 0x816f01251f05ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0390

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0207-0301ffff**: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態からリカバリーしました。(CPU 1)

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f02070301ffff または 0x816f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0207-0302ffff**: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態からリカバリーしました。(CPU 2)

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f02070302ffff または 0x816f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0207-2584ffff**: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態からリカバリーしました。(すべての CPU)

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f02072584ffff または 0x816f02072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU:

- **816f020d-0400ffff**: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0400ffff または 0x816f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0401ffff : [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0401ffff または 0x816f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0402ffff : [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0402ffff または 0x816f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0403ffff: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0403ffff または 0x816f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0404ffff: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0404ffff または 0x816f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0405ffff : [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0405ffff または 0x816f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0406ffff : [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0406ffff または 0x816f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0407ffff: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0407ffff または 0x816f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0225-0f02ffff: [ManagedElementName] が有効にされました。(M5215 RAID カード)

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが有効であることが検出された場合に使用されます。

816f02250f02ffff または 0x816f02250f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0395

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2001ffff または 0x816f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2002ffff または 0x816f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2003ffff または 0x816f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2004ffff または 0x816f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2005ffff または 0x816f030c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2006ffff または 0x816f030c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2007ffff または 0x816f030c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2008ffff または 0x816f030c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2009ffff または 0x816f030c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200affff または 0x816f030c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200bffff または 0x816f030c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200cffff または 0x816f030c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200dffff または 0x816f030c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200effff または 0x816f030c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-200ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200ffff または 0x816f030c200ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2010ffff または 0x816f030c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2011ffff または 0x816f030c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2012ffff または 0x816f030c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2013ffff または 0x816f030c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2014ffff または 0x816f030c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2015ffff または 0x816f030c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2016ffff または 0x816f030c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2017ffff または 0x816f030c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2018ffff または 0x816f030c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2581ffff または 0x816f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM :

- 816f030d-0400ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 0)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0400ffff または 0x816f030d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0401ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 1)
このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。
816f030d0401ffff または 0x816f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0402ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 2)
このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。
816f030d0402ffff または 0x816f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0403ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 3)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0403ffff または 0x816f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0404ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 4)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0404ffff または 0x816f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0405ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 5)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0405ffff または 0x816f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0406ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 6)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0406ffff または 0x816f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-0407ffff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 7)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0407ffff または 0x816f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0313-1701ffff**: システム [ComputerSystemElementName] が NMI からリカバリーしました。(NMI 状態)

このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f03131701ffff または 0x816f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0230

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001ffff または 0x816f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002ffff または 0x816f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003ffff または 0x816f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004ffff または 0x816f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2005ffff または 0x816f040c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2006ffff または 0x816f040c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2007ffff または 0x816f040c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2008ffff または 0x816f040c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2009ffff または 0x816f040c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200affff または 0x816f040c200affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200bffff または 0x816f040c200bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200cffff または 0x816f040c200cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200dffff または 0x816f040c200dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200effff または 0x816f040c200effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200fffff または 0x816f040c200fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2010ffff または 0x816f040c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2011ffff または 0x816f040c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2012ffff または 0x816f040c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2013ffff または 0x816f040c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2014ffff または 0x816f040c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2015ffff または 0x816f040c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2016ffff または 0x816f040c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2017ffff または 0x816f040c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2018ffff または 0x816f040c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581ffff または 0x816f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM :

- 816f0413-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR リカバリーが発生しました。(すべての PCI エラー)

このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f04132582ffff または 0x816f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0233

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。1 つの PCI エラー : PCI :

- **816f0507-0301ffff**: [ProcessorElementName] が構成不一致からリカバリーしました。(CPU 1)
このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたユース・ケースに使用されます。

816f05070301ffff または 0x816f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0507-0302ffff**: [ProcessorElementName] が構成不一致からリカバリーしました。(CPU 2)
このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたユース・ケースに使用されます。

816f05070302ffff または 0x816f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0507-2584ffff**: [ProcessorElementName] が構成不一致からリカバリーしました。(すべての CPU)

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたユース・ケースに使用されます。

816f05072584ffff または 0x816f05072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つのCPU:

- 816f050c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2001ffff または 0x816f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2002ffff または 0x816f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2003ffff または 0x816f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2004ffff または 0x816f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2005ffff または 0x816f050c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2006ffff または 0x816f050c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2007ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2007ffff または 0x816f050c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2008ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2008ffff または 0x816f050c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2009ffff または 0x816f050c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200affff または 0x816f050c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200bffff または 0x816f050c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200cffff または 0x816f050c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200dffff または 0x816f050c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200effff または 0x816f050c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200fffff または 0x816f050c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2010ffff または 0x816f050c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2011ffff または 0x816f050c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2012ffff または 0x816f050c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2013ffff または 0x816f050c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2014ffff または 0x816f050c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2015ffff または 0x816f050c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2016ffff または 0x816f050c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2017ffff または 0x816f050c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2018ffff または 0x816f050c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2581ffff または 0x816f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM:

- 816f050d-0400ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0400ffff または 0x816f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0401ffff**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0401ffff または 0x816f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0402ffff**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0402ffff または 0x816f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0403ffff**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0403ffff または 0x816f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0404ffff**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0404ffff または 0x816f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0405ffff**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0405ffff または 0x816f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0406ffff**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0406ffff または 0x816f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0407ffff**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0407ffff または 0x816f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0607-0301ffff**: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。(CPU 1)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除されたユース・ケースに使用されます。

816f06070301ffff または 0x816f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0817

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0607-0302ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。(CPU 2)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除されたユース・ケースに使用されます。

816f06070302ffff または 0x816f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0817

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0607-2584ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。(すべての CPU)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除されたユース・ケースに使用されます。

816f06072584ffff または 0x816f06072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0817

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つのCPU:

- 816f060d-0400ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 0)
このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0400ffff または 0x816f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f060d-0401ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0401ffff または 0x816f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0402ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0402ffff または 0x816f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0403ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0403ffff または 0x816f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0404ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0404ffff または 0x816f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0405ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0405ffff または 0x816f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0406ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0406ffff または 0x816f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0407ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0407ffff または 0x816f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070c2001ffff または 0x816f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2002ffff または 0x816f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2003ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構
成エラーの解消が検出されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2003ffff または 0x816f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2004ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構
成エラーの解消が検出されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2004ffff または 0x816f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構
成エラーの解消が検出されました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2005ffff または 0x816f070c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構
成エラーの解消が検出されました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2006ffff または 0x816f070c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2007ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構
成エラーの解消が検出されました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2007ffff または 0x816f070c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2008ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構
成エラーの解消が検出されました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2008ffff または 0x816f070c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構
成エラーの解消が検出されました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2009ffff または 0x816f070c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成
エラーの解消が検出されました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c200affff または 0x816f070c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構
成エラーの解消が検出されました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c200bffff または 0x816f070c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-200cffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成
エラーの解消が検出されました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c200cffff または 0x816f070c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成
エラーの解消が検出されました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c200dffff または 0x816f070c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成
エラーの解消が検出されました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c200effff または 0x816f070c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c200fffff または 0x816f070c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2010ffff または 0x816f070c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成
エラーの解消が検出されました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2011ffff または 0x816f070c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成
エラーの解消が検出されました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2012ffff または 0x816f070c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 19)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2013ffff または 0x816f070c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 20)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2014ffff または 0x816f070c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成
エラーの解消が検出されました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2015ffff または 0x816f070c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成
エラーの解消が検出されました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2016ffff または 0x816f070c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 23)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2017ffff または 0x816f070c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 24)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2018ffff または 0x816f070c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エ
ラーの解消が検出されました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c2581ffff または 0x816f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM:

- 816f070d-0400ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド
ライブ 0)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0400ffff または 0x816f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0401ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 1)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0401ffff または 0x816f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0402ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 2)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0402ffff または 0x816f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0403ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 3)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0403ffff または 0x816f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0404ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 4)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0404ffff または 0x816f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0405ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 5)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0405ffff または 0x816f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0406ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 6)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0406ffff または 0x816f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0407ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 7)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0407ffff または 0x816f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0807-0301ffff: [ProcessorElementName] が有効になりました。(CPU 1)

このメッセージは、実装環境でプロセッサが有効となったことが検出された場合に使用されます。
816f08070301ffff または 0x816f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0060

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0807-0302ffff**: [ProcessorElementName] が有効になりました。(CPU 2)

このメッセージは、実装環境でプロセッサが有効となったことが検出された場合に使用されます。
816f08070302ffff または 0x816f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0060

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0807-2584ffff**: [ProcessorElementName] が有効になりました。(すべての CPU)

このメッセージは、実装環境でプロセッサが有効となったことが検出された場合に使用されます。
816f08072584ffff または 0x816f08072584ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0060

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。1つのCPU:

- **816f0813-2581ffff**: バス [SensorElementName] が訂正不能エラーからリカバリーしました。(DIMM)
このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08132581ffff または 0x816f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0241

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0813-2584ffff**: バス [SensorElementName] が訂正不能エラーからリカバリーしました。(CPU)
このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08132584ffff または 0x816f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0241

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2001ffff または 0x816f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2002ffff または 0x816f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 3)
このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2003ffff または 0x816f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 4)
このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2004ffff または 0x816f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2005ffff または 0x816f090c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2006ffff または 0x816f090c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 7)
このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2007ffff または 0x816f090c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 8)
このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2008ffff または 0x816f090c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2009ffff または 0x816f090c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c200affff または 0x816f090c200affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c200bffff または 0x816f090c200bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c200cffff または 0x816f090c200cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c200dffff または 0x816f090c200dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c200effff または 0x816f090c200effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-200ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 15)
このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c200ffff または 0x816f090c200ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 16)
このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2010ffff または 0x816f090c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2011ffff または 0x816f090c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2012ffff または 0x816f090c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 19)
このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2013ffff または 0x816f090c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 20)
このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2014ffff または 0x816f090c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2015ffff または 0x816f090c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2016ffff または 0x816f090c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2017ffff または 0x816f090c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2018ffff または 0x816f090c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a07-0301ffff: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。(CPU 1)
このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a070301ffff または 0x816f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - CPU

SNMP Trap ID
42

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0039

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a07-0302ffff: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。(CPU 2)
このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a070302ffff または 0x816f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - CPU

SNMP Trap ID
42

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0039

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a07-2584ffff: プロセッサー [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。(すべての CPU)
このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a072584ffff または 0x816f0a072584ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - CPU

SNMP Trap ID
42

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0039

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。1つの CPU:

- 816f0a0c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 1)
このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2001ffff または 0x816f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2002ffff または 0x816f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2003ffff または 0x816f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2004ffff または 0x816f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2005ffff または 0x816f0a0c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2006ffff または 0x816f0a0c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2007ffff または 0x816f0a0c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2008ffff または 0x816f0a0c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2009ffff または 0x816f0a0c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200affff または 0x816f0a0c200affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200bffff または 0x816f0a0c200bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200cffff または 0x816f0a0c200cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200dffff または 0x816f0a0c200dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200effff または 0x816f0a0c200effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200fffff または 0x816f0a0c200fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2010ffff または 0x816f0a0c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2011ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 17)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2011ffff または 0x816f0a0c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2012ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 18)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2012ffff または 0x816f0a0c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2013ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 19)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2013ffff または 0x816f0a0c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2014ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 20)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2014ffff または 0x816f0a0c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2015ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 21)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2015ffff または 0x816f0a0c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2016ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 22)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2016ffff または 0x816f0a0c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2017ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 23)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2017ffff または 0x816f0a0c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2018ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 24)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2018ffff または 0x816f0a0c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a13-2401ffff: バス [SensorElementName] が致命的バス・エラーからリカバリーしました。(SMBus)

このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

816f0a132401ffff または 0x816f0a132401ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0245

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

- 816f0a13-2582ffff: バス [SensorElementName] が致命的バス・エラーからリカバリーしました。(すべての PCI エラー)

このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

816f0a132582ffff または 0x816f0a132582ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0245

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n=マイクロプロセッサ番号)

1 つの PCI エラー : PCI :

- 816f0b13-0701ffff: バス [SensorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。(DMI リンク)

このメッセージは、実装環境でバスが機能低下の状態ではなくなったことが検出された場合に使用されます。

816f0b130701ffff または 0x816f0b130701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0247

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

自動的にサポートに通知する IMM イベント

特定のタイプのエラーが発生した場合に自動的にサポートに通知するよう (コール・ホームとも呼ばれます)、IBM Flex System Manager または CMM を構成することができます。この機能を構成してある場合、自動的にサポートに通知されるイベントのリストについては、表を参照してください。

表 9. 自動的にサポートに通知されるイベント

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
40000086-00000000	ユーザー [arg1] によって、テスト用のコールホームが生成されました。()	はい
40000087-00000000	ユーザー [arg1] による手動コールホーム : [arg2]。()	はい
80010202-0701ffff	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(SysBrd 12V)	はい

表 9. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
80010202-2801ffff	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(CMOS バッテリー)	はい
80010902-0701ffff	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(SysBrd 12V)	はい
806f0021-2201ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(Op ROM スペースなし)	はい
806f0021-2582ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCIe エラー)	はい
806f010c-2001ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 1)	はい
806f010c-2002ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 2)	はい
806f010c-2003ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 3)	はい
806f010c-2004ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 4)	はい
806f010c-2005ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 5)	はい
806f010c-2006ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 6)	はい
806f010c-2007ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 7)	はい
806f010c-2008ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 8)	はい
806f010c-2009ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 9)	はい
806f010c-200affff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 10)	はい
806f010c-200bffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 11)	はい

表 9. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010c-200cffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 12)	はい
806f010c-200dffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 13)	はい
806f010c-200effff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 14)	はい
806f010c-200fffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 15)	はい
806f010c-2010ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 16)	はい
806f010c-2011ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 17)	はい
806f010c-2012ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 18)	はい
806f010c-2013ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 19)	はい
806f010c-2014ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 20)	はい
806f010c-2015ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 21)	はい
806f010c-2016ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 22)	はい
806f010c-2017ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 23)	はい
806f010c-2018ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 24)	はい
806f010c-2581ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(すべての DIMM)	はい
806f010d-0400ffff	[StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 0)	はい

表 9. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010d-0401ffff	[StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 1)	はい
806f010d-0402ffff	[StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 2)	はい
806f010d-0403ffff	[StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 3)	はい
806f010d-0404ffff	[StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 4)	はい
806f010d-0405ffff	[StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 5)	はい
806f010d-0406ffff	[StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 6)	はい
806f010d-0407ffff	[StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 7)	はい
806f0207-0301ffff	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(CPU 1)	はい
806f0207-0302ffff	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(CPU 2)	はい
806f0207-2584ffff	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(すべての CPU)	はい
806f020d-0400ffff	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 0)	はい
806f020d-0401ffff	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 1)	はい
806f020d-0402ffff	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 2)	はい
806f020d-0403ffff	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 3)	はい
806f020d-0404ffff	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 4)	はい
806f020d-0405ffff	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 5)	はい
806f020d-0406ffff	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 6)	はい
806f020d-0407ffff	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 7)	はい

表 9. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2001ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 1)	はい
806f050c-2002ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 2)	はい
806f050c-2003ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 3)	はい
806f050c-2004ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 4)	はい
806f050c-2005ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 5)	はい
806f050c-2006ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 6)	はい
806f050c-2007ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 7)	はい
806f050c-2008ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 8)	はい
806f050c-2009ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 9)	はい
806f050c-200affff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 10)	はい
806f050c-200bffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 11)	はい
806f050c-200cffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 12)	はい
806f050c-200dffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 13)	はい
806f050c-200effff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 14)	はい
806f050c-200fffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 15)	はい

表 9. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2010ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 16)	はい
806f050c-2011ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 17)	はい
806f050c-2012ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 18)	はい
806f050c-2013ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 19)	はい
806f050c-2014ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 20)	はい
806f050c-2015ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 21)	はい
806f050c-2016ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 22)	はい
806f050c-2017ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 23)	はい
806f050c-2018ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 24)	はい
806f050c-2581ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(すべての DIMM)	はい
806f060d-0400ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 0)	はい
806f060d-0401ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 1)	はい
806f060d-0402ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 2)	はい
806f060d-0403ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 3)	はい
806f060d-0404ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 4)	はい
806f060d-0405ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 5)	はい
806f060d-0406ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 6)	はい

表 9. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f060d-0407ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 7)	はい
806f0813-2581ffff	[SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。(DIMM)	はい
806f0813-2584ffff	[SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。(CPU)	はい

UEFI 診断コード

UEFI 診断コードは、計算ノードの始動時または計算ノードの稼働中に生成される可能性があります。UEFI 診断コードは、計算ノードの IMM イベント・ログに記録されます。

UEFI 診断コード・フィールド

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。イベント・ログにイベント記述が表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、その追加情報はパーセント記号 (%) によって示される変数として表示されます。

説明

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度

状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

表 10. 重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー操作あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答

イベントを解決するために実行する必要がある処置を示します。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、Lenovo サポートにお問い合わせください。

UEFI 診断コードの検出

このトピックでは、UEFI 診断コードの検出について説明します。

使用しているシステム管理プラットフォーム、あるいは DSA Preboot 診断プログラムによって生成されたテスト結果を表示しているかどうかに基づいて UEFI 診断コードを見つけるには、いくつかの方法が使用可能です。

注：すべてのイベントに UEFI 診断コードが関連付けられているわけではありません。

表 11. UEFI 診断コードの検出

UEFI 診断コードへのインターフェース	操作
Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) にログオンしている場合	<ol style="list-style-type: none"> 「Problems (Active Status)」ビューに進み、問題の名前をクリックします。 「Recommendations (推奨)」タブをクリックし、UEFI 診断コードを見つけます。
IMM または CMM Web インターフェースにログオンしている場合	<ol style="list-style-type: none"> 「Events」メニューを開き、「イベント・ログ」をクリックします。 イベント・メッセージの横の「more」をクリックし、UEFI 診断コードを見つけます。
DSA Preboot 診断プログラムのテスト結果を表示している場合	<ol style="list-style-type: none"> 「Chassis Event」ログに進みます。 右にスクロールし、「Auxillary Data Column」を参照して UEFI 診断コードを見つけます。

UEFI イベントのリスト

このセクションでは、UEFI から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- 11002 [11002] システム内の 1 つ以上のプロセッサ間でプロセッサの不一致が検出されました。: 1 つ以上のプロセッサの不一致が検出されました

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。それらのメッセージを最初に解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、その問題を修正してください。
4. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. 不一致のプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 11004 [11004] システム内のプロセッサが BIST に失敗しました。: プロセッサ自己診断テストの失敗が検出されました

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、Lenovo データ・センター・サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 複数のプロセッサがある場合は、プロセッサを交換し、影響を受けているプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいは、これが単一プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。プロセッサを取り外すたびに、プロセッサ・ソケットを検査し、プロセッサ・ソケットが損傷している場合や位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アSEMBリーの取り外しと交換」](#)

- 1100C [1100C] プロセッサ % で訂正不能エラーが検出されました。: 訂正不能プロセッサ・エラーが検出されました。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

- 18005 [18005] システム内の 1 つ以上のプロセッサ・パッケージによって報告されたコアの数の矛盾が検出されました。: プロセッサのコア数が一致していません

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がいないかを確認します。
3. プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 18006 [18006] 1 つ以上のプロセッサ・パッケージで許容される最大 QPI リンク速度の不一致が検出されました：プロセッサの QPI 速度が一致していません

重大度 通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 18007 [18007] 1 つ以上のプロセッサ・パッケージで電源セグメントの不一致が検出されました：プロセッサの電源セグメントが一致していません

重大度 通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 取り付けられているプロセッサの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 18009 [18009] 1つ以上のプロセッサ・パッケージでコア速度の不一致が検出されました：プロセッサのコア速度が一致していません。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。不一致の問題が見つかった場合は、それを修正してください。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

関連リンク

- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 1800A [1800A] 複数のプロセッサ・パッケージで、QPI リンクに設定されている速度の不一致が検出されました：プロセッサのバス速度が一致していません

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサを取り外し、Server Proven Web サイトにリストされているプロセッサを取り付けます。
2. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。不一致が見つかった場合は、それを修正してください。
3. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 1800B [1800B] 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュ・サイズの不一致が検出されました：プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。不一致が見つかった場合は、それを修正してください。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 1800C [1800C] 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました : プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません

重大度 通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。不一致が見つかった場合は、それを修正してください。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 1800D [1800D] 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました : プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルでの結合順序が一致していません

重大度 通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。不一致が見つかった場合は、それを修正してください。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 1800E [1800E] 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサの型式の不一致が検出されました：プロセッサの型式が一致していません

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。不一致が見つかった場合は、それを修正してください。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 1800F [1800F] 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのファミリーの不一致が検出されました：プロセッサのファミリーが一致していません

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。不一致が見つかった場合は、それを修正してください。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 18010 [18010] 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのステッピングの不一致が検出されました：同じモデルのプロセッサのステッピング ID が一致していません

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。不一致が見つかった場合は、それを修正してください。

2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- 823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」
- 827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」
- 836 ページの「システム・ボード・アSEMBリーの取り外しと交換」

- 2011001 [2011001] 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。: PCI SERR が検出されました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この計算ノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合:
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 セットアップ」->「システム設定」->「デバイスおよび I/O ポート」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバーをロードし、必要なファームウェア更新があればインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、アダプターを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、アダプターを交換します。
4. プロセッサを交換します。

関連リンク

- 814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」
- 815 ページの「I/O 拡張アダプターの取り付け」
- 26 ページの「Setup Utility の使用」
- 23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」
- 823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」
- 827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」

- 2018001 [2018001] 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。: PCIe 訂正不能エラーが検出されました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この計算ノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合:
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 セットアップ」->「システム設定」->「デバイスおよび I/O ポート」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバーをロードし、必要なファームウェア更新があればインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、アダプターを取り外します。アダプターがない状態でシステムが正常にリポートする場合は、そのアダプターを交換します。
4. プロセッサを交換します。

関連リンク

- [814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」](#)
- [815 ページの「I/O 拡張アダプターの取り付け」](#)
- [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)
- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)

- 2018002 [2018002] リソース制約のために、バス %、デバイス %、機能 % で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度 通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 Setup、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティを使用して、未使用のオプション ROM を無効にする必要がある場合があります。
3. アダプターを別のスロットに移動します。スロットが利用不能であるか、エラーが再発する場合は、アダプターを交換します。
4. アダプターを別のスロットに移動させてエラーが再発生しなかった場合は、この問題がシステムの制限事項ではないことを確認します。次にシステム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが解決しない場合も、システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」](#)

- 815 ページの「I/O 拡張アダプターの取り付け」
- 836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」

- 2018003 [2018003] バス %、デバイス %、機能 % でデバイスの不正なオプションの ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。: ROM チェックサム・エラー

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 セットアップ」->「システム設定」->「デバイスおよび I/O ポート」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
4. アダプターを交換します。

関連リンク

- 814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」
- 815 ページの「I/O 拡張アダプターの取り付け」
- 26 ページの「Setup Utility の使用」

- 3020007 [3020007] UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- 23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」
- 836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」

- 3028002 [3028002] ブート許可のタイムアウトが検出されました。: ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

- 3030007 [3030007] UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3040007 [3040007] UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3048005 [3048005] UEFI がバックアップ・フラッシュ・バンクからブートしました。: バックアップ UEFI イメージからブートしています

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

システムをプライマリー・バンクに戻します。

関連リンク

- [24 ページの「UEFI イメージのリカバリー」](#)

- 3048006 [3048006] 自動ブート・リカバリー (ABR) イベントのため、UEFI はバックアップ・フラッシュ・バンクからブートしました。: 自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プライマリー UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3050007 [3050007] UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 305000A [305000A] 無効な日付と時刻が検出されました。: RTC の日付と時刻が誤っています

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて解決します。
2. F1 セットアップを使用して日時を再設定します。システム・リセットの後に問題が再発する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [784 ページの「CMOS バッテリーの取り外し」](#)
 - [785 ページの「CMOS バッテリーの取り付け」](#)
 - [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
 - [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)
 - [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)
- 3058004 [3058004] 三振 (Three Strike) ブート障害が発生しました。システムはデフォルト UEFI 設定でブートしました: POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定を使用してブートしました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このイベントは、次回のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。成功すると、Setup Utility が表示されます。元の UEFI 設定はまだ残っています。
2. ユーザーが意図的にリブートを開始したのではない場合、ログで推定原因を確認してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けして、問題を特定します。
4. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを更新します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [784 ページの「CMOS バッテリーの取り外し」](#)
- [785 ページの「CMOS バッテリーの取り付け」](#)
- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3058009 [3058009] ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Setup Utility (「System Settings」 -> 「Settings」 -> 「Driver Health Status List」) に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「システム設定」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再起動します。

関連リンク

- [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)

- 305800A [305800A] ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」ステータスのコントローラーが報告されました。: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 305800B [305800B] ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)

- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 305800C [305800C] ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 305800D [305800D] ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断が失敗しました。「リブート」が必要です。: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 305800E [305800E] ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。

2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3060007 [3060007] UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3070007 [3070007] UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3108007 [3108007] デフォルトのシステム設定が復元されました。: システム構成がデフォルトに復元されました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)

- 3808000 [3808000] IMM 通信障害が発生しました。: IMM 通信に失敗しました

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. CMM から IMM をリセットします。
2. CMM を使用して、計算ノードから補助電源を除去します。これによって、計算ノードがリブートされます。
3. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを更新します。
5. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3808002 [3808002] IMM への UEFI 設定の保存中にエラーが発生しました。: IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Setup Utility を使用して、この設定を確認および保存します (設定がリカバリーされます)。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、計算ノードから補助電源を除去します。これによって、計算ノードがリブートされます。
4. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを更新します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [784 ページの「CMOS バッテリーの取り外し」](#)
- [785 ページの「CMOS バッテリーの取り付け」](#)
- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- **3808003 [3808003] IMM からシステム構成を取得できません。: IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました**

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Setup Utility を使用して、この設定を確認および保存します (設定がリカバリーされます)。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、計算ノードから補助電源を除去します。これによって、計算ノードがリブートされます。
4. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを更新します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [784 ページの「CMOS バッテリーの取り外し」](#)
- [785 ページの「CMOS バッテリーの取り付け」](#)
- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- **3808004 [3808004] IMM システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。: IPMI システム・イベント・ログがフルです**

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログを消去します。
2. IMM 通信が使用できない場合は、Setup Utility を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再起動します。

関連リンク

- [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)

- 3818001 [3818001] 現在ブートされているフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。プライマリー UEFI イメージを更新します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3818002 [3818002] ブートされていないフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを更新します。
2. エラーが続かない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3818003 [3818003] CRTM フラッシュ・ドライバーは、セキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクをプライマリーにリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートに失敗する場合、またはファームウェア更新が失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3818004 [3818004] CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。障害が発生しました。: CRTM 更新が失敗しました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが解決しない場合は、システムのブートおよびUEFI イメージの更新を続行します。
4. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3818005 [3818005] CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。更新が異常終了しました: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. イベントが解決しない場合は、システムのブートおよびUEFI イメージの更新を続行します。
4. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3818007 [3818007] 両方のフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセルを検査できませんでした。: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクをプライマリーにリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートに失敗する場合、またはファームウェア更新が失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3818009 [3818009] TPM を正しく初期化できませんでした。: TPMINIT: TPM チップを初期化できません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. エラーが解決しない場合は、システム・ボード・アセンブリーを交換します (「システム・ボード・アセンブリーの取り外し」および「システム・ボード・アセンブリーの取り付け」を参照)。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3868000 [3868000] IFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行 : IFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

通知メッセージ。操作は不要です。

- 3868001 [3868001] IFM: リセットのループが回避されました。複数回のリセットは許可されていません。: IFM: リセットのループが回避されました。複数回のリセットは許可されていません。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)

- 3868002 [3868002] BOFM: IMM との通信でエラーが発生しました - BOFM が正常にデプロイされない可能性があります。: BOFM: IMM との通信でエラーが発生しました - BOFM が正常にデプロイされない可能性があります

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 3868003 [3868003] BOFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。: BOFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

通知メッセージ。操作は不要です。

- 3938002 [3938002] ブート構成エラーが検出されました。: ブート構成エラー

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 「F1 Setup」 -> 「Save Settings」
2. 構成の更新を再試行します。

関連リンク

- [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)

- 50001 [50001] POST 時にエラーが検出されたため、DIMM が無効になりました。: DIMM が無効です

重大度 警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) を使用して DIMM を再度有効にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールから計算ノードの電源サイクルを実行します。
4. DIMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. DIMM および UEFI ファームウェアを更新します。
7. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 51003 [51003] 訂正不能メモリー・エラーが DIMM スロット % (ランク %) で検出されました。: [51003] プロセッサ % チャンネル % で、訂正不能メモリー・エラーが検出されました。チャンネル内で障害のある DIMM を判別できませんでした。[51003] 訂正不能なメモリー・エラーが POST 時に検出されました。致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度 エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この計算ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、light path あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
4. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、コネクターに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. エラーが生じたプロセッサを交換します。
7. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- 786 ページの「DIMM の取り外し」
- 788 ページの「DIMM の取り付け」
- 823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」
- 827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」
- 836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」

- 51006 [51006] メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいはアクションによって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを無効にします。この処置によって不一致がなくなった場合は、Lenovo データ・センター・サポート・サイトで、この問題に関連する情報がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを更新します。
5. DIMM を交換します。
6. プロセッサを交換します。

関連リンク

- 786 ページの「DIMM の取り外し」
- 788 ページの「DIMM の取り付け」
- 823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」
- 827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」

- 51009 [51009] システム・メモリーが検出されませんでした。: メモリーが検出されませんでした。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. これ以外にログに記録されているメモリー・エラーがある場合は、それらのコードで示されているアクションを最初に実行してください。
2. 他のメモリー診断コードがログに表示されていない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクタが有効になっていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、ノードをシャットダウンしてシャーシから取り外し、1 つ以上の DIMM が取り付けられていること、およびすべての DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを物理的に確認してください。
4. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクタ LED がいないかを確認し、ある場合は、その DIMM を取り付け直します。

5. ノードをシャーシに再取り付けして電源をオンにし、ログでメモリー診断コードを確認します。
6. 問題が解決しない場合は、プロセッサを交換してください。
7. 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

関連リンク

- [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)
- [788 ページの「DIMM の取り付け」](#)
- [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)
- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アSEMBリーの取り外しと交換」](#)

- 5100B [5100B] 適格でない DIMM シリアル番号が検出されました: シリアル番号 %、スロット %、メモリー・カード %。: 適格でない DIMM シリアル番号が検出されました

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この通知イベントが IMM イベント・ログに記録されている場合、サーバーに適格なメモリーが取り付けられていません。
2. 取り付けられているメモリーは、保証の対象にならない場合があります。
3. 適格なメモリーがない場合、業界標準を超えてサポートされている速度は有効になりません。
4. 貴社担当の営業担当員または Authorized Business Partner に連絡して、適格なメモリーを発注し、適格でない DIMM を交換してください。
5. 適格なメモリーを取り付けてサーバーの電源を入れた後、この通知イベントがログに再び記録されないことを確認してください。

関連リンク

- [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)

- 58001 [58001] PFA しきい値限界 (訂正不能エラー・ロギング限度) を、DIMM 番号 % (アドレス %) で超えました。MCx_Status に % が含まれ、MCx_Misc に % が含まれます。: DIMM PFA しきい値を超えました

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この計算ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートに、その更新で対応している既知の問題がリストされます。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Lightpath や障害ログ項目で示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに一度に 1 つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin (Service Bulletin) がないか確認します。(Lenovo サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. 同じ DIMM コネクターで問題が継続的に再発する場合は、DIMM コネクターに異物がないかを調査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. エラーが生じたプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. 対象のプロセッサを交換します。
9. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)
- [788 ページの「DIMM の取り付け」](#)
- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アSEMBリーの取り外しと交換」](#)

- 58007 [58007] 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。: サポートされていない DIMM 装着です

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このイベントは、訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントを解決します。他のエラーあるいはアクションによって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM コネクターが正しい順序で装着されていることを確認します。

関連リンク

- [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)
- [788 ページの「DIMM の取り付け」](#)

- 58008 [58008] DIMM が POST メモリー・テストに失敗しました。: DIMM がメモリー・テストに失敗しました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクタを再度有効にするか、あるいは Setup Utility を使用して、手動で対象の DIMM コネクタを再度有効にします。
2. この計算ノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、light path あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで問題が繰り返す場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を一度に1つずつ異なるメモリー・チャンネルまたはプロセッサに入れ替えます。異なるメモリー・チャンネルに移動した DIMM で問題が続く場合は、その DIMM を交換します。
5. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 元の DIMM コネクタで問題が解決しない場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. エラーが生じたプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサがアップグレード・プロセッサである場合は、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップし、対象のプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題が対象のプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが1つしかない場合) は、対象のプロセッサを交換します。
8. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)
 - [788 ページの「DIMM の取り付け」](#)
 - [26 ページの「Setup Utility の使用」](#)
 - [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
 - [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
 - [836 ページの「システム・ボード・アSEMBリーの取り外しと交換」](#)
- 58015 [58015] メモリーのスペア・コピーが開始されました。: スペア・コピーが開始されました

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

通知メッセージ。操作は不要です。

- 580A1 [580A1] ミラー・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。:ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクターがミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

関連リンク

- [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)
- [788 ページの「DIMM の取り付け」](#)

- 580A2 [580A2] スペアリング・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。:スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

DIMM コネクターがスペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

関連リンク

- [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)
- [788 ページの「DIMM の取り付け」](#)

- 580A4 [580A4] メモリー装着の変化が検出されました。: DIMM 装着の変化が検出されました

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

関連リンク

- [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)
- [788 ページの「DIMM の取り付け」](#)

- 580A5 [580A5] ミラーのフェイルオーバーが完了しました。DIMM 番号 % は、ミラーリングされたコピーにフェイルオーバーしました。: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

関連リンク

- [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)
- [788 ページの「DIMM の取り付け」](#)

- 580A6 [580A6] メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。: スペア・コピーが完了しました

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

関連リンク

- [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)
- [788 ページの「DIMM の取り付け」](#)

- 68002 [68002] CMOS バッテリー・エラーが検出されました: CMOS バッテリー障害

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [784 ページの「CMOS バッテリーの取り外し」](#)
- [785 ページの「CMOS バッテリーの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 68005 [68005] バス % で I/O コア・ロジックによってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ステータス・レジスターには % が含まれています。グローバルな非致命的エラー・ステータ

ス・レジスターには % が含まれています。その他のダウンストリーム・デバイス・エラーのデータがないか、エラー・ログを調べてください。: クリティカルな IOH-PCI エラー

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 680B8 [680B8] 内部 QPI リンク障害が検出されました。: 内部 QPI リンク障害が検出されました

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

- 680B9 [680B9] 外部 QPI リンク障害が検出されました。: 外部 QPI リンク障害が検出されました

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Lenovo データ・センター・サポート Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [823 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」](#)
- [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)
- [836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#)

症状別トラブルシューティング

この情報を参照して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけてください。

このセクションの現象ベースのトラブルシューティング情報を使用するには、以下のステップを実行してください。

1. IMM イベント・ログをチェックし、推奨操作に従ってすべてのイベント・コードを解決します (72 ページの「IMM イベント・ログ」を参照)。
2. このセクションのトラブルシューティング表で該当する症状を見つけて、推奨処置に従って問題を解決します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス要求を実行依頼します (849 ページの付録 A「ヘルプおよび技術サポートの入手」を参照)。

計算ノードの始動の問題

計算ノードの始動の問題を解決するには、この情報を使用します。

組み込みハイパーバイザーがブート・リストにない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 計算ノードの取り付け、移動、あるいは保守を最近行った場合、あるいは組み込みハイパーバイザーを初めて使用する場合は、デバイスが適切に接続されていること、およびコネクタに物理的損傷がないことを確認します。
2. <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> で、組み込みハイパーバイザー・デバイスが計算ノードでサポートされていることを確認します。
3. Setup Utility を使用して、組み込みハイパーバイザー・デバイス (SD カード USB デバイス) が始動シーケンスに入っていることを確認します。Setup Utility から「Start Options」を選択します。
4. <http://datacentersupport.lenovo.com/> で、組み込みハイパーバイザーおよび計算ノードに関連した Service Bulletin がないか調べます。
5. 計算ノード上で他のソフトウェアが作動していることを確認し、計算ノードが正常に機能していることを確認します。

接続の問題

ここには、接続に関する問題を解決するための情報が含まれています。

Flex System Manager 管理ノードと通信できない

データ・ネットワーク上でオプションの Flex System Manager 管理ノードと通信できない場合、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 接続パスのすべてのポートが有効になっていること、および Flex System Manager 管理ノードに ping 可能であることを確認します。Flex System Manager 管理ノードに ping できない場合は、749 ページの「データ・ネットワーク上で Flex System Manager 管理ノードに ping できない」を参照してください。
2. 使用しているプロトコルが有効になっていることを確認します。

注：デフォルトでは、セキュア・プロトコル (例えば、SSH および HTTPS) のみが有効です。

3. Flex System Manager 管理ノードにログインできない場合は、745 ページの「Flex System Manager 管理ノードにログインできない」を参照してください。

CMM と通信できない

データ・ネットワーク上で CMM と通信できない場合、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

注：計算ノードからの通信エラーが CMM イベント・ログに示されるのに最大 20 分かかる可能性があります。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 接続パス内のすべてのポートが有効になっていること、および CMM に ping 可能であることを確認します。CMM に ping できない場合は、745 ページの「管理ネットワーク上で CMM に ping できない」を参照してください。
2. 使用しているプロトコルが有効であることを確認します。

注：デフォルトでは、セキュア・プロトコル (例えば、SSH および HTTPS) のみが有効です。

3. CMM にログインできることを確認します。CMM にログインできない場合は、745 ページの「CMM にログインできない」を参照してください。
4. CMM 上のリセット・ボタンを押して、CMM をデフォルト設定にリセットします。

注：CMM 構成設定をリセットするには、ボタンを 10 秒間押し続けます。ユーザーが変更した構成設定は、すべて出荷時のデフォルト値にリセットされます。

I/O モジュールと通信できない

I/O モジュールと通信できない場合に計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 接続パス内のすべてのポートが有効になっていること、および I/O モジュールに ping 可能であることを確認します。I/O モジュールに ping できない場合は、747 ページの「I/O モジュールに ping できない」を参照してください。
2. 使用しているプロトコルが有効であることを確認します。

注：デフォルトでは、セキュア・プロトコル (例えば、SSH および HTTPS) のみが有効です。

3. I/O モジュールにログインできることを確認します。I/O モジュールにログインできない場合は、745 ページの「I/O モジュールにログインできない」を参照してください。
4. シリアル・ケーブルを使用して I/O モジュールに接続し、さらに問題の切り分けを行います。外部イーサネット・ポートを介して I/O モジュールにリンクすることもできます。

1 つ以上の計算ノードが SAN と通信できない

1 つ以上の計算ノードが SAN と通信できない場合に計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 次の点を確認します。
 - a. I/O モジュールの電源がオンになっており、I/O モジュール上の適切なポートが有効であること。
 - b. I/O モジュールの POST が完了してログにエラーが報告されていないことを、CMM が報告していること。
 - c. SAN デバイスの電源がオンで正常に機能していること。
 - d. I/O モジュールと SAN デバイスの間のすべてのケーブルが適切に接続され、動かないこと、および適切なポートの活動 LED が点灯していること。
2. SAN 接続またはネットワーク接続性の問題のトラブルシューティングの詳細については、I/O モジュールの資料を参照してください。

データ・ネットワーク (イーサネット) に接続できない

データ・ネットワーク (イーサネット) に接続できない場合、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

初期セットアップ中に単一の計算ノードがデータ・ネットワーク (イーサネット) に接続できない

初期セットアップ中に単一の計算ノードがデータ・ネットワーク (イーサネット) に接続できない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 次の点を確認します。
 - a. I/O モジュールの電源がオンになっており、I/O モジュール上の適切なポートが有効であること。
 - b. I/O モジュールとネットワーク・デバイス (スイッチやルーターなど) の間のすべてのケーブルが適切にしっかりと接続されていること、および適切なポートの活動 LED が点灯していること。
2. 計算ノードのオペレーティング・システムから、ネットワーク設定 (IP アドレス、サブネット・マスク (IPv4 を使用している場合)、DHCP 設定、vLAN 設定など) を確認し、それらの設定がネットワーク・デバイスの設定と一致していることを確認します。ネットワーク設定の確認方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。
3. 計算ノードのオペレーティング・システムから、ネットワーク・デバイスがアクティブであることを確認します。ネットワーク・デバイスの確認方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。
4. 計算ノードのイーサネット・デバイス用に適切なデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。
5. Lenovo サポート Web サイトで、この問題に適用できる可能性があるファームウェア更新がないかを確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
6. 計算ノードをシャーシから取り外し、ノード背面のコネクターのピンが曲がっていないかを確認します。ピンが曲がっている場合は、Lenovo サポートに連絡してください。[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#)を参照してください。
7. 計算ノードを別の計算ノード・ベイに取り付け、問題が残っているかを確認します。[765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」](#)を参照してください。問題が解決しない場合は、この計算ノードが接続されたポートが有効になっていること、および vLAN 設定でそのポートのネットワーク接続が可能になっていることを確認します。
8. Lenovo サポート Web サイトで、ネットワーク接続に関連する Service Bulletin がないかを確認します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. I/O モジュールのコネク터를チェックし、曲がったピンがないことを確認します。
 - c. シャーシ・ミッドプレーンのコネク터를チェックし、曲がったピンがないことを確認します。
<http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.common.nav.doc/chassis.html>を参照してください。

- d. I/O モジュールを取り外し、同じ I/O モジュール・ベイに正常に機能している I/O モジュールを取り付けます。
- e. 問題が解決された場合は、取り外した I/O モジュールを交換します。

単一の計算ノードのネットワーク (イーサネット) 接続が突然切断される

単一の計算ノードのネットワーク (イーサネット) 接続が突然切断される問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

イベント・ログにイベントが記録されます。管理ノード (取り付けられている場合) のイベント・ログ、または CMM のイベント・ログを参照し、この問題を解決するために必要なアクションを判別します。72 ページの「IMM イベント・ログ」を参照してください。

初期セットアップ中に複数の計算ノードがデータ・ネットワーク (イーサネット) に接続できない

初期セットアップ中に複数の計算ノードがデータ・ネットワーク (イーサネット) に接続できない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ内の 1 つ以上のデバイス (I/O モジュール、CMM など) のファームウェアを更新したばかりの場合は、以前のレベルのファームウェアをインストールします。
2. 次の点を確認します。
 - a. I/O モジュールの電源がオンになっており、I/O モジュール上の適切なポートが有効であること。
 - b. I/O モジュールとネットワーク・デバイス (スイッチやルーターなど) の間のすべてのケーブルが適切にしっかりと接続されていること、および適切なポートの活動 LED が点灯していること。
3. 計算ノードのオペレーティング・システムから、ネットワーク設定 (IP アドレス、サブネット・マスク (IPv4 を使用している場合)、DHCP 設定、vLAN 設定など) を確認し、それらの設定がネットワーク・デバイスの設定と一致していることを確認します。ネットワーク設定の確認方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。
4. 計算ノードのオペレーティング・システムから、ネットワーク・デバイスがアクティブであることを確認します。ネットワーク・デバイスの確認方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。
5. Lenovo サポート Web サイトで、この問題に適用できる可能性があるファームウェア更新がないかを確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
6. Lenovo サポート Web サイトで、ネットワーク接続に関連する Service Bulletin がないかを確認します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. I/O モジュールのコネクタをチェックし、曲がったピンがないことを確認します。
 - c. シャーシ・ミッドプレーンのコネクタをチェックし、曲がったピンがないことを確認します。
<http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.common.nav.doc/chassis.html> を参照してください。
 - d. I/O モジュールを取り外し、同じ I/O モジュール・ベイに正常に機能している I/O モジュールを取り付けます。
 - e. 問題が解決された場合は、取り外した I/O モジュールを交換します。

複数の計算ノードのネットワーク (イーサネット) 接続が突然切断される

複数の計算ノードのネットワーク (イーサネット) 接続が突然切断される問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

イベント・ログにイベントが記録されます。管理ノード (取り付けられている場合) のイベント・ログ、または CMM のイベント・ログを参照し、この問題を解決するために必要なアクションを判別します。72 ページの「IMM イベント・ログ」を参照してください。

ログインできない

管理ノード、CMM、あるいは I/O モジュールにログインできない場合に、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

Flex System Manager 管理ノードにログインできない

オプションの管理ノードにログインできない場合に、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいパスワードを使用していること、および大文字ロックがオフであることを確認します。
2. パスワードを忘れた場合は、Lenovo サポートに連絡して支援を受けてください。

ログインの問題について詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.htmlを参照してください。

CMM にログインできない

CMM にログインできない場合に、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいパスワードを使用していること、および大文字ロックがオフであることを確認します。
2. CMM 上のリセット・ボタンを押して、CMM のデフォルト設定を復元します。

I/O モジュールにログインできない

I/O モジュールにログインできない場合に、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいパスワードを使用していること、および大文字ロックがオフであることを確認します。
2. パスワードを忘れた場合は、Lenovo サポートに連絡して支援を受けてください。

管理ネットワーク上で CMM に ping できない

管理ネットワーク上で1つ以上の計算ノードが CMM に ping できない場合に、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

単一のノードから同じシャーシ内の CMM に ping できない

管理ネットワーク上で単一の計算ノードが同じシャーシ内の CMM に ping できない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. Chassis Management Module の電源がオンになっており、CMM 上の適切なポートが使用可能になっていることを確認します。
2. ノード上の Setup Utility を使用して、計算ノードの IMM が、CMM から IP アドレスを取得済みであることを確認します。

注：CMM の DHCP サーバーとの接続が直前に切断された場合は、CMM インターフェースを使用して IMM をリセットし、新規 IP アドレスを取得できるようにする必要があります。

3. CMM ユーザー・インターフェースで、「Chassis Management」>「Component IP Configuration」をクリックして、リストされた IP アドレスが Setup Utility で表示される IP アドレスと同じであることを確認します。同じ IP アドレスでない場合、IMM ネットワーク設定を正しく構成するか、または IMM をリセットして新しい IP アドレスが自動的に取得されるようにします。

4. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
5. 計算ノードをシャーシから取り外し、ノード背面のコネクターのピンが曲がっていないかを確認します。ピンが曲がっている場合は、Lenovo サポートに連絡してください。
6. 計算ノードを別の計算ノード・ベイに取り付け、問題が残っているかを確認します。問題が解決しない場合は、この計算ノードが接続されたポートが有効になっていること、および vLAN 設定でそのポートのネットワーク接続が可能になっていることを確認します。
7. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. I/O モジュール上のコネクターで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - c. シャーシ・ミッドプレーン上のコネクターで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - d. CMM を取り外し、同じベイに正常に機能している CMM を取り付けます。
 - e. 問題が解決された場合は、取り外した CMM を交換します。

複数のノードから同じシャーシ内の CMM に ping できない

管理ネットワーク上で複数のノードが同じシャーシ内の CMM に ping できない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. Chassis Management Module の電源がオンになっており、CMM 上の適切なポートが使用可能になっていることを確認します。CMM がハングする場合、CMM をリセットします。
2. CMM をリセットします。
3. CMM 用のファームウェア更新がないかを確認します。
4. CMM を出荷時のデフォルト値にリセットし、ノードの検出を再実行します。IMM がネットワーク・アドレスを取得するための十分な時間を確保します。
5. CMM を交換します。
6. ノード上の Setup Utility を使用して、計算ノードの IMM が、CMM から IP アドレスを取得済みであることを確認します。

注：CMM の DHCP サーバーとの接続が直前に切断された場合は、CMM インターフェースを使用して IMM をリセットし、新規 IP アドレスを取得できるようにする必要があります。

7. CMM ユーザー・インターフェースで、「Chassis Management」>「Component IP Configuration」をクリックして、リストされた IP アドレスが Setup Utility で表示される IP アドレスと同じであることを確認します。同じ IP アドレスでない場合、IMM ネットワーク設定を正しく構成するか、または IMM をリセットして新しい IP アドレスが自動的に取得されるようにします。
8. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
9. 計算ノードをシャーシから取り外し、ノード背面のコネクターのピンが曲がっていないかを確認します。ピンが曲がっている場合は、Lenovo サポートに連絡してください。
10. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
11. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。

- b. CMMのコネクターをチェックし、ピンが曲がっていないことを確認します。
- c. シャーシ・ミッドプレーン上のコネクターで、ピンが曲がっていないことを確認します。
- d. CMMを取り外し、同じベイに正常に機能しているCMMを取り付けます。
- e. 問題が解決された場合は、取り外したCMMを交換します。

CMMが別シャーシ内のCMMにpingできない

別のシャーシ内のCMMにpingできないCMMのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を参照します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. Chassis Management Moduleの電源がオンになっており、適切なポートが使用可能になっていることを確認します。
 - a. CMMが電源オンで、ハングしている場合は、CMMをリセットします。
 - b. IMM、管理ノード、およびCMMがすべて同じサブネット上にあることを確認します。
2. CMMとラック装着スイッチ間のケーブルが正しく接続され、該当するポート上の活動LEDが点灯していることを確認します。
3. 管理ノードのIPアドレスが正しいこと、およびCMMと同じサブネット上にあることを確認します。
4. ノード上のSetup Utilityを使用して、計算ノードのIMMが、CMMからIPアドレスを取得済みであることを確認します。

注：最近CMMからDHCPサーバーへの接続が失われた場合は、CMMインターフェースを使用してIMMをリセットし、新規IPアドレスを取得できるようにする必要があります。

5. CMMユーザー・インターフェースで、「Chassis Management」>「Component IP Configuration」をクリックして、リストされたIPアドレスがSetup Utilityで表示されるIPアドレスと同じであることを確認します。同じIPアドレスでない場合、IMMネットワーク設定を正しく構成するか、またはIMMをリセットして新しいIPアドレスが自動的に取得されるようにします。
6. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
7. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連するService Bulletinがないか確認します。
8. 計算ノードをシャーシから取り外し、ノード背面およびミッドプレーンのコネクターのピンが曲がっていないかを確認します。ピンが曲がっている場合は、Lenovoサポートに連絡してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. ノードおよびミッドプレーンのコネクターをチェックし、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - c. 管理ノード内のI/O拡張カードを交換します。
 - d. 管理ノードを交換します。

I/Oモジュールにpingできない

1つ以上の計算ノードがI/Oモジュールにpingできない場合に、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を参照します。

単一のノードからI/Oモジュールにpingできない

単一の計算ノードからI/Oモジュールにpingできない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を参照します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ内の1つ以上のデバイス (I/O モジュール) のファームウェアを更新したばかりで、ネットワーク設定を確認済みの場合は、以前のレベルのファームウェアをインストールします。
2. I/O モジュールの電源がオンになっており、I/O モジュール上の適切なポートが有効になっていることを確認します。
3. すべてのネットワーク・ケーブルが正しく接続されていること、および活動 LED が点灯していることを確認します。ケーブルが正しく接続されており、LED が点灯していない場合は、ケーブルを交換します。
4. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
5. ノードをシャーシから取り外し、ノード背面のコネクターのピンが曲がっていないかを確認します。ピンが曲がっている場合は、<https://support.lenovo.com> にアクセスしてサービス要求を実行依頼してください。
6. 計算ノードを別のノード・ベイに取り付けます (使用可能なベイがある場合)。問題が解決しない場合は、この計算ノードが接続されたポートが有効になっていること、および vLAN 設定でそのポートのネットワーク接続が可能になっていることを確認します。
7. <https://support.lenovo.com> を参照して、I/O モジュールの接続に関連する Service Bulletin がないか確認します。
8. 問題が解決しない場合は、I/O モジュールを交換し、<https://support.lenovo.com> にアクセスしてサービス要求を実行依頼してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. I/O モジュール上のコネクターで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - c. シャーシ・ミッドプレーン上のコネクターで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - d. I/O モジュールを取り外し、同じ I/O ベイに正常に機能している I/O モジュールを取り付けます。
 - e. 問題が解決された場合は、取り外した I/O モジュールを交換します。

複数のノードから I/O モジュールに ping できない

複数のノードから I/O モジュールに ping できない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ内の1つ以上のデバイス (I/O モジュールまたは CMM) のファームウェアを更新したばかりの場合は、以前のレベルのファームウェアをインストールします。
2. I/O モジュールの電源がオンになっており、I/O モジュール上の適切なポートが有効になっていることを確認します。
3. すべてのネットワーク・ケーブルが正しく接続されていること、および活動 LED が点灯していることを確認します。
4. 計算ノードのオペレーティング・システムから、ネットワーク・デバイスがアクティブであることを確認します。ネットワーク設定 (IP アドレス、サブネット・マスク (IPv4 を使用している場合)、DNS、DHCP 設定、vLAN 設定など) も確認し、それらの設定がネットワーク・デバイスの設定と一致していることを確認します。ネットワーク・デバイスの表示およびネットワーク設定の確認方法については、オペレーティング・システムに付属の資料を参照してください。
5. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
6. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. I/O モジュール上のコネクタで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - c. シャーシ・ミッドプレーン上のコネクタで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - d. I/O モジュールを取り外し、同じ I/O ベイに正常に機能している I/O モジュールを取り付けます。
 - e. 問題が解決された場合は、取り外した I/O モジュールを交換します。

データ・ネットワーク上で Flex System Manager 管理ノードに ping できない

データ・ネットワーク上で1つ以上の計算ノードがオプションの管理ノードに ping できない場合に、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

単一のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない

データ・ネットワーク上で単一のノードが同じシャーシ内のオプションの Flex System Manager 管理ノードに ping できない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 管理ノードにログインして、管理ノードが電源オンで、ハングしていないことを確認します。管理ネットワークからログインできない場合は、データ・ネットワークからのログインを試行してください。管理ノードが電源オンで、ハングしている場合は、CMM から管理ノードの仮想再取り付けを実行してください。
2. 管理ノードから I/O モジュールに ping を行い、I/O モジュールが電源オンで、ハングしていないことを確認します。I/O モジュールが電源オンで、ハングしている場合は、I/O モジュールをリセットします。I/O モジュール上で、ノード用に正しいポートが有効になっていることを確認します。
3. シャーシ内の、管理ノードが ping できないノードが、計算ノードのみであることを確認します。計算ノードのみではない場合、750 ページの「複数のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない」のステップを実行します。
4. ノードの構成設定が正しいこと、およびポートが有効になっていることを確認します。
5. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
6. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
7. 計算ノードを取り外して、ミッドプレーン上のコネクタおよびノードが破損していないことを確認します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. ノードおよびミッドプレーン上のコネクタで、ピンが曲がっていないことを確認します。

単一のノードから別のシャーシ内の管理ノードに ping できない

データ・ネットワーク上で単一のノードが別のシャーシ内のオプションの Flex System Manager 管理ノードに ping できない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 管理ノードにログインして、管理ノードが電源オンで、ハングしていないことを確認します。管理ネットワークからログインできない場合は、データ・ネットワークからのログインを試行してください。管理ノードが電源オンで、ハングしている場合は、CMM から管理ノードの仮想再取り付けを実行してください。

- 管理ノードから I/O モジュールに ping を行い、I/O モジュールが電源オンで、ハングしていないことを確認します。I/O モジュールが電源オンで、ハングしている場合は、I/O モジュールをリセットします。I/O モジュール上で、ノード用に正しいポートが有効になっていることを確認します。
- シャーシ内の、管理ノードが ping できないノードが、計算ノードのみであることを確認します。計算ノードのみではない場合、750 ページの「複数のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない」のステップを実行します。
- ノードの IP 構成設定が正しいこと、およびポートが有効になっていることを確認します。
- <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
- <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
- 計算ノードを取り外して、ミッドプレーン上のコネクタおよびノードが破損していないことを確認します。
- (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - リンク/二重速度を強制します。
 - ノードおよびミッドプレーン上のコネクタで、ピンが曲がっていないことを確認します。

複数のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない

複数のノードが、データ・ネットワーク上で同じシャーシ内にあるオプションの Flex System Manager 管理ノードを ping できない場合は、このセクションの情報をを使用してトラブルシューティングを行ってください。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 管理ノードにログインして、管理ノードが電源オンで、ハングしていないことを確認します。管理ネットワークからログインできない場合は、データ・ネットワークからのログインを試行してください。管理ノードが電源オンで、ハングしている場合は、CMM から管理ノードの仮想再取り付けを実行してください。
- 管理ノードから I/O モジュールに ping を行い、I/O モジュールが電源オンで、ハングしていないことを確認します。I/O モジュールが電源オンで、ハングしている場合は、I/O モジュールをリセットします。I/O モジュール上で、ノード用に正しいポートが有効になっていることを確認します。
- 管理ノードの管理ネットワーク・ポート (eth1) が有効になっていることを確認します。ポート構成が、データ・ネットワーク用に正しく設定されていることを確認します。
- 各ノードの構成設定が正しいこと、およびデータ・ネットワーク・ポートが有効になっていることを確認します。
- I/O モジュールの構成設定が正しいこと、および I/O モジュール上で計算ノードおよび管理ノード用に適切なポートが有効になっていることを確認します。問題がそのまま残る場合は、次のステップを実行してください。
 - I/O モジュールを再起動します。
 - <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
 - I/O モジュールの仮想再取り付けを実行します。
 - I/O モジュールを交換します。
- <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
- 管理ノードを取り外し、ミッドプレーンおよび管理ノードのコネクタが損傷していないことを確認します。

8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. ノードおよびミッドプレーン上のコネクタで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - c. 管理ノード内の I/O 拡張カードを交換します。

複数のノードから別のシャーシ内の管理ノードに ping できない

複数のノードが、データ・ネットワーク上で別のシャーシ内にあるオプションの Flex System Manager 管理ノードを ping できない場合は、このセクションの情報を使用してトラブルシューティングを行ってください。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 管理ノードにログインして、管理ノードが電源オンで、ハングしていないことを確認します。管理ネットワークからログインできない場合は、データ・ネットワークからのログインを試行してください。管理ノードが電源オンで、ハングしている場合は、CMM から管理ノードの仮想再取り付けを実行してください。
2. 管理ノードから I/O モジュールに ping を行い、I/O モジュールが電源オンで、ハングしていないことを確認します。I/O モジュールが電源オンで、ハングしている場合は、I/O モジュールをリセットします。I/O モジュール上で、ノード用に正しいポートが有効になっていることを確認します。
3. 管理ノードの管理ネットワーク・ポート (eth1) が有効になっていることを確認します。ポート構成が、データ・ネットワーク用に正しく設定されていることを確認します。
4. 各ノードの構成設定が正しいこと、およびデータ・ネットワーク・ポートが有効になっていることを確認します。
5. I/O モジュールの構成設定が正しいこと、および I/O モジュール上で計算ノードおよび管理ノード用に適切なポートが有効になっていることを確認します。問題がそのまま残る場合は、次のステップを実行してください。
 - a. I/O モジュールを再起動します。
 - b. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
 - c. I/O モジュールの仮想再取り付けを実行します。
 - d. I/O モジュールを交換します。
6. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
7. 管理ノードを取り外し、ミッドプレーンおよびノードのコネクタが損傷していないことを確認します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. ノードおよびミッドプレーン上のコネクタで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - c. 管理ノード内の I/O 拡張カードを交換します。

複数のノードから同じシャーシ内または別のシャーシ内の管理ノードに ping できない

複数のノードが、データ・ネットワーク上で同じシャーシまたは別のシャーシ内にあるオプションの Flex System Manager 管理ノードを ping できない場合は、このセクションの情報を使用してトラブルシューティングを行ってください。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. [750 ページ](#)の「複数のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない」のステップを実行します。

2. 751 ページの「複数のノードから別のシャーシ内の管理ノードに ping できない」のステップを実行します。

管理ネットワーク上で Flex System Manager 管理ノードに ping できない

管理ネットワーク上で1つ以上の計算ノードがオプションの管理ノードに ping できない場合に、計算ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

単一のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない

管理ネットワーク上で単一のノードが同じシャーシ内のオプションの Flex System Manager 管理ノードに ping できない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 管理ノードにログインして、管理ノードが電源オンで、ハングしていないことを確認します。管理ネットワークからログインできない場合は、データ・ネットワークからのログインを試行してください。管理ノードが電源オンで、ハングしている場合は、CMM から管理ノードの仮想再取り付けを実行してください。
2. 管理ノードから CMM に ping して、CMM の電源がオンになっており、ハングしていないことを確認します。CMM が電源オンで、ハングしている場合は、CMM をリセットします。IMM、管理ノード、および CMM がすべて同じサブネット上にあることを確認します。
3. シャーシ内の、管理ノードが ping できないノードが、計算ノードのみであることを確認します。計算ノードのみではない場合、753 ページの「複数のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない」のステップを実行します。計算ノードがシャーシ・マップに表示されること(管理ノード・ソフトウェアでは、完全に検出されない場合があります)を確認します。
4. リモート・シャーシのシャーシ・マップを参照して、各計算ノード内のシステム管理プロセッサの IP アドレスが有効であることを確認します。

注：CMM の DHCP サーバーとの接続が直前に切断された場合は、CMM インターフェースを使用して IMM をリセットし、新規 IP アドレスを取得できるようにする必要があります。

5. CMM ユーザー・インターフェースで、「Chassis Management」>「Component IP Configuration」をクリックして、リストされた IP アドレスが Setup Utility で表示される IP アドレスと同じであることを確認します。IP アドレスが同一ではない場合、IMM ネットワーク設定を正しく構成してください。
6. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
7. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
8. 計算ノードを取り外して、ミッドプレーン上のコネクタおよびノードが破損していないことを確認します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. ノードおよびミッドプレーン上のコネクタで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - c. システム・ボード・アセンブリーを交換します(836 ページの「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」を参照)。

単一のノードから別のシャーシ内の管理ノードに ping できない

管理ネットワーク上で単一のノードが別のシャーシ内のオプションの Flex System Manager 管理ノードに ping できない問題をトラブルシューティングするには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 管理ノードにログインして、管理ノードが電源オンで、ハングしていないことを確認します。管理ネットワークからログインできない場合は、データ・ネットワークからのログインを試行してください。管理ノードが電源オンで、ハングしている場合は、CMM から管理ノードの仮想再取り付けを実行してください。
2. 管理ノードから CMM に ping して、CMM の電源がオンになっており、ハングしていないことを確認します。
 - a. CMM が電源オンで、ハングしている場合は、CMM をリセットします。
 - b. IMM、管理ノード、および CMM がすべて同じサブネット上にあることを確認します。
3. シャーシ内の、管理ノードが ping できないノードが、計算ノードのみであることを確認します。計算ノードのみではない場合、753 ページの「複数のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない」のステップを実行します。計算ノードがシャーシ・マップに表示されること(管理ノード・ソフトウェアでは、完全に検出されない場合があります)を確認します。
4. 計算ノード上で Setup Utility を使用して、IMM が CMM から IP アドレスを取得済みであることを確認します。

注：CMM の DHCP サーバーとの接続が直前に切断された場合は、CMM インターフェースを使用して IMM をリセットし、新規 IP アドレスを取得できるようにする必要があります。

5. リモート・シャーシのシャーシ・マップを参照して、各計算ノード内のシステム管理プロセッサの IP アドレスが有効であることを確認します。

注：CMM の DHCP サーバーとの接続が直前に切断された場合は、CMM インターフェースを使用して IMM をリセットし、新規 IP アドレスを取得できるようにする必要があります。

6. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
7. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
8. 計算ノードを取り外して、ミッドプレーン上のコネクタおよびノードが破損していないことを確認します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) ノードおよびミッドプレーン上のコネクタで、ピンが曲がっていないことを確認します。

複数のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない

複数のノードが、管理ネットワーク上で同じシャーシ内にあるオプションの Flex System Manager 管理ノードを ping できない場合は、このセクションの情報を使用してトラブルシューティングを行ってください。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 管理ノードにログインして、管理ノードが電源オンで、ハングしていないことを確認します。管理ネットワークからログインできない場合は、データ・ネットワークからのログインを試行してください。管理ノードが電源オンで、ハングしている場合は、CMM から管理ノードの仮想再取り付けを実行してください。
2. 管理ノードから CMM に ping して、CMM の電源がオンになっており、ハングしていないことを確認します。
 - a. CMM が電源オンで、ハングしている場合は、CMM をリセットします。
 - b. IMM、管理ノード、および CMM がすべて同じサブネット上にあることを確認します。
3. 管理ノードの管理ネットワーク・ポート (eth0) が有効になっていることを確認します。
4. 管理ノードが IP アドレスを持っていること、CMM と同じサブネット上にあること、および CMM に ping できることを確認します。

5. リモート・シャーシのシャーシ・マップを参照して、各計算ノード内のシステム管理プロセッサの IP アドレスが有効であることを確認します。

注：CMM の DHCP サーバーとの接続が直前に切断された場合は、CMM インターフェースを使用して IMM をリセットし、新規 IP アドレスを取得できるようにする必要があります。

システム管理プロセッサに有効な IP アドレスがない場合、以下のステップを実行してください。

- a. CMM を再始動します。
 - b. <https://support.lenovo.com> で、この問題に適用できそうなファームウェア更新またはソフトウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
 - c. CMM を取り外してから再取り付けします。
 - d. CMM を交換します。
6. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
 7. 管理ノードを取り外し、ミッドプレーンおよび管理ノードのコネクタが損傷していないことを確認します。
 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. ノードおよびミッドプレーン上のコネクタで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - c. 管理ノード内の I/O 拡張カードを交換します。
 - d. 管理ノードを交換します。

複数のノードから別のシャーシ内の管理ノードに ping できない

複数のノードが、管理ネットワーク上で別のシャーシ内にあるオプションの Flex System Manager 管理ノードを ping できない場合は、このセクションの情報を使用してトラブルシューティングを行ってください。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 管理ノードにログインして、管理ノードが電源オンで、ハングしていないことを確認します。管理ネットワークからログインできない場合は、データ・ネットワークからのログインを試行してください。管理ノードが電源オンで、ハングしている場合は、CMM から管理ノードの仮想再取り付けを実行してください。
2. 管理ノードから CMM に ping して、CMM の電源がオンになっており、ハングしていないことを確認します。
 - a. CMM が電源オンで、ハングしている場合は、CMM をリセットします。
 - b. IMM、管理ノード、および CMM がすべて同じサブネット上にあることを確認します。
3. CMM とラック装着スイッチの間のすべてのケーブルが正しくしっかりと接続されていること、および適切なポートの活動 LED が点灯していることを確認します。
4. CMM (管理ノードと同じシャーシ内の CMM、およびリモート・シャーシ内の CMM) が同じサブネット・アドレスを持っていて、互いを ping できることを確認します。ping できない場合は、ラック装着スイッチのポートが有効になっていることを確認します。可能な場合、CMM を直接接続してみます。
5. シャーシ・マップを表示して、管理ノードがそのシャーシ内のノードをすべて検出していることを確認します。すべてのノードが検出されていない場合、753 ページの「複数のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない」のステップを実行します。
6. リモート・シャーシのシャーシ・マップをチェックし、各計算ノードの管理プロセッサの IP アドレスが有効であることを確認します。

注：CMM の DHCP サーバーとの接続が直前に切断された場合は、CMM インターフェースを使用して IMM をリセットし、新規 IP アドレスを取得できるようにする必要があります。

システム管理プロセッサに有効な IP アドレスがない場合、以下のステップを実行してください。

- a. リモート・シャーシ内の CMM を再起動します。
 - b. <https://support.lenovo.com> で、この問題に適用できそうなファームウェア更新またはソフトウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
 - c. CMM を取り外してから再取り付けします。
 - d. CMM を交換します。
7. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。
 8. ノードを取り外し、ミッドプレーンおよびノードのコネクターが損傷していないことを確認します。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 以下のステップを実行します。
 - a. リンク/二重速度を強制します。
 - b. ノードおよびミッドプレーン上のコネクターで、ピンが曲がっていないことを確認します。
 - c. 管理ノード内の I/O 拡張カードを交換します。

複数のノードから同じシャーシ内または別のシャーシ内の管理ノードに ping できない

複数のノードが、管理ネットワーク上で同じシャーシまたは別のシャーシ内にあるオプションの Flex System Manager 管理ノードを ping できない場合は、このセクションの情報を使用してトラブルシューティングを行ってください。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 753 ページの「複数のノードから同じシャーシ内の管理ノードに ping できない」のステップを実行します。
2. 754 ページの「複数のノードから別のシャーシ内の管理ノードに ping できない」のステップを実行します。

ハードディスク・ドライブの問題

ハード・ディスクの問題を解決するには、この情報を使用します。

計算ノードが 1 つのドライブを認識しない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ドライブが、この計算ノードでサポートされていることを確認します。サポートされるハードディスク・ドライブのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。
2. ドライブがドライブ・ベイに正しく装着されていること、およびドライブ・コネクターに物理的損傷がないことを確認します。
3. DSA SAS Fixed Disk または SAS Attached Disk 診断テストを実行します (74 ページの「[Lenovo Dynamic System Analysis](#)」を参照)。
 - a. ドライブの診断テストが失敗する場合は、そのドライブを交換します。
 - b. ドライブの診断テストはパスするが、そのドライブが認識されない場合は、次のステップを実行します。
 - 1) ドライブを交換します。
 - 2) ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを交換します (797 ページの「[ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し](#)」および 798 ページの「[ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け](#)」を参照)。
 - 3) システム・ボード・アセンブリを交換します (836 ページの「[システム・ボード・アセンブリの取り外しと交換](#)」を参照)。

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

再現性の低い外部デバイスの問題

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。
2. USB デバイスの場合:
 - a. デバイスが正しく構成されていることを確認します (26 ページの「[Setup Utility の使用](#)」を参照)。
 - b. デバイスを別のポートに接続します。USB ハブを使用している場合は、ハブを取り外し、デバイスを計算ノードに直接接続します。デバイスがポートに対して正しく構成されていることを確認します (26 ページの「[Setup Utility の使用](#)」を参照)。
 - c. DSA Preboot USB 診断を実行します (74 ページの「[Lenovo Dynamic System Analysis](#)」を参照)。

再現性の低い KVM の問題

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

ビデオの問題:

1. すべてのケーブルおよびコンソール・ブレイクアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。
2. モニターを別の計算ノードでテストして、正常に機能していることを確認します。
3. 正常に機能している計算ノードでコンソール・ブレイクアウト・ケーブルをテストし、正常に機能していることを確認します。コンソール・ブレイクアウト・ケーブルに障害がある場合は交換します。

キーボードの問題:

すべてのケーブルおよびコンソール・ブレイクアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。

マウスの問題:

すべてのケーブルおよびコンソール・ブレイクアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。

再現性の低い予期しないリブート

リブートを示すイベント・コードがないかを確認します。管理ノード (取り付けられている場合) のイベント・ログ、または CMM のイベント・ログを参照し、この問題を解決するために必要なアクションを判別します。72 ページの「[IMM イベント・ログ](#)」を参照してください。一部の訂正可能エラーでは、計算ノードをリブートして、マシンが正常に起動できるようにするためにメモリー DIMM やマイクロプロセッサなどのデバイスを無効にする必要があります。

再現性の低い接続の問題

再現性の低い接続の問題を解決するには、この情報を使用します。

単一の計算ノードが断続的に接続できない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ネットワーク・ケーブルがスイッチ・モジュールのポートに正しく接続されていること、およびスイッチ・モジュールが正しく装着されていることを確認します。

2. NIC デバイス・ドライバーまたはストレージ・デバイス・コントローラーのデバイス・ドライバーを更新します。
3. 接続の問題の解決について、I/O モジュールの資料を参照してください。

複数の計算ノードが断続的に接続できない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. デバイスの製造元が提供する診断ツールを使用して、デバイスが接続されている I/O モジュールをテストします。
2. 最初に 1 つの計算ノードをネットワークに接続し、続けて別の計算ノードを 1 つずつ接続して問題を切り分けます。
3. 必要に応じて、I/O モジュールのファームウェアを更新します。

注：計算ノードを再起動し、I/O モジュールで POST 診断を実行することで、問題の切り分けに役立つ場合があります。ただし、これによってネットワークに他の悪影響を及ぼす場合があります。

メモリーの問題

メモリーの問題を解決するには、この情報を使用します。

表示されるシステム・メモリーの容量が、取り付けられている物理メモリーの容量より少ない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 次の点を確認します。
 - a. 正しいタイプのメモリーを取り付けた (788 ページの「DIMM の取り付け」を参照)。
 - b. メモリー・ミラーリング・モードまたはメモリー・スペアリング・モードが不一致の原因ではない。Setup Utility でメモリー構成を確認することができます (26 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。
2. 最近、新規メモリーを取り付けた場合は、イベント・ログに構成イベントが報告されていないことを確認します。イベントがある場合は、そのイベントを解決します。

注：DIMM は、UEFI ソフトウェアによって、Lenovo の純正モジュールであるか検証されます。純正以外のいずれかの DIMM が検出された場合は、システム・イベント・ログに通知メッセージが表示され、メモリーのパフォーマンスが制限される場合があります。純正以外の DIMM は Lenovo 保証の対象外です。

3. 最近、計算ノードの取り付け、移動、あるいは保守を行った場合は、DIMM が正しくコネクタに取り付けられていることを確認します (788 ページの「DIMM の取り付け」を参照)。
4. すべての DIMM が有効になっていることを確認します。計算ノードが問題を検出したときに DIMM を自動的に使用不可にしたか、DIMM が手動で使用不可にされた可能性があります (26 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。
5. メモリー診断を実行します (74 ページの「Lenovo Dynamic System Analysis」を参照)。
6. 計算ノードが正しいメモリー容量を示すまで、DIMM を取り外します。正常に機能していない DIMM を判別できるまで、一度に 1 つずつ DIMM を取り付けます。その DIMM を取り外し、正常な DIMM と交換します (786 ページの「DIMM の取り外し」および 788 ページの「DIMM の取り付け」を参照)。

注：DIMM の取り付けまたは取り外しをした後は、Setup Utility を使用して新構成情報を変更し保存する必要があります。計算ノードの電源を入れると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。Setup Utility を開始して「Save Settings」を選択し (詳細については、26 ページの「Setup Utility の使用」を参照)、変更を保存します。

7. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

目視で確認できる問題

目視で確認できる問題を解決するには、この情報を使用します。

計算ノードが応答しない (POST が完了し、オペレーティング・システムが稼働している)

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

計算ノードの設置場所にいる場合は、以下のステップを実行してください。

1. KVM 接続を使用している場合、その接続が正常に機能していることを確認します。使用していない場合は、キーボードおよびマウスが正常に機能していることを確認します。
2. 可能な場合、計算ノードにログインし、すべてのアプリケーションが稼働している (ハングしているアプリケーションがない) ことを確認します。
3. 計算ノードを再起動します。
4. 問題が解決しない場合は、すべての新規ソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを確認します。
5. ソフトウェアの購入先またはソフトウェア・プロバイダーに連絡します。

リモート・ロケーションから計算ノードにアクセスしている場合は、以下のステップを実行してください。

1. すべてのアプリケーションが稼働している (ハングしているアプリケーションがない) ことを確認します。
2. システムからログアウトしてから、再度ログインしてみます。
3. コマンド・ラインから計算ノードに対して ping または traceroute を実行してネットワーク・アクセスを検証します。
 - a. ping テスト中に応答が得られない場合は、シャーシ内の別の計算ノードに ping を試行し、接続の問題であるのか、計算ノードの問題であるのかを判別します。
 - b. trace route を実行し、接続が切断されている場所を判別します。VPN あるいは接続が切断されているポイントの接続の問題の解決を試行します。
4. 管理インターフェースから計算ノードをリモートで再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、すべての新規ソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを確認します。
6. ソフトウェアの購入先またはソフトウェア・プロバイダーに連絡します。

異臭

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 異臭は、新規に取り付けた装置から発生している可能性があります。
2. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

計算ノードが高温になっているように見える

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

複数の計算ノードまたはシャーシの場合:

1. 室温が指定の範囲内であることを確認します (4 ページの「機能および仕様」を参照)。
2. Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) または CMM ログで、温度上昇イベントがないかを確認します。イベントがない場合、計算ノードは正常な作動温度内で稼働しています。ある程度の温度変化は予想されるので注意してください。

単一の計算ノードの場合:

Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) または CMM ログで、温度上昇イベントがないかを確認します。イベントがない場合、計算ノードは正常な作動温度内で稼働しています。ある程度の温度変化は予想されるので注意してください。

部品またはシャーシが破損している

Lenovo サポートに連絡してください。

オプションのデバイスおよび交換可能コンポーネントの取り付けの問題

オプションのデバイスおよび交換可能コンポーネントの取り付けの問題を解決するには、この情報を使用します。

外部 USB デバイスが認識されない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 計算ノードに適切なドライバーがインストールされていることを確認します。デバイス・ドライバーの情報については、USB デバイスの製品資料を参照してください。
2. Setup Utility を使用して、デバイスが正しく構成されていることを確認します。
3. USB デバイスがハブまたはコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに差し込まれている場合は、そのデバイスを引き抜き、計算ノード前面の USB ポートに直接差し込みます。
4. DSA USB 診断テストを実行します。

PCIe アダプターが認識されない/機能していない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. イベント・ログを確認し、このデバイスに関連する問題をすべて解決します。
2. <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照して、アダプターがサポートされていることを確認します。
3. アダプターが正しいスロットに取り付けられていることを確認します。
4. そのデバイス用に適切なデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。
5. レガシー・モード (UEFI) を実行中の場合、リソースの競合があれば解決します。
6. <http://datacentersupport.lenovo.com/> で Service Bulletin がないか調べます。
7. すべてのアダプター外部接続が正しいこと、およびコネクタが物理的に損傷していないことを確認します。

パフォーマンスの問題

パフォーマンスの問題を解決するには、この情報を使用します。

ネットワーク・パフォーマンスに関する問題

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. どのネットワーク (ストレージ、データ、管理など) が低速で作動しているかを特定します。ping ツールやオペレーティング・システム・ツール (タスク・マネージャーあるいはリソース・マネージャーなど) を使用すると、この特定に役立つ場合があります。
2. ネットワークにトラフィック輻輳が生じていないかどうか確認します。
3. NIC デバイス・ドライバーまたはストレージ・デバイス・コントローラーのデバイス・ドライバーを更新します。
4. I/O モジュールの製造元が提供するトラフィック診断ツールを使用します。

オペレーティング・システムのパフォーマンス

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 最近、計算ノードに変更を行った場合 (例えば、デバイス・ドライバーの更新やソフトウェア・アプリケーションのインストールなど)、それらの変更を元に戻します。
2. ネットワーキングの問題がないかを確認します。
3. オペレーティング・システム・ログでパフォーマンス関連のエラーがないかを確認します。
4. 高温および電源問題に関連するイベントがないかを確認します。これは、計算ノードで冷却を補助するために、スロットルが発生している可能性があるためです。スロットルが発生している場合は、パフォーマンスを向上させるために計算ノード上のワークロードを削減してください。
5. DIMM の無効化に関連するイベントがないかを確認します。アプリケーション・ワークロードに十分なメモリーがない場合、オペレーティング・システムのパフォーマンスは低下します。
6. 構成に対してワークロードが高すぎないようにする必要があります。

電源オン問題

電源オン問題を解決するには、この情報を使用します。

単一のノードが電源オンされない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 最近、計算ノードの取り付け、移動、あるいは保守を行った場合は、計算ノードをベイに取り付け直します。最近、計算ノードの取り付け、移動、あるいは保守を行っていない場合は、**CMM service** コマンドを使用して仮想再取り付けを実行します。CMM service コマンドについては、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_service.html を参照してください。
2. イベント・ログで、計算ノードに関連するイベントがないかを確認し、それらの問題を解決します。Flex System Manager 管理ノードが取り付けられている場合は、管理ノードのイベント・ログを確認します。取り付けられていない場合は、Chassis Management Moduleのイベント・ログを調べます。
3. CMM が計算ノードを認識できることを確認します。CMM ユーザー・インターフェースにログインし、シャーシ・ビューに計算ノードが表示されることを確認します。CMM が計算ノードを認識できない場合は、計算ノードを取り外し、計算ノードとノード・ベイの背面を検査して、コネクタに物理的損傷がないことを確認します。
4. CMM に実装されている電源ポリシーが、計算ノードの電源をオンにするために十分であることを確認します。電源ポリシーは、CMM **pmpolicy** コマンドおよび CMM Web インターフェースから確認することができます。
 - CMM **pmpolicy** コマンドについては、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_pmpolicy.html を参照してください。
 - CMM Web インターフェースで、シャーシ管理メニューから「電源モジュールおよび管理」を選択します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_user_guide.html を参照してください。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。
5. Flex System Manager 管理ノードが計算ノードの検出を完了していることを確認します。Flex System Manager ユーザー・インターフェースにログインし、CMM からシャーシ・ビューに計算ノードが表示されることを確認します。
6. システム・ボード・アセンブリを交換します (836 ページの「システム・ボード・アセンブリの取り外しと交換」を参照)。

注：システム・ボード・アセンブリを取り替えられるようになるまで、CMM または Flex System Manager のユーザー・インターフェースから計算ノードの電源オンを試行できます。

追加情報については、http://download.lenovo.com/servers/mig/systems/support/system_x/introducing_uefi-compliant_firmware_on_ibm_system_x.1.2.pdf と http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.commontasks.doc/commontasks_intro.html を参照してください。

複数のノードが電源オンされない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 最近、計算ノードの取り付け、移動、あるいは保守を行った場合は、計算ノードをベイに取り付け直します。最近、計算ノードの取り付け、移動、あるいは保守を行っていない場合は、CMM service コマンドを使用して仮想再取り付けを実行します。CMM service コマンドについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_service.htmlを参照してください。
2. イベント・ログで、計算ノードに関連するイベントがないかを確認し、それらの問題を解決します。Flex System Manager 管理ノードが取り付けられている場合は、管理ノードのイベント・ログを確認します。取り付けられていない場合は、Chassis Management Moduleのイベント・ログを確認します。

計算ノードが電源オフされない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. Flex System Manager 管理ノードが取り付けられている場合は、Flex System Manager ユーザー・インターフェースから計算ノードの電源オフを試みます。それ以外の場合は、CMM ユーザー・インターフェースを使用して、計算ノードの電源オフを試行します。
2. 計算ノードのシステム管理プロセッサの再起動を試行します。システム管理プロセッサは、CMM ユーザー・インターフェースを使用して再始動することができます。シャーシ・ビューで計算ノードをクリックし、次に「システム管理プロセッサの再起動」をクリックします。システム管理プロセッサが再始動したら、CMM から計算ノードの電源オフを試行します。
3. ノード前面の電源ボタンを使用して、計算ノードの電源オフを試行します。
4. CMM コマンド・ライン・インターフェース (CLI) で `reset` コマンドを使用して、計算ノードのリセットを試行します。
5. CMM を取り付け直してから、ステップ 1 から 5 を再度実行します。

ソフトウェアの問題

ソフトウェアの問題を解決するには、この情報を使用します。

1. その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。
 - 計算ノードに、ソフトウェアを使用するために必要な最小メモリーが搭載されている。メモリー所要量については、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

注：アダプターまたはメモリーを取り付けたばかりの場合は、計算ノードでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。

- ソフトウェアが計算ノードで作動するように設計されている。
 - その他のソフトウェアは計算ノード上で作動する。
 - このソフトウェアが他の計算ノードでは作動する。
2. ソフトウェアを使用しているときにエラー・メッセージを受け取った場合は、そのメッセージの説明および推奨される問題解決方法について、そのソフトウェアに付属の資料を参照してください。
 3. ソフトウェア購入先にお問い合わせください。

未解決問題

未解決問題を解決するには、この情報を使用します。

未解決問題がある場合

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログをチェックし、推奨操作に従ってすべてのイベント・コードを解決します (72 ページの「IMM イベント・ログ」を参照)。

2. このセクションのトラブルシューティング表で該当する症状を見つけて、推奨処置に従って問題を解決します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス要求を実行依頼します (849 ページの [付録 A 「ヘルプおよび技術サポートの入手」](#) を参照)。

計算ノードが Flex System Manager 管理ノードあるいは CMM によって検出されない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 計算ノードが Flex System Manager 管理ノード (取り付けられている場合) または CMM によって認識されていることを確認します。シャーシ・マップに不明なデバイスとして表示されている場合があります。認識されていない場合は、以下のステップを実行してください。
 - a. 計算ノードを取り外し、計算ノードと計算ノード・ベイの背面の両方を検査して、コネクタに物理的損傷がないことを確認します。
 - b. 計算ノードを別のベイに移動します。
 - c. システム・ボード・アセンブリーを交換します (836 ページの [「システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換」](#) を参照)。
2. Flex System Manager 管理ノードあるいは CMM から計算ノードに ping できるかを確認します。できない場合は、752 ページの [「管理ネットワーク上で Flex System Manager 管理ノードに ping できない」](#) を参照してください。
3. 計算ノードが別のシャーシ内にある場合は、Flex System Manager 管理ノードを使用してそのシャーシを管理するための適切なソフトウェア・ライセンスがあることを確認してください。
4. <https://support.lenovo.com> を参照して、この問題に適用できそうなファームウェア更新がないか確認します。ファームウェア更新のリリース・ノート参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。
5. <https://support.lenovo.com> を参照して、ネットワーク接続性に関連する Service Bulletin がないか確認します。

サービス・データの収集

このトピックでは、サービス・データの収集について説明します。

Electronic Service Agent または first-failure data capture (FFDA) ツールを使用して、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリ情報のモニター、トラッキング、および収集を行い、保守可能な問題を Lenovo Support に直接報告することができます。データを手動で収集するよう選択することもできます。Electronic Service Agent または FFDA ツールを使用して、Lenovo に送信される情報は、すべて暗号化されてセキュアな Lenovo データベースに保管され、問題判別の向上に使用されます。

- Electronic Service Agent は、Flex System Manager サービスおよびサポート・マネージャーに組み込まれており、Flex System Manager 管理ソフトウェアがインストールされている場合は使用可能です。Electronic Service Agent およびそのセットアップ方法の詳細については、http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8731.doc/setting_up_electronic_service_agent.html の資料を参照してください。
- FFDA ツールは IMM2 に組み込まれています。IMM2 へのアクセスの詳細については、45 ページの [第 4 章「IMM2 へのアクセス」](#) を参照してください。

第 7 章 計算ノードのコンポーネントの取り付け、取り外し、および交換

計算ノードで交換可能コンポーネントおよびオプション・デバイスの取り付け、取り外し、および交換を行うには、この情報を使用します。

コンポーネントが消耗部品であるか、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、55 ページの第 5 章「[タイプ 9532 および 2951 の部品リスト](#)」を参照してください。

保証の条件およびサービスと支援を得るための情報については、「[保証情報](#)」資料を参照してください。

オプションのデバイスの取り付け

一部の計算ノード・コンポーネントは、オプションのデバイスとしても交換可能コンポーネントとしても使用可能です。取り付け手順は、オプションのデバイスでも交換可能コンポーネントでも同じです。

取り付け作業上の注意事項

交換可能コンポーネントの取り外しや交換、オプションのデバイスの取り付けを行う前に、以下の情報をお読みください。

- 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [764 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」](#)をお読みください。この情報は、安全に取り扱うために役立ちます。
- 新規の計算ノードを取り付ける場合は、この機会を利用して最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。このステップを行うことにより、既知の問題が対処され、計算ノードが最高レベルのパフォーマンスで機能できるようになります。最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーをダウンロードするには、<http://datacentersupport.lenovo.com/products/servers/flex/x240-m5-compute-node/9532/downloads> にアクセスして **Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード** を選択します。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- ハードディスク・ドライブの変更を行う前に、重要なデータをバックアップしてください。
- 計算ノードを Lenovo Flex System シャーシから取り外す前に、オペレーティング・システムをシャットダウンして計算ノードの電源をオフにする必要があります。シャーシをシャットダウンする必要はありません。
- コンポーネントの青色の部分は、計算ノードのコンポーネントの取り付けや取り外しを行うとき、ラッチを開閉するときなどに、手を触れてよい部分を示しています。
- この計算ノードでサポートされるオプションのデバイスのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

システムの信頼性に関するガイドライン

計算ノードが冷却およびシステム信頼性の要件を満たしていることを確認するには、以下のガイドラインを使用します。

- 各ノード・ベイに計算ノードまたはノード・ベイ・フィラーを取り付けていない状態で、Lenovo Flex System シャーシが稼働していない。追加情報については、<http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.common.nav.doc/chassis.html> を参照してください。

- 各マイクロプロセッサ・ソケットには常に、ヒートシンク・フィラーか、マイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられています。計算ノードにマイクロプロセッサを1つだけ取り付ける場合は、マイクロプロセッサ・ソケット1に取り付ける必要があります。
- DIMM コネクタ上にエア・バッフルが取り付けられている。
- 計算ノードの通気孔がふさがれていない。

静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い

静電気の放電による損傷の可能性を減らすために、次の注意事項を守ってください。

注意：静電気は、計算ノードおよびその他の電子部品に損傷を与える可能性があります。損傷を避けるために、静電気の影響を受けやすいデバイスは、取り付けの準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

- 静電気放電 (ESD) コネクタが装備されている Lenovo Flex System シャーシで作業する場合、特にモジュール、オプションのデバイス、計算ノードを取り扱う場合は、リスト・ストラップを使用してください。リスト・ストラップを正常に機能させるには、リスト・ストラップの両端を(一方は作業者の皮膚に、他方は Lenovo Flex System シャーシの前または後ろにある ESD コネクタに)しっかりと接触させる必要があります。
- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- デバイスは、端またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 他の人が手で触ったり、デバイスに損傷を与える可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、Lenovo Flex System シャーシの塗装されていない金属部分、あるいは部品を取り付けるラック内の接地されたラック・コンポーネントで、塗装されていない金属面があれば、そこに少なくとも2秒間接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接計算ノードに取り付けてください。デバイスを下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに入れます。部品を計算ノードのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い季節には、デバイスの取り扱いに特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

デバイスまたはコンポーネントの返却

デバイスまたはコンポーネントの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

計算ノード構成の更新

計算ノード構成を更新するには、この情報を使用します。

内部デバイスの追加または取り外しを行った後に初めて計算ノードを起動する場合、構成が変更されたことを示すメッセージが表示される場合があります。このとき新しい構成設定値を保存できるように Setup Utility が自動的に開始します。Setup Utility の詳細については、[26 ページの「Setup Utility の使用」](#)を参照してください。

一部のデバイスには、デバイス・ドライバーのインストールが必要です。必要なデバイス・ドライバーのインストールについては、デバイスに付属の資料を参照してください。

計算ノードは、取り付けられているマイクロプロセッサの数に関わらず、対称マルチプロセッシング (SMP) 計算ノードとして作動します。最適のパフォーマンスを発揮するためには、SMP をサポートするオペ

レーティング・システムにアップグレードする必要があります。詳細については、[41 ページの第3章「オペレーティング・システムのインストール」](#)とオペレーティング・システムの資料を参照してください。

シャーシからの計算ノードの取り外し

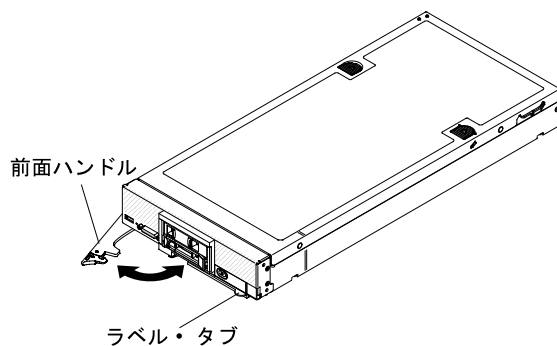
Lenovo Flex System シャーシから計算ノードを取り外すには、この情報を使用します。

計算ノードを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. 計算ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押して計算ノードの電源をオフにします (詳細については、[17 ページの「計算ノードの電源オフ」](#) を参照)。

計算ノードをシャーシから取り外すには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. 図に示されているように、前面ハンドルを開きます。計算ノードが、ノード・ベイから約 0.6 cm 外に出ます。



注意：

- 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイに計算ノードまたはノード・ベイ・フィルターのいずれも取り付けずに Lenovo Flex System シャーシを稼働させないでください。
- 計算ノードを取り外す場合は、ノード・ベイ番号をメモしてください。計算ノードを取り外したときとは別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。一部の構成情報および更新オプションは、ノード・ベイ番号に従って設定されます。計算ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、計算ノードの再構成が必要になる場合があります。

ステップ 2. 計算ノードをノード・ベイから引き出します。

ステップ 3. ノード・ベイには、ノード・ベイ・フィルターまたは別の計算ノードを取り付けてください。

計算ノードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

シャーシへの計算ノードの取り付け

Lenovo Flex System シャーシに計算ノードを取り付けるには、この情報を使用します。

計算ノードをシャーシに取り付ける前に、[v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

注記 21

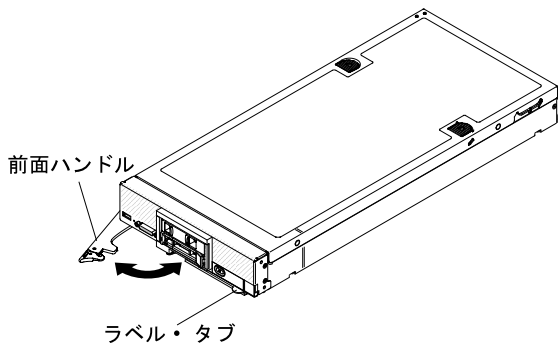


警告：

電源に計算ノードを接続すると危険な電力が印加されます。計算ノードを取り付ける前には、必ず計算ノード・カバーを交換してください。

オプションの Flex System Manager 管理ソフトウェアを使用してオペレーティング・システムを管理している場合、管理ネットワーク通信にネットワーク・インターフェース・アダプターを使用する必要があります。計算ノードでサポートされているオプションのデバイスのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

計算ノードをシャーシに取り付けるには、以下のステップを実行します。



ステップ 1. ノード・ベイを選択します。

注：

1. 取り外した計算ノードを再取り付けする場合は、取り外したときと同じノード・ベイに取り付ける必要があります。一部の計算ノードの構成情報および更新オプションは、ノード・ベイ番号に従って設定されます。計算ノードを別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。計算ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、計算ノードの再構成が必要になる場合があります。
2. 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイに計算ノードまたはノード・ベイ・フィラーのいずれも取り付けずに Lenovo Flex System シャーシを稼働させないでください。

ステップ 2. 計算ノードの前面ハンドルが開いた位置にあることを確認します。

ステップ 3. 計算ノードを、止まるまでノード・ベイに押し込みます。

ステップ 4. 計算ノード前面にある前面ハンドルを閉じた位置まで押します。

注： 計算ノードを取り付けると、計算ノード内の IMM2 が初期化および Chassis Management Module との同期を行います。計算ノードが初期化に要する時間は、システム構成によって異なります。電源 LED が高速で点滅します。計算ノード上の電源ボタンは、電源 LED が低速で点滅する (これは初期化プロセスが完了したことを示します) まで反応しません。

ステップ 5. 計算ノードの電源をオンにします (手順については [16 ページの「計算ノードの電源オン」](#) を参照)。

ステップ 6. 計算ノードのコントロール・パネル上の電源 LED が継続的に点灯していることを確認します。これは、計算ノードに電力が供給され、電源がオンになっていることを示します。

ステップ 7. 他に取り付けする計算ノードがある場合は、ここで取り付けます。

ステップ 8. 計算ノードの前面からアクセスできるラベル・タブに、識別情報を記載することができます。

重要：計算ノード前面パネルの電源ボタンの上に Attention ラベルがある場合は、それを読みます。次に、計算ノードの電源をオンにする前に、ラベルを取り外して廃棄します。

計算ノードを初めてシャーシに取り付ける場合は、Setup Utility を使用して計算ノードを構成し、計算ノードのオペレーティング・システムをインストールする必要があります。詳細については、[41 ページの第3章「オペレーティング・システムのインストール」](#) および [764 ページの「計算ノード構成の更新」](#) を参照してください。

計算ノードの構成を変更した場合、あるいは取り外した計算ノードとは別の計算ノードを取り付ける場合は、Setup Utility を使用して計算ノードを構成する必要があります。また、計算ノードのオペレーティング・システムをインストールする必要がある場合があります ([26 ページの「Setup Utility の使用」](#) を参照)。

消耗部品および構造部品の取り外しと交換

消耗部品および構造部品の取り外しおよび交換を行うには、この情報を使用します。

このセクションで記載されている消耗部品および構造部品の交換は、お客様の責任で行ってください。お客様の要請により Lenovo が消耗部品および構造部品の取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。

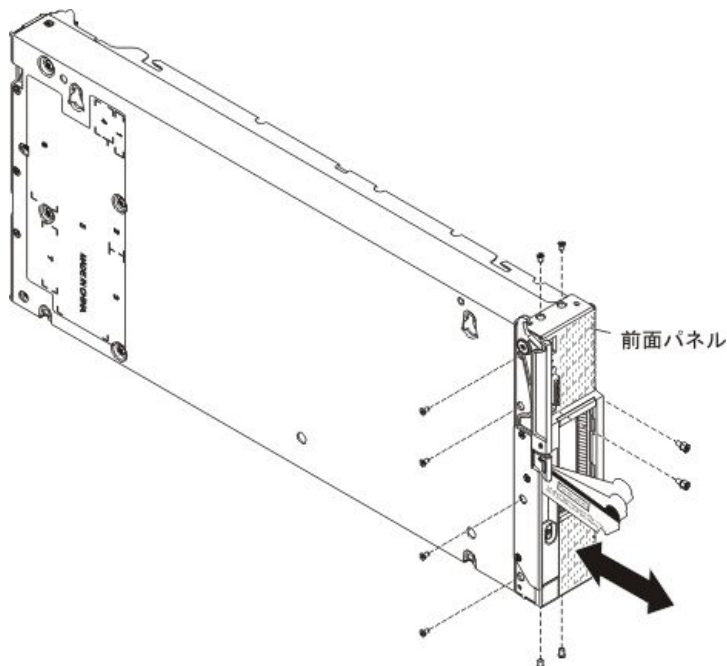
前面パネルの取り外し

前面パネルを取り外すには、この情報を使用します。

前面パネルを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
4. T8 Torx ドライバーと 5 mm のナット・ドライバーを入手します。

前面パネルを取り外すには、以下のステップを実行します。



ステップ 1. 前面パネルを交換する場合、前面パネルからマシン・タイプとシリアル番号の情報が記されている ID ラベル・プレートを取り外し、脇に置いておきます (782 ページの「ID ラベル・プレートの取り外し」を参照)。

注：ご使用の計算ノードに RFID タグがある場合、そのタグは既に ID ラベル・プレートに取り付けられています。

- ステップ 2. ストレージ・ドライブ、オプションのドライブ・コンポーネント、およびハードディスク・ドライブ・ベイ・フィラーがあれば、それらを取り外し、帯電防止されている平らな場所に置きます (799 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」、804 ページの「1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り外し」、または 801 ページの「ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り外し」を参照)。
- ステップ 3. ご使用の計算ノードにドライブ・タイプ固有のストレージ・ドライブ・ベゼル (1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ・ベゼルなど) がある場合は、それを取り外して脇に置いておきます (781 ページの「ベゼルの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. カバーとエアー・バッフルを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. 計算ノードを上下逆さまの向きにして、慎重に置きます。
- ステップ 6. 5 mm のナット・ドライバーを使用して、KVM コネクタから 2 個のナットを取り外します。
- ステップ 7. カスタマー情報タグとネットワーク・アクセス・タグを回転させて、開いた位置にします。
- ステップ 8. T8 Torx ドライバーを使用して、計算ノード・シャーシ底部に前面パネルを固定する 4 個のねじを取り外します。ねじの 1 個には、タグ保持器具の穴を通してアクセスします。
- ステップ 9. 計算ノードを、底面が下になるように慎重に戻します。
- ステップ 10. T8 Torx ドライバーを使用して、計算ノード・シャーシの各側面から、前面パネルを固定している 2 個のねじ (合計 4 個のねじ) を取り外します。
- ステップ 11. 前面パネルを慎重に前方へスライドさせ、計算ノード・シャーシから外します。

前面パネルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

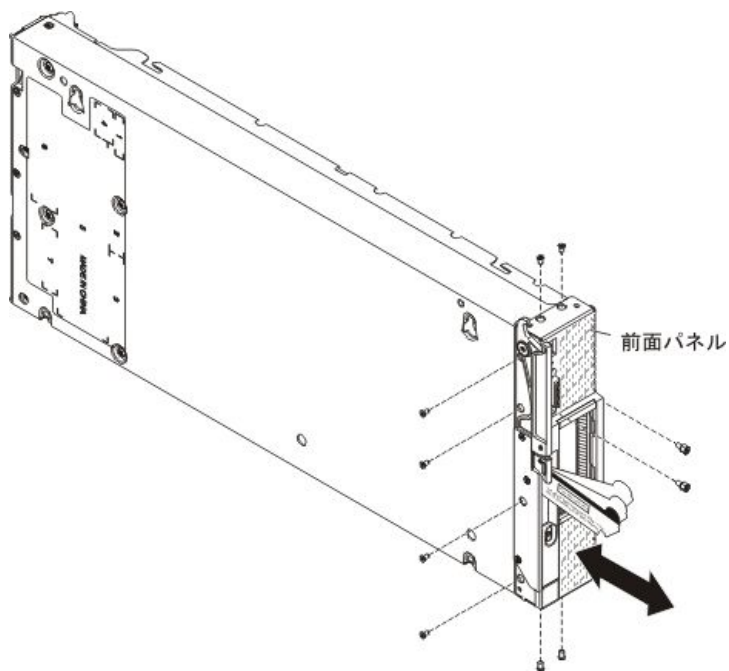
前面パネルの取り付け

前面パネルを取り付けるには、この情報を使用します。

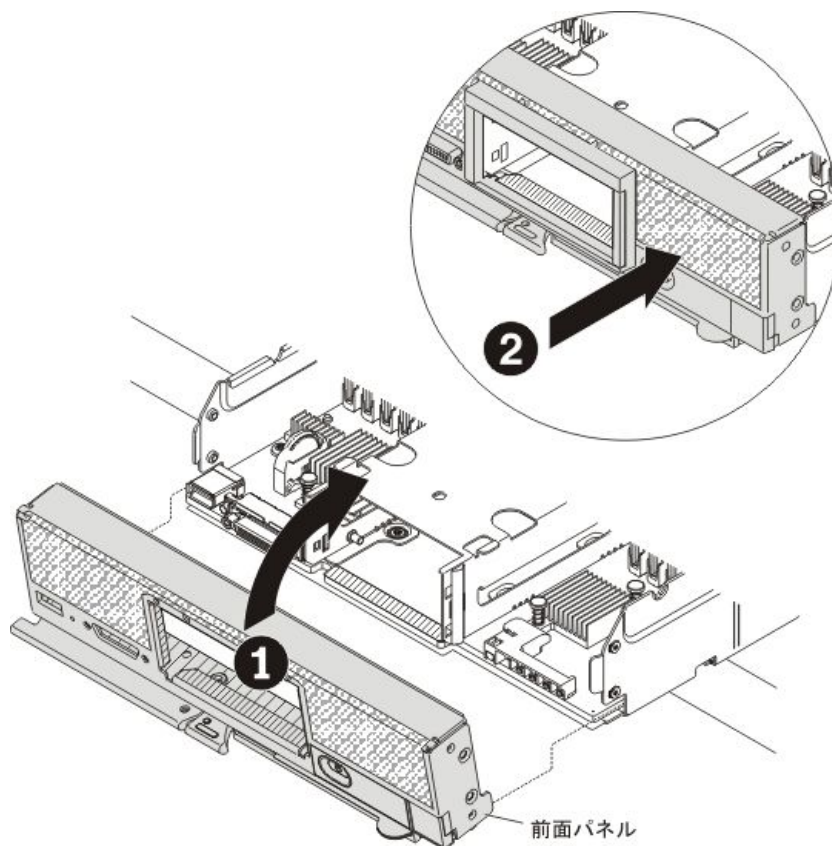
前面パネルを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

前面パネルを取り付けるには、以下のステップを実行します。



ステップ1. カバーとエア・バッフルをまだ取り外していない場合は、それらを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。



ステップ2. 計算ノードの前端が作業台の端から少し突き出ている状態で、フロント・パネルの下端を計算ノード・シャーシの前部に位置合わせし、計算ノードの所定の位置に収まるようフロント・パネルを慎重に回転させます。

- ステップ 3. T8 Torx ドライバーを使用して、計算ノード・シャーシの各側面に、前面パネルを固定する 2 個のねじ (合計 4 個のねじ) を取り付けます。
- ステップ 4. 計算ノードを上下逆さまの向きにして、慎重に置きます。
- ステップ 5. カスタマー情報タグとネットワーク・アクセス・タグを回転させて、開いた位置にします。
- ステップ 6. T8 Torx ドライバーを使用して、計算ノード・シャーシ底部に、前面パネルを固定する 4 個のねじを取り付けます。ねじの 1 個には、タグ保持器具の穴を通してアクセスします。
- ステップ 7. 5 mm のナット・ドライバーを使用して、2 個のナットを KVM コネクタに取り付けます。
- ステップ 8. 計算ノードを、底面が下になるように慎重に戻します。
- ステップ 9. エアー・バッフルを取り外した場合は、取り付けます。
- ステップ 10. カバーを取り付けます (773 ページの「[計算ノード・カバーの取り付け](#)」を参照)。
- ステップ 11. 交換する計算ノードにドライブ・タイプ固有のストレージ・ドライブ・ベゼル (1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ・ベゼルなど) があつた場合は、新しい前面パネルの本来のベゼルを取り外し、古い前面パネルから取り外したベゼを新しい前面パネルに取り付けます (781 ページの「[ベゼルの取り外し](#)」、および 781 ページの「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。本来のベゼルは、後で使用するために保管しておきます。
- ステップ 12. 事前に取り外したストレージ・ドライブ、オプションのドライブ・コンポーネント、およびハードディスク・ドライブ・ベイ・フィルターがあれば、それらを取り付けます (800 ページの「[ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け](#)」、803 ページの「[ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り付け](#)」、または 806 ページの「[1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り付け](#)」を参照)。
- ステップ 13. 前面パネルを交換する場合、古いベゼルからマシン・タイプとシリアル番号の情報が記されている ID ラベル・プレートを取り外し、そのラベルを新しい前面パネルに取り付けます。
- 新しい前面パネルにブランクの ID ラベル・プレートが付いている場合は、それを取り外して廃棄します (782 ページの「[ID ラベル・プレートの取り外し](#)」を参照)。
 - 古い前面パネルから取り外した ID ラベル・プレートを新しい前面パネルに取り付けます (783 ページの「[ID ラベル・プレートの取り付け](#)」を参照)。
- 注：ご使用の計算ノードに RFID タグがある場合、そのタグは既に ID ラベル・プレートに取り付けられています。
- ステップ 14. 交換する前面パネルのカスタマー情報タグに何らかの情報が記入されている場合は、その情報を新しい前面パネルのタグに書き写します。

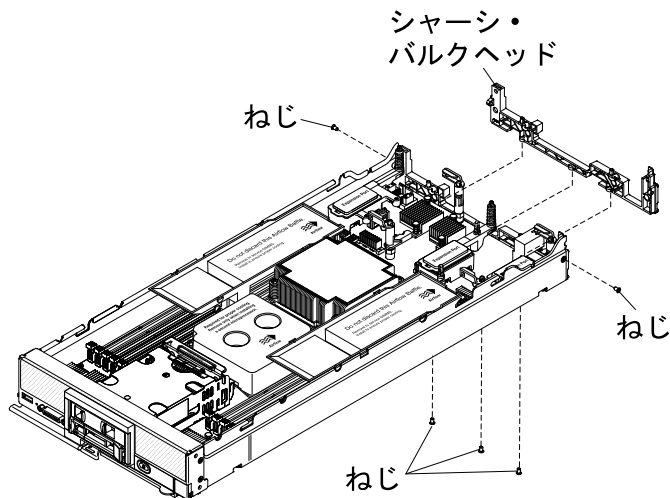
シャーシ・バルクヘッドの取り外し

シャーシ・バルクヘッドを取り外すには、この情報を使用します。

シャーシ・バルクヘッドを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

- v ページの「[安全について](#)」および 763 ページの「[取り付け作業上の注意事項](#)」をお読みください。
- シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「[シャーシからの計算ノードの取り外し](#)」を参照)。
- 計算ノードのベゼを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

シャーシ・バルクヘッドを取り外すには、以下のステップを実行してください。



- ステップ1. カバーを取り外します (772 ページの「[計算ノード・カバーの取り外し](#)」を参照)。
 ステップ2. I/O 拡張アダプターを取り外します (814 ページの「[I/O 拡張アダプターの取り外し](#)」を参照)。
 ステップ3. 前面ハンドル側が上になるようにシャーシの側面を下にして、慎重にシャーシを置きます。

注：エアー・バッフルを取り外すと、作業が容易になる場合があります。

- ステップ4. T8 Torx ドライバーを使用して、バルクヘッドをシャーシ底部に固定しているねじを取り外します。
 ステップ5. シャーシの底部が下になるように、慎重にシャーシを戻します。
 ステップ6. T8 Torx ドライバーを使用して、バルクヘッドをシャーシ側面に固定しているねじを取り外します。
 ステップ7. シャーシ・バルクヘッドを持ち上げて、シャーシから取り外します。

シャーシ・バルクヘッドの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

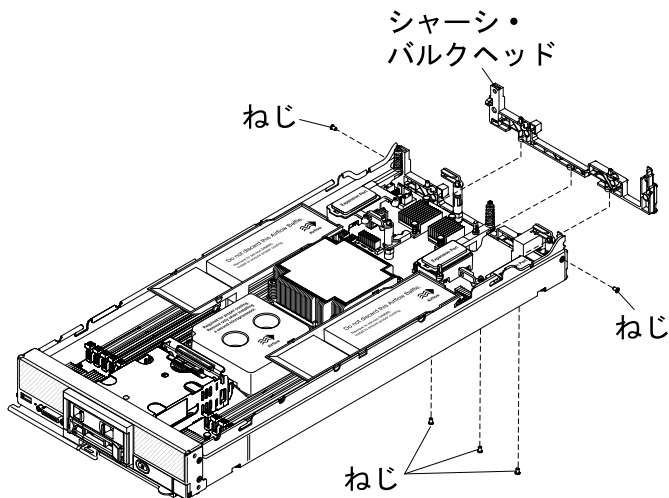
シャーシ・バルクヘッドの取り付け

シャーシ・バルクヘッドを取り付けるには、この情報を使用します。

シャーシ・バルクヘッドを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

シャーシ・バルクヘッドを取り付けるには、以下のステップを実行します。



ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. バルクヘッドをシャーシ内に配置します。

ステップ 3. T8 Torx ドライバーを使用して、バルクヘッドをシャーシ側面に固定するねじを取り付けます。

ステップ 4. 前面ハンドル側が上になるようにシャーシの側面を下にして、慎重にシャーシを置きます。

ステップ 5. T8 Torx ドライバーを使用して、バルクヘッドをシャーシ底部に固定するねじを取り付けます。

ステップ 6. シャーシの底部が下になるように、慎重にシャーシを戻します。

ステップ 7. I/O 拡張アダプターを取り付けます (815 ページの「I/O 拡張アダプターの取り付け」を参照)。

ステップ 8. エアー・バッフルを取り外した場合は、取り付けます。

シャーシ・バルクヘッドを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

計算ノード・カバーの取り外し

計算ノードからカバーを取り外すには、この情報を使用します。

計算ノード・カバーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注記 12



警告：

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



注記 21



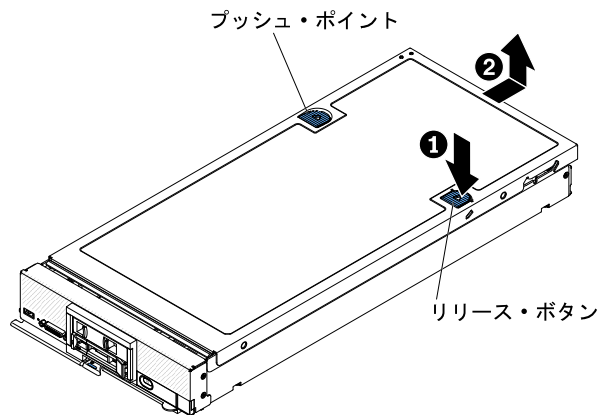
警告：

電源に計算ノードを接続すると危険な電力が印加されます。計算ノードを取り付ける前には、必ず計算ノード・カバーを交換してください。

計算ノード・カバーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. リリース・ボタンおよびプッシュ・ポイントを同時に押し、カバーを計算ノードの後部に向けてスライドさせます。

ステップ 2. カバーを持ち上げて計算ノードから取り外します。



ステップ 3. カバーを平らな場所に置くか、将来の利用に備えて保管します。

カバーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

計算ノード・カバーの取り付け

計算ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

計算ノード・カバーを取り付ける前に、[v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

カバーを交換する場合は、交換手順で使用するシステム・サービス・ラベル・キットが手元に準備されていることを確認してください ([55 ページの第 5 章「タイプ 9532 および 2951 の部品リスト」](#) を参照)。

注意：カバーを取り付けて閉じなければ、計算ノードを Lenovo Flex System シャーシに挿入することはできません。この保護措置は必ず実施してください。

注記 21



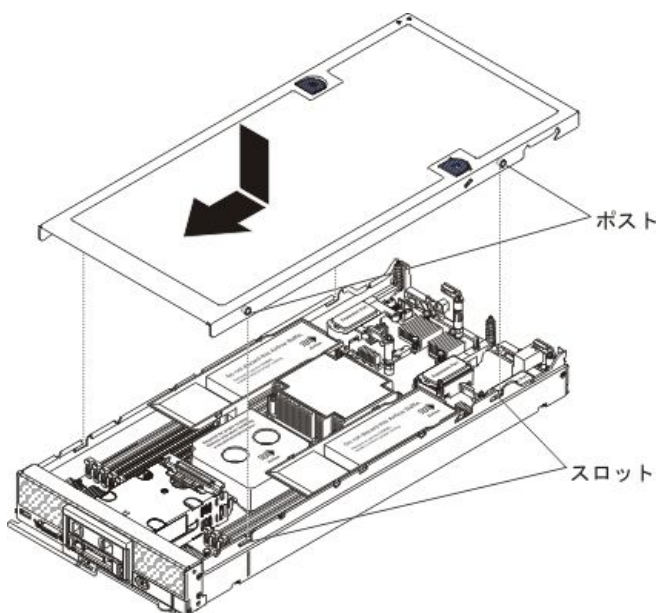
警告：

電源に計算ノードを接続すると危険な電力が印加されます。計算ノードを取り付ける前には、必ず計算ノード・カバーを交換してください。

計算ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

- ステップ 1. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- ステップ 2. カバー内側の円柱が計算ノードのスロットに差し込まれるように、カバーの向きを合わせます。

注：カバーを閉じる前に、エアー・バッフとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、計算ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。カバーを取り付けるには、I/O 拡張アダプターを固定する保持クリップが閉じた位置になっている必要があります。



- ステップ 3. 計算ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでカバーを前方にスライドさせて閉じます。
- ステップ 4. システム・サービス・ラベルを貼る場合は、カバー上でラベルを位置合わせし、裏張りを外してラベルをカバーに押し付けます。

計算ノード・カバーを取り付けた後、計算ノードをシャーシに取り付けます (手順については、[765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」](#)を参照)。

前面ハンドルの取り外し

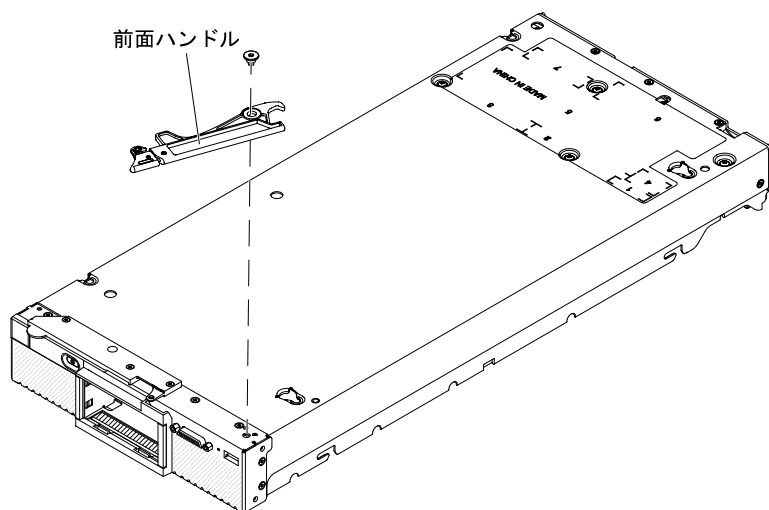
前面ハンドルを取り外すには、この情報を使用します。

前面ハンドルを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#)を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にして計算ノードを注意して置きます。

前面ハンドルを取り外すには、以下のステップを実行してください。



ステップ 1. ハンドルを計算ノードに取り付けているねじを見つめます。

ステップ 2. T15 Torx ドライバーを使用して、前面ハンドルからねじを取り外し、ねじを安全な場所に保管します。前面ハンドルを取り付けるときに、そのねじを使用します。

前面ハンドルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

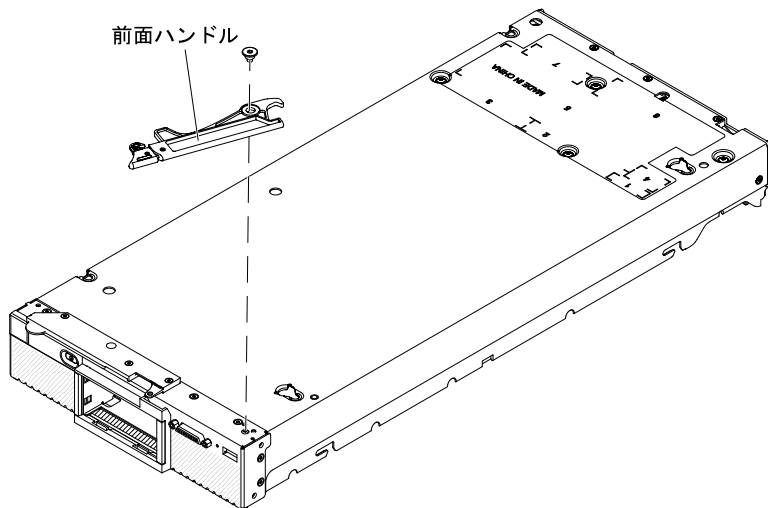
前面ハンドルの取り付け

前面ハンドルを取り付けるには、この情報を使用します。

前面ハンドルを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#)を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にして計算ノードを注意して置きます。

前面ハンドルを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



- ステップ1. 青色のリリース・ラッチが計算ノードの中央に向くように、前面ハンドルの向きを合わせます。
- ステップ2. ハンドルの穴を、ハンドルを取り付ける計算ノードの穴に位置合わせします。
- ステップ3. T15 Torx ドライバーを使用して、ハンドルを固定するねじを取り付けます。ハンドルを取り外したときに取り外したねじを取り付けます。

前面ハンドルを取り付けた後、計算ノードをシャーシに取り付けます (手順については、[765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」](#)を参照)。

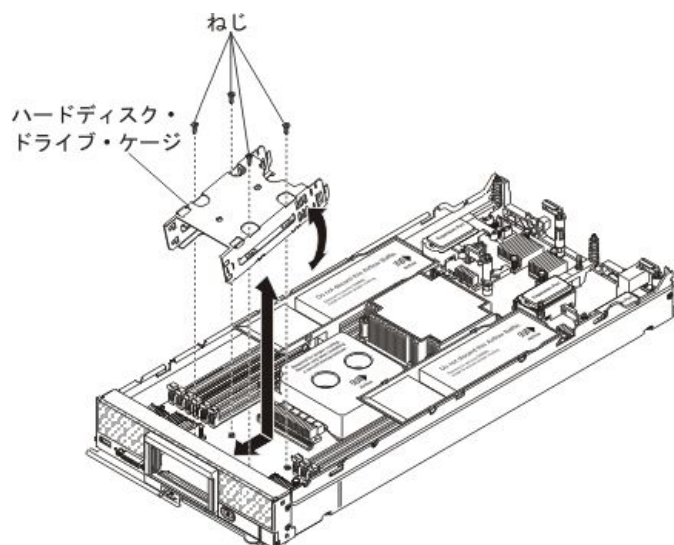
ハードディスク・ドライブ・ケースの取り外し

ハードディスク・ドライブ・ケースを取り外すには、この情報を使用します。

ハードディスク・ドライブ・ケースを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#)を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ハードディスク・ドライブ・ケースを取り外すには、以下のステップを実行してください。



ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. ストレージ・ドライブ、オプションのドライブ・コンポーネント、およびハードディスク・ドライブ・ベイ・フィラーを取り外します。799 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」、804 ページの「1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り外し」、または 801 ページの「ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り外し」を参照してください。

ステップ 3. ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外します (797 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し」を参照)。

ステップ 4. T10 Torx ドライバーを使用して、ケージから 4 個のねじを取り外し、計算ノード前面パネルの下からケージを回転させます。次に、ケージを計算ノードから斜めに取り外します。

ハードディスク・ドライブ・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

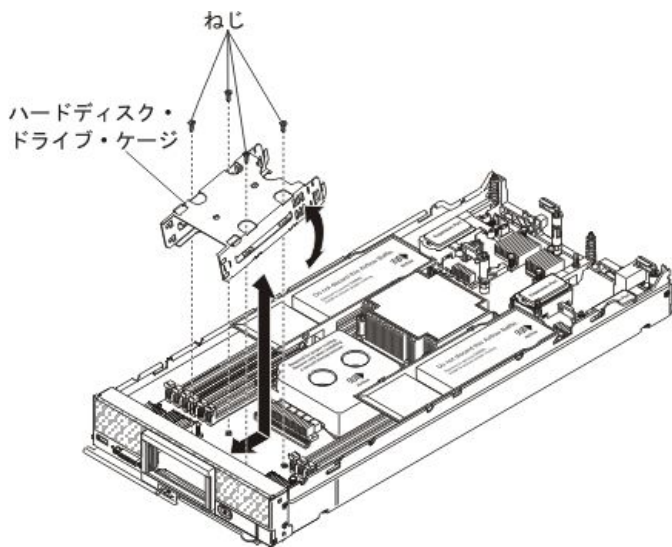
ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け

ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付けるには、この情報を使用します。

ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付けるには、以下のステップを実行します。



- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. ケージを計算ノード・フロント・パネルに対して斜めに位置付け、ケージを回転させてシステム・ボード上の所定の位置に収めます。
- ステップ 3. ケージをシステム・ボード上のねじ穴に位置合わせします。
- ステップ 4. T10 Torx ドライバーを使用して、4 個のねじを挿入し、ケージを計算ノードに固定します。
- ステップ 5. ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けます (798 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け」を参照)。
- ステップ 6. ストレージ・ドライブ、オプションのドライブ・コンポーネント、およびハードディスク・ドライブ・ベイ・フィラーを挿入します。800 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」、803 ページの「ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り付け」、または 806 ページの「1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り付け」を参照してください。

ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

Tier 1 CRU (お客様交換可能ユニット) の取り外しと交換

Tier 1 CRU の取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換は、お客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

アダプター保持アセンブリーの取り外し

アダプター保持アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

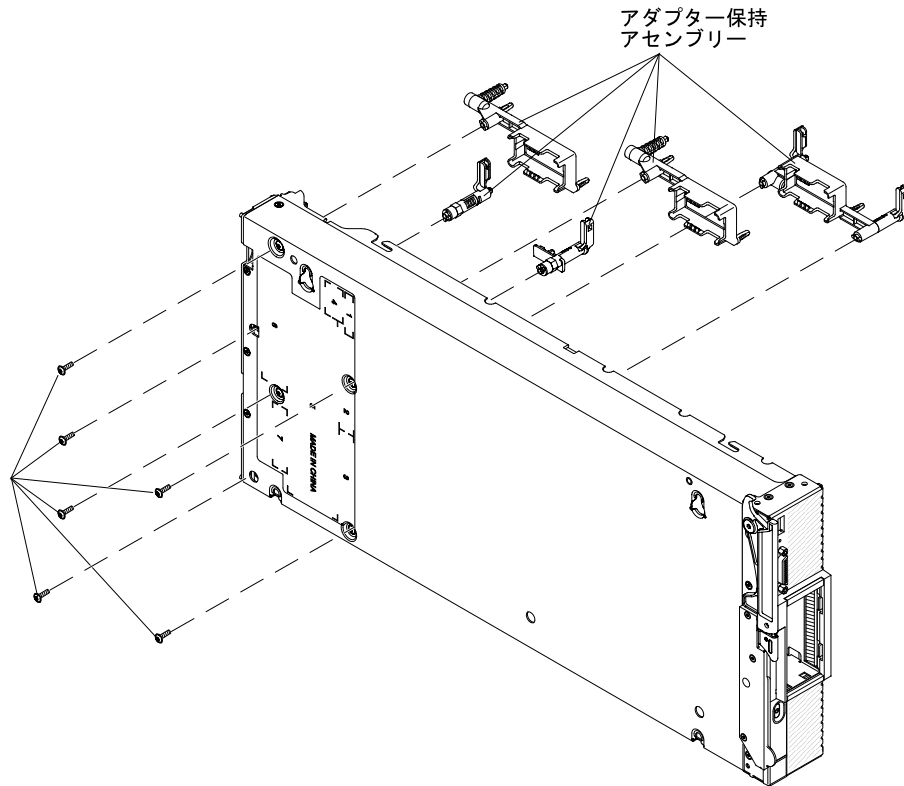
アダプター保持アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。

3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

アダプター保持アセンブリーは、5個の分離した部品から構成されます。選択した部品のみを交換し、未使用の部品を将来の使用に備えて保管しておくことができます。

アダプター保持アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行してください。



ステップ1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ2. エアー・バッフルを取り外します。

ステップ3. 必要に応じて、I/O 拡張アダプターと SD メディア用アダプターを取り外します (814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」、および 818 ページの「System x 用 SD メディア・アダプターの取り外し」を参照)。

ステップ4. 前面ハンドル側が上になるようにシャーシの側面を下にして、慎重にシャーシを置きます。

ステップ5. T10 Torx ドライバーを使用して、取り外すアダプター保持アセンブリーの各部品を固定しているねじを取り外します。

注：アダプター保持アセンブリーのすべての部品が示されています。必要な部品を交換し、使用しない部品は将来の使用に備えて保管しておきます。

ステップ6. システム・ボードから取り外すアダプター保持アセンブリーの各部品を持ち上げます。

ステップ7. シャーシの底部が下になるように、慎重にシャーシを戻します。

アダプター保持アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

アダプター保持アセンブリーの取り付け

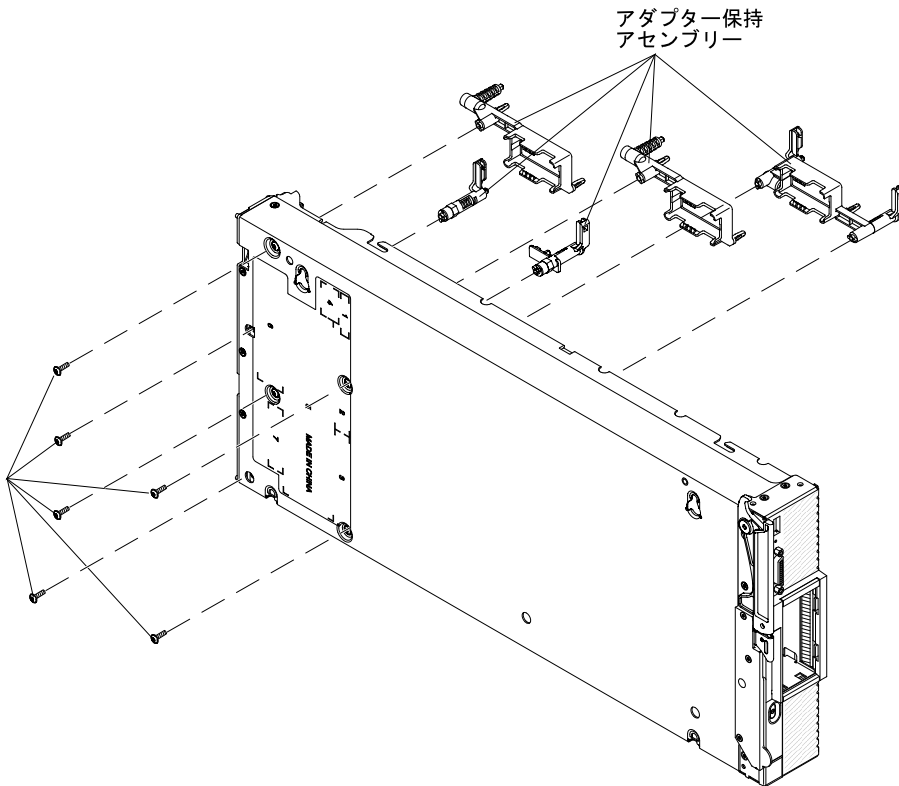
アダプター保持アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

アダプター保持アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

アダプター保持アセンブリーは、5 個の分離した部品から構成されます。選択した部品のみを交換し、未使用の部品を将来の使用に備えて保管しておくことができます。

アダプター保持アセンブリーを取り付けるには、以下のステップを実行します。



- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. エアー・バッフルを取り外します。
- ステップ 3. 前面ハンドル側が上になるようにシャーシの側面を下にして、慎重にシャーシを置きます。
- ステップ 4. システム・ボード上でアダプター保持アセンブリーの各部品を位置合わせします。

注：アダプター保持アセンブリーのすべての部品が示されています。必要な部品を交換し、使用しない部品は将来の使用に備えて保管しておきます。

- ステップ 5. T10 Torx ドライバーを使用して、取り付けるアダプター保持アセンブリーの各部品を固定するねじを取り付けます。
- ステップ 6. シャーシの底部が下になるように、慎重にシャーシを戻します。
- ステップ 7. SD メディア用アダプターおよび I/O 拡張アダプターを取り外してある場合は、それらを取り付けます (819 ページの「System x 用 SD メディア・アダプターの取り付け」、および 815 ページの「I/O 拡張アダプターの取り付け」を参照)。
- ステップ 8. エアー・バッフルを取り付けます。

アダプター保持アセンブリーを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については [773 ページ](#) の「[計算ノード・カバーの取り付け](#)」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、[765 ページ](#) の「[シャーシへの計算ノードの取り付け](#)」を参照)。

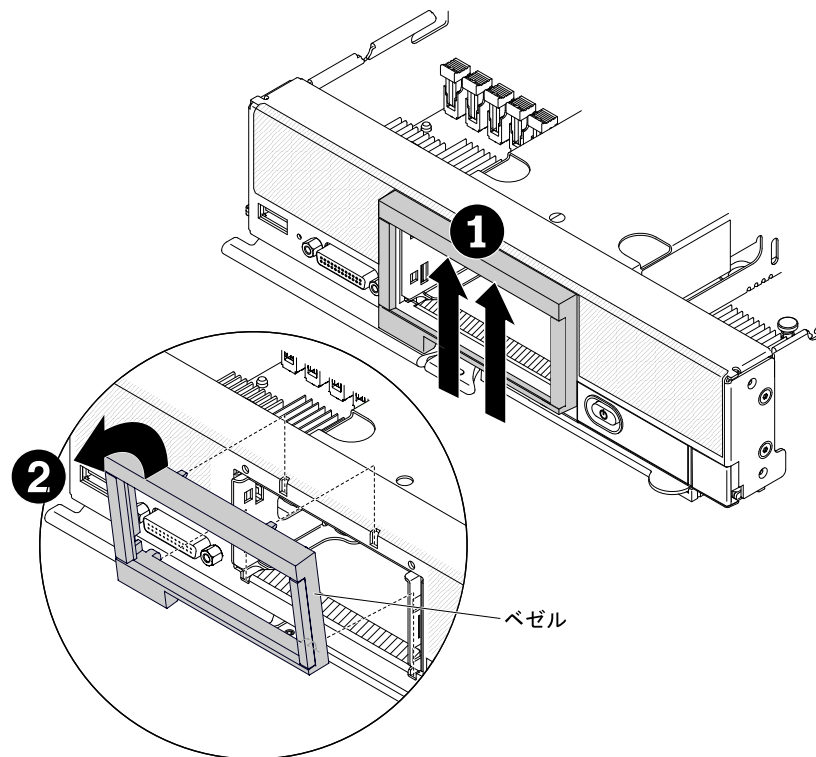
ベゼルの取り外し

ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

ベゼルを取り外す前に、[v ページ](#) の「[安全について](#)」 および [763 ページ](#) の「[取り付け作業上の注意事項](#)」をお読みください。

注：計算ノードには、いくつかの異なるタイプのベゼルを取り付けることができます。どれも同様な方法で取り外しと取り付けを行います。図に示されているベゼルは、ご使用の計算ノードに取り付けられているベゼルと少し異なる場合があります。

ベゼルを取り外すには、以下のステップを実行してください。



ステップ 1. ハードディスク、フィラー、または SSD スリーブが取り付けられている場合は、それらを取り外します。

ステップ 2. ベゼルの内側の上部を上へ押します。次に、ベゼルの上端を回転させて計算ノードから外します。

ステップ 3. ベゼルを計算ノードから持ち上げて取り外します。

ベゼルを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

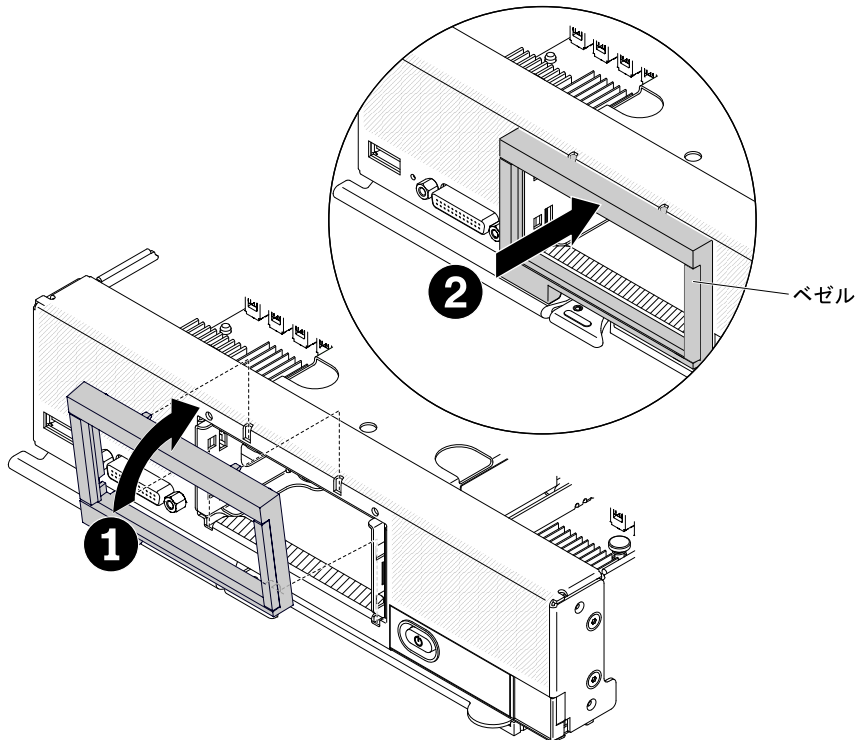
ベゼルの取り付け

ベゼルを取り付けるには、この情報を使用します。

ベゼルを取り付ける前に、[v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

注：計算ノードには、いくつかの異なるタイプのベゼルを取り付けることができます。どれも同様な方法で取り外しと取り付けを行います。図に示されているベゼルは、ご使用の計算ノードに取り付けられているベゼルと少し異なる場合があります。

ベゼルを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



ステップ 1. 計算ノードの前面にベゼルを配置します。

ステップ 2. ベゼルの下端を計算ノード前面に引っ掛けます。次に、ベゼルの上部をシャーシに向けて回転させます。

ステップ 3. ベゼルのしっかりとシャーシに押し込みます。

注：必ず、ベゼルがシャーシにぴったり接するように押ししてください。押すときに、ベゼルの上端を少し持ち上げると、クリップが固定しやすくなる場合があります。

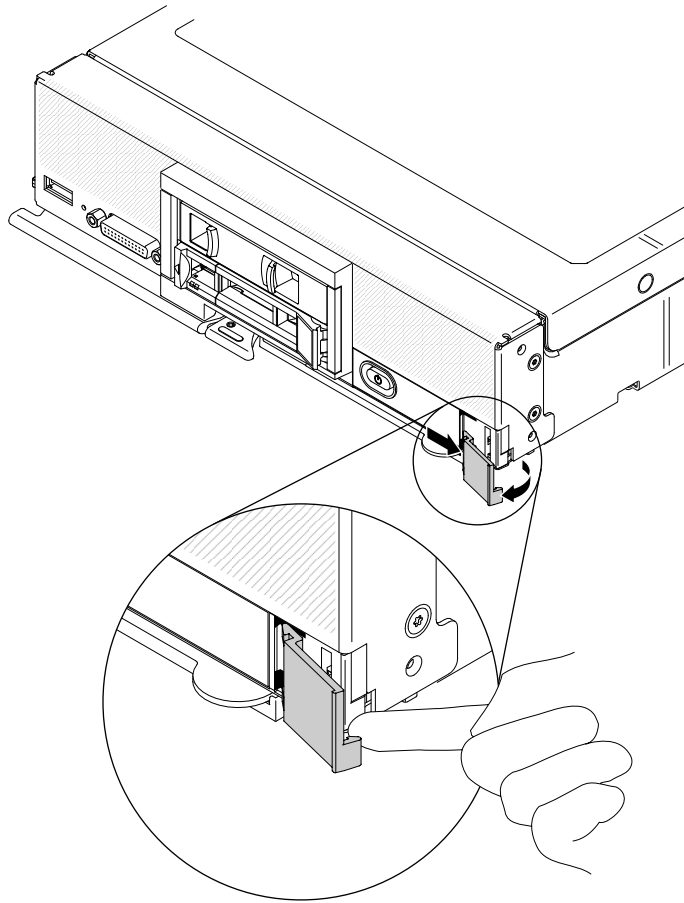
ステップ 4. 取り外したハードディスク、フィラー、または SSD スリーブがある場合は、それらを取り付けます。

ID ラベル・プレートの取り外し

前面パネルから ID ラベル・プレートを取り外すには、この情報を使用します。

ID ラベル・プレートを取り外す前に、[v ページの「安全について」](#)、および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

ID ラベル・プレートを取り外すには、以下のステップを実行します。



ステップ 1. 指の爪かマイナス・ドライバーをラベル・プレート外側下隅の下にあてて、ID ラベル・プレートの外側の端を計算ノード・フロント・パネルから引き離します。

ステップ 2. ID ラベル・プレートを回転させて前面パネルから外します。次に、ID ラベル・プレートを取り外します。

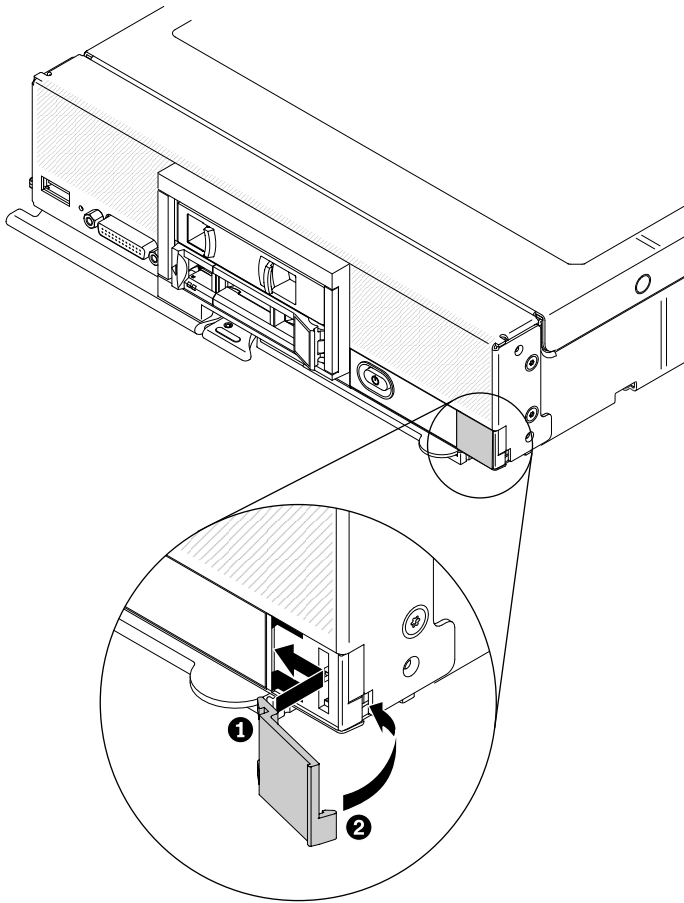
ID ラベル・プレートの返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合は、それを使用してください。

ID ラベル・プレートの取り付け

前面パネルに ID ラベル・プレートを取り付けるには、この情報を使用します。

ID ラベル・プレートを取り付ける前に、[v ページの「安全について」](#)、および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。

ID ラベル・プレートを取り付けるには、以下のステップを実行します。



- ステップ 1. ID ラベル・プレートのクリップを計算ノード・フロント・パネルのスロットに差し込みます。
- ステップ 2. ID ラベル・プレートの外側の端を計算ノード前面パネルに向けて回転させます。次に、ID ラベル・プレートを前面パネルにしっかり押し込みます。

CMOS バッテリーの取り外し

以下の情報を使用して、CMOS バッテリーを取り外します。

CMOS バッテリーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

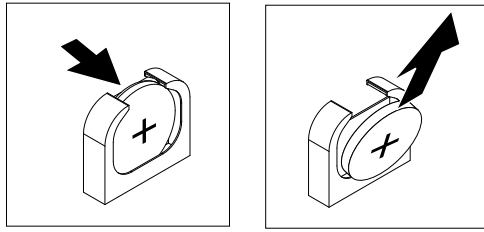
CMOS バッテリーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. カバーを取り外します ([772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」](#) を参照)。

ステップ 2. システム・ボード上の CMOS バッテリーを見つけます ([18 ページの「システム・ボード・コネクタ」](#) を参照)。

ステップ 3. CMOS バッテリー上にカバーがある場合は、そのカバーを取り外します。

ステップ 4. CMOS バッテリーを計算ノードの中央に向けて回転させます。



ステップ 5. CMOS バッテリーをソケットから持ち上げて取り外します。

取り外した CMOS バッテリーを廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

CMOS バッテリーの取り付け

CMOS バッテリーを取り付けるには、この情報を使用します。

CMOS バッテリーを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

以下の注記は、計算ノード内の CMOS バッテリーを交換する際に考慮する必要がある事項について説明しています。

- CMOS バッテリーは、同一タイプのリチウム CMOS バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、Lenovo 営業担当員または認定リセラーに電話してください。
- CMOS バッテリーを交換した後、計算ノードを再構成し、システム日時を再設定する必要があります。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

注記 2



警告：

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。次のことはしないでください。

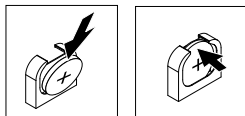
- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100° C (212° F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

注意：CMOS バッテリーの交換時に計算ノードの側面などの金属面に CMOS バッテリーが接触すると、CMOS バッテリーが故障する可能性があります。

CMOS バッテリーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「[計算ノード・カバーの取り外し](#)」を参照)。
- ステップ 2. 交換用バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
- ステップ 3. システム・ボード上の CMOS バッテリー・ソケットを見つけます (18 ページの「[システム・ボード・コネクタ](#)」を参照)。
- ステップ 4. CMOS バッテリーのプラス (+) 側が計算ノードの中央を向くように、バッテリーの向きを合わせます。



- ステップ 5. ソケットの下部に CMOS バッテリーを挿入できるように、バッテリーを回転させます。
- ステップ 6. CMOS バッテリーを所定の位置にスライドさせて、CMOS バッテリーの上部を押してソケットに挿入します。
- ステップ 7. バッテリーからカバーを取り外していた場合は、そのカバーを再取り付けします。

CMOS バッテリーを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については [773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」](#) を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、[765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」](#) を参照)。
3. 計算ノードの電源をオンにし、Setup Utility を開始して構成を再設定します (手順については、[26 ページの「Setup Utility の使用」](#) を参照)。

DIMM の取り外し

この情報を使用して、デュアル・インラインメモリー・モジュール (DIMM) を取り外します。

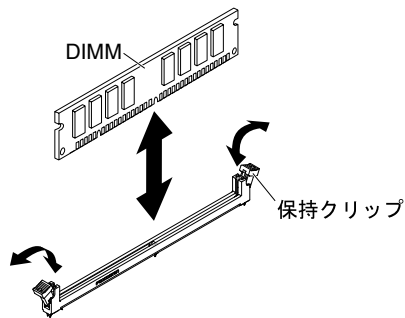
DIMM を取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

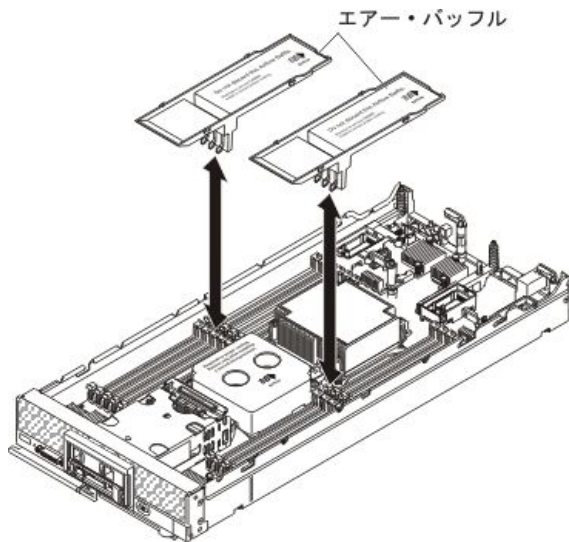
DIMM の取り付けまたは取り外しをした後は、Setup Utility を使用して新構成情報を変更し保存する必要があります。計算ノードの電源を入れると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。Setup Utility を開始して「[Save Settings](#)」を選択し (詳細については、[26 ページの「Setup Utility の使用」](#) を参照)、変更を保存します。

DIMM は、以下の手順で取り外してください。

注：DIMM の取り外しや取り付けは、一度に 1 つのマイクロプロセッサに対して行います。



- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
 ステップ 2. DIMM コネクター上に取り付けられているエア・バッフルを取り外します。

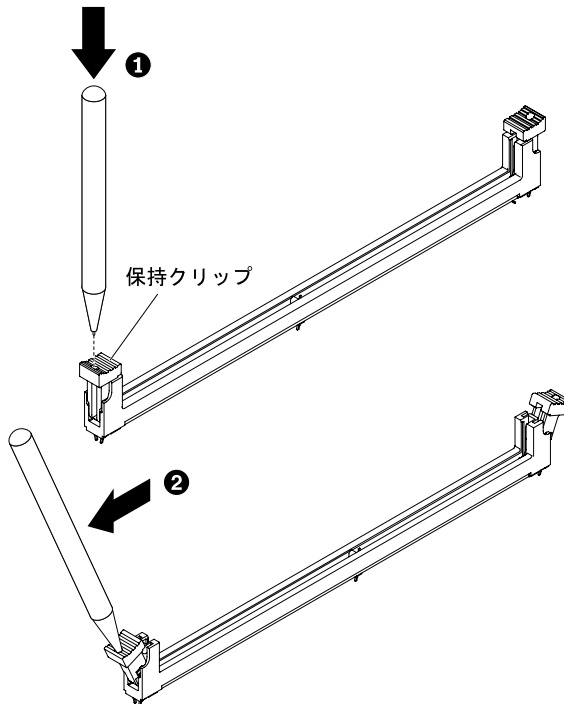


- ステップ 3. DIMM コネクターの位置を確認します (18 ページの「システム・ボード・コネクター」を参照)。計算ノードから取り外す DIMM を判別します。

注意： DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの取り扱いには静かに行ってください。

注： マイクロプロセッサ 1 とマイクロプロセッサ 2 の隣接する DIMM コネクターの保持クリップは、同時に開くことができません。各マイクロプロセッサの DIMM の取り外しや取り付けは一度に 1 つずつ行い、DIMM を取り外した後は、保持クリップを閉じてください。

- ステップ 4. DIMM コネクターの両端にある保持クリップを、慎重に開きます。



注：スペースの制約のために必要であれば、先のとがったツールを使用して保持クリップを開いてもかまいません。ツールの先端を保持クリップ上部のくぼみに差し込みます。次に、慎重に保持クリップを回転させ、DIMM コネクタから外します。

ステップ 5. DIMM を取り外そうとしている DIMM コネクタの両方の保持クリップが完全に開いた位置にあることを確認します。次に、DIMM をコネクタから引き抜きます。

ステップ 6. 即時に DIMM を交換しない場合は、エアール・バッフルを取り付けます。

注意：適切なシステム冷却を維持するために、DIMM コネクタの上にエアール・バッフルを取り付けずに計算ノードを作動させないでください。

注：エアール・バッフルを取り付けるには、DIMM コネクタの保持クリップが閉じた位置になっている必要があります。

DIMM を返却するよう指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

DIMM の取り付け

DIMM を取り付けるには、この情報を使用します。

DIMM を取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. DIMM に付属の資料をお読みください。
3. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
4. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

このコンポーネントは、オプションのデバイスまたは CRU として取り付けることができます。オプションのデバイスと CRU の取り付け手順は同じです。

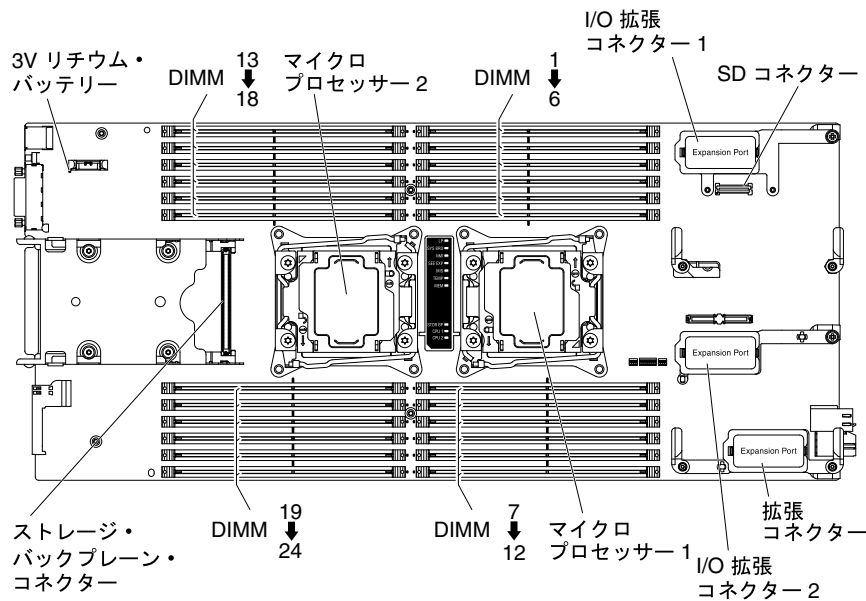
DIMM の取り付けまたは取り外しをした後は、Setup Utility を使用して新構成情報を変更し保存する必要があります。計算ノードの電源を入れると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。Setup Utility を開始して「Save Settings」を選択し (詳細については、26 ページの「Setup Utility の使用」を参照)、変更を保存します。

DIMM 障害の結果として DIMM を取り付ける場合、その DIMM を再度有効にする必要がある場合があります。DIMM を再度有効にするには、以下のステップを実行してください。

1. 取り付けられているメモリーの容量が期待されるメモリー容量であることを確認します。これは、オペレーティング・システムから確認するか、計算ノードの起動時にモニターを監視して確認するか、CMM sol コマンドを使用して確認するか、あるいは Flex System Manager 管理ソフトウェア (インストールされている場合) から確認します。
 - CMM sol コマンドについての詳細は、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cli_command_sol.htmlを参照してください。
 - Flex System Manager 管理ソフトウェアについて詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.8731.doc/product_page.htmlを参照してください。
2. Setup Utility を実行して、DIMM を再度有効にします (詳細については、26 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。

計算ノードは、合計 24 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクタを備えています。計算ノードは、4 GB、8 GB、16 GB、32 GB および 64 GB の容量のエラー訂正コード (ECC) 付き Low Profile (LP) DDR4 DIMM をサポートします。

次の図は、システム・ボード・コンポーネント (DIMM コネクタを含む) を示しています。



メモリーのアクセスは、4つのチャネルを使用して内部的に行われます。メモリー・チャネルにはそれぞれ、1つのマイクロプロセッサごとに3個のDIMMコネクタがあります (合計で6個)。各チャネルごとに最大8個のランクを持つことができます。次の表ではメモリー・チャネルをリストし、マイクロプロセッサごとにチャネルに取り付けるDIMMコネクタを示しています。

表 12. メモリー・チャンネル構成

マイクロプロセッサ	メモリー・チャンネル	DIMM コネクター
マイクロプロセッサ 1	チャンネル A	4、5、および 6
	チャンネル B	1、2、および 3
	チャンネル C	7、8、および 9
	チャンネル D	10、11、および 12
マイクロプロセッサ 2	チャンネル A	19、20、および 21
	チャンネル B	22、23、および 24
	チャンネル C	16、17、および 18
	チャンネル D	13、14、および 15

Setup Utility で設定されたメモリー・モードに応じて、1 個のマイクロプロセッサが取り付けられた計算ノードでは、最小 4 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートすることができます。2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合は、計算ノードは最小 8 GB、最大 1536 GB のシステム・メモリーをサポートすることができます。

Setup Utility で設定されたメモリー・モードに応じて、1 個のマイクロプロセッサが取り付けられた計算ノードでは、最小 4 GB、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートすることができます。2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合は、計算ノードは最小 8 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートすることができます。

以下の注記では、メモリーを取り付けるときに考慮する必要がある情報について説明しています。

- 登録された (RDIMM) DDR4 DIMM のみを使用してください。
- DIMM の最大容量:
 - registered DIMM (RDIMM): 768 GB (32 GB RDIMM を使用)
 - load reduced DIMM (LRDIMM): 1536 GB (64 GB LRDIMM を使用)
- サポートされる RDIMM サイズ (GB): 4、8、16、32
- サポートされる LRDIMM サイズ (GB): 32、64
- 同じ計算ノード内で RDIMM と LRDIMM を混用することはできません。
- DIMM は、UEFI ソフトウェアによって、Lenovo の純正モジュールであるか検証されます。純正以外のいずれかの DIMM が検出された場合は、システム・イベント・ログに通知メッセージが表示され、メモリーのパフォーマンスが制限される場合があります。純正以外の DIMM は Lenovo 保証の対象外です。
- パフォーマンスを最適化するために、DIMM は 4 個セットで取り付けてください。
- マイクロプロセッサごとに、取り付けるメモリーの量を等しくすることをお勧めします。
- 速度の異なる DIMM を取り付けられた場合、チャンネルのメモリーは、そのチャンネル内で最低速の DIMM の速度で作動します。
- 各チャンネルごとに合計 8 個のランクがサポートされます。
- multi-rank DIMM を取り付けの場合は、メモリー・チャンネルの終端にあるコネクターを最初にして、ランクの高い DIMM から順に取り付けます。
- quad-rank RDIMM はサポートされません。
- ランク・マルチプリケーションがサポートされており、1 チャンネルに最大 3 個の DIMM を使用できます。
- チャンネルごとに 3 個の DIMM を備えた構成で LRDIMM を取り付けの場合、標準の DIMM と比較してパフォーマンスが低下する可能性があります。
- ミラーリング・モードと非ミラーリング・モードの混用はサポートされません。

- ロック・ステップ・チャネル・モードはサポートされません。

計算ノードは、1チャネルに取り付けられた DIMM の数に基づいて、以下の DIMM 速度をサポートします。

表 13. チャネルごとの DIMM 速度

メモリーの説明	チャネルごとの DIMM	速度 (MHz)
4 GB (1Rx8, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	1	2133 MHz
4 GB (1Rx8, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	2	2133 MHz
4 GB (1Rx8, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	3	1600 MHz
8 GB (1Rx8, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	1	2133 MHz
8 GB (1Rx8, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	2	2133 MHz
8 GB (1Rx8, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	3	1600 MHz
8 GB (2Rx8, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	1	2133 MHz
8 GB (2Rx8, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	2	2133 MHz
8 GB (2Rx8, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	3	1600 MHz
16 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	1	2133 MHz
16 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	2	2133 MHz
16 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	3	1866 MHz
32 GB (2Rx4, 8 Gbit, 1.2V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	1	2133 MHz
32 GB (2Rx4, 8 Gbit, 1.2V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	2	2133 MHz
32 GB (2Rx4, 8 Gbit, 1.2V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz RDIMM	3	1600 MHz / 1866 MHz
32 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz LRDIMM	1	2133 MHz
32 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz LRDIMM	2	2133 MHz
32 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz LRDIMM	3	1866 MHz
64 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz LRDIMM	1	2133 MHz
64 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz LRDIMM	2	2133 MHz
64 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2 V) PC4-17000 TruDDR4 2133 MHz LRDIMM	3	1600 MHz / 1866 MHz

表 14. チャネルごとの DIMM 速度

メモリーの説明	チャネルごとの DIMM	速度 (MHz)
8 GB (1Rx4, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	1	2400 MHz
8 GB (1Rx4, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	2	2400 MHz
8 GB (1Rx4, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	3	1866 MHz
8 GB (2Rx8, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	1	2400 MHz
8 GB (2Rx8, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	2	2133 MHz
8 GB (2Rx8, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	3	1866 MHz
16 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	1	2400 MHz
16 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	2	2400 MHz
16 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	3	1866 MHz
32 GB (2Rx4, 4 Gbit, 1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	1	2400 MHz

表 14. チャンネルごとの DIMM 速度 (続き)

メモリーの説明	チャンネルごとの DIMM	速度 (MHz)
32 GB (2Rx4、4 Gbit、1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	2	2400 MHz
32 GB (2Rx4、4 Gbit、1.2V) PC4-19200 DDR4 2400 MHz LP RDIMM	3	1866 MHz

次の 3 つのメモリー・モードがあります。

- **独立チャンネル・モード:** 独立チャンネル・モードでは、1 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合は最大 768 GB、2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合は最大 1,536 GB のメモリーが使用可能です (64 GB DIMM 使用時)。
- **独立チャンネル・モード:** 独立チャンネル・モードでは、1 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合は最大 384 GB、2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合は最大 768 GB のメモリーが有効です (32 GB DIMM 使用時)。
- **ランク・スペアリング・モード:** ランク・スペアリング・モードでは、1 個のメモリー DIMM ランクが同じチャンネル上の他のランクのスペアとして機能します。スペア・ランクは、常に予約されており、アクティブ・メモリーとして使用されることはありません。スペア・ランクは、同じチャンネル上のすべての他のアクティブ DIMM ランク以上のメモリー容量でなければなりません。エラーしきい値を超えると、そのランクの内容がスペア・ランクにコピーされます。DIMM のランクに障害が発生すると、そのランクはオフラインにされ、スペア・ランクがオンラインになって障害のあるランクの代わりにアクティブ・メモリーとして使用されます。

メモリー・ランク・スペアリング・モードでは偶数の DIMM が必要です。サーバーに奇数の DIMM が取り付けられている場合は、Setup Utility の「Memory」メニューからメモリー・ランク・スペアリング・モードを無効にしてください。26 ページの「[Setup Utility の使用](#)」を参照してください。

注：メモリー・ランク・スペアリング・モードを無効にした後、メモリー構成が無効であることを示すメッセージが表示される場合は、IMM2 を再起動します。または、サーバーの電源をオフにして AC 電源から切り離してから再接続し、その後サーバーの電源を再度オンにします。

以下の注記では、ランク・スペアリング・メモリー・モードを選択するときに考慮する必要がある追加情報について説明しています。

- 1 つのチャンネル上のランク・スペアリングは、その他のすべてのチャンネルのスペアリングから独立しています。
- ランク・スペアリングを使用するには、それぞれのマイクロプロセッサごとに少なくとも 1 つの DIMM ペアを取り付けてください。チャンネルに DIMM が 1 つだけあり、その DIMM が single-rank または dual-rank である場合は、メモリー・スペアリングを使用しないでください。
- システムで使用可能な実効メモリーは、取り付けられたメモリーより少なくなります。
- Setup Utility を使用して、DIMM ランクのステータスを判別することができます。
- **ミラーリング・チャンネル・モード:** ミラーリング・チャンネル・モードでは、メモリーをペアで取り付けます。ペアの各 DIMM は、サイズおよびアーキテクチャーが同一でなければなりません。チャンネルはペアでグループ化され、ペアのチャンネルはそれぞれ同じデータを受信します。1 つのチャンネルが他方のバックアップとして使用され、冗長性を提供します。チャンネル A のメモリーの内容がチャンネル B に複製され、チャンネル C のメモリーの内容がチャンネル D に複製されます。システムで使用可能な実効メモリーは、取り付けられたメモリーの半分のみです。

各マイクロプロセッサごとに 1 個の DIMM が最小要件です。ただし、最適なパフォーマンスのために、DIMM を 4 個セットで取り付けることで、4 個すべてのチャンネルにメモリーを等しく分配することができます。2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合は、マイクロプロセッサ間で同等になるようにメモリーをすべてのチャンネルに分配します。

独立チャンネル・モードの場合、次の表で示されている順序でDIMMを取り付けます。

表 15. 独立チャンネル・モードの DIMM 装着順序

取り付け済みの DIMM の数	1 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合		2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合		
	DIMM スロット番号	チャンネルごとの DIMM	DIMM スロット番号	チャンネルごとの DIMM	
1	4	1	4	1	
2	9		16		
3	1		9		
4	12		21		
5	5	2	1		
6	8		13		
7	2		12		
8	11		24		
9	6	3	5	2	
10	7		17		
11	3		8		
12	10		20		
13	使用しません - 1 個のマイクロプロセッサを使用するシステムでは、DIMM の最大数は 12 です。		2		
14			14		
15			11		
16			23		
17			6		3
18			18		
19			7		
20			19		
21			3		
22			15		
23			10		
24			22		

ランク・スペアリング・モードの場合、次の表で示されている順序でDIMMを取り付けます。

表 16. ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序

DIMM ペアの取り付け順序	チャンネルごとに 2 つの DIMM		チャンネルごとに 3 つの DIMM	
	1 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合	2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合	1 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合	2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合
1	4 および 5	4 および 5	4、5、および 6	4、5、および 6
2	8 および 9	20 および 21	7、8、および 9	19、20、および 21
3	1 および 2	8 および 9	1、2、および 3	7、8、および 9
4	11 および 12	16 および 17	10、11、および 12	16、17、および 18

表 16. ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序 (続き)

DIMM ペアの取り付け順序	チャンネルごとに 2 つの DIMM		チャンネルごとに 3 つの DIMM	
	1 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合	2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合	1 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合	2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合
5	該当しません	1 および 2	該当しません	1、2、および 3
6		23 および 24		22、23、および 24
7		11 および 12		10、11、および 12
8		13 および 14		13、14、および 15

ミラーリング・チャンネル・モードの場合、次の表で示されている順序で DIMM を取り付けます。

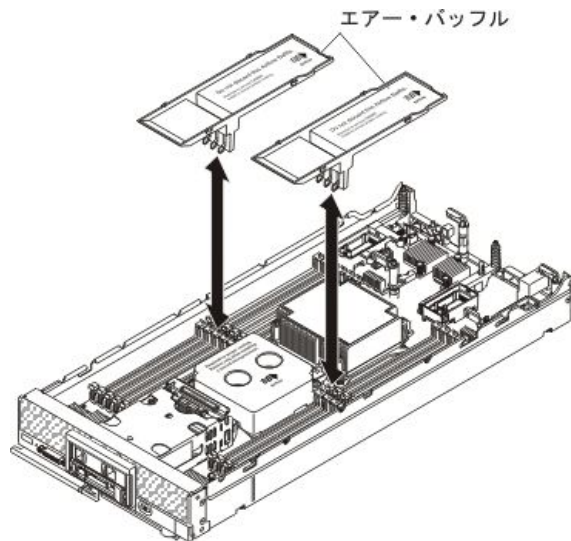
表 17. ミラーリング・チャンネル・モードの DIMM 装着順序

DIMM ペア	1 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合		2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合	
	DIMM スロット番号	チャンネルごとの DIMM	DIMM スロット番号	チャンネルごとの DIMM
1	4 および 1 ¹	1	4 および 1 ¹	1
2	9 および 12 ¹		21 および 24 ¹	
3	2 および 5 ¹	2	9 および 12 ¹	
4	8 および 11 ¹		13 および 16 ¹	
5	3 および 6 ¹	3	2 および 5 ¹	2
6	7 および 10 ¹		20 および 23 ¹	
7	なし		8 および 11 ¹	
8	なし	14 および 17 ¹		
9	なし	なし	3 および 6 ¹	3
10	なし		19 および 22 ¹	
11	なし		7 および 10 ¹	
12	なし		15 および 18 ¹	

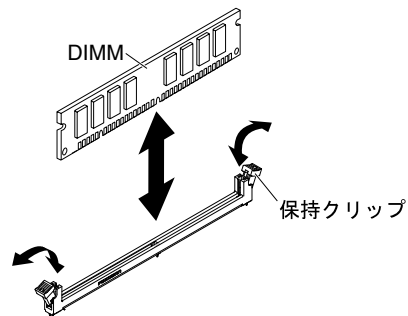
1. ミラーリング・チャンネル・モードでは、DIMM ペアは、サイズ、タイプ、およびランク数が同一でなければなりません。

DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。

- 注：DIMM の取り外しや取り付けは、一度に 1 つのマイクロプロセッサに対して行います。
- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「[計算ノード・カバーの取り外し](#)」を参照)。
- ステップ 2. DIMM に付属の資料を読みます。
- ステップ 3. DIMM コネクタ上に取り付けられているエア・バッフルを取り外します。



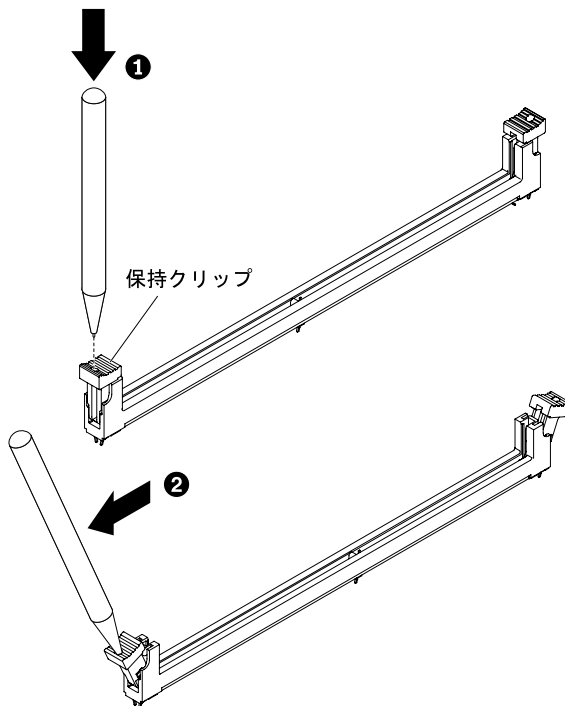
- ステップ 4. DIMM コネクタの位置を確認します (18 ページの「システム・ボード・コネクタ」を参照)。DIMM を取り付ける予定の DIMM コネクタを判別します。
- ステップ 5. DIMM が入っている帯電防止パッケージを Lenovo Flex System シャーシの塗装されていない金属部分、あるいは DIMM を取り付けるラックの接地されたコンポーネントの塗装されていない金属面に少なくとも 2 秒間接触させてください。その後、DIMM をパッケージから取り出します。



- ステップ 6. DIMM コネクタの両方の保持クリップが開いた位置にあることを確認します。

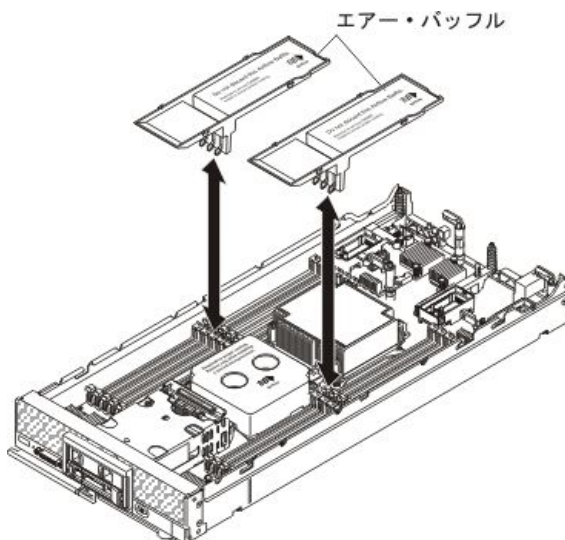
注意： 保持クリップの破損や DIMM コネクタの損傷を防止するために、クリップは慎重に取り扱ってください。

注： マイクロプロセッサ 1 とマイクロプロセッサ 2 の隣接する DIMM コネクタの保持クリップは、同時に開くことができません。各マイクロプロセッサの DIMM の取り外しや取り付けは、一度に 1 つずつ行います。



注：スペースの制約のために必要であれば、先のとがったツールを使用して保持クリップを開いてもかまいません。ツールの先端を保持クリップ上部のくぼみに差し込みます。次に、慎重に保持クリップを回転させ、DIMM コネクタから外します。

- ステップ 7. DIMM の切り欠きがシステム・ボード上の DIMM コネクタに正しく合うように、DIMM の向きを合わせます。
- ステップ 8. DIMM を押して DIMM コネクタに差し込みます。保持クリップが DIMM をコネクタにロックします。
- ステップ 9. 保持クリップの小さなタブが DIMM の切り欠きとかみ合っていることを確認します。DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM は正しく取り付けられていません。DIMM をしっかりとコネクタに押し入れてから、タブが完全に納まるまで保持クリップを DIMM 側に押します。DIMM が正しく取り付けられていると、保持クリップは DIMM の両サイドと平行になります。



注：エアー・バッフルを取り付けるには、DIMM コネクターの保持クリップが閉じた位置になっている必要があります。

ステップ 10. DIMM コネクター上にエアー・バッフルを取り付けます。

注意：適切なシステム冷却を維持するために、DIMM コネクターの上にエアー・バッフルを取り付けずに計算ノードを作動させないでください。

DIMM を取り付けした後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については [773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」](#) を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、[765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」](#) を参照)。

ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し

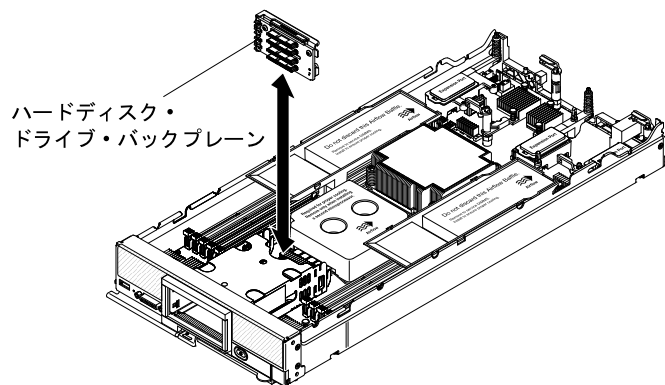
ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注：計算ノードには、いくつかの異なるタイプのハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けることができます。どれも同様な方法で取り外しと取り付けを行います。デバイス固有の情報と、オプションの部品として含まれている場合がある他のコンポーネントの取り外しに関する情報については、オプションのハードディスク・ドライブ・バックプレーンに付属の資料を参照してください。図に示されているハードディスク・ドライブ・バックプレーンは、ご使用の計算ノードに取り付けられているバックプレーンと少し異なる場合があります。

ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外すには、以下のステップを実行してください。



ステップ 1. カバーを取り外します ([772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」](#) を参照)。

ステップ 2. 取り付けられているオプションの RAID アダプターに、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンに接続されたケーブルがある場合は、そのケーブル接続を切断します (詳細については、RAID アダプターの資料を参照)。

ステップ 3. ハードディスク・ドライブ・ベイ・フィルターがある場合は、それらを取り外します。次に、ハードディスクまたはソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブをベイから少し引き出して、バックプレーンから取り外します。

ステップ 4. ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを持ち上げて取り外します。

ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け

ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、この情報を使用します。

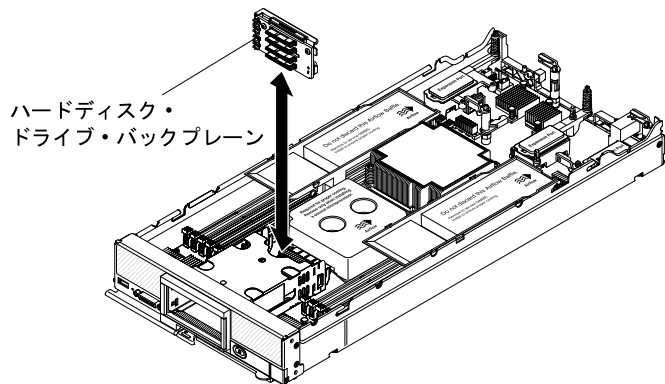
ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注：

- 計算ノードには、いくつかの異なるタイプのハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けることができます。どれも同様な方法で取り外しと取り付けを行います。図に示されているハードディスク・ドライブ・バックプレーンは、ご使用の計算ノードに取り付けられているバックプレーンと少し異なる場合があります。
- デバイス固有の情報と、オプションの部品として含まれている場合がある他のコンポーネントの取り付けに関する情報や、オプションを使用するために取り付ける必要がある他のコンポーネントやモジュールに関する情報については、オプションのハードディスク・ドライブ・バックプレーンに付属の資料を参照してください。例えば、一部のオプションのハードディスク・ドライブ・バックプレーンを使用するには、2 番目のマイクロプロセッサを取り付ける必要があります。

ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、次のステップを実行してください。



ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

重要：ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを使用するハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付ける場合は、マウント・スリーブを取り付ける前にバックプレーンを取り付けます。

注：すべてのハードディスク・ドライブ・バックプレーンはシステム・ボード上の同じコネクタを使用します。ただし、異なるタイプのバックプレーンを収容できるよう、ハードディスク・ドライブ・ケージには 2 つの位置合わせスロットがあります。ハードディスク・ドライブ・ケージにバックプレーンを挿入するときは必ず、バックプレーンとシステム・ボードのコネクタの位置が合っていることを確認してください。

ステップ 2. バックプレーンをハードディスク・ドライブ・ケージおよびシステム・ボード上のコネクタに位置合わせし、バックプレーンがコネクタに完全に装着されて所定の位置に収まるまで押し込みます。

ステップ3. 取り付けられているオプションの RAID アダプターに、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンに接続するケーブルがある場合は、そのケーブルを接続します (詳細については、RAID アダプターの資料を参照)。

ステップ4. ホット・スワップ・ハードディスク、ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブ、およびハードディスク・ドライブ・ベイ・フィルターを挿入します。

ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については [773 ページ](#)の「[計算ノード・カバーの取り付け](#)」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、[765 ページ](#)の「[シャーシへの計算ノードの取り付け](#)」を参照)。

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

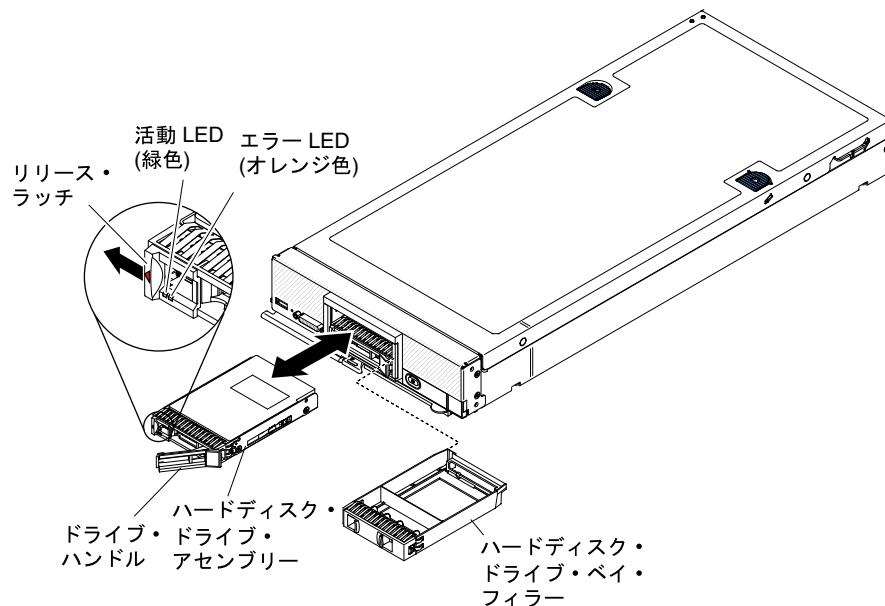
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り外すには、この情報を使用します。

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

注：オプションの 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブの取り外しの詳細については、[804 ページ](#)の「[1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り外し](#)」を参照してください。

1. ハードディスク・ドライブの変更を行う前に、重要なデータをバックアップしてください。
2. [v ページ](#)の「[安全について](#)」および [763 ページ](#)の「[取り付け作業上の注意事項](#)」をお読みください。

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り外すには、以下のステップを実行してください。



ステップ1. ハード・ディスクのリリース・ラッチ (オレンジ色) を押し、ドライブ・ハンドルのロックを解除します。

ステップ2. リリース・ハンドルを引き、ドライブをベイから取り外します。

ハード・ディスクの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

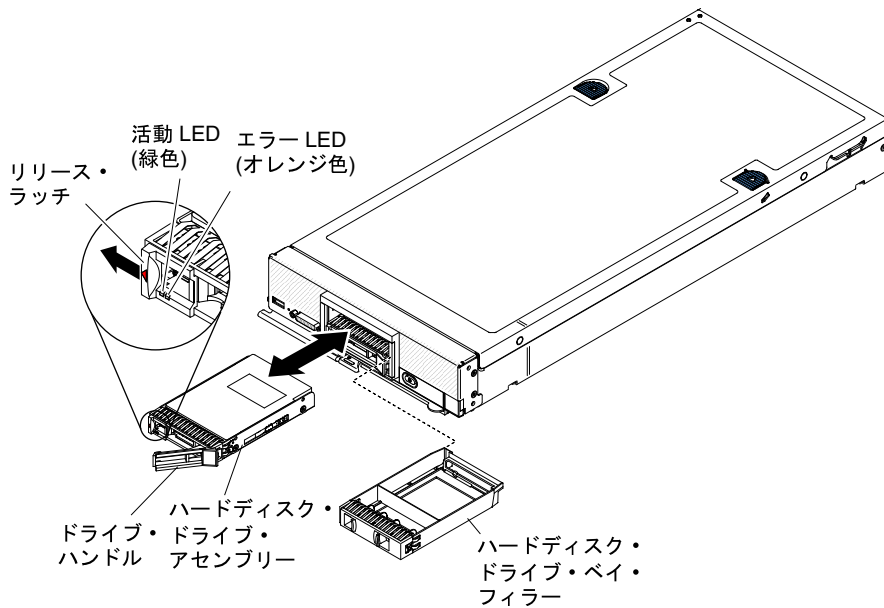
ホット・スワップ・ハードディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り付ける前に、[v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

計算ノードには、ホット・スワップ・ハードディスクを取り付けるための SAS ハードディスク・ベイが 2 つあります。計算ノードには、既に 1 個のハードディスクが取り付けられている場合があります。計算ノードに 1 個のハードディスクが装着されている場合、追加ドライブを取り付けることができます。RAID レベル 0 (ストライピング) を、単一のハードディスクが取り付けられた計算ノード上に構成できます。RAID レベル 1 (ミラーリング) アレイを実装および管理するには、同じインターフェース・タイプのディスク・ドライブを最小で 2 個取り付ける必要があります。RAID 構成の詳細については、[37 ページの「RAID アレイの構成」](#) を参照してください。

注：オプションの 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブの取り付けの詳細については、[806 ページの「1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り付け」](#) を参照してください。

ホット・スワップ・ハードディスクまたはハードディスク・ドライブ・ベイ・フィラーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



- ステップ 1. ホット・スワップ・ハードディスクを取り付ける予定のハードディスク・ベイを識別します。
- ステップ 2. ハードディスク・ドライブ・ベイ・フィラーが取り付けられている場合は、リリース・レバーを引いてフィラーを計算ノードから引き抜きます。
- ステップ 3. ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブが入った帯電防止パッケージを Lenovo Flex System シャーシの塗装されていない金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージからハードディスク・ドライブを取り出します。
- ステップ 4. ホット・スワップ・ハード・ディスクのリリース・レバーを開き、ドライブをベイ内にスライドさせてコネクタにしっかり装着します。
- ステップ 5. リリース・レバーを閉じて、ホット・スワップ・ハード・ディスクを所定の位置にロックします。
- ステップ 6. ハード・ディスクのステータス LED を調べて、ハード・ディスクが正しく作動していることを確認します。

SAS RAID 構成の詳細については、[37 ページの「RAID アレイの構成」](#)を参照してください。

ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り外し

オプションのソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを取り外すには、この情報を使用します。

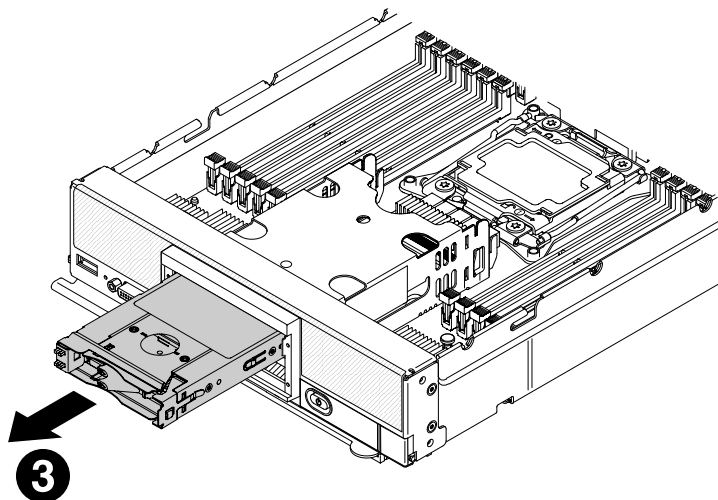
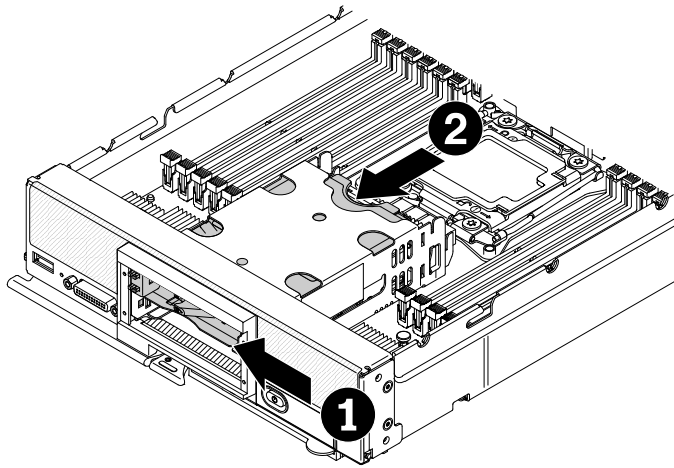
オプションの 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) を取り付けるには、ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブが必要です。それぞれマウント・スリーブは、最大 2 個の 1.8 型ホット・スワップ SSD を保持することができます。ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを使用する場合は、計算ノードに 2 つのスリーブを取り付けます。

ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
2. シャーシに Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#)を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを左側に向けて、帯電防止されている平らな場所に計算ノードを慎重に置きます。

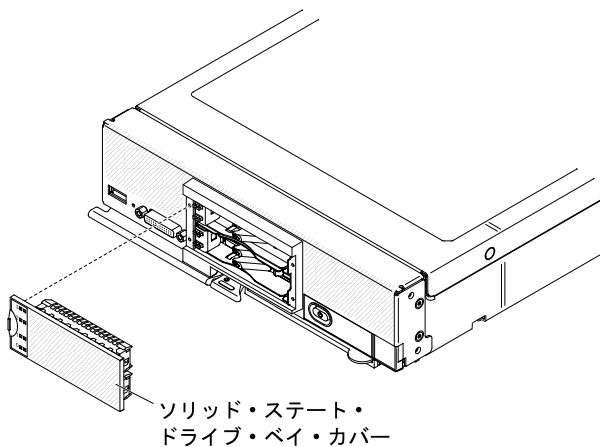
注：ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブは 2 つあります。上段のソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを最初に取り外す必要があります。

ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを取り外すには、以下の手順を実行してください。



ステップ1. 計算ノード・カバーを取り外します (772 ページの「[計算ノード・カバーの取り外し](#)」を参照)。

ステップ2. 計算ノード上のソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの位置を確認します。



ステップ3. ソリッド・ステート・ドライブ・ベイ・カバーを取り外します。

ステップ4. すべての SSD ディスク・ドライブを取り外します (804 ページの「[1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り外し](#)」を参照)。

ステップ 5. 上段の SSD マウント・スリーブの前面右側にあるタブを押します。次に、上段のソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの上部背面を前方へ押して、計算ノードから押し出すようにスリーブをスライドさせ、ベイからスリーブを取り外します。

注： SSD マウント・スリーブの前面右側にあるタブは、指の爪かマイナス・ドライバーを使用して押します。ベゼルを取り外した方が、タブが押しやすくなる場合があります。

ステップ 6. 下段の SSD マウント・スリーブの前面右側にあるタブを押します。次に、下段のソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの上部背面を前方へ押して、計算ノードから押し出すようにスリーブをスライドさせ、ベイからスリーブを取り外します。

重要： 下段の SSD マウント・スリーブを前方へスライドさせるとき、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンやそのコネクタをてこの支えのように使用しないでください。

ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

今後計算ノードに SSD ディスク・ドライブを取り付ける予定がない場合は、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンと計算ノード・ベゼル、およびハードディスクまたはフィラーを、当初その計算ノードに取り付けられていたコンポーネントに交換します。ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの交換の詳細については、[797 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し」](#)、および [798 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け」](#) を参照してください。計算ノード・ベゼルの交換の詳細については、[781 ページの「ベゼルの取り外し」](#)、および [781 ページの「ベゼルの取り付け」](#) を参照してください。

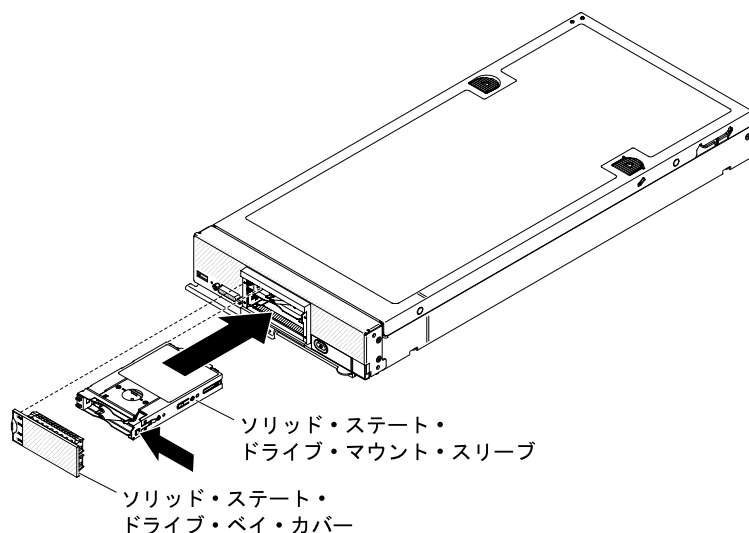
ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り付け

オプションのソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを取り付けるには、この情報を使用します。

オプションの 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) を取り付けるには、ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブが必要です。それぞれマウント・スリーブは、最大 2 個の 1.8 型ホット・スワップ SSD を保持することができます。ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを使用する場合は、計算ノードに 2 つのスリーブを取り付けます。

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り付ける前に、[v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを取り付けるには、以下のステップを実行します。



重要: ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを取り付けるには、互換性のあるソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーン、ベゼル、およびソリッド・ステート・ドライブ・ベイ・カバーを取り付ける必要があります。

ステップ 1. 計算ノード・カバーを取り外します (772 ページの「[計算ノード・カバーの取り外し](#)」を参照)。

ステップ 2. ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを取り付ける予定のハードディスク・ベイを識別します。

重要: ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを使用するハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付ける場合は、マウント・スリーブを取り付ける前にバックプレーンを取り付けます (798 ページの「[ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け](#)」を参照)。

ステップ 3. ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブが入っている帯電防止パッケージを Lenovo Flex System シャーシの塗装されていない金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージからソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを取り出します。

ステップ 4. ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの向きを、状況 LED が左側を向くようにします。

ステップ 5. ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを、コネクタにしっかりと装着されるまでベイ内にスライドさせます。

ステップ 6. すべての SSD ディスク・ドライブを取り付けます (806 ページの「[1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り付け](#)」を参照)。

ステップ 7. ソリッド・ステート・ドライブ・ベイ・カバーを取り付けます。

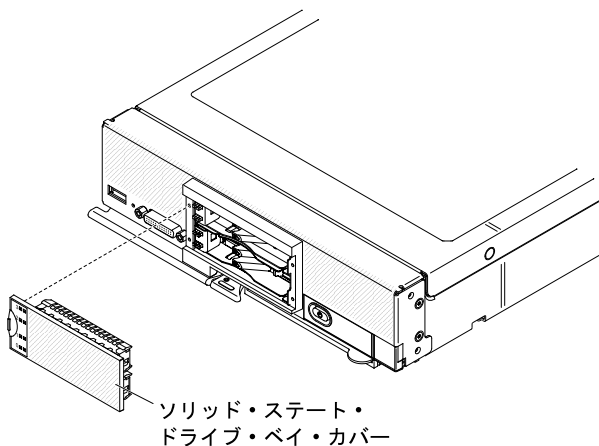
1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り外し

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) を取り外すには、この情報を使用します。ソリッド・ステート・ドライブは、SSD 有効化キットが取り付けられている場合にのみ、計算ノードに取り付けることができます。

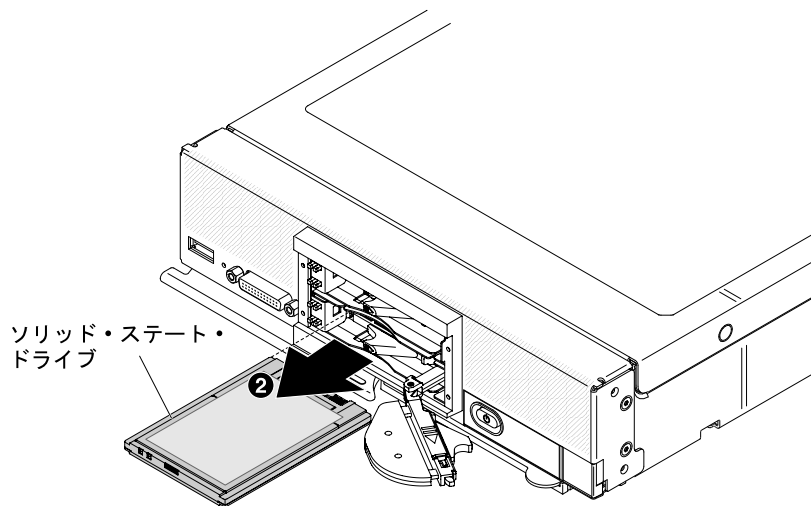
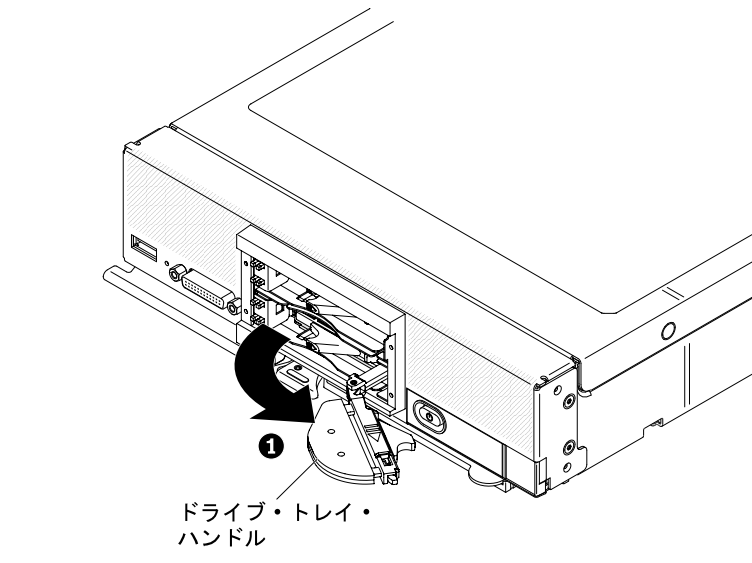
ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. ソリッド・ステート・ドライブの内容を変更する前に、重要なデータはすべてバックアップしてください。
2. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを取り外すには、以下の手順を実行してください。



ステップ 1. ソリッド・ステートドライブ・ベイ・カバーを取り外します。



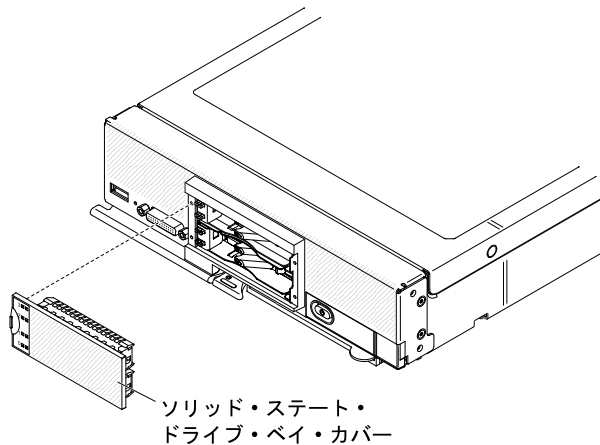
ステップ2. 取り外すソリッド・ステート・ドライブのリリース・ラッチをスライドさせ、ドライブ・トレイ・ハンドルの固定されていない方の端を回転させて計算ノードから離します。

ステップ3. ドライブ・トレイ・ハンドルを手前に引いてソリッド・ステート・ドライブを外し、ソリッド・ステート・ドライブをドライブ・ベイから引き抜きます。

注：計算ノードからドライブを取り外す場合、ドライブを戻すときに元のドライブ・ベイに取り付けることができるように、そのドライブをどのドライブ・ベイから取り外したかを示すラベルをドライブに付けることを検討してください。

ステップ4. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じ、ラッチで固定します。

注：ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じる前に、ラッチを押す必要がある場合があります。



ステップ 5. ソリッド・ステート・ドライブ・ベイ・カバーの向きを、LED ラベルが左側を向くようにします。

ステップ 6. ソリッド・ステート・ドライブ・ベイ・カバーを、しっかりと装着されるまで計算ノードの前面に押し込みます。

ソリッド・ステート・ドライブの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り付け

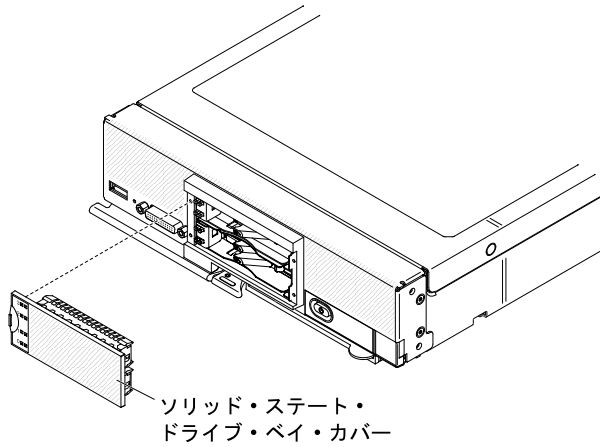
1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) を取り付けるには、この情報を使用します。ソリッド・ステート・ドライブは、SSD マウント・スリーブが取り付けられていれば、上段と下段の両方の計算ノードに取り付けることができます。

計算ノードにオプションの SSD マウント・スリーブが取り付けられている場合は、1つの計算ノードに最大 4 個の 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) を取り付けることができます。SSD マウント・スリーブには、少なくとも 1 個の 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブを取り付ける必要があります。Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードで使用される 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブは、ホット・スワップ・ドライブです。

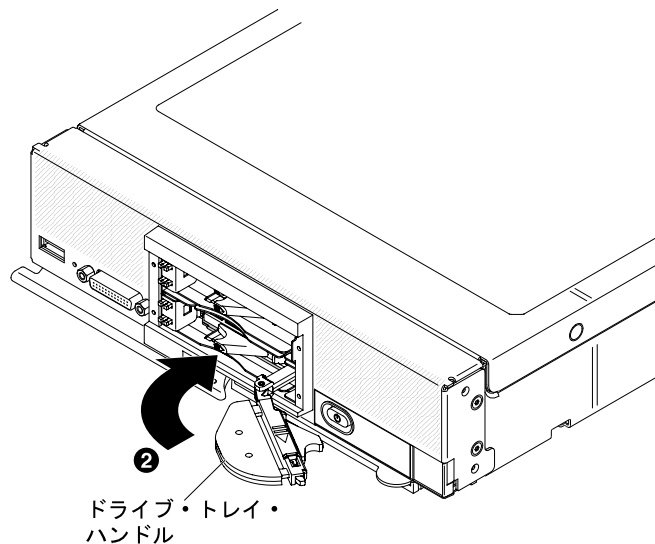
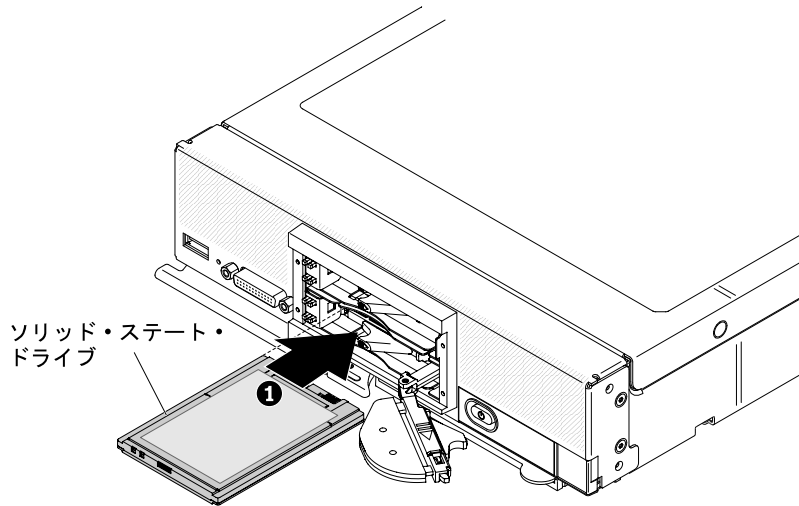
RAID レベル 0 (ストライピング) を、単一のハードディスクが取り付けられた計算ノード上に構成できません。RAID レベル 1 (ミラーリング) アレイを実装および管理するには、同じインターフェース・タイプのディスク・ドライブを最小で 2 個取り付ける必要があります。RAID 構成の詳細については、[37 ページの「RAID アレイの構成」](#)を参照してください。追加の RAID レベルは、計算ノードにオプションの RAID コントローラーが取り付けられている場合にサポートされます。

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを取り付ける前に、[v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行します。



- ステップ1. ソリッド・ステート・ドライブ・ベイ・カバーを取り外します。
- ステップ2. 取り付けるソリッド・ステート・ドライブのリリース・ラッチをスライドさせ、ドライブ・トレイ・ハンドルの固定されていない方の端を回転させて計算ノードから離します。ドライブ・トレイ・ハンドルのくぼみをソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの右側のタブに引っ掛けて、ドライブ・トレイ・ハンドルを開いた位置に保持します。



ステップ3. ソリッド・ステート・ドライブが入っている帯電防止パッケージをシャーシの塗装されていない金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージからソリッド・ステート・ドライブを取り出します。

ステップ4. ソリッド・ステート・ドライブの向きを、ドライブ上のラベルが上を向く(ソリッド・ステート・ドライブ・コネクターの接点が下を向く)ようにします。

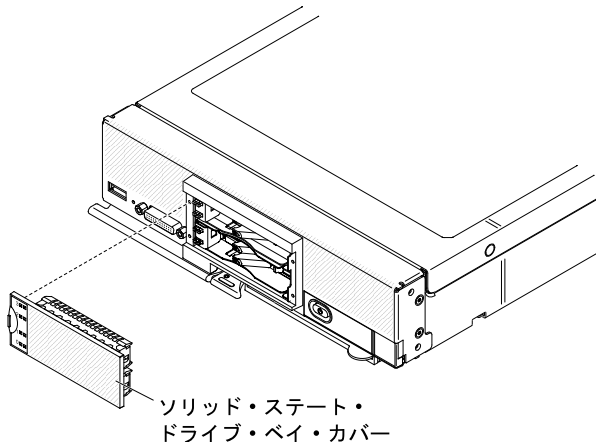
注：ドライブが上下逆さまにドライブ・ベイに差し込まれるのを防止するための機構はありません。ドライブは、上下逆さまに挿入されるとコネクタに装着できず、ドライブ・トレイ・ハンドルを完全に閉じることができなくなります。

ステップ5. ソリッド・ステート・ドライブがコネクタにしっかりと装着されるまで、ドライブ・ベイにスライドさせます。

ステップ6. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じ、ラッチで固定します。

注：ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じる前に、ラッチを押す必要がある場合があります。

ステップ7. [808 ページのステップ3](#)から[808 ページのステップ6](#)を、取り付けるソリッド・ステート・ドライブごとに繰り返します。



ステップ8. ソリッド・ステート・ドライブ・ベイ・カバーの向きを、LED ラベルが左側を向くようにします。

ステップ9. ソリッド・ステート・ドライブ・ベイ・カバーを、しっかりと装着されるまで計算ノードの前面に押し込みます。

RAID 構成の詳細については、[37 ページの「RAID アレイの構成」](#)を参照してください。

ServeRAID M5215 コントローラーの取り外し

ServeRAID M5215 コントローラーを取り外すには、この情報を使用します。

ServeRAID コントローラーが取り外されているときは、ソフトウェア RAID はサポートされません。計算ノードは、ハードウェア RAID 構成からソフトウェア RAID 機能へのダウングレードをサポートしません。

ServeRAID M5215 コントローラーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#)および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
2. Lenovo Flex System シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#)を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ServeRAID M5215 コントローラーは特定のハードディスク・ドライブ・バックプレーンを使用します。

- 計算ノードから ServeRAID M5215 オプションを取り外す場合、ServeRAID コントローラーとそのバックプレーンの両方を取り外し、ServeRAID M5215 バックプレーンを計算ノードに付属のハードディスク・ドライブ・バックプレーンと交換する必要があります。
- ServeRAID M5215 コントローラーのみ取り外して交換する場合、ServeRAID M5215 バックプレーンを取り外す必要はありません。

ServeRAID M5215 コントローラーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

注：ServeRAID M5215 コントローラーの取り外しの詳細については、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.common.nav.doc/ServeRAID_M5215_IG.pdfを参照してください。

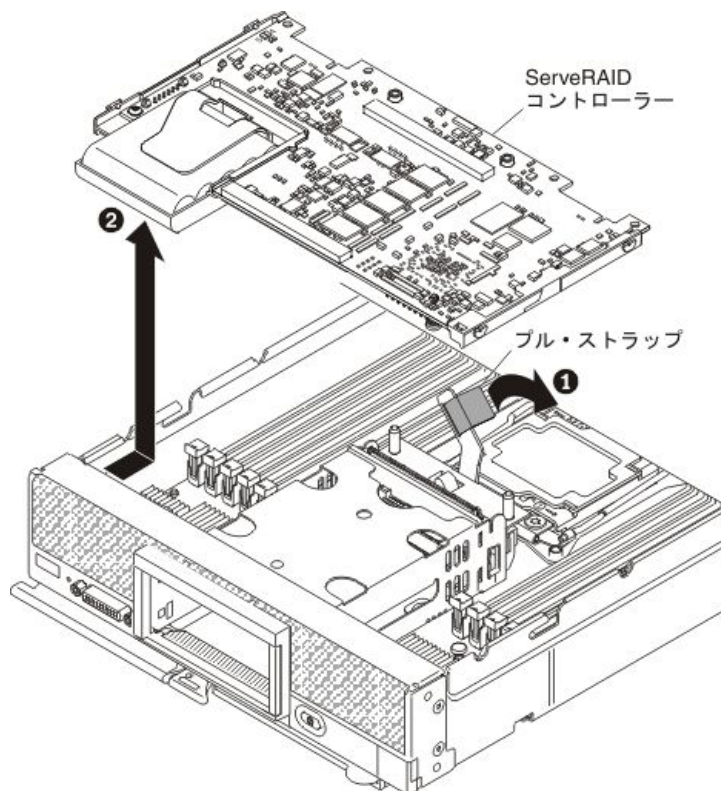
ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. ServeRAID M5215 コントローラーとバックプレーンを取り外す場合は、ストレージ・ドライブおよびハードディスク・ドライブ・ベイ・フィラーを取り外し、帯電防止性のある面に置きます。(799 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」を参照)。

注：ストレージ・ドライブおよびソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを、取り外したのと同じベイ位置に取り付けます。

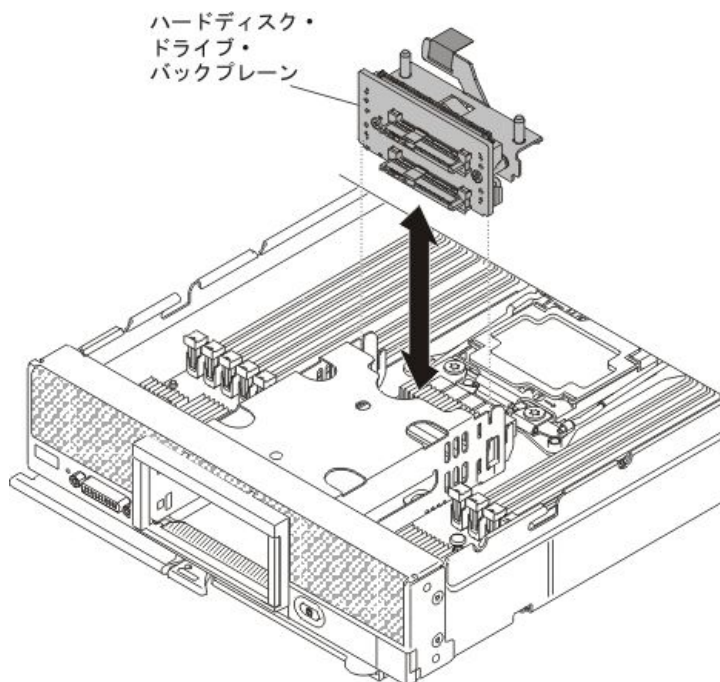
ステップ 3. 計算ノードに取り付けられた ServeRAID コントローラーの位置を確認します。

ステップ 4. ServeRAID コントローラーを取り外します。



- ハードディスク・ドライブ・バックプレーンのレバーを引き上げて回転させ、コネクタから ServeRAID コントローラーを取り外します。
- ServeRAID コントローラーを持ち上げ、計算ノードから取り外します。

ステップ 5. システム・ボード・アセンブリーから ServeRAID のハードディスク・ドライブ・バックプレーンを持ち上げて取り外します (797 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し」を参照)。



ServeRAID コントローラーまたは ServeRAID コントローラー・バックプレーンの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ServeRAID M5215 コントローラーの取り付け

ServeRAID M5215 コントローラーを取り付けるには、この情報を使用します。

ServeRAID M5215 コントローラーには、Lenovo Flex System x240 M5 計算ノードに取り付けられている場合、RAID レベル 0 および 1 をサポートする LSI 3108 SAS コントローラーがあります。オプションの ServeRAID M5215 コントローラーは、計算ノードにインストールされている場合、計算ノードのシステム・ボード上にあるハードディスク・コントローラーをオーバーライドします。

ServeRAID M5215 コントローラーを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. Lenovo Flex System シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ServeRAID M5215 コントローラーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

注：

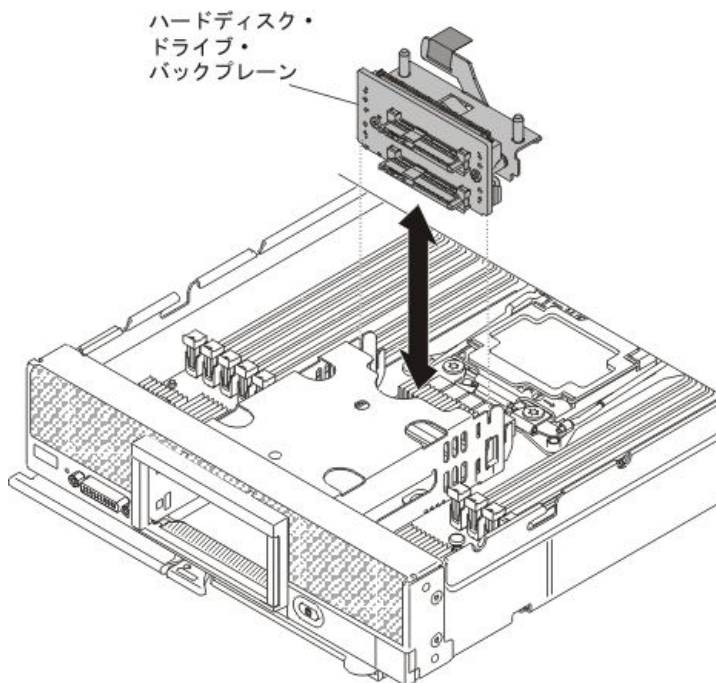
- アダプターを交換する際は、可能であれば事前に RAID 構成情報をバックアップまたは記録します。詳しい手順については、ご使用の RAID アダプターの資料を参照してください。ServeRAID アダプターの資料は <http://datacentersupport.lenovo.com> からダウンロードできます。
- ServeRAID M5215 コントローラーの取り付けの詳細については、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.common.nav.doc/ServeRAID_M5215_IG.pdf を参照してください。

ステップ 1. カバーを取り外します ([772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」](#) を参照)。

- ステップ 2. ハードディスク・ドライブ・バックプレーンが ServeRAID M5215 コントローラーと互換性のない計算ノードに取り付けられている場合は、取り外します (797 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し」を参照)。

注：すべてのハードディスク・ドライブ・バックプレーンはシステム・ボード上の同じコネクタを使用します。ただし、異なるタイプのバックプレーンを収容できるよう、ハードディスク・ドライブ・ケージには2つの位置合わせスロットがあります。ハードディスク・ドライブ・ケージにバックプレーンを挿入するときは必ず、バックプレーンとシステム・ボードのコネクタの位置が合っていることを確認してください。

- ステップ 3. ServeRAID M5215 コントローラーとハードディスク・ドライブ・バックプレーンの両方を取り付ける場合は、ServeRAID M5215 ハードディスク・ドライブ・バックプレーンをシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます (798 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け」を参照)。ServeRAID M5215 コントローラー・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンは、ハードディスク・ドライブ・ケージ背面にある位置合わせスロットに合わせます。

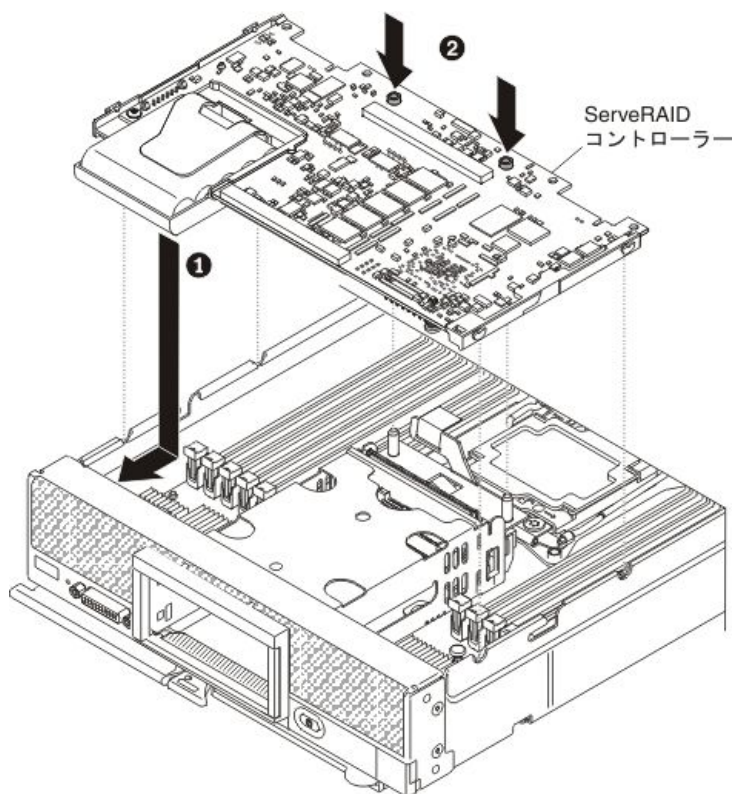


- ステップ 4. ServeRAID コントローラーが入っている帯電防止パッケージを、接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからコントローラーを取り出します。

注：ServeRAID コントローラーを計算ノードに取り付ける前に、このコントローラーにフラッシュ電源モジュールがインストールされていることを確認します (詳細および手順については、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.common.nav.doc/ServeRAID_M5215_IG.pdf を参照)。

- ステップ 5. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン上の ServeRAID コントローラー・コネクタの位置を確認します。

- ステップ 6. ServeRAID コントローラー上のコネクタをハードディスク・ドライブ・バックプレーン上のコネクタの位置に合わせます。次に、コントローラーをコネクタに押し入れます。



ステップ7. 示された場所をしっかりと押して、ServeRAID コントローラーを完全に差し込みます。

注：ストレージ・ドライブを、取り外したのと同じベイ位置に取り付けます。

ステップ8. 事前に取り外したストレージ・ドライブとハードディスク・ドライブ・ベイ・フィラーを取り付けます (800 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」を参照)。

ステップ9. 外部構成として交換用 ServeRAID アダプターに RAID 構成をインポートします。手順については、https://download.lenovo.com/servers_pdf/ibm_serveraid_m_software_user_guide_11th_edition.pdf を参照してください。

ServeRAID M5215 コントローラーを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。
3. LSI Logic Configuration ユーティリティ・プログラムを使用して RAID アレイを構成します (38 ページの「LSI Logic Configuration ユーティリティの使用」を参照)。

変換コネクタ (interposer) ケーブルの取り外し

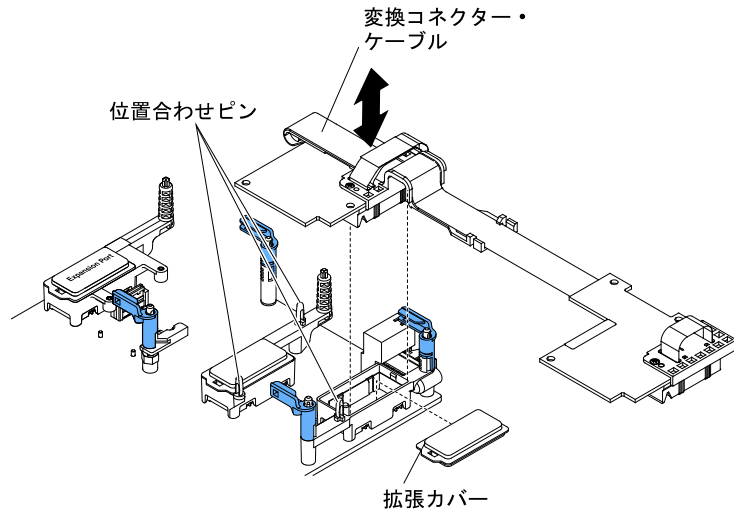
変換コネクタ (interposer) ケーブルを取り外すには、この情報を使用します。

変換コネクタ (interposer) ・ ケーブルを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

変換コネクタ (interposer) ・ ケーブルを取り外すには、以下のステップを実行してください。

注：拡張ノードによっては、変換コネクタ ・ ケーブルを必要とするものもあり、このケーブルが拡張ノードの一部となっている場合があります。追加情報や、このタイプの変換コネクタ ・ ケーブルの取り外し手順については、ご使用の拡張ノードに付属の資料を参照してください (http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.common.nav.doc/expansion_blades.html を参照)。



- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. 変換コネクタ (interposer) ・ コネクタの位置を確認します (18 ページの「システム・ボード・コネクタ」を参照)。
- ステップ 3. I/O 拡張カードが変換コネクタ (interposer) コネクタ上に取り付けられている場合は、取り外します (814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. 変換コネクタ (interposer) ・ ケーブルをコネクタから持ち上げて、計算ノードから取り外します。ケーブル ・ コネクタを前部から後部へ前後に動かすと、コネクタを外すのが容易になる場合があります。
重要：コネクタを左右に動かすと、変換コネクタが損傷する場合があります。
- ステップ 5. 必要に応じて、I/O 拡張カードを取り外します (815 ページの「I/O 拡張アダプターの取り付け」を参照)。

変換コネクタ (interposer) ・ ケーブルの返却を求められた場合は、すべての梱包手順に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

変換コネクタ (interposer) ケーブルの取り付け

変換コネクタ (interposer) ケーブルを取り付けるには、この情報を使用します。

変換コネクタ (interposer) ケーブルを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

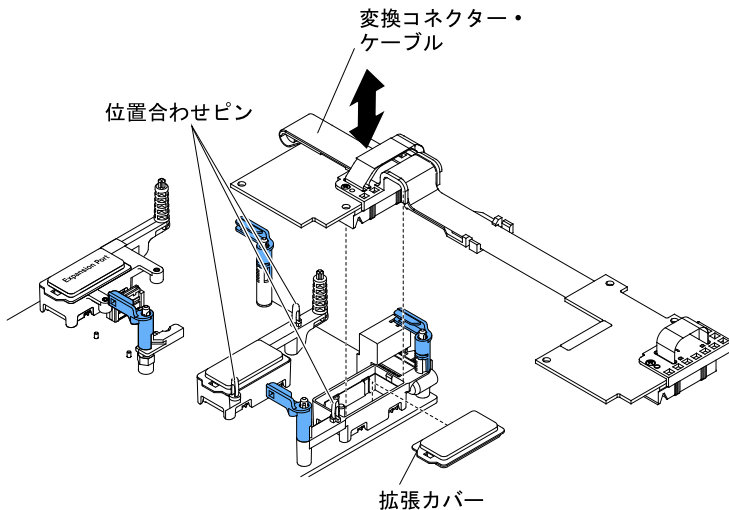
注：拡張ノードによっては、変換コネクタ ・ ケーブルを必要とするものもあり、このケーブルが拡張ノードの一部となっている場合があります。追加情報およびこのタイプの変換コネクタ ・ ケーブルの取り付け手順については、ご使用の拡張ノードに付属の資料を参照してください (http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.common.nav.doc/expansion_blades.html を参照)。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

このコンポーネントは、オプションのデバイスまたは CRU として取り付けることができます。オプションのデバイスと CRU の取り付け手順は同じです。

計算ノードが 変換コネクタ (interposer) ・ ケーブルをサポートするためには、2 つのマイクロプロセッサを取り付ける必要があります。

変換コネクタ (interposer) ケーブルを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「[計算ノード・カバーの取り外し](#)」を参照)。
- ステップ 2. 変換コネクタ (interposer) ・ コネクタの位置を確認します (18 ページの「[システム・ボード・コネクタ](#)」を参照)。
- ステップ 3. I/O 拡張アダプターが変換コネクタ (interposer) コネクタ上に取り付けられている場合は、取り外します (814 ページの「[I/O 拡張アダプターの取り外し](#)」を参照)。
- ステップ 4. 変換コネクタ (interposer) ・ ケーブルが入った帯電防止パッケージを Lenovo Flex System シャーシの塗装されていない金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージから変換コネクタ (interposer) ・ ケーブルを取り出します。
- ステップ 5. 変換コネクタ (interposer) のコネクタからプラスチックのカバー (存在する場合) を取り外します。
- ステップ 6. 変換コネクタ (interposer) ・ ケーブルのコネクタの向きを、システム・ボード上の変換コネクタ (interposer) のコネクタおよび位置合わせピンに揃えます。次に、ケーブルを変換コネクタ (interposer) のコネクタに押し込みます。
- ステップ 7. 示された場所をしっかりと押して、変換コネクタ (interposer) ・ ケーブルを装着します。
- ステップ 8. 必要に応じて、I/O 拡張アダプターを取り付けます (815 ページの「[I/O 拡張アダプターの取り付け](#)」を参照)。

変換コネクタ (interposer) ケーブルを取り付けた後で、以下のステップを実行してください。

1. 取り付けを完了するには、変換コネクタ (interposer) ケーブルに接続するオプションのデバイスに付属の資料を参照してください。
2. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 773 ページの「[計算ノード・カバーの取り付け](#)」を参照)。

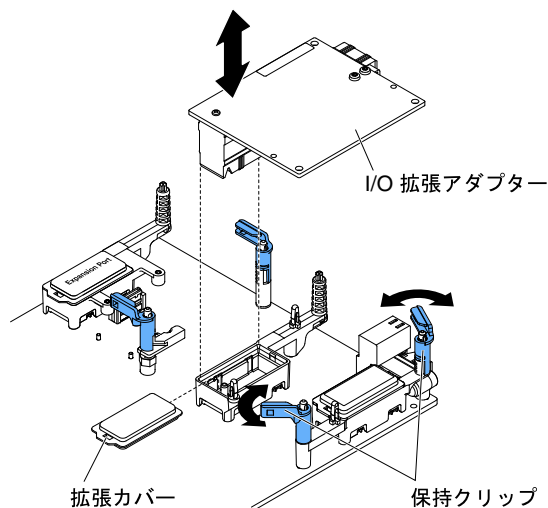
I/O 拡張アダプターの取り外し

I/O 拡張アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

I/O 拡張アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

I/O 拡張アダプターを取り外すには、以下のステップを実行してください。



ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. I/O 拡張アダプター・コネクタを見つけます (18 ページの「システム・ボードのレイアウト」を参照)。

ステップ 3. 保持クリップを開きます。

ステップ 4. I/O 拡張アダプターをコネクタから持ち上げ、計算ノードから取り外します。アダプターを前部から後部へ前後に動かすと、アダプターを外すのが容易になる場合があります。

重要：アダプターを左右に動かすと、I/O 拡張アダプター・コネクタが損傷する場合があります。

I/O 拡張アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

I/O 拡張アダプターの取り付け

I/O 拡張アダプターを取り付けるには、この情報を使用します。

I/O 拡張アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

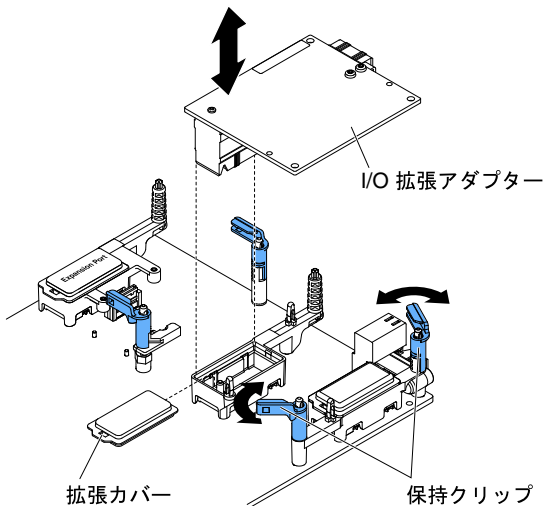
1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

このコンポーネントは、オプションのデバイスまたは CRU として取り付けることができます。オプションのデバイスと CRU の取り付け手順は同じです。

オプションの Flex System PCIe 拡張ノードは、計算ノードの能力を高めたり、カスタマイズしたりする上で費用効果の高い方法を提供するために、追加の PCIe アダプターおよび I/O 拡張アダプターをサポートし

ます。追加情報については、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.pme.doc/product_page.htmlを参照してください。

I/O 拡張アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. I/O 拡張コネクタを見つけます (18 ページの「システム・ボード・コネクタ」を参照)。
- ステップ 3. コネクタに拡張カバーが取り付けられている場合は、取り外します。
- ステップ 4. 拡張アダプターが入った帯電防止パッケージを Lenovo Flex System シャーシの塗装されていない金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージから拡張アダプターを取り出します。
- ステップ 5. 保持クリップを開きます。
- ステップ 6. 拡張アダプターのコネクタをシステム・ボード上の I/O 拡張コネクタおよび位置合わせピンと正しく位置を合わせます。次に、アダプターを I/O 拡張コネクタに押し込みます。
- ステップ 7. 示された場所をしっかりと押し、拡張アダプターをコネクタおよび位置合わせピンに装着します。
- ステップ 8. 保持クリップを閉じます。

I/O 拡張アダプターを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

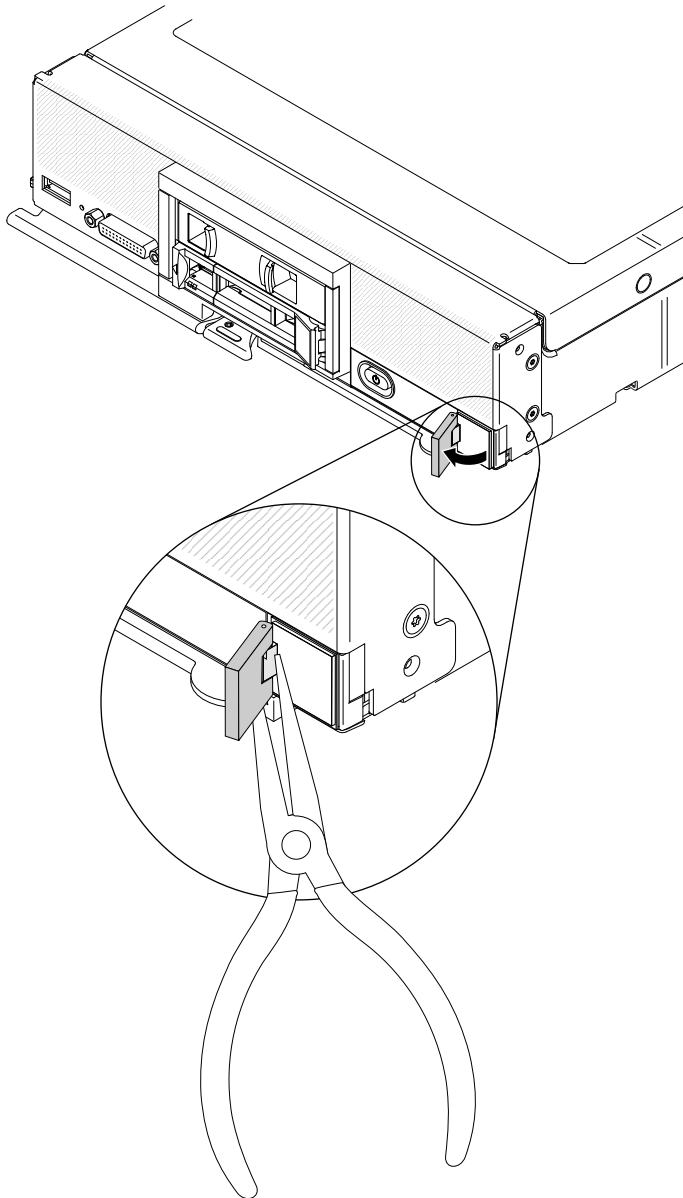
1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。
3. 取り付けを完了するには、デバイス・ドライバーおよび構成情報について拡張アダプターに付属の資料を参照してください。

RFID タグの取り外し

RFID タグを前面パネルから取り外すには、この情報を使用します。

RFID タグを取り外す前に、v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

RFID タグを取り外すには、次のステップを実行します。



ステップ1. RFID タグがまだヒンジに取り付けられている場合は、RFID タグを開けます。

重要： RFID タグを取り外すときは、ID ラベル・プレートを損傷しないように注意してください。

ステップ2. プライヤーで RFID ヒンジを慎重につかみ、RFID タグのベースを静かに引いてねじり、計算ノード前面パネル上の ID ラベル・プレートから外します。RFID タグを取り外す間、ID ラベル・プレートは計算ノード前面パネルの所定の位置に保持しておきます。

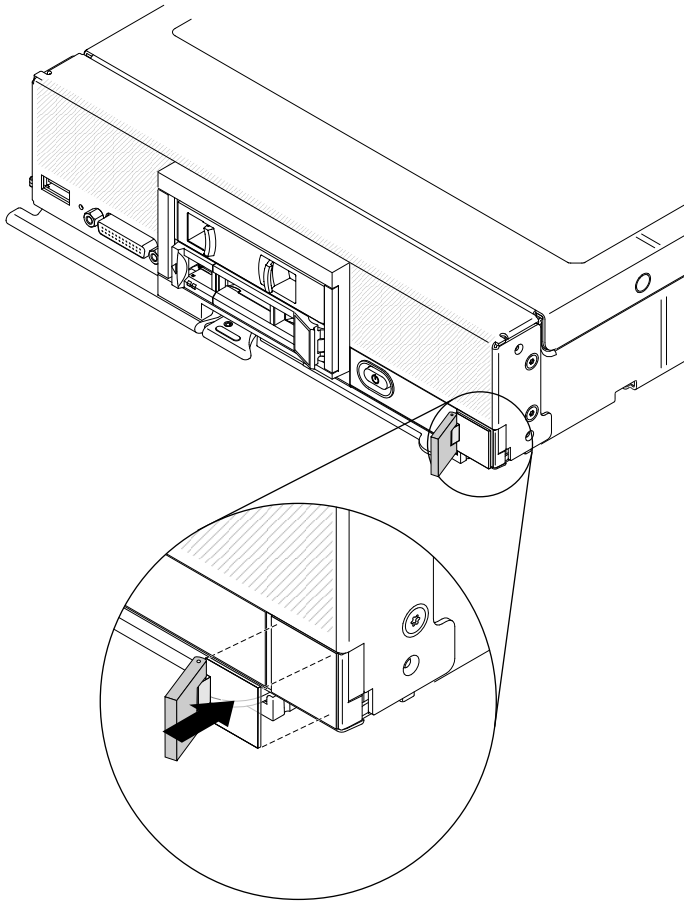
RFID タグの返却を求められた場合は、すべての梱包手順に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

RFID タグの取り付け

RFID タグを前面パネルに取り付けるには、この情報を使用します。

RFID タグを取り付ける前に、[v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

RFID タグを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



ステップ 1. タグを取り付ける面が十分に清潔で乾いていることを確認します。

ステップ 2. RFID タグを開きます。次に、RFID タグの底面から裏当てを取り外して、接着剤を露出させます。

ステップ 3. RFID タグを、計算ノード前面パネルの ID ラベルの上に位置付けます。

ステップ 4. RFID タグをベゼルに対してしっかり押しつけ、30 秒間しっかり固定します。

注：

- RFID タグを開閉する前に、そのまま 30 分放置します。
- 最大に近い接着力を得るためには、そのまま 24 時間放置します。

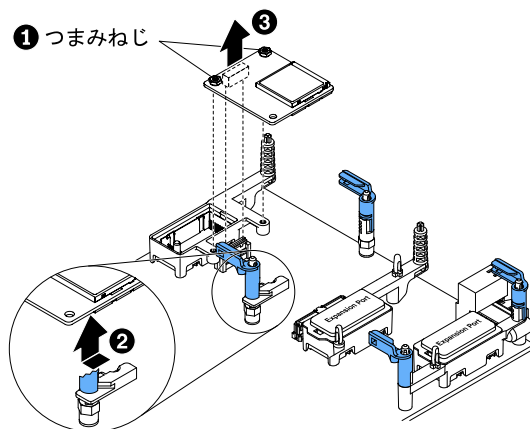
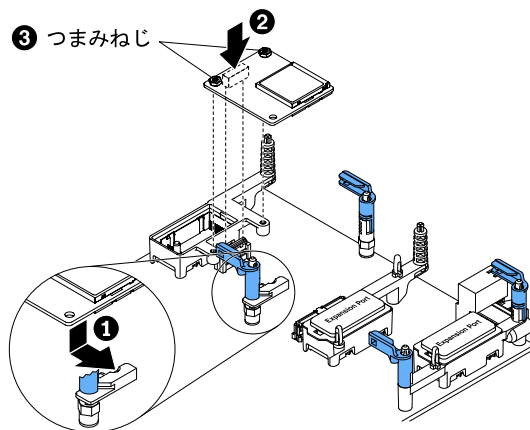
System x 用 SD メディア・アダプターの取り外し

オプションの System x 用 SD メディア・アダプター (SD メディア用アダプターまたは SD アダプター) を取り外すには、この情報を使用します。

SD メディア用アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. [v ページ](#)の「安全について」および [763 ページ](#)の「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページ](#)の「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
4. #1 のプラス・ドライバーを準備します。

SD メディア用アダプターを取り外すには、以下のステップを実行します。



- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. SD メディア用アダプターの上に I/O 拡張アダプターが取り付けられている場合は、取り外します (814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」を参照)。
- ステップ 3. SD メディア用アダプターの中に取り付けられている SD カードがあれば、それらのカードを取り外します (821 ページの「SD カードの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. #1 のプラス・ドライバーを使用して、SD メディア用アダプターを固定している 2 個の拘束ねじを緩めます。
- ステップ 5. 拘束ねじがある SD メディア用アダプターの端を上へ回転させます。次に、計算ノードからアダプターを取り外します。

SD メディア用アダプターの返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合は、それを使用してください。

System x 用 SD メディア・アダプターの取り付け

オプションの System x 用 SD メディア・アダプター (SD メディア用アダプターまたは SD アダプター) を取り付けるには、この情報を使用します。

SD メディア用アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

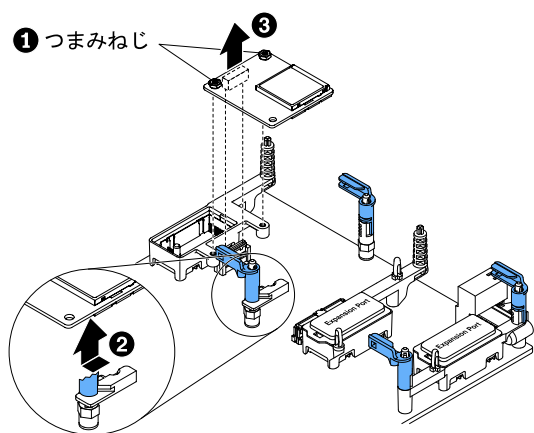
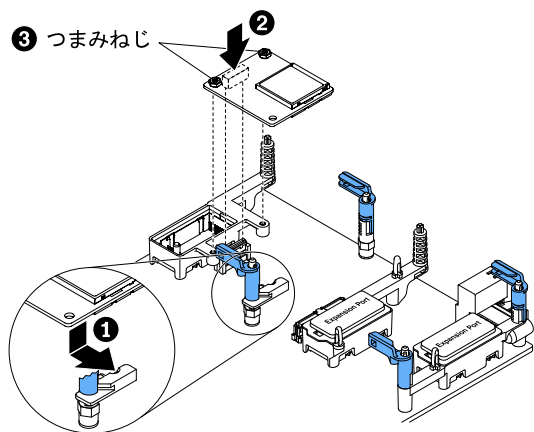
重要：プリロードされた VMware vSphere ESXi ソフトウェアに SD アダプター・オプションが付属している場合は、計算ノードに SD アダプターを取り付ける前に、システム UEFI の構成を変更する

必要があります。詳細および手順については、SD アダプターに付属している資料および [26 ページの「Setup Utility の使用」](#) を参照してください。

1. [v ページの「安全について」](#) および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#) を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
4. #1 のプラス・ドライバーを準備します。

このコンポーネントは、オプションのデバイスまたは CRU として取り付けることができます。オプションのデバイスと CRU の取り付け手順は同じです。

SD メディア用アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行します。



ステップ 1. カバーを取り外します ([772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」](#) を参照)。

ステップ 2. SD メディア用アダプターの場所の上に I/O 拡張アダプターまたは変換コネクタ・ケーブルが取り付けられている場合は、それらを取り外します ([814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」](#)、または [812 ページの「変換コネクタ \(interposer\) ケーブルの取り外し」](#) を参照)。

注：計算ノードに SD メディア用アダプターが取り付けられている場合は、変換コネクタ・ケーブルを取り付けることができません。

ステップ 3. システム・ボード上の SD メディア用アダプターのコネクタの位置を確認します ([18 ページの「システム・ボード・コネクタ」](#) を参照)。

ステップ 4. SD メディア用アダプターをアダプター保持アセンブリの切り欠きの中に取り付けます。次に、アダプターを回転させてシステム・ボード上のコネクタの中に収めます。コネクタ

と位置合わせするために、SD メディア用アダプターをアダプター保持アセンブリー上の切り欠きにしっかりと押し込むことが必要になる場合もあります。

ステップ 5. #1 のプラス・ドライバーを使用して 2 個の拘束ねじを締め、アダプターを固定します。

注意：SD メディア用アダプターが固定されていることを確認してください。ただし、アダプターの損傷を避けるために、ねじを締めすぎないようにしてください。

ステップ 6. SD カードがあれば、コネクターに取り付けます (822 ページの「SD カードの取り付け」を参照)。

ステップ 7. I/O 拡張アダプターを取り外してある場合は、それを取り付けます (815 ページの「I/O 拡張アダプターの取り付け」を参照)。

SD メディア用アダプターを取り付けた後に、以下のステップを実行します。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。
3. SD メディア用アダプターの構成方法については、オプションに付属の http://systemx.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.sysx.server.doc/SD_Media_Adapter.pdf を参照してください。

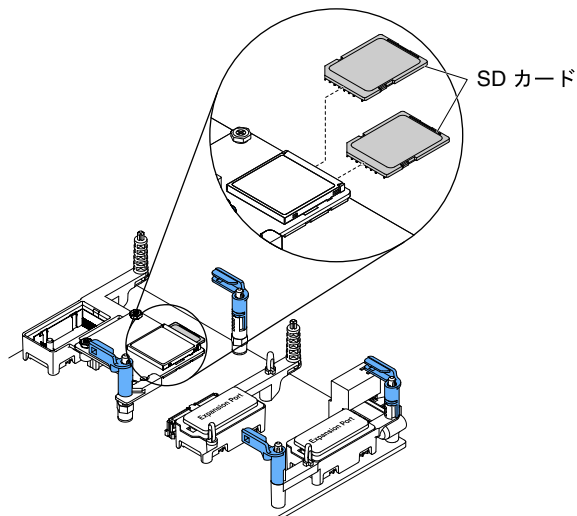
SD カードの取り外し

SD カードを取り外すには、この情報を使用します。

SD カードを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

SD カードを取り外すには、以下のステップを実行します。



ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. SD メディア用アダプターの上に I/O 拡張アダプターが取り付けられている場合は、取り外します (814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」を参照)。

ステップ 3. SD カードをコネクターにさらに押し込むようにして解放します。

ステップ 4. SD カードをコネクタから引き出します。ほとんどの SD カードには、つかみやすくするために、表側の後部の端に指の爪を引っ掛けるスロットがあります。

注：SD メディア用アダプターが計算ノードに取り付けられている状態で SD カードを取り外すことができない場合は、計算ノードから SD メディア用アダプターを取り外します (818 ページの「System x 用 SD メディア・アダプターの取り外し」を参照)。

SD カードの返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合は、それを使用してください。

SD カードの取り付け

SD カードを取り付けるには、この情報を使用します。

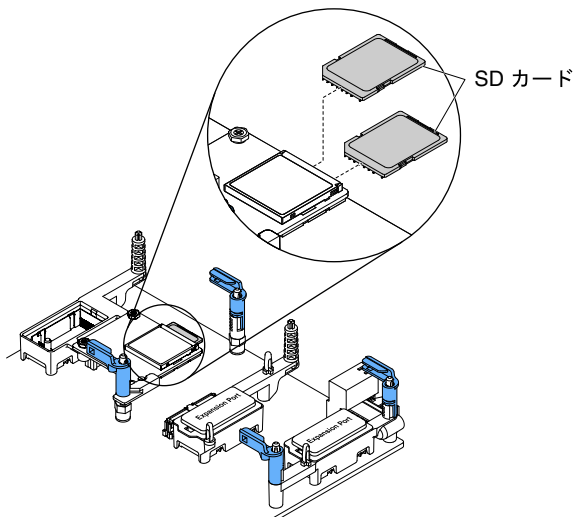
SD カードを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については、765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注：SD カードを取り付けるには、オプションの SD メディア用アダプター (SD メディア用 RAID アダプター) が必要です。

このコンポーネントは、オプションのデバイスまたは CRU として取り付けすることができます。オプションのデバイスと CRU の取り付け手順は同じです。

SD カードを取り付けるには、以下のステップを実行します。



ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. SD メディア用アダプター (SD メディア用 RAID アダプター) の上に I/O 拡張アダプターが取り付けられている場合は、取り外します (814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」を参照)。

ステップ 3. SD メディア用アダプター上の SD カード・コネクタの位置を確認します。

重要：SD カードは、正しい向きに取り付ける必要があります。SD カードをコネクタの中へ上下逆さまに、または後ろ向きに、無理に差し込むと、コネクタを損傷する場合があります。詳細については、SD カードに付属の資料を参照してください。

ステップ 4. SD カードを、矢印が SD コネクタの方を指すように保持します。次に、カチッと音がして所定の位置に収まるまで、慎重に SD カードをコネクタに押し込みます。

注：SD メディア用アダプターが計算ノードに取り付けられている状態で SD カードを取り付けることができない場合は、計算ノードから SD メディア用アダプターを取り外します (818 ページの「System x 用 SD メディア・アダプターの取り外し」を参照)。

SD カードを取り付けた後に、以下のステップを実行します。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

Tier 2 CRU (お客様による交換が可能な部品) の取り外しと交換

Tier 2 CRU の取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

Tier 2 と指定された CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象の計算ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付けを要求することもできます。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

注：以下の手順は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが実行できます。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 763 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

以下の注記では、マイクロプロセッサを取り外すときに考慮する必要がある情報について説明しています。

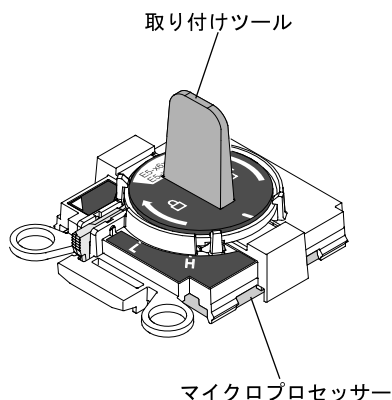
- 各マイクロプロセッサ・ソケットには常に、ヒートシンク・フィラーか、マイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。計算ノードにマイクロプロセッサを1つだけ取り付ける場合は、マイクロプロセッサ・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- マイクロプロセッサを取り外すとき、マイクロプロセッサ・ソケット・ダスト・カバーは、使用可能であっても取り付けないでください。
- マイクロプロセッサ取り付けツールは、何回か使用した後には摩耗している場合があります。既存のマイクロプロセッサ取り付けツールを再使用する場合は、そのツールがしっかりとマイクロプロセッサを保持できることを確認してください。返却する他の部品と一緒に、このツールを返却しないようにしてください。
- 2つ目のマイクロプロセッサを取り付ける場合、オプション・キットに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを使用して、マイクロプロセッサを取り付ける必要があります。マイクロプロセッサ取り付けツールは、ツールに取り付けられた交換用のマイクロプロセッサおよびマイクロプロセッサ上のカバーと一緒に発送されます。
- 障害のあるマイクロプロセッサを交換する場合、CRU キットには交換用のマイクロプロセッサとマイクロプロセッサ上のカバーが取り付けられた取り付けツールが1つと、カバーが付いていない空の取り付けツールが1つ入っています。

- 障害のあるマイクロプロセッサを交換する場合、交換手順で使用する以下のものを入手する必要があります (55 ページの第 5 章「タイプ 9532 および 2951 の部品リスト」を参照)。
 - アルコール・ワイブ
 - 熱伝導グリース

注意：

- マイクロプロセッサの取り外しと取り付けは、一度に 1 つのマイクロプロセッサだけにしてください。マイクロプロセッサを取り外したり取り付けたりするときは、もう一方のマイクロプロセッサ・ソケットをマイクロプロセッサ・ヒートシンク・フィラーで保護してください。
- マイクロプロセッサを取り外すまたは取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

注：必ず、ご使用のマイクロプロセッサに付属の取り付けツールを使用してください。取り付けツールには、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 2 つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する「L」と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する「H」です。ツールは、使用時に、ご使用のマイクロプロセッサに合わせた正しい設定に自動的に調整されます。



マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、以下のステップを実行してください。

- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. 取り外すマイクロプロセッサを見つめます (18 ページの「システム・ボード・コンネクター」を参照)。
- ステップ 3. ヒートシンクを取り外します。

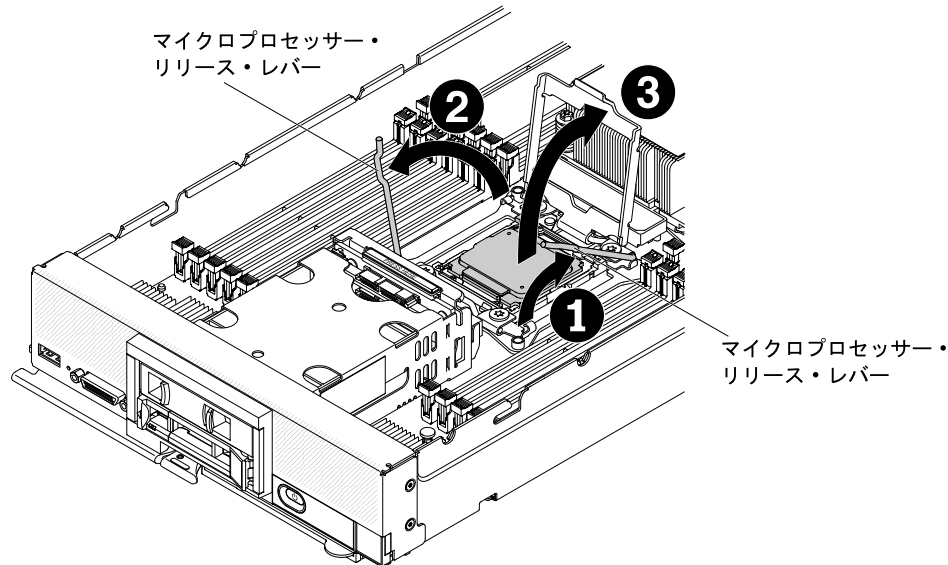
注意： ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。熱伝導材が汚染した場合は、835 ページの「熱伝導グリース」を参照してください。

重要： マイクロプロセッサ 1 とマイクロプロセッサ 2 のヒートシンクは、相互に交換可能ではありません。両方のヒートシンクを取り外す場合は、正しいマイクロプロセッサに再取り付けできるよう、ヒートシンクにラベルを付けてください。

- 5 mm (3/16 インチ) のナット・ドライバーを使用して、ヒートシンクの片側のねじを緩め、マイクロプロセッサとの密着状態を解除します。
- 5 mm (3/16 インチ) のナット・ドライバーを使用して、ヒートシンクのねじを緩めます。ねじが緩むまで、各ねじを完全に 2 回転させてください。
- ヒートシンクを慎重にマイクロプロセッサから引き離します。

注意：マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

ステップ4. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。



- どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを (マイクロプロセッサ保持アセンブリ上のラベルで) 識別し、そのリリース・レバーを開きます。
- マイクロプロセッサ・ソケットの2番目のリリース・レバーを開きます。
- マイクロプロセッサ保持器具を開きます。

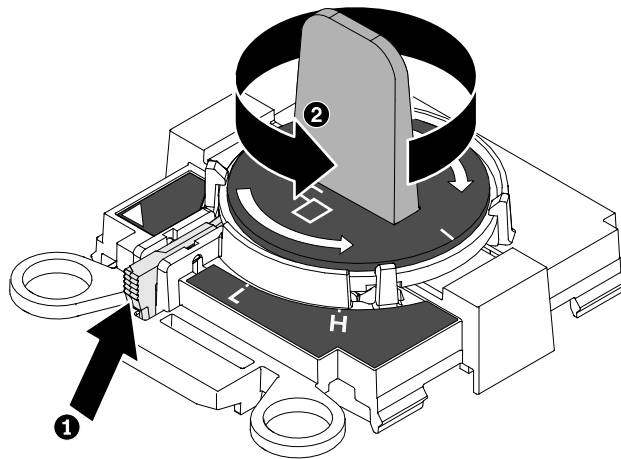
注意：

- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと接点を傷つけます。
- マイクロプロセッサ上のコネクタとマイクロプロセッサ・ソケットには手を触れないでください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

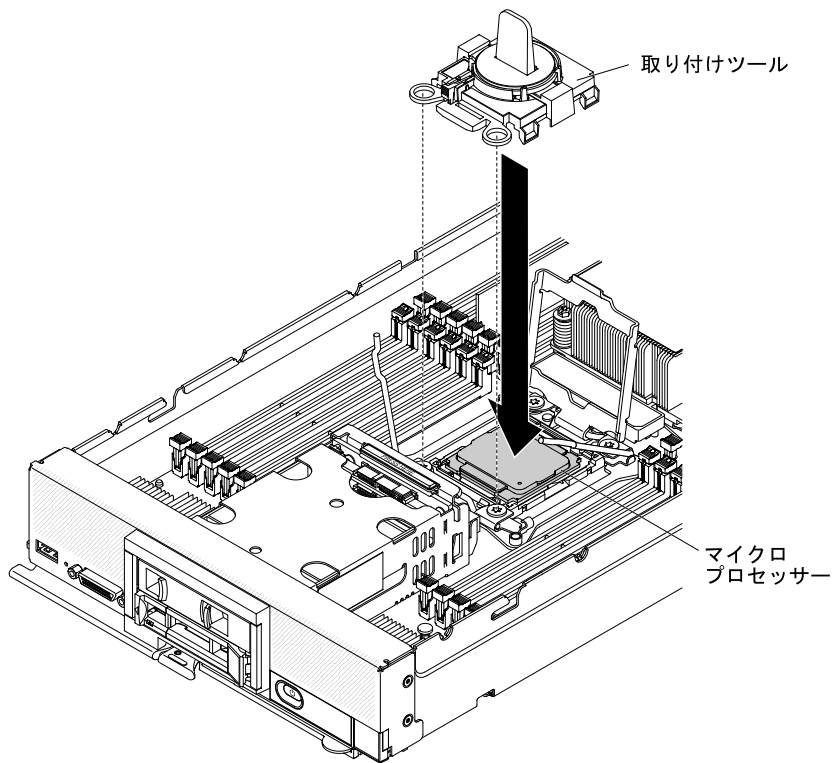
ステップ5. マイクロプロセッサ取り付けツールを使用して、マイクロプロセッサをソケットから取り外します。

- 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開いた位置にあることを確認します。

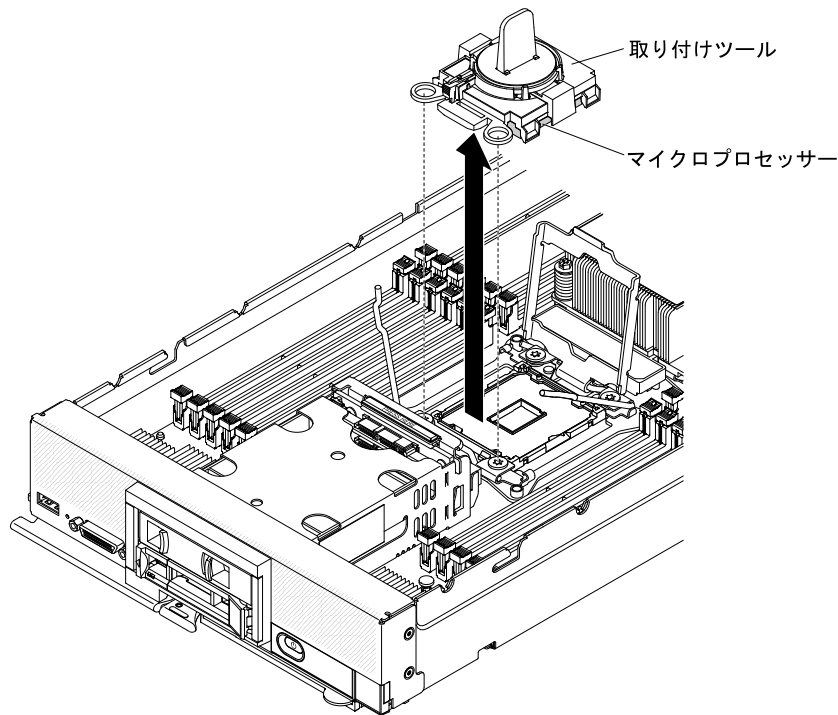
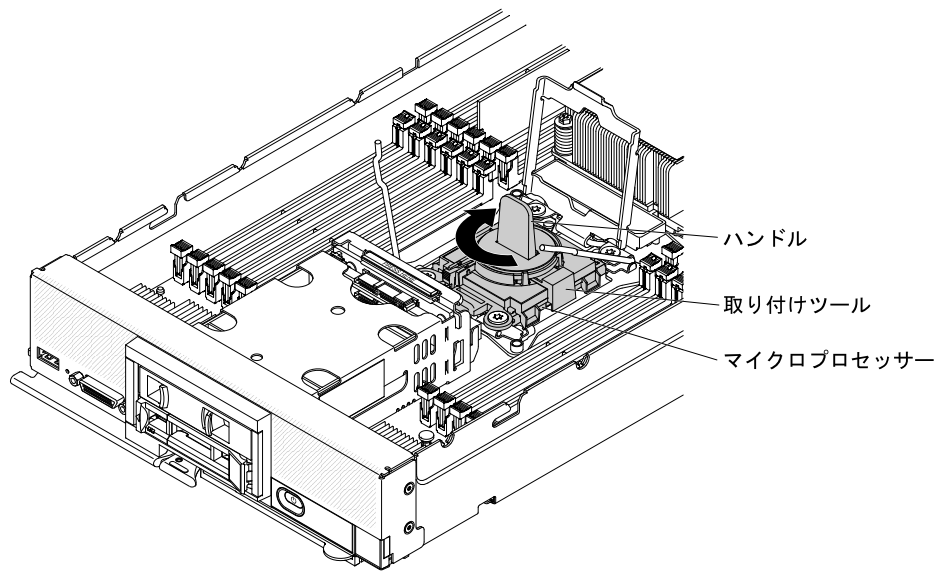
取り付けツール・ハンドルが開いた位置にない場合: 1) インターロック・ラッチを持ち上げたままにして、2) マイクロプロセッサ取り付けツール・ハンドルを左回りに回転させて開いた位置にしてから、インターロック・ラッチを放します。以下の取り付けツールの図は、マイクロプロセッサのロード前のインターロック・ラッチの位置とハンドルの左回りの回転を示しています。



- b. 取り付けツールをねじと位置合わせし、次の図に示すように、取り付けツールをマイクロプロセッサの上に下ろします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。



- c. 取り付けツール・ハンドルを慎重に右回りに回転させ、マイクロプロセッサのサイズに応じて「H」または「L」位置にロックさせます。その後、マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから抜きます。



ステップ 6. マイクロプロセッサをソケットに取り付けない場合は、マイクロプロセッサ・ソケットの保持器具およびリリース・レバーを閉じます (最初に閉じるレバーはマイクロプロセッサ保持アセンブリの上のラベルに示されています)。次に、ヒートシンク・フィラーをマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けます。

注意：ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、この情報を使用します。

注：以下の手順は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが実行できます。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. [v ページの「安全について」](#)および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します(手順については[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#)を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

以下の注記では、この計算ノードがサポートしているマイクロプロセッサのタイプ、およびマイクロプロセッサを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

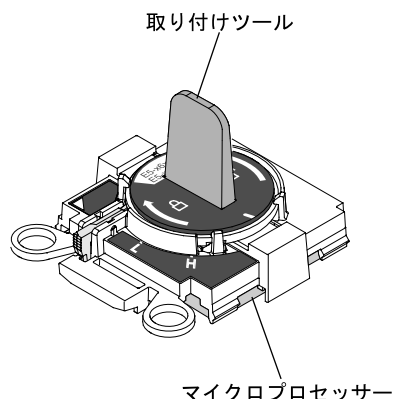
- このコンポーネントは、オプションのデバイスまたは CRU として取り付けることができます。オプションのデバイスと CRU の取り付け手順は同じです。
- Lenovo がサポートするオプションのマイクロプロセッサは、計算ノードの容量および機能によって制限されています。取り付けるマイクロプロセッサはすべて、計算ノードに搭載されたマイクロプロセッサと同じ仕様でなければなりません。
- 各マイクロプロセッサ・ソケットには常に、ヒートシンク・フィラーか、マイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。計算ノードにマイクロプロセッサを1つだけ取り付ける場合は、マイクロプロセッサ・ソケット1に取り付ける必要があります。
- 2つ目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、マイクロプロセッサが同一であることを確認してください。
- 新規のマイクロプロセッサを取り付ける前に、最新のレベルのUEFIコードをダウンロードしてインストールしてください([23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新」](#)を参照)。
- 2つ目のマイクロプロセッサを取り付ける場合、追加メモリーを取り付けるか、DIMMコネクタ間でメモリーを再配分する必要がある場合があります([788 ページの「DIMMの取り付け」](#)を参照)。
- マイクロプロセッサ2を取り付けると、DIMMコネクタ13から24まで、および拡張コネクタが有効になります([18 ページの「システム・ボード・コネクタ」](#)を参照)。マイクロプロセッサ2は、計算ノードに取り付けることができるPCIeハードディスク・ドライブなど、一部のオプション・デバイスにも必要です(追加情報と要件については、オプション・デバイスに付属の資料を参照)。
- マイクロプロセッサ取り付けツールは、何回か使用した後には摩耗している場合があります。既存のマイクロプロセッサ取り付けツールを再使用する場合は、そのツールがしっかりとマイクロプロセッサを保持できることを確認してください。返却する他の部品と一緒に、このツールを返却しないようにしてください。
- 2つ目のマイクロプロセッサを取り付ける場合、マイクロプロセッサ・オプション・キットに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを使用して、マイクロプロセッサを取り付ける必要があります。マイクロプロセッサ取り付けツールは、ツールに取り付けられた交換用のマイクロプロセッサおよびマイクロプロセッサ上のカバーと一緒に発送されます。
- 障害のあるマイクロプロセッサを交換する場合、CRUキットには交換用のマイクロプロセッサとマイクロプロセッサ上のカバーが取り付けられた取り付けツールが1つと、カバーが付いていない空の取り付けツールが1つ入っています。
- 障害のあるマイクロプロセッサを交換する場合、交換手順で使用する以下のものを入手する必要があります([55 ページの第5章「タイプ 9532 および 2951 の部品リスト」](#)を参照)。
 - アルコール・ワイプ
 - 熱伝導グリース

注意：

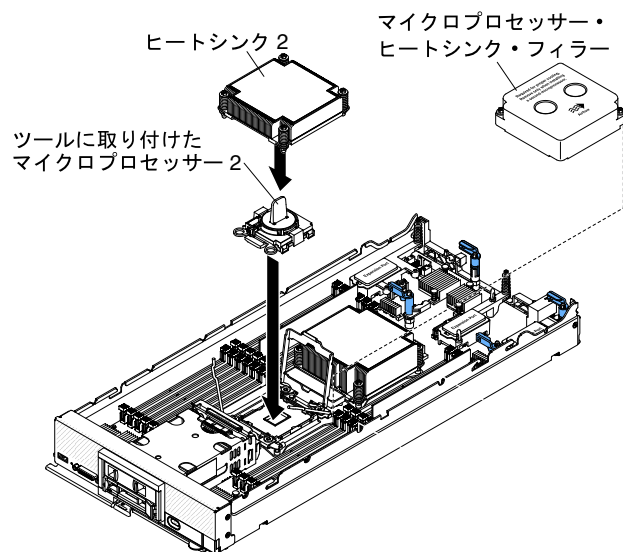
- マイクロプロセッサの取り外しと取り付けは、一度に1つのマイクロプロセッサだけにしてください。マイクロプロセッサを取り外したり取り付けたりするときは、もう一方のマイクロプロセッサ・ソケットをマイクロプロセッサ・ヒートシンク・フィラーで保護してください。

- マイクロプロセッサを取り外すまたは取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- マイクロプロセッサのタイプが異なると、異なるタイプのヒートシンクが必要になる場合があります。十分な冷却を維持するためには、必ず、ご使用のマイクロプロセッサ用に指定されたタイプのヒートシンクを取り付けてください。

注：必ず、ご使用のマイクロプロセッサに付属の取り付けツールを使用してください。取り付けツールには、2つの異なるサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための2つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する「L」と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する「H」です。ツールは、使用時に、ご使用のマイクロプロセッサに合わせた正しい設定に自動的に調整されます。



マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

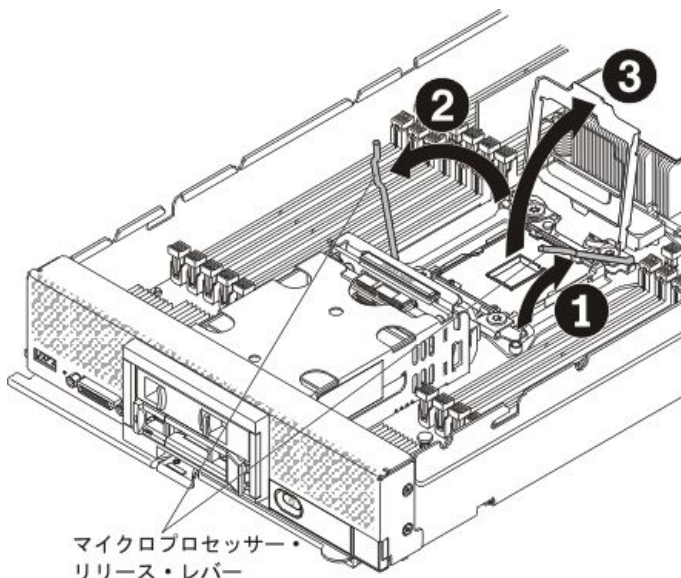


- ステップ 1. カバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. 新しいマイクロプロセッサと新しいヒートシンクの取り付けを行わない場合は、ヒートシンクとマイクロプロセッサから熱伝導グリースを除去し、取り付けの前に新しい熱伝導グリースを塗布します (835 ページの「熱伝導グリース」を参照)。
- ステップ 3. ヒートシンク・フィラーが取り付けられている場合は、取り外します。

注意：

- マイクロプロセッサ・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサ・ソケット上のコネクタには手を触れないでください。マイクロプロセッサの接点が皮膚からの油脂などによって汚れると、マイクロプロセッサの接点とソケット間の接触不良の原因になる場合があります。

ステップ4. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。



- どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを(マイクロプロセッサ保持アセンブリ上のラベルで)識別し、そのリリース・レバーを開きます。
- マイクロプロセッサ・ソケットの2番目のリリース・レバーを開きます。
- マイクロプロセッサ保持器具を開きます。

ステップ5. マイクロプロセッサ・ソケットにマイクロプロセッサを取り付けます。

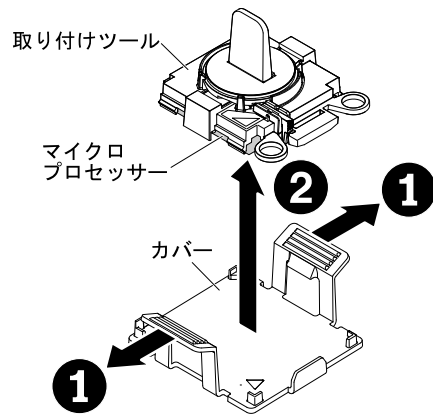
- マイクロプロセッサが付いた新しいマイクロプロセッサ・ツール・アセンブリが入っている帯電防止パッケージを、計算ノードの塗装されていない金属面またはその他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。

注意: 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと接点を傷つけます。

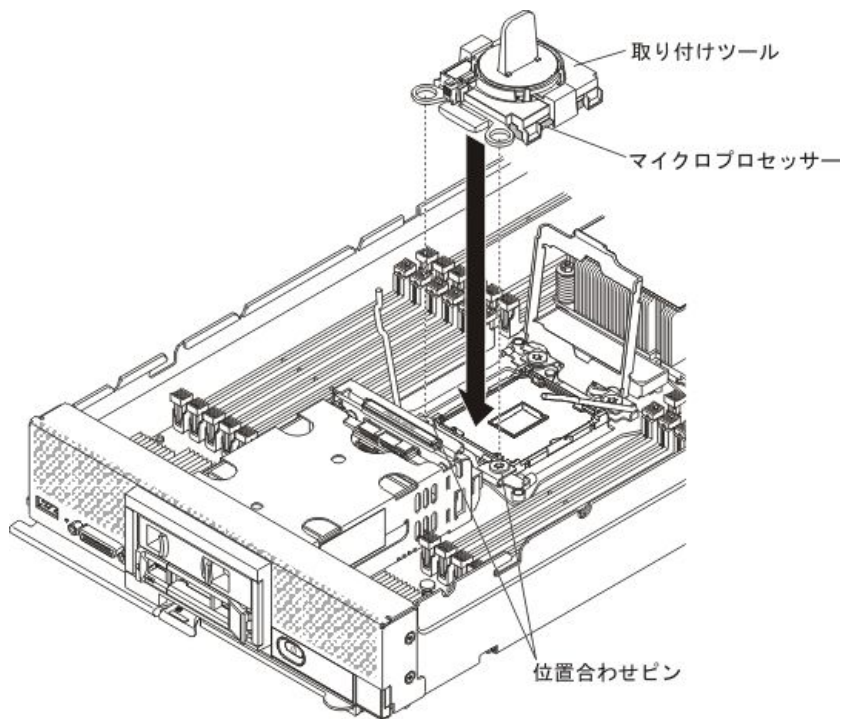
- 新しいマイクロプロセッサ取り付けツール・アセンブリが入っているパッケージを開き、マイクロプロセッサが付いた取り付けツール・アセンブリをパッケージから慎重に取り出します。

注意: マイクロプロセッサ上のコネクタとマイクロプロセッサ・ソケットには手を触れないでください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサの接点が皮膚からの油脂などによって汚れると、マイクロプロセッサの接点とソケット間の接触不良の原因になる場合があります。

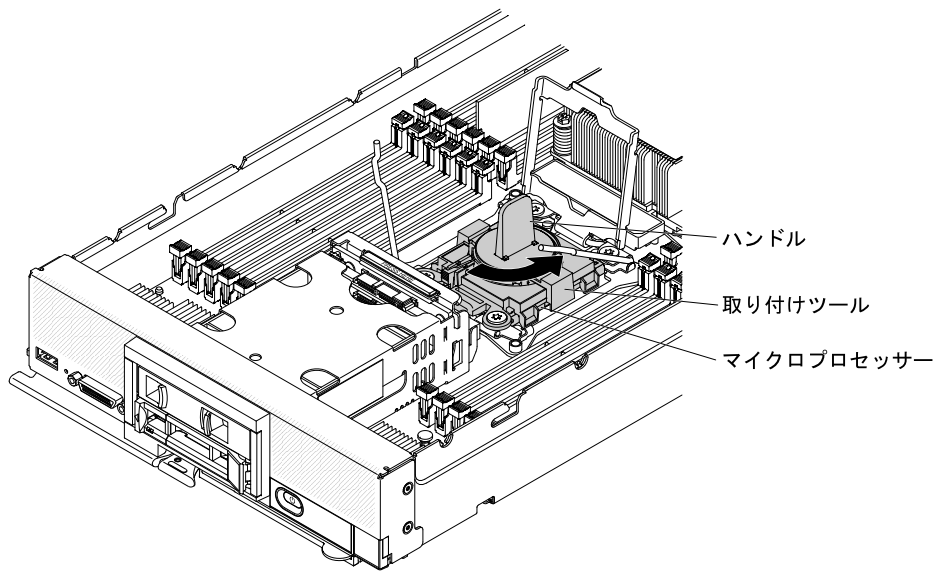
- カバーのサイドを解放し、取り付けツールからカバーを取り外します。マイクロプロセッサは、取り付けツールに事前に取り付けられています。



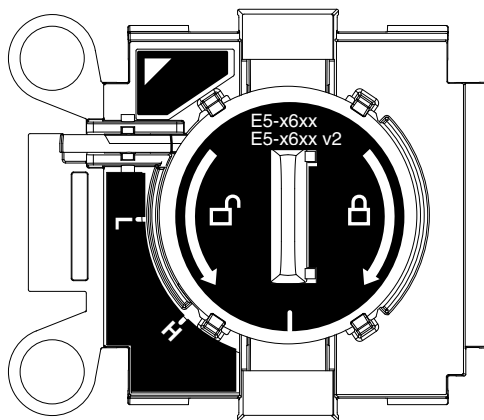
- d. 取り付けツールをマイクロプロセッサ・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。



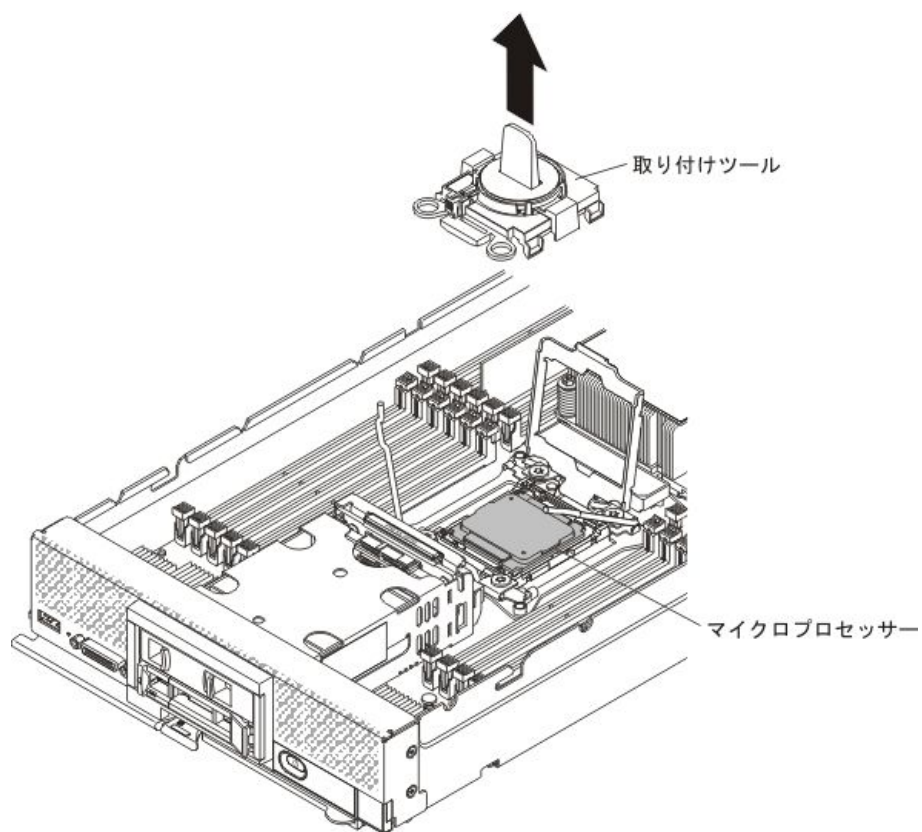
- e. 取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ち上げてソケットから抜きます。



次の図は、取り付けツール・ハンドルが開いた位置にあり、ツールの取り外しの準備ができた状態を示しています。

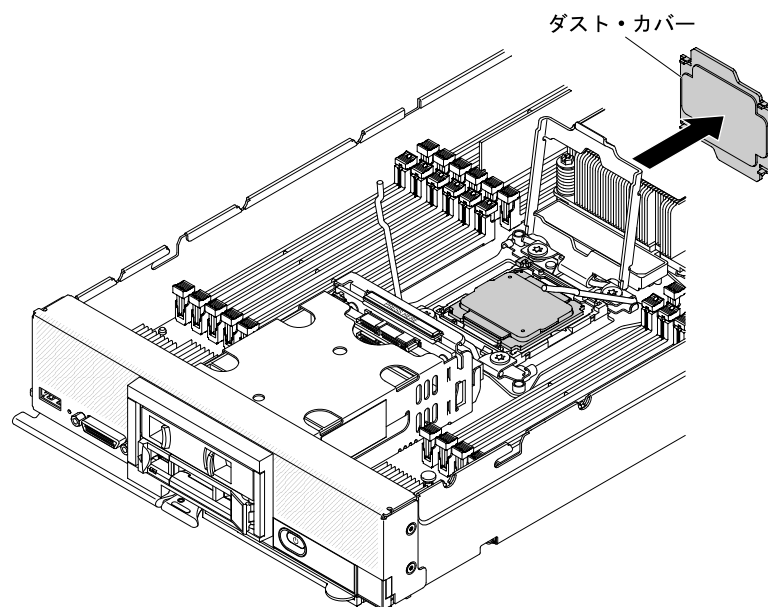


次の図は、取り付けツール・ハンドルの取り外しを示しています。



注意：

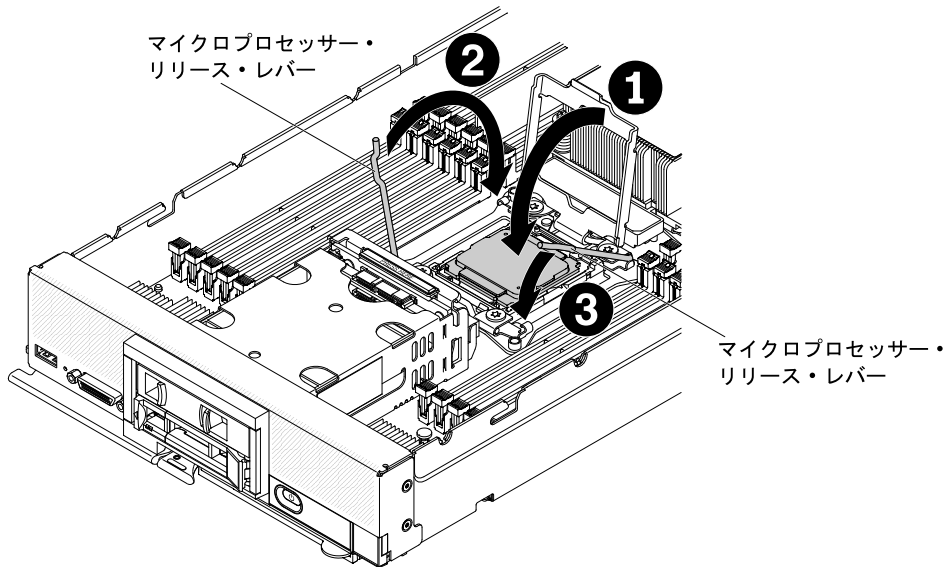
- マイクロプロセッサをソケットに押し込まないでください。
 - ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサの上部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。熱伝導材が汚染した場合は、[835 ページの「熱伝導グリース」](#)を参照してください。
- f. マイクロプロセッサ・ソケットの表面にマイクロプロセッサ保護ダスト・カバー、テープ、またはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。



注意：

- マイクロプロセッサ保持器具を閉じる前に、ソケット内のマイクロプロセッサの位置が正しいことを確認してください。
- マイクロプロセッサ保持器具を閉じる前に、ダスト・カバーが取り外されていることを確認してください。

ステップ6. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。



- a. マイクロプロセッサ・ソケット上のマイクロプロセッサ保持器具を閉じます。
- b. どのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベル付けされているかを(マイクロプロセッサ保持アセンブリ上のラベルで)識別し、そのリリース・レバーを閉じます。
- c. マイクロプロセッサ・ソケットの2番目のリリース・レバーを閉じます。

注意：

- 新しいヒートシンクを取り付ける場合、プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。熱伝導材が汚染した場合は、[835 ページの「熱伝導グリース」](#)を参照してください。

重要：マイクロプロセッサ1とマイクロプロセッサ2のヒートシンクは、相互に交換可能ではありません。必ず、各ヒートシンクを正しいマイクロプロセッサに取り付けてください。短い方のヒートシンクをマイクロプロセッサ2に取り付け、背の高い方のヒートシンクをマイクロプロセッサ1に取り付けます。

ステップ7. 新しいヒートシンクを取り付ける場合は、ヒートシンクの下部からプラスチックの保護カバーを取り外します。以前に計算ノードから取り外したヒートシンクを再取り付けする場合は、ヒートシンクの下部およびマイクロプロセッサの上部に熱伝導材が残っていることを確認します。

- a. マイクロプロセッサの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、light path 診断パネルのタブと正しく位置合わせできるように、切り欠きがあります。
- b. 熱伝導材側を下にして、保持ブラケット内のマイクロプロセッサ上にヒートシンクを位置合わせして置きます。
- c. ヒートシンクをしっかり押します。

- d. ヒートシンク上のねじを、ヒートシンクの保持モジュールの穴の位置に合わせます。
- e. 5 mm (3/16 インチ) のナット・ドライバを使用して、ヒートシンク・ラベルに示されている最初の拘束ねじを完全に2回転させて締めます。次に、ヒートシンクの反対側のコーナーを指で押し下げ、そのコーナーの拘束ねじを完全に2回転させて締めます。
- f. 5 mm (3/16 インチ) のナット・ドライバでそれぞれの拘束ねじをしっかり押しながら、ヒートシンク・ラベルに示されているとおりに、きつくなるまで交互にねじを締めます。可能であれば、それぞれのねじを1回につき完全に2回転させてください。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。トルク・レンチを使用している場合は、0.9 ニュートン・メートル (Nm) から 1.13 Nm (8 インチ・ポンド (in-lb) から 10 in-lb) でねじを締めてください。詳しくは、ヒートシンク上のラベルを参照してください。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. カバーを取り付けます (773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードを Lenovo Flex System シャーシに取り付けます (手順については、765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

熱伝導グリース

ヒートシンクおよびマイクロプロセッサで熱伝導グリースを使用するためのガイドラインを判別するには、この情報を使用します。

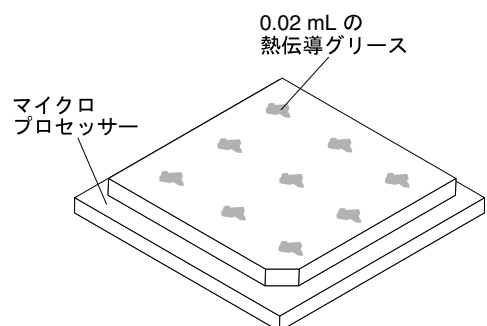
ヒートシンクをマイクロプロセッサ上部から取り外して再利用する場合、またはグリースにごみが付いている場合は、必ず熱伝導グリースを交換してください。

マイクロプロセッサとヒートシンクの黒ずんだり汚れている熱伝導グリースを交換するには、次のステップを実行してください。

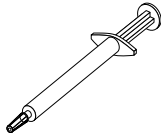
- ステップ 1. ヒートシンク・アセンブリーを清潔な作業面に置きます。
- ステップ 2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
- ステップ 3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注：すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

- ステップ 4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。



- ステップ 5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部にそれぞれ 0.02 mL の 9 個のドットを均一な間隔で配置します。



注：注射器の1目盛りが0.01mLです。グリースが適切に塗布されると、注射器には約半分(0.22 mL)のグリースが残ります。

ステップ6. [827 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」](#)のマイクロプロセッサ取り付け手順に従って続行します。

システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換

システム・ボード・アセンブリーの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

注：

- 以下の手順は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが実行できます。
- 可能であれば、計算ノードに取り付けられているオプションの設定を含む、すべての計算ノード設定をバックアップします。Advanced Setup Utility (ASU) を使用すると、システム設定のバックアップと復元を行うことができます(詳細と手順については、<https://support.lenovo.com/solutions/lnvo-asu> を参照)。

システム・ボード・アセンブリーを交換する前に、以下のステップを実行します。

1. [v ページの「安全について」](#)および [763 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
2. シャーシに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については、[765 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」](#)を参照)。
3. 交換用のシステム・ボード・アセンブリー(システム・ボード FRU)と障害のあるシステム・ボード・アセンブリー(障害のあるノード)を、帯電防止されている平らな場所に慎重に横並びに置きます。
4. 交換手順で使用する以下のものを入手します([55 ページの第5章「タイプ 9532 および 2951 の部品リスト」](#)を参照)。
 - アルコール・ワイブ
 - 熱伝導グリース

重要：システム・ボード・アセンブリーを交換する場合は、計算ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアする必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳細については、[23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新」](#)を参照してください。

システム・ボード上のコネクタ、スイッチ、および LED の位置の詳細については、[18 ページの「システム・ボードのレイアウト」](#)を参照してください。

システム・ボード・アセンブリーの取り外し、および交換を行うには、以下のステップを実行します。

重要：障害のあるシステム・ボード・アセンブリーを交換するときは、損傷を避けるために、障害のあるシステム・ボード・アセンブリーと交換用のシステム・ボード・アセンブリーとの間で内部コンポーネントを一度に1つずつ移動してください。特に断りがない限り、障害のあるシステム・ボード・アセンブリーからそれぞれの内部コンポーネントを取り外したら、直ちにそのコンポーネントを交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます。

ステップ1. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーから、ストレージ・ドライブ、オプションのドライブ・コンポーネント、およびハードディスク・ドライブ・ベイ・フィルターを取り外し、帯電防止されている平らな場所に置きます([799 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」](#)、[804 ページの「1.8 型ソリッド・ステート・ドラ](#)

イブの取り外し」、または 801 ページの「ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り外し」を参照)。

- ステップ 2. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーからストレージ・ドライブ・ベゼルを取り外し、直ちに交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます (781 ページの「ベゼルの取り外し」、および 781 ページの「ベゼルの取り付け」を参照)。
- ステップ 3. 両方の計算ノードからカバーを取り外します (772 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。交換用のシステム・ボード・アセンブリーに付属するカバーは、参考のために取っておき、障害のあるシステム・ボード・アセンブリーを返却する前に、障害のあるシステム・ボード・アセンブリーに再度取り付けてください。
- ステップ 4. ServeRAID コントローラーが障害のあるシステム・ボード・アセンブリーに取り付けられている場合は、取り外して帯電防止性のある面に置いておきます (808 ページの「ServeRAID M5215 コントローラーの取り外し」を参照)。

重要: ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを使用するハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付ける場合は、マウント・スリーブを取り外した後にバックプレーンを取り外し、バックプレーンを取り付けた後にマウント・スリーブを取り付けます。

- ステップ 5. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーからハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外し、直ちに交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます (797 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し」、および 798 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け」を参照)。

注:

- ストレージ・ドライブおよびソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブを、取り外したのと同じベイ位置に取り付けます。
- ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブは、その内部にあるソリッド・ステート・ドライブを取り外さずに移動することができます。

- ステップ 6. 事前に取り外したストレージ・ドライブ、オプションのドライブ・コンポーネント、およびハードディスク・ドライブ・ベイ・フィルターがあれば、それらを交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます (800 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」、803 ページの「ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り付け」、または 806 ページの「1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの取り付け」を参照)。

- ステップ 7. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーから DIMM エアー・バッフルを取り外し、脇に置いておきます。

注意:

- マイクロプロセッサの取り外しと取り付けは、一度に 1 つのマイクロプロセッサだけにしてください。
- マイクロプロセッサを取り外したり取り付けたるときは、もう一方のマイクロプロセッサ・ソケットをマイクロプロセッサ・ヒートシンク・フィルターで保護してください。
- 交換用のシステム・ボード・アセンブリーにマイクロプロセッサを移動するときは、交換用のシステム・ボード・アセンブリーにマイクロプロセッサを取り付けたら、直ちに、障害のあるシステム・ボード・アセンブリーにマイクロプロセッサ・ヒートシンク・フィルターを取り付けてください。

- ステップ 8. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーから、マイクロプロセッサ 1 (後部マイクロプロセッサ) およびそのヒートシンクを交換用のシステム・ボード・アセンブリーに移動します。交換用のシステム・ボード・アセンブリーに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを使用して、障害のあるシステム・ボード・アセンブリーからマイクロプロセッサを取り外し、直ちに交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます。

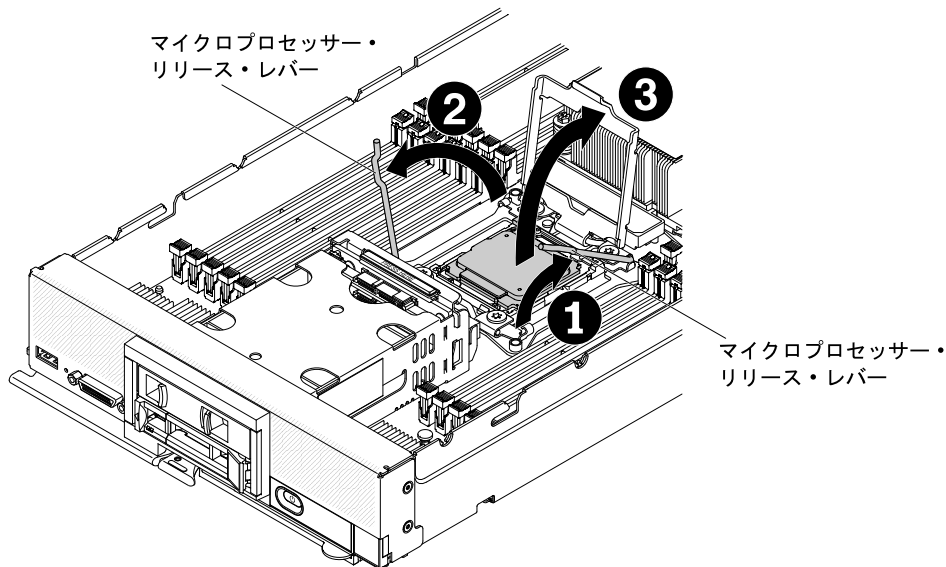
- a. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーのマイクロプロセッサからヒートシンクを取り外し、熱伝導材側を上にして、帯電防止されている平らな場所に置きます。

注意：ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。熱伝導材が汚染した場合は、[835 ページの「熱伝導リリース」](#)を参照してください。

重要：マイクロプロセッサ 1 とマイクロプロセッサ 2 のヒートシンクは、相互に交換可能ではありません。両方のヒートシンクを取り外す場合は、正しいマイクロプロセッサに再取り付けできるように、ヒートシンクにラベルを付けてください。

1. 5 mm (3/16 インチ) のナット・ドライバーを使用して、ヒートシンクの片側のねじを緩め、マイクロプロセッサとの密着状態を解除します。
 2. 5 mm (3/16 インチ) のナット・ドライバーを使用して、ヒートシンクのねじを緩めます。ねじが緩むまで、各ねじを完全に 2 回転させてください。
 3. ヒートシンクを慎重にマイクロプロセッサから引き離します。
- b. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーで、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

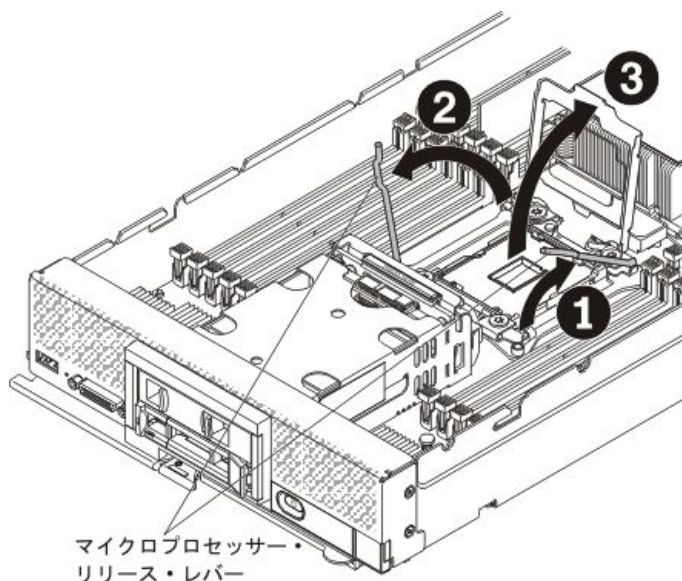
注意：マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。



1. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを (マイクロプロセッサ保持アセンブリー上のラベルで) 識別し、そのリリース・レバーを開きます。
 2. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
 3. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。
- c. 交換用のシステム・ボード・アセンブリーで、ヒートシンク・フィラーを取り外し、脇に置いておきます。

注意：マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

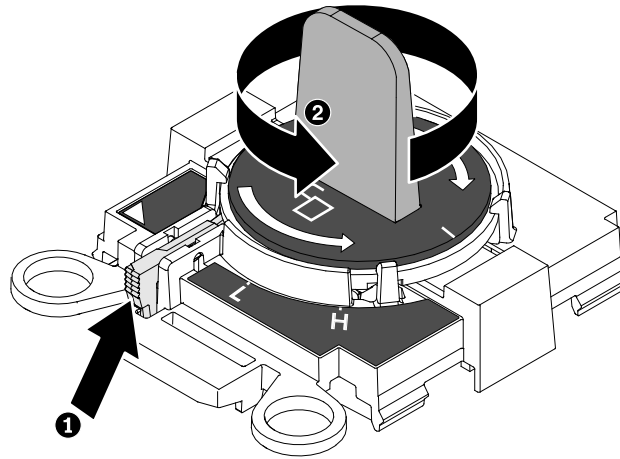
- d. 交換用のシステム・ボード・アセンブリーで、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。



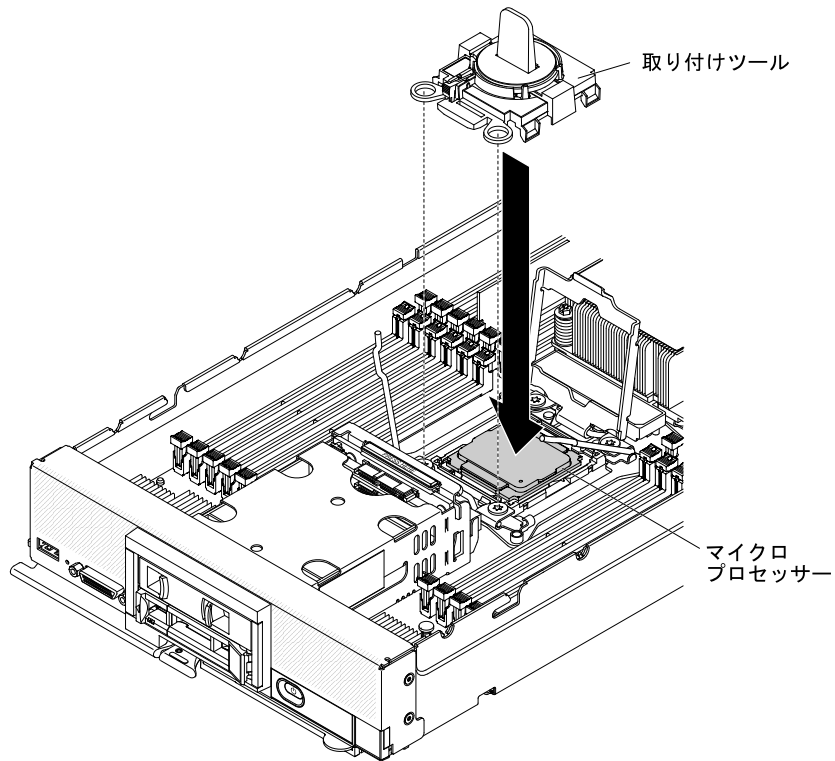
1. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを (マイクロプロセッサ保持アセンブリー上のラベルで) 識別し、そのリリース・レバーを開きます。
 2. マイクロプロセッサ・ソケットの2番目のリリース・レバーを開きます。
 3. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。
- e. マイクロプロセッサ取り付けツールを使用して、障害のあるシステム・ボード・アセンブリーのソケットからマイクロプロセッサを取り外します。

注意：

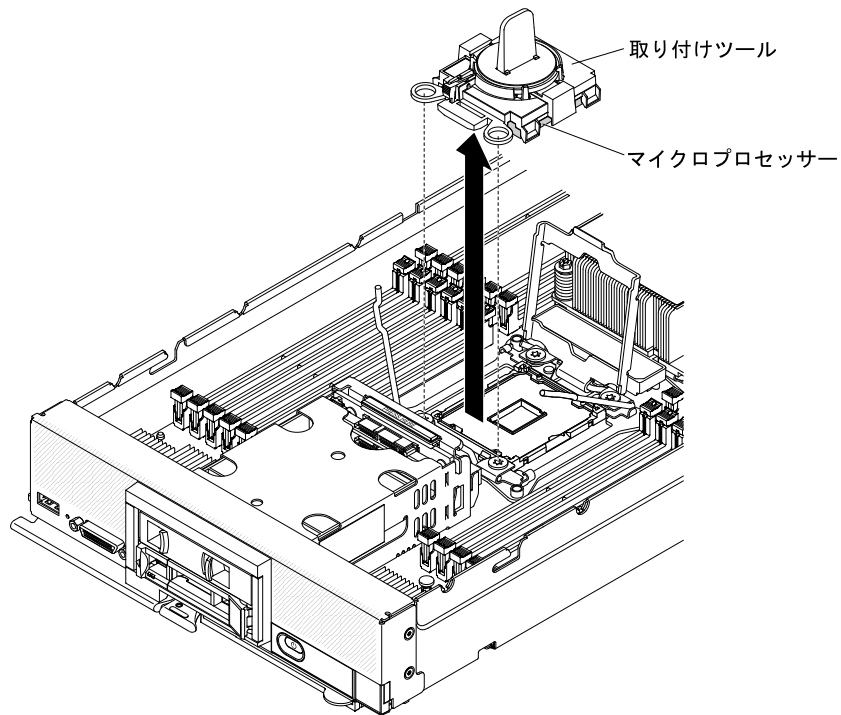
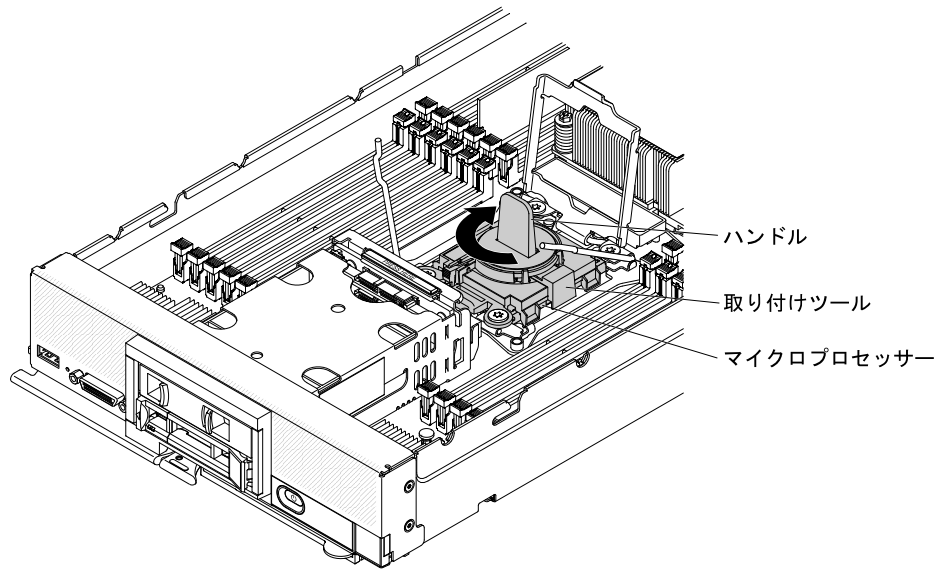
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと接点を傷つけます。
 - マイクロプロセッサ上のコネクタとマイクロプロセッサ・ソケットには手を触れないでください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
1. 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開いた位置にあることを確認します。取り付けツール・ハンドルが開いた位置にない場合: 1) インターロック・ラッチを持ち上げたままにして、2) マイクロプロセッサ取り付けツール・ハンドルを左回りに回転させて開いた位置にしてから、インターロック・ラッチを放します。以下の取り付けツールの図は、マイクロプロセッサのロード前のインターロック・ラッチの位置とハンドルの左回りの回転を示しています。



2. 取り付けツールをねじと位置合わせし、次の図に示すように、取り付けツールをマイクロプロセッサの上を下ろします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。



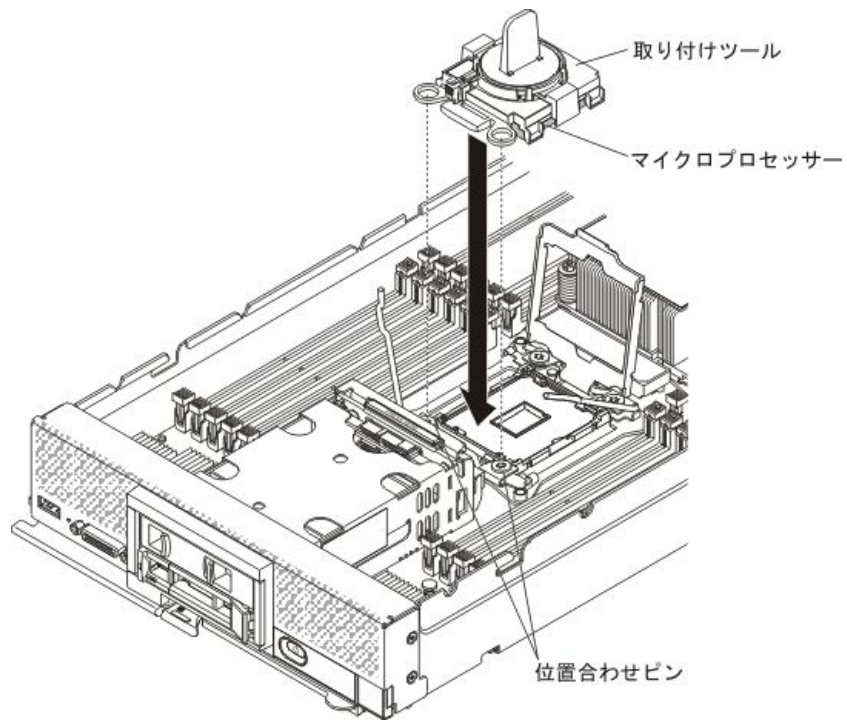
3. 取り付けツールのハンドルを慎重に右回りに、マイクロプロセッサのサイズに応じて「H」または「L」位置でロックするまで回転させてから、マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから抜きます。



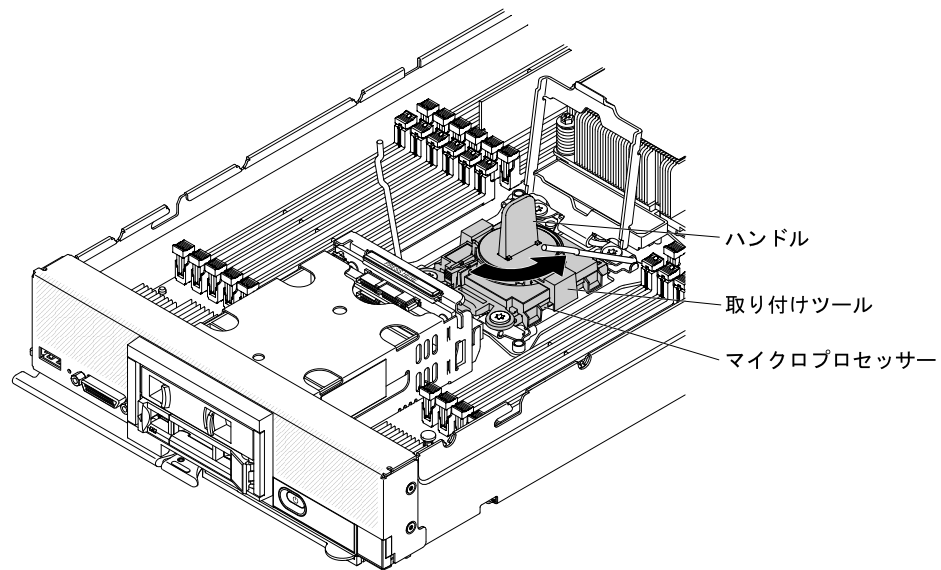
- f. 交換用のシステム・ボード・アセンブリのマイクロプロセッサ・ソケットにマイクロプロセッサを取り付けます。

注意： マイクロプロセッサをソケットに押し込まないでください。

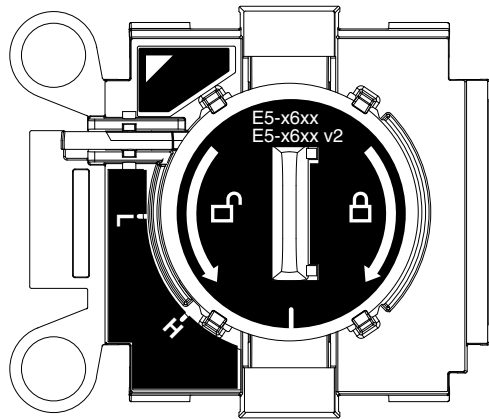
1. 取り付けツールを交換用のシステム・ボード・アセンブリのマイクロプロセッサ・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。



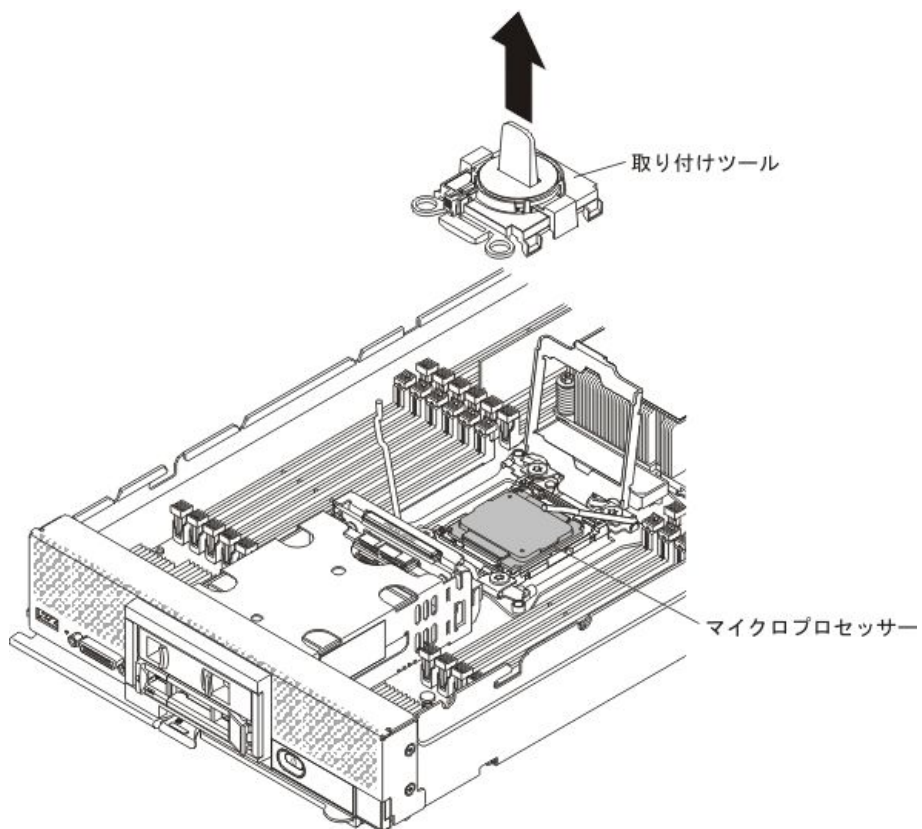
2. 取り付けツール・アセンブリのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ち上げてソケットから抜きます。



次の図は、取り付けツール・ハンドルが開いた位置にあり、ツールの取り外しの準備ができた状態を示しています。

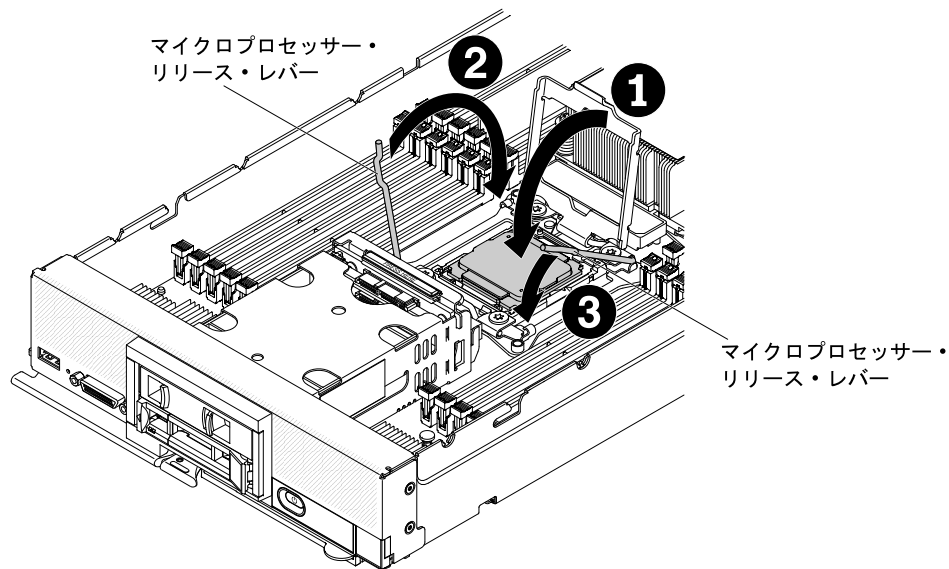


次の図は、取り付けツール・ハンドルの取り外しを示しています。

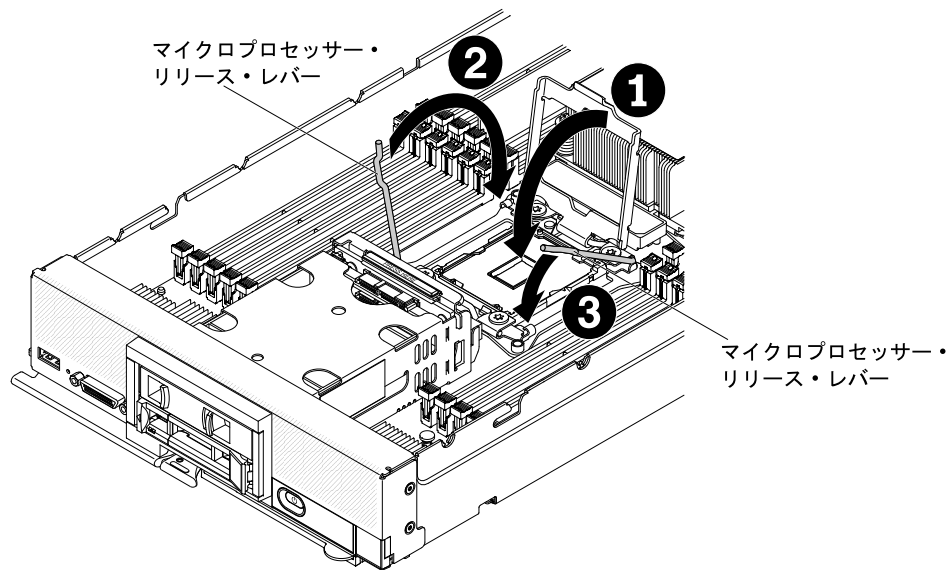


- g. 交換用のシステム・ボード・アセンブリーで、マイクロプロセッサ・ソケットの保持器具およびリリース・レバーを閉じます。

注意： マイクロプロセッサ保持器具を閉じる前に、ソケット内のマイクロプロセッサの位置が正しいことを確認してください。



1. マイクロプロセッサ・ソケット上のマイクロプロセッサ保持器具を閉じます。
 2. どのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベル付けされているかを (マイクロプロセッサ保持アセンブリ上のラベルで) 識別し、そのリリース・レバーを閉じます。
 3. マイクロプロセッサ・ソケットの2番目のリリース・レバーを閉じます。
- h. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリで、マイクロプロセッサ・ソケットの保持器具およびリリース・レバーを閉じます。



1. マイクロプロセッサ・ソケット上のマイクロプロセッサ保持器具を閉じます。
 2. どのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベル付けされているかを (マイクロプロセッサ保持アセンブリ上のラベルで) 識別し、そのリリース・レバーを閉じます。
 3. マイクロプロセッサ・ソケットの2番目のリリース・レバーを閉じます。
- i. 交換用のシステム・ボード・アセンブリから取り外したヒートシンク・フィルターを、障害のあるシステム・ボード・アセンブリに取り付けます。

- j. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーから取り外したヒートシンクを、交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます。

注意：ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。熱伝導材が汚染した場合は、[835 ページの「熱伝導グリース」](#)を参照してください。

重要：マイクロプロセッサ 1 とマイクロプロセッサ 2 のヒートシンクは、相互に交換可能ではありません。必ず、各ヒートシンクを正しいマイクロプロセッサに取り付けてください。短い方のヒートシンクをマイクロプロセッサ 2 に取り付け、背の高い方のヒートシンクをマイクロプロセッサ 1 に取り付けます。

1. ヒートシンクの底部およびマイクロプロセッサの上部に、まだ熱伝導材が残っていることを確認します。
2. マイクロプロセッサの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、light path 診断パネルのタブと正しく位置合わせできるように、切り欠きがあります。
3. 熱伝導材側を下にして、保持ブラケット内のマイクロプロセッサ上にヒートシンクを位置合わせして置きます。
4. ヒートシンクをしっかりと押します。
5. ヒートシンク上のねじを、ヒートシンクの保持モジュールの穴の位置に合わせます。
6. 5 mm (3/16 インチ) のナット・ドライバを使用して、ヒートシンク・ラベルに示されている最初の拘束ねじを完全に 2 回転させて締めます。次に、ヒートシンクの反対側のコーナーを指で押し下げ、そのコーナーの拘束ねじを完全に 2 回転させて締めます。
7. 5 mm (3/16 インチ) のナット・ドライバでそれぞれの拘束ねじをしっかりと押しながら、ヒートシンク・ラベルに示されているとおりに、きつくなるまで交互にねじを締めます。可能であれば、それぞれのねじを 1 回につき完全に 2 回転させてください。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。トルク・レンチを使用している場合は、0.9 ニュートン・メートル (Nm) から 1.13 Nm (8 インチ・ポンド (in-lb) から 10 in-lb) でねじを締めてください。詳しくは、ヒートシンク上のラベルを参照してください。

ステップ 9. マイクロプロセッサ 2 (前部マイクロプロセッサ) が取り付けられている場合は、[837 ページのステップ 8 前述のステップ](#)をマイクロプロセッサ 2 に対して繰り返します。

ステップ 10. 以下のリストにあるすべての取り付け済みコンポーネントを障害のあるシステム・ボード・アセンブリーから取り外し、直ちに交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます。

- DIMM。 [786 ページの「DIMM の取り外し」](#)、および [788 ページの「DIMM の取り付け」](#) を参照してください。
- I/O 拡張アダプター、および他のオプションのコンポーネント。以下の手順を参照してください。

- [818 ページの「System x 用 SD メディア・アダプターの取り外し」](#) および [819 ページの「System x 用 SD メディア・アダプターの取り付け」](#)

注：オプションの I/O 拡張アダプターを取り付ける場合は、必ず事前に、オプションの SD メディア用アダプターを取り付けておいてください。

- [814 ページの「I/O 拡張アダプターの取り外し」](#) および [815 ページの「I/O 拡張アダプターの取り付け」](#)
- [812 ページの「変換コネクタ \(interposer\) ケーブルの取り外し」](#) および [813 ページの「変換コネクタ \(interposer\) ケーブルの取り付け」](#)

ステップ 11. ServeRAID コントローラーを障害のあるシステム・ボード・アセンブリーから取り外した場合、直ちに交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます ([810 ページの「ServeRAID M5215 コントローラーの取り付け」](#)を参照)。

ステップ 12. 交換用のシステム・ボード・アセンブリーに DIMM エアー・バッフルを取り付けます。DIMM エアー・バッフルは、システムの冷却を維持するために必須です。

注：エアー・バッフルを取り付けるには、DIMM コネクターの保持クリップが閉じた位置になっている必要があります。

ステップ 13. 元の (障害のある) システム・ボード・アセンブリーから事前に取り外したカバーを、交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます (手順については、[773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」](#) を参照)。

重要：ヒートシンク・フィラーは、配送中に受けるおそれがある損傷からマイクロプロセッサ・ソケットを保護します。

ステップ 14. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーの両方のマイクロプロセッサ・ソケットにヒートシンク・フィラーが取り付けられていることを確認してから、交換用のシステム・ボード・アセンブリーに付属していたカバーを、障害のあるシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます (手順については、[773 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」](#) を参照)。

注：カバーを取り付けるには、I/O 拡張アダプターを固定する保持クリップが閉じた位置になっている必要があります。

ステップ 15. 交換用のシステム・ボード・アセンブリーにブランクの ID ラベル・プレートが付いている場合は、それを取り外して廃棄します ([782 ページの「ID ラベル・プレートの取り外し」](#) を参照)。

ステップ 16. 障害のあるシステム・ボード・アセンブリーの前面パネルから、マシン・タイプとシリアル番号の情報が記されている ID ラベル・プレートを取り外し、直ちに交換用のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます ([782 ページの「ID ラベル・プレートの取り外し」](#)、および [783 ページの「ID ラベル・プレートの取り付け」](#) を参照)。

注：ご使用の計算ノードに RFID タグがある場合、そのタグは既に ID ラベル・プレートに取り付けられています。

ステップ 17. 交換用のシステム・ボード・アセンブリーには、修理識別 (RID) タグが付属しています。先端が細く、消えないインクのペンを使用して、障害のあるシステム・ボード・アセンブリーからマシン・タイプとシリアル番号を修理識別タグのラベルに書き写します。次に、そのタグを交換用のシステム・ボード・アセンブリーの底部のくぼんだ領域 1 に配置します。

修理識別 (RID) タグ

手順

— マシン・タイプ —	RID タグ 1
SN	
— マシン・タイプ —	RID タグ 2
SN	(オプション)

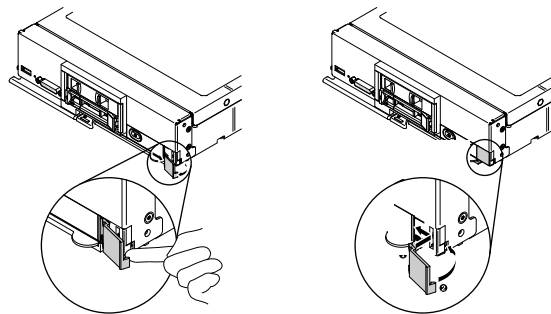
1. 障害のあるシステムのシリアル番号が、サービスに報告されたシリアル番号と一致していることを確認します。
2. 障害のあるシステムのマシン・タイプとシリアル番号をブランクの RID タグにコピーします。

注:

- RID タグへの記入には、先端が細く、消えないインクのペンを使用します。
- 障害のあるシステムに以前の RID タグが残っている場合は、既存の RID タグを取り外したり、再使用しようとしたりしないでください。交換用のシステム・ボードには、新しい RID タグを使用します。

3. 交換用のシステム・ボードの底部にあるくぼんだ領域を見つけます。RID タグをその領域 [1] に取り付けます。

4. 障害が発生したシステム・ボードの前面からラベル・プレートを取り外し、新しいシステム・ボードの開口部に取り付けます。



注:

交換手順について詳しくは、システムの資料を参照してください。

交換用のシステム・ボード・アセンブリーにコンポーネントを移動した後、以下のステップを実行します。

1. 計算ノードをシャーシに取り付けます (手順については、765 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。
2. CMM Web インターフェースを使用して、計算ノード IMM の IP アドレスを復元します。詳しくは、http://flexsystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.acc.cmm.doc/cmm_ug_startwebinterface.html を参照してください。

注：静的 IP アドレスを構成した場合は、IMM の IP アドレスが復元されるまで、リモート側でも管理デバイスからでも、ノードにアクセスできなくなります。

3. Features on Demand (FoD) 機能をすべて再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*Lenovo Features on Demand Users Guide*」に説明があります。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod> にアクセスしてログインし、「ヘルプ」をクリックします。
4. 新しい重要プロダクト・データ (VPD) で、汎用固有 ID (UUID) および DMI/SMBIOS データを更新します。Advanced Settings Utility を使用して、UUID および DMI/SMBIOS データを更新します (34 ページの「重要プロダクト・データを使用した、汎用固有 ID (UUID) および DMI/SMBIOS データの更新」を参照)。

5. 計算ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアします (詳細については、[23 ページの「ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新」](#)を参照)。

障害のあるシステム・ボード・アセンブリーの返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合は、それを使用してください。

重要：出荷の前に、返却する障害のあるシステム・ボード・アセンブリーに両方のヒートシンク・フィラーが取り付けられていることを確認してください。ヒートシンク・フィラーは、マイクロプロセッサの取り付け時に交換用のシステム・ボード・アセンブリーから取り外したものを使用します。返却する障害のあるシステム・ボード・アセンブリーには、マイクロプロセッサ・ソケット・ダスト・カバーを取り付けないでください。

付録 A ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、Lenovo および Lenovo 製品に関する追加情報の入手、ご使用の Lenovo システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別を行います。

注：このセクションには、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要であると思われる場合は、連絡される前に準備をしていただくと、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション・デバイスの電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。Lenovo 保証規定には、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることが明記されています (追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- <https://support.lenovo.com> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
 - マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン識別番号)
 - 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報
- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。Lenovo 製品資料にも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティン

グ・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

ご使用の Lenovo システム、およびプリインストール・ソフトウェア (ある場合)、あるいはオプションのデバイスに関する情報は、製品資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。Lenovo は、お客様が最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバや更新をダウンロードできるページを Web サイト上に設けています。これらのページにアクセスするには、<https://support.lenovo.com> に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

Lenovo 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の <https://support.lenovo.com> では、Lenovo システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。最新バージョンの製品資料は、次の製品固有のインフォメーション・センターにあります。

Flex System 製品: <http://flexsystem.lenovofiles.com/help/index.jsp>

System x 製品: <http://systemx.lenovofiles.com/help/index.jsp>

NeXtScale System 製品: <http://nextscale.lenovofiles.com/help/index.jsp>

DSA データの送信方法

Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM へ診断データを送信できます。

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれの方法でも、診断データを送信できます。

- **標準アップロード:** http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:** http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:** http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:** https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<https://support.lenovo.com> にアクセスします。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

Lenovo サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについては、<http://www.ibm.com/services> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

ハードウェアの保守は、Lenovo 販売店を通じて、あるいは IBM から受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld> にアクセスし、「Business Partner Locator (ビジネス・パートナー・ロケーター)」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1日24時間、週7日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前9時から午後6時までご利用いただけます。

台湾の製品サービス

この情報を使用して台湾の製品サービスに連絡します。

委製商/進口商名稱: 台灣聯想環球科技股份有限公司
進口商地址: 台北市南港區三重路 66 號 8 樓
進口商電話: 0800-000-702

付録 B 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

Lenovo、Lenovo ロゴ、Flex System、System x、NeXtScale System、および x Architecture は、Lenovo の米国およびその他の国における商標です。

インテル、および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハードディスク・ドライブの最大容量は、Lenovo から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハードディスク・ドライブの代わりに使用し、すべてのハードディスク・ドライブ・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを *total bytes written (TBW)* と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに 응답できなくなる可能性があります、また書き込み不能になる可能性があります。Lenovo は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

リサイクル情報

Lenovo では、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、さ

さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、以下を参照してください。 <http://www.lenovo.com/recycling>



US & Canada Only



US & Canada Only

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されているデバイスにリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、デバイスの誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限として見なしたり、あるいは使用したりしてはなりません。温度や大気中の湿気など他の多くの要因が、粒子や環境腐食性およびガス状の汚染物質移動のインパクトに影響することがあるからです。本書で説明されている特定の制限が無い場合は、人体の健康と安全の保護に合致するよう、微粒子やガスのレベル維持のための慣例を実施する必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルがデバイス損傷の原因であると Lenovo が判断した場合、Lenovo は、デバイスまたは部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 18. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	<ul style="list-style-type: none"> 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2¹ に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)。 データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない²。 室内には、亜鉛ウイスキーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	<ul style="list-style-type: none"> 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1³ 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

¹ ASHRAE 52.2-2008 - 「一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法」。アトランタ: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

³ ANSI/ISA-71.04-1985。 「プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質」。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

本製品は、お客様の国で、いかなる方法においても公衆通信ネットワークのインターフェースへの接続について認定されていない可能性があります。このような接続を行う前に、法律による追加の認定が必要な場合があります。ご不明な点がある場合は、Lenovo 担当員または販売店にお問い合わせください。

電波障害自主規制特記事項

このデバイスにモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制デバイスを使用してください。

連邦通信委員会 (FCC) 宣言書

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

カナダ工業規格クラス A 排出量適合性宣言

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

オーストラリアおよびニュージーランド Class A 宣言書

注意: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Declaración de conformidad de las directivas de EMC de la Unión Europea

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2014/30/EU on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. Lenovo cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the installation of option cards from other manufacturers.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A equipment according to European Standards harmonized in the Directives in compliance. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

Lenovo, Einsteinova 21, 851 01 Bratislava, Slovakia



Warning: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

ドイツ Class A 宣言書

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2014/30/EU zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der Klasse A der Norm gemäß Richtlinie.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der Lenovo empfohlene Kabel angeschlossen werden. Lenovo übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der Lenovo verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der Lenovo gesteckt/eingebaut werden.

Deutschland:

Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln Dieses Produkt entspricht dem „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln“ EMVG (früher „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten“). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2014/30/EU in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln, EMVG vom 20. Juli 2007 (früher Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten), bzw. der EMV EU Richtlinie 2014/30/EU, für Geräte der Klasse A.

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen. Verantwortlich für die Konformitätserklärung nach Paragraf 5 des EMVG ist die Lenovo (Deutschland) GmbH, Meitnerstr. 9, D-70563 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraf 4 Abs. (1) 4: Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55032 Klasse A.

Nach der EN 55032: „Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen.“

Nach dem EMVG: „Geräte dürfen an Orten, für die sie nicht ausreichend entstört sind, nur mit besonderer Genehmigung des Bundesministers für Post und Telekommunikation oder des Bundesamtes für Post und Telekommunikation betrieben werden. Die Genehmigung wird erteilt, wenn keine elektromagnetischen Störungen zu erwarten sind.“ (Auszug aus dem EMVG, Paragraph 3, Abs. 4). Dieses Genehmigungsverfahren ist nach Paragraph 9 EMVG in Verbindung mit der entsprechenden Kostenverordnung (Amtsblatt 14/93) kostenpflichtig.

Anmerkung: Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen sind die Geräte, wie in den Handbüchern angegeben, zu installieren und zu betreiben.

電磁適合性宣言 (日本)

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 V C C I - A

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio interference may occur, in which case the user may be required to take corrective actions.

日本の電気製品安全法に基づく記述 (取り外し可能な AC 電源コード向け)

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

JEITA 高調波ガイドライン - AC 電力消費 (W) に関する日本向け宣言

定格入力電力表示
(社) 電子情報技術参照委員会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン
実行計画書に基づく定格入力電力値: W
お手持ちのユニットの定格入力電力値(W)はユニットの電源装置に貼付
されている電源仕様ラベルをご参照下さい

韓国通信委員会 (KCC) 宣言書

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書

ВНИМАНИЕ!

Настоящее изделие относится к оборудованию класса А. При использовании в бытовой обстановке это оборудование может нарушать функционирование других технических средств в результате создаваемых промышленных радиопомех. В этом случае от пользователя может потребоваться принятие адекватных мер.

中華人民共和國 Class A 電子放出宣言書

中华人民共和国“A类”警告声明

声明

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

台灣 Class A 適合性宣言書

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

台灣 BSMI RoHS 宣言

單元 Unit	限用物質及其化學符號 Restricted substances and its chemical symbols					
	鉛Lead (Pb)	汞Mercury (Hg)	鎘Cadmium (Cd)	六價鉻 Hexavalent chromium (Cr ⁶⁺)	多溴聯苯 Polybrominated biphenyls (PBB)	多溴二苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)
機架	○	○	○	○	○	○
外部蓋板	○	○	○	○	○	○
機械組零件	-	○	○	○	○	○
空氣傳動設備	-	○	○	○	○	○
冷卻組零件	-	○	○	○	○	○
內存模塊	-	○	○	○	○	○
處理器模塊	-	○	○	○	○	○
電纜組零件	-	○	○	○	○	○
電源	-	○	○	○	○	○
儲備設備	-	○	○	○	○	○
電路卡	-	○	○	○	○	○
光碟機	-	○	○	○	○	○
雷射器	-	○	○	○	○	○
<p>備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。 Note1: “exceeding 0.1wt%” and “exceeding 0.01 wt%” indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition.</p> <p>備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。 Note2: “○” indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence.</p> <p>備考3. “-” 係指該項限用物質為排除項目。 Note3: The “-” indicates that the restricted substance corresponds to the exemption.</p>						

索引

最小構成 788
台湾 BSMI RoHS 宣言 859
1 つ以上の計算ノードが SAN と通信できない 742
1.8 型ドライブ
 取り付け 806
 取り外し 804

a

Adapters and UEFI Drivers、Setup Utility 27
Advanced Settings Utility (ASU) 34

b

Boot Manager、Setup Utility 27
Boot Selection Menu プログラム 34
Brocade ドキュメント 3

c

Chassis Management Module 5
Class A 電磁波放出の注記 856
CMM が CMM に ping できない 747
CMM と通信できない 742
CMM に ping できない、トラブルシューティング 745
CMM にログインできない 745
CMOS バッテリー 18
 取り付け 785
 取り外し 784
Commands on USB Interface Preference、Setup Utility 27
CRU の取り外しと交換 778, 823
CRU、Tier 1、取り外しと交換 778
CRU、Tier 2、取り外しと交換 823

d

Declaración de conformidad de las directivas de EMC de la Unión Europea 856
Devices and I/O Ports、Setup Utility 27
DIMM
 取り付け 788
 取り外し 786
DIMM コネクタ 18
DMI/SMBIOS データ、更新
 リモート: LAN 経由 36
 ローカル: LAN over USB 35
 ローカル: キーボード・コントローラー・スタイル 34
DSA
 エディション 75
 実行 75
 テキスト・メッセージ 76
 テスト結果の表示 76
 プリブート 75
 ポータブル 75

DSA 診断
 概要 74
DSA テスト結果の表示 76
DSA のプリブート 74
DSA の取り付け 74
DSA ログ 232
DSA、データの送信 850
Dynamic System Analysis 診断
 DSA 74

e

Electronic Service Agent (ESA) 762

f

FCC Class A の注記 856
Features on Demand 38
First Failure Data Capture (FFDA) 762
Force Legacy Video on Boot、Setup Utility 27

h

HDD バックプレーン・コネクタ 18

i

I/O 拡張アダプター
 取り付け 815
 取り外し 815
I/O 拡張コネクタ 18
I/O モジュールと通信できない 742
I/O モジュールに ping できない、トラブルシューティング 747
I/O モジュールにログインできない 745
ID ラベル・プレート
 取り付け 783
 取り外し 782
IMM2
 IP アドレス、LAN over USB 51
 MAC アドレスおよびホスト名 45
 Setup Utility 27
 Setup Utility からの表示 72
 アクションの説明 47
 アクセス 51
 システム・イベント・ログ、Setup Utility から表示 72
 システム・イベント・ログの消去 27
 システム・イベント・ログの表示 27
 使用 45
 デフォルトにリセット 27
 ネットワーク・アクセス・タグ 45
IMM2 へのアクセス 45
Integrated Management Module
 IMM2 27
IP アドレス、LAN over USB 51

k

KCS アドレス、IMM2 51

l

LAN over USB

競合 51

IP アドレス 51

Linux ドライバー・インストール 54

Windows ドライバー・インストール 52

インターフェースの無効化 52

手動構成 52

競合の解決 52

LAN over USB インターフェースの無効化 52

LED

CMOS バッテリー・エラー 19

DIMM 19

I/O 拡張アダプター 19

SAS バックプレーン 19

活動 12

識別 12

システム・ボード 19

障害 12

チェック・ログ 12

電源 12

表示 69

マイクロプロセッサ 19

Legacy Support、Setup Utility 27

Legacy Think Support、Setup Utility 27

Lenovo Flex System x240 M5 計算ノード

仕様 4

Lenovo XClarity Administrator 9

light path 診断、確認 69

light path 診断 69

light path 診断パネル 19

Linux ドライバー、LAN over USB 54

Logic Configuration ユーティリティ、LSI 38

LSI Logic Configuration ユーティリティ 38

m

MAC アドレス 45

MAC アドレス・ラベル 45

Memory、Setup Utility 27

n

Network Configuration、Setup Utility 27

Network、Setup Utility 27

NOS の取り付け

ServerGuide を使用しない 44

nx ブート障害 32

o

Operating Modes、Setup Utility 27

p

POST

Event Viewer 27

POST Watchdog Timer、Setup Utility 27

POST イベント・ログ 232

Power、Setup Utility 27

Processors、Setup Utility 27

PXE ブート・エージェント 47

PXE ブート・プロトコル、設定 33

PXE ブート・プロトコルの設定 33

q

QR コード 1, 5, 55

r

RAID アレイ、サポートされるタイプ 806

RAID アレイの構成 37

Reboot System on NMI、Setup Utility 27

Rehook INT、Setup Utility 27

RFID タグ

取り付け 817

取り外し 816

s

SAS ID アドレス 45

SAS アレイ、サポートされるタイプ 800

SAS ハード・ディスク

取り付け 800

ホット・スワップ・ハード・ディスク 800

SCSI 800

SD アダプター

取り付け 819

取り外し 818

SD カード

取り付け 822

取り外し 821

SD メディア用アダプター

取り付け 819

取り外し 818

ServeRAID コントローラー

取り付け 810

取り外し 808

ServerGuide

オペレーティング・システムのインストールに使用 43

機能 43

ServerGuide CD 5

Service Bulletin 69

Setup Utility 44

概要 27

メニュー 27

SMBIOS データ、更新

リモート: LAN 経由 36

ローカル: LAN over USB 35

ローカル: キーボード・コントローラー・スタイル 34

SSD

ソリッド・ステート・ドライブ 804
取り付け 806
Start Options、Setup Utility 27
System Event Logs、Setup Utility 27
System Information、Setup Utility 27
System Security、Setup Utility 27
System Settings、Setup Utility 27
System Summary、Setup Utility 27
System x 用の SD メディア・アダプター
取り付け 819
取り外し 818

t

Tier 1 CRU 763
Tier 1 CRU、取り外しと交換 778
Tier 2 CRU 763
Tier 2 CRU、取り外しと交換 823
TPM
Setup Utility 27
Trusted Platform Module、Setup Utility 27

u

UEFI drivers、Setup Utility 27
UEFI 診断コード 711
UEFI 診断コードの検出 712
UEFI ファームウェア
Flex System Manager シャーシ・マネージャーを使用
した更新 23
Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator を使用した更新 23
UpdateXpress を使用した更新 23
更新 23
更新失敗からのリカバリー 24
User Security、Setup Utility 27

V

Virtual Light Path 47

W

Web インターフェース
ログオン 46
Windows ドライバー、LAN over USB 52

あ

アダプター保持アSEMBリー
取り付け 780
取り外し 778
アレイ、RAID 806
アレイ、SAS 800
安全について v-vi

い

イベント・ログ 232
IMM2 72

インフォメーション・センター 850

え

エラー
接続機能 741
ソフトウェア 761
メモリー 757
目視で確認できる問題 758
エラーの現象
ソフトウェア 761
ハードディスク・ドライブ 755
エラー・コード 233
IMM 233
IMM2 233
UEFI 診断コード 711

お

汚染、微粒子およびガス 855
オプションのデバイスおよび交換可能コンポーネントの
取り付けの問題 759
オプションのデバイスの取り付け 763
オプション・デバイス、取り付け 763
オペレーティング・システム
取り付け 41-42
オペレーティング・システムのインストール
ServerGuide を使用する場合 43
オーストラリア Class A 宣言書 856

か

ガイドライン
システム信頼性 763
取り付け 763
ガス汚染 855
カスタム・サポート Web ページ 850
活動 LED 12
カナダ Class A 電子放出宣言書 856
カバー
取り付け 773
取り外し 772
韓国 Class A 電子放出宣言書 858
管理ノードと通信できない 741
管理ノードに ping できない、トラブルシューティン
グ 749, 752
管理ノードにログインできない 745
関連資料 2

き

機能
ServerGuide 43
機能、計算ノード 5
キーボード・コントローラー・スタイル・アドレス、
IMM2 51

け

計算ノード

- 取り付け 765
- 取り外し 765
- 部品リスト 55
- 計算ノードの停止 17
- 計算ノードの起動 16
- 計算ノードの電源オフ 17
- 計算ノードの電源オン 16
- 計算ノードのコンポーネントの取り外しおよび交換 763
- 計算ノードの始動の問題 741
- 計算ノード・カバー
 - 取り付け 773
 - 取り外し 772

こ

- 交換
 - 熱伝導グリース 835
- 更新
 - 構成 764
 - デバイス・ドライバー 23
 - ファームウェア 23
- 構成
 - LAN over USB (手動) 52
 - RAID アレイ 37
 - 計算ノード 25
 - 更新 764
 - 最小 788
- 構成サマリー、表示 47
- コネクタ、システム・ボード 18
- 変換コネクタ・ケーブル
 - 取り付け 813
 - 取り外し 812
- 個別設定したサポート Web ページの作成 850
- コンソール・ブレイクアウト・ケーブル 16
- コントローラ
 - ビデオ 5
 - メモリー 5
- コンポーネント
 - 計算ノード、取り外しおよび交換 763
 - システム・ボード 18
 - 図示 11
 - 返却 764

さ

- 再現性の低い問題 756
- 再現性の低い接続の問題 756
- サポート、入手 849
- サポート Web ページ、カスタム 850
- サービスおよびサポート
 - 依頼する前に 849
 - ソフトウェア 851
 - ハードウェア 851
- サービスおよびサポート・マネージャー 762
- サービス・データの収集 762

し

- 識別 LED 12

- 事項、重要 854
- システム管理
 - Chassis Management Module 5
 - Flex System Manager 管理ソフトウェア 5
 - システムの信頼性に関するガイドライン 763
 - システム・イベント・ログ 232
 - システム・ボード
 - LED 19
 - コネクタ 18
 - ジャンパー 20
 - スイッチ 20
 - レイアウト 18
 - システム・ボード FRU 836
 - システム・ボード・アセンブリー
 - 交換 836
 - コンポーネント 11
 - 取り付け 836
 - 取り外し 836
 - ジャンパー、システム・ボード 20
 - シャーシ、のサポート 1
 - シャーシ・バルクヘッド
 - 取り付け 771
 - 取り外し 770
 - 重要な注 854
 - 「重要」の注記、意味 3
 - 出版物、関連した 2
 - 主要コンポーネント
 - システム・ボード 11
 - 障害 LED 12
 - 障害のあるノード 836
 - 商標 854
 - 消耗部品および構造部品の取り外しと交換 767
 - 消耗部品および構造部品、取り外しと交換 767
 - 初期セットアップ中にデータ・ネットワークに接続できない、トラブルシューティング 743
 - 初期セットアップ中に単一の計算ノードがデータ・ネットワークに接続できない 743
 - 初期セットアップ中に複数の計算ノードがデータ・ネットワークに接続できない 744
 - シリアル接続 SCSI (SAS)
 - ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ
 - 取り付け 800
 - 取り外し 799

資料

- 使用 850
- 資料、Brocade 3
- 資料、関連した 2
- 新磁気ディスク制御機構 (RAID) 806
 - SAS アレイ 800
- 診断ツール 69
- 診断データの送信 850
- 信頼性
 - RAS 機能 10
 - 機能 10
- 始動シーケンス、変更 47

す

- スイッチ、システム・ボード 20
- ストレージ・ドライブ

問題 755

せ

静電気 764
静電気の影響を受けやすいデバイス、取り扱い 764
製品サービス、台湾 851
前面パネル
 取り付け 768
 取り外し 767
前面ハンドル
 取り付け 775
 取り外し 774

そ

ソフトウェアの問題 761
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 851
ソリッド・ステート・ドライブ
 取り付け 806
 取り外し 804
ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブ
 取り付け 803
 取り外し 801

た

台湾 Class A 電子放出宣言書 859
台湾の製品サービス 851
単一のノードから CMM に ping できない 745
単一のノードから I/O モジュールに ping できない 747
単一のノードから管理ノードに ping できない 749, 752
単一のノードから管理ノードに ping できない、別の
 シャーシ 749, 752
単一の計算ノードのネットワーク (イーサネット) 接
 続が突然切断される 744

ち

チェック・ログ LED 12
中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書 858
注記 853
 FCC、Class A 856
 電磁波放出 856
中国 Class A 電子放出宣言書 858

つ

通信規制の注記 855

て

通信できない 741
デバイス、返却 764
デバイスまたはコンポーネントの返却 764
デバイス・ドライバー、更新 23
電源

スロットル 5
電源 LED 12
電源ボタン 12
電源オン問題 760-761
 計算ノードが電源オフされない 761
 単一のノードが電源オンされない 760
電磁適合性宣言 (日本) 858
電磁波放出 Class A の注記 856
電話番号 851

と

ドイツ Class A 宣言書 857
ドキュメント、Brocade 3
ドライブ
 オプション、SAS 800
トラブルシューティング 69
 Service Bulletin 69
トラブルシューティング表 741
トラブルシューティング、1つ以上の計算ノードが SAN
 と通信できない 742
トラブルシューティング、CMM が CMM に ping できない 747
トラブルシューティング、CMM と通信できない 742
トラブルシューティング、CMM に ping できない 745
トラブルシューティング、CMM にログインできない 745
トラブルシューティング、I/O モジュールと通信できない 742
トラブルシューティング、I/O モジュールに ping できない 747
トラブルシューティング、I/O モジュールにログイン
 できない 745
トラブルシューティング、初期セットアップ中にデー
 タ・ネットワークに接続できない 743
トラブルシューティング、初期セットアップ中に単一の
 計算ノードがデータ・ネットワークに接続できない 743
トラブルシューティング、初期セットアップ中に複数の
 計算ノードがデータ・ネットワークに接続できない 744
トラブルシューティング、単一のノードから CMM に
 ping できない 745
トラブルシューティング、複数のノードから CMM に
 ping できない 746
トラブルシューティング、単一のノードから I/O モ
 ジュールに ping できない 747
トラブルシューティング、複数のノードから I/O モ
 ジュールに ping できない 748
トラブルシューティング、複数のノードから別のシャー
 シ内の管理ノードに ping できない 751, 754
トラブルシューティング、単一のノードから管理ノード
 に ping できない 749, 752
トラブルシューティング、複数のノードから管理ノード
 に ping できない 750-751, 753, 755
トラブルシューティング、単一のノードから管理ノード
 に ping できない、別のシャーシ 749, 752
トラブルシューティング、単一の計算ノードのネット
 ワーク (イーサネット) 接続が突然切断される 744
トラブルシューティング、複数の計算ノードのネット
 ワーク (イーサネット) 接続が突然切断される 744
トラブルシューティング、管理ノードと通信できない 741
トラブルシューティング、管理ノードに ping できな
 い 749, 752
トラブルシューティング、管理ノードにログインでき
 ない 745

トラブルシューティング、ログインできない 745
取り付け
1.8 型ドライブ 806
ID ラベル・プレート 783
RFID タグ 817
SAS ハード・ディスク 800
オプション・デバイス 763
計算ノード 765
前面パネル 768
ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブ 803
ベゼル 782
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ 800
取り付けのガイドライン 763
取り外し
RFID タグ 816
計算ノード 765
前面ハンドル 774

に

ニュージーランド Class A 宣言書 856

ね

熱伝導グリース、交換 835
ネットワーク・アクセス・タグ 45

の

「危険」の注記、意味 3
「注意」の注記、意味 3
接続の問題 741
のイベント・ログ
計算ノードを再起動せずに表示 73
ノード・ベイ・フィルター 765

は

パフォーマンスの問題 759
ハンドル、前面
取り付け 775
取り外し 774
ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 851
ハードディスク・ドライブ
サポート 5
仕様 5
ホット・スワップ、取り付け 800
問題 755
ハードディスク・ドライブ・ケージ
取り付け 777
取り外し 776
ハードディスク・ドライブ・バックプレーン
取り付け 798
取り外し 797

ひ

ヒートシンク

取り付け 828
取り外し 823
熱伝導グリース 835

ふ

ファブリック・コネクタ
ロケーション 18
ファームウェア
更新 23
更新失敗からのリカバリー 24
フィルター、ノード・ベイ 765
負荷分配
電力スロットル 5
複数のノードが電源オンされない 761
複数のノードから CMM に ping できない 746
複数のノードから I/O モジュールに ping できない 748
複数のノードから別のシャーシ内の管理ノードに ping
できない 751, 754
複数のノードから管理ノードに ping できない 750-751,
753, 755
複数の計算ノードのネットワーク (イーサネット) 接
続が突然切断される 744
部品リスト 55

へ

米国 FCC Class A の注記 856
ベゼル
取り付け 782
取り外し 781
ヘルプ
WWW から 850
診断データの送信 850
ソース 849

ほ

ホスト計算ノードの始動シーケンス、変更 47
ボタン、電源 12
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ
取り付け 800
取り外し 799
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージ
取り外し 776
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バック
プレーン
取り付け 798
取り外し 797
ホット・スワップ・ハード・ディスク
SAS ハード・ディスク 800

ま

マイクロプロセッサ
取り付け 828
取り外し 823
熱伝導グリース 835
マイクロプロセッサ・コネクタ 18

み

未解決問題 761

め

メッセージ

IMM 233

UEFI 診断コード 711

メモリーの問題 757

メモリー・ミラーリング 788

メモリー・モジュール

仕様 5

取り付け 788

取り外し 786

も

目視で確認できる問題 758

問題 743

オプションのデバイスおよび交換可能コンポーネントの取り付け 759

偶発的 756

計算ノードの始動 741

再現性の低い接続 756

接続機能 741

ソフトウェア 761

単一のノードが電源オンされない 760

電源オン 760-761

計算ノードが電源オフされない 761

パフォーマンス 759

ハードディスク・ドライブ 755

複数のノードが電源オンされない 761

未解決 761

メモリー 757

目視で確認できる問題 758

り

取り外し

1.8 型ドライブ 804

ID ラベル・プレート 782

前面パネル 767

ソリッド・ステート・ドライブ 804

ベゼル 781

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ 799

粒子汚染 855

ろ

ログインできない、トラブルシューティング 745

ロシア Class A 電子放出宣言書 858



部品番号: SP47A31682

Printed in China

(1P) P/N: SP47A31682

